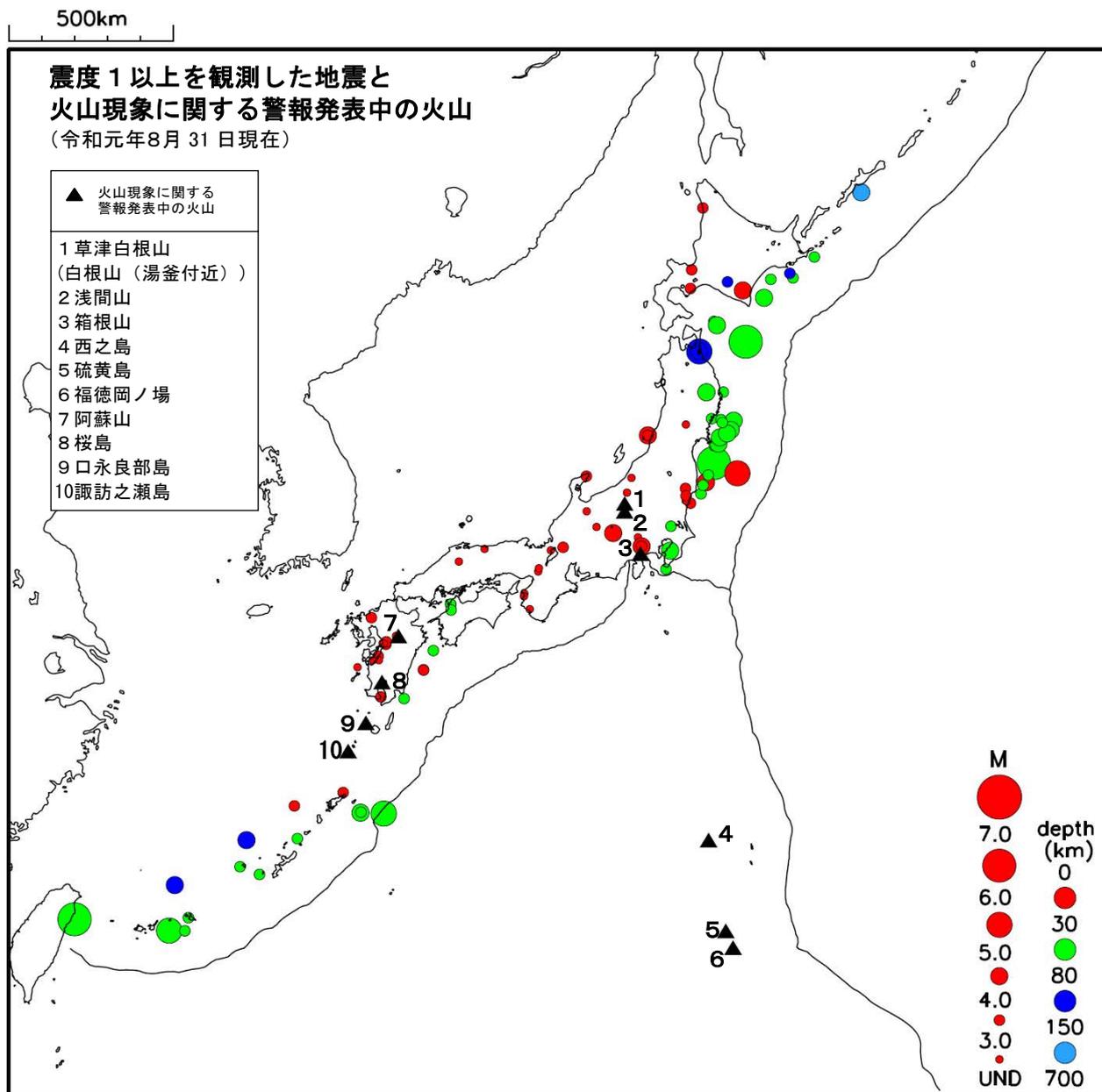


令和元年8月 地震・火山月報(防災編)

Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

August 2019



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

利用にあたって

本書は、地震・火山に関連した各種防災情報や地震・火山活動に関する分析結果の最新版を防災機関等における効果的な利用に供するため、毎月刊行している。

気象庁では、平成 9 年(1997年)11月10日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体*及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成 9 年(1997年)10月 1 日より、大学や国立研究開発法人防災科学技術研究所等の関係機関から地震観測データの提供を受け**、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系（Japanese Geodetic Datum 2000）に基づいて計算したものである。

注* 令和元年 8 月 31 日現在：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、札幌市（北海道）、仙台市（宮城県）、千葉市（千葉県）、横浜市（神奈川県）、川崎市（神奈川県）、相模原市（神奈川県）、名古屋市（愛知県）、京都市（京都府）の 47 都道府県、8 政令指定都市。

注** 令和元年 8 月 31 日現在：国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、静岡県、神奈川県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを基に作成している。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを利用している。

□本書利用上の注意

・震央分布図中の語句について

M：マグニチュード（通常、揺れの最大振幅から推定した気象庁マグニチュードだが、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードの場合がある。）

Mw：モーメントマグニチュード（特にことわりがない限り、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードを表す。）

depth：深さ（km）

UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。

N=xx, yy/ZZ：図中に表示している地震の回数を表す（通常図の右肩上に示してある）。ZZ は回数の総数を表し、xx, yy は期間別に表示色を変更している場合に、期間毎の回数を表す。

・発震機構解について

本書での発震機構解の図は下半球投影である。また、本書での発震機構解は、特にことわりがない限り、初動による発震機構解である。初動発震機構解が求められない場合や、十分な精度が得られない場合には、初動発震機構解に替えて CMT 解を掲載する場合がある。

・発震機構解の図中の語句について

P：P 軸（圧力軸） T：T 軸（張力軸）

N：N 軸（中立軸）

・Global CMT 解について

Global CMT 解は、米国のコロンビア大学とハーバード大学で行っている、世界で発生した規模の大きな地震の CMT 解を求めるプロジェクト（Global CMT Project）により求められた解である。

・M-T 図について

縦軸にマグニチュード（M）、横軸に時間（T）を表示した図であり、地震活動の経過を見るために用いる。

・震央地名について

本書での震央地名は、原則として情報発表時に使用したものをを用いるが、震央を精査した結果等により、情報発表時とは異なる震央地名を用いる場合がある。なお、情報発表時の震央地名及びその領域については、各年の「地震・火山月報（防災編）」1 月号の付録「地震・火山月報（防災編）で用いる震央地名」を参照のこと。

・震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

・地震の震源要素等について

2016 年 4 月 1 日以降の震源では、M の小さな地震は、自動処理による震源を表示している場合がある。自動処理による震源は、震源誤差の大きなものが表示されることがある。

震源の深さを「CMT 解による」とした場合は、気象庁 CMT 解のセントロイド（破壊の重心）の深さをを用いている。

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については、地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/bulletin/index.html>]に掲載する。

・火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、火山月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/bulletin/index_vcatalog.html]に掲載する。

・本書で使用した地図等について

本書中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用した（承認番号 平 29 情使、第 798 号）。また、震央分布図等に表記した活断層は、地震調査研究推進本部の長期評価による。

・図版作成には一部 GMT (Generic Mapping Tool [Wessel, P., and W. H. F. Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol. 79 (47), pp. 579, 1998]) を使用した。

目次

● 日本及びその周辺での主な地震活動	1
北海道地方の地震活動	6
東北地方の地震活動	7
関東・中部地方の地震活動	12
近畿・中国・四国地方の地震活動	13
九州地方の地震活動	14
沖縄地方の地震活動	15
その他の地域の地震活動	18
● 南海トラフ周辺の地殻活動	19
● 日本の主な火山活動	55
北海道地方の火山活動	65
東北地方の火山活動	67
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動	69
近畿・中国・四国地方の火山活動	73
九州地方の火山活動	74
沖縄地方の火山活動	77
火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴	78
● 世界の主な地震	80
● 世界の主な火山活動	81
● 付録	
1. 震度 1 以上を観測した地震の表	82
2. 過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数	100
3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード（M）別の月別地震回数	101
4. 長周期地震動階級 1 以上を観測した地震	102
5. 緊急地震速報の提供状況	104

● 日本及びその周辺での主な地震活動

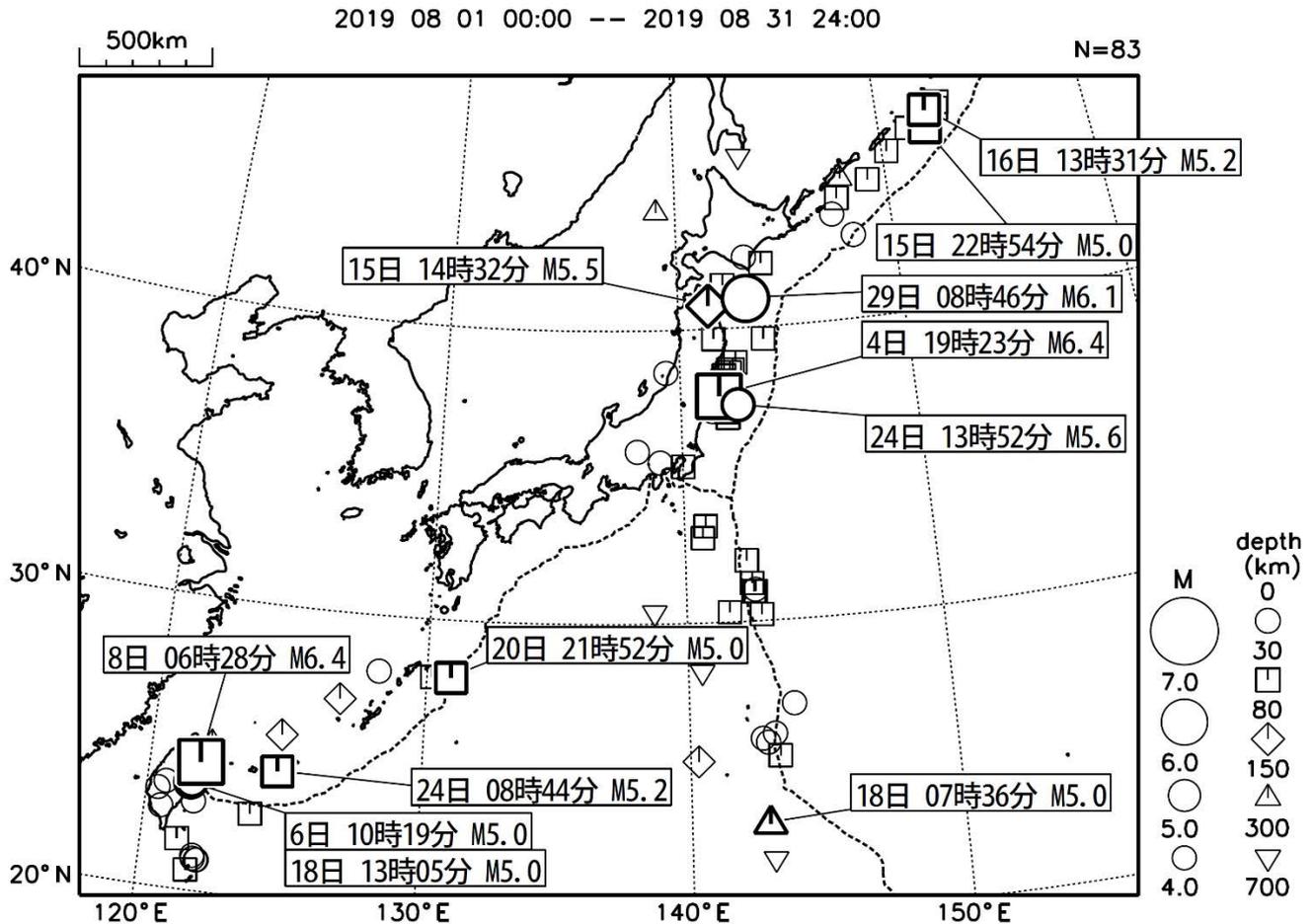


図1 令和元年8月に日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の震央分布図

(図中に日時分、マグニチュードを付した地震はM5.0以上の地震、またはM4.0以上で最大震度5弱以上を観測した地震である。)

令和元年（2019年）8月に日本国内で震度4以上を観測した地震の回数は2回（7月は1回）、日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の回数は83回（7月は97回）であった（図1）。8月中に発生した主な地震を表1、震度1以上を観測した地震の震央を図2、M4.0以上の地震の震央を図3、震度4以上を観測した地震の震度分布図を図4に示す。8月中に震度5弱以上を観測した地震は1回、津波を観測した地震はなかった（7月は震度5弱以上を観測した地震及び津波を観測した地震はなかった）。

令和元年 8 月 地震・火山月報（防災編）

表 1 令和元年 8 月に日本及びその周辺で発生した主な地震（注 1）（注 2）（注 3）

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M	Mw (注 4)	M H S T (注 5)	最大震度・被害状況等（注 6）	掲載 ページ
1	8 4 19 23	福島県沖	6.4	6.3	M H S ・	5 弱：宮城県 亘理町下小路* 福島県 双葉町両竹* 石巻市桃生町* 長周期地震動階級 2 を観測 緊急地震速報（警報） を発表 被害：負傷者 1 人	4, 8
2	8 8 6 28	台湾付近	6.4	5.9	M	2：沖縄県 与那国町久部良 与那国町役場*	16
3	8 15 14 32	青森県三八上北地方	5.5	5.5	. . . S .	4：青森県 八戸市内丸* 三沢市桜町* 八戸市南郷* 東北町上北南*	5, 9
	8 15 15 6	青森県三八上北地方	4.5	4.6	3：青森県 八戸市内丸* 青森南部町苔米地* 三沢市桜町* など 6 地点	
4	8 24 8 44	石垣島近海	5.2	5.1	3：沖縄県 多良間村塩川 宮古島市下地*	17
5	8 24 13 52	福島県沖	5.6	5.2	3：宮城県 登米市南方町* 石巻市桃生町*	10
6	8 29 8 46	青森県東方沖	6.1	6.0	M	3：北海道 函館市泊町* 浦幌町桜町* 函館市新浜町* など 1 道 2 県 27 地点	11

- (注 1) 主な地震とは、図 1 の領域内で発生した①M6.0 以上、②震度 4 以上、③内陸 M4.5 以上かつ震度 3、④海域 M5.0 以上かつ震度 3、⑤その他注目した地震を指す。
- (注 2) 震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。
- (注 3) 空欄については、複数の地震による活動のため、記載していない場合がある。
- (注 4) Mw 欄の「-」は Mw が求められていないことを示す。
- (注 5) M H S T の各項目について、M: M6.0 以上の地震、H: 被害を伴った地震、S: 震度 4 以上を観測した地震、T: 津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。
- (注 6) 最大震度の観測点名にある * 印は地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。被害状況について出典の記載がないものは総務省消防庁による。

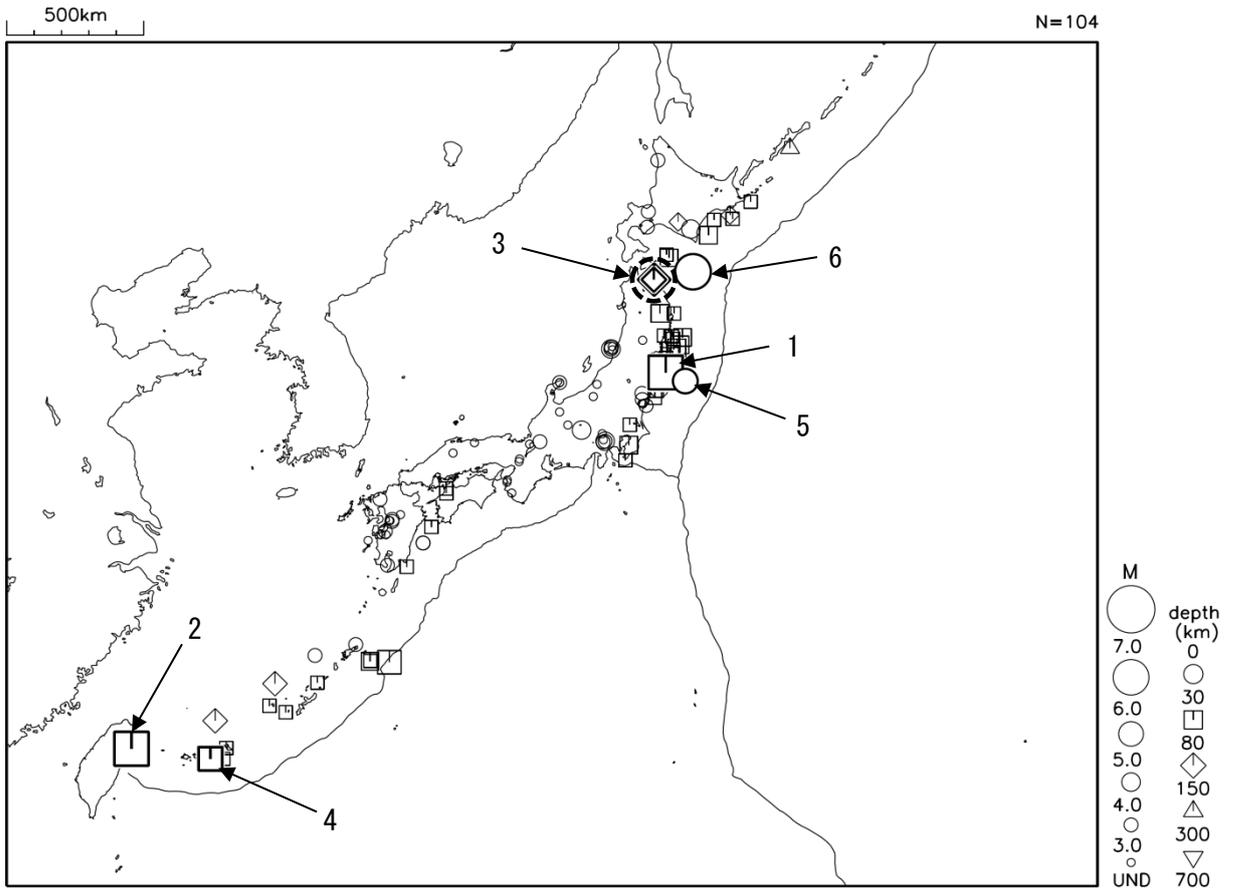


図2 令和元年8月に震度1以上を観測した地震（図中の番号は、表の番号に対応）

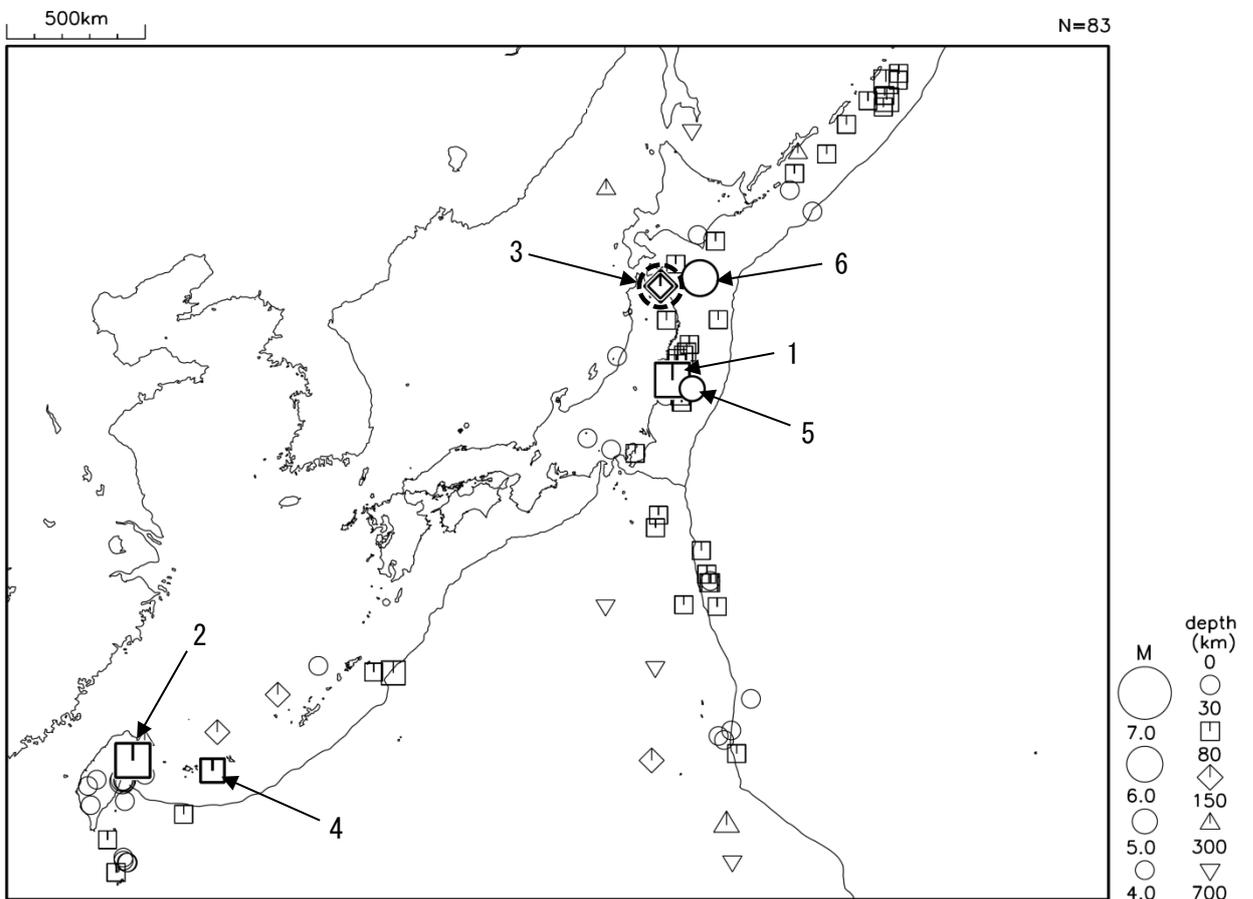
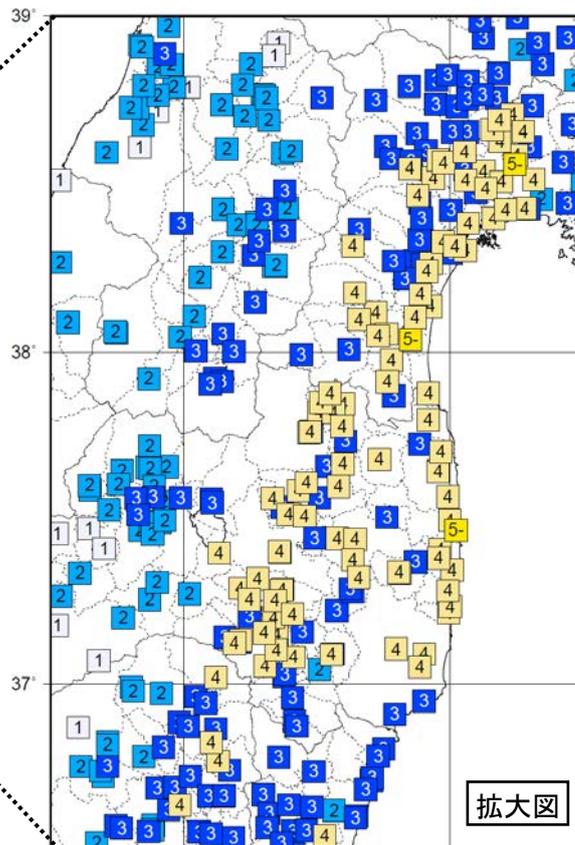
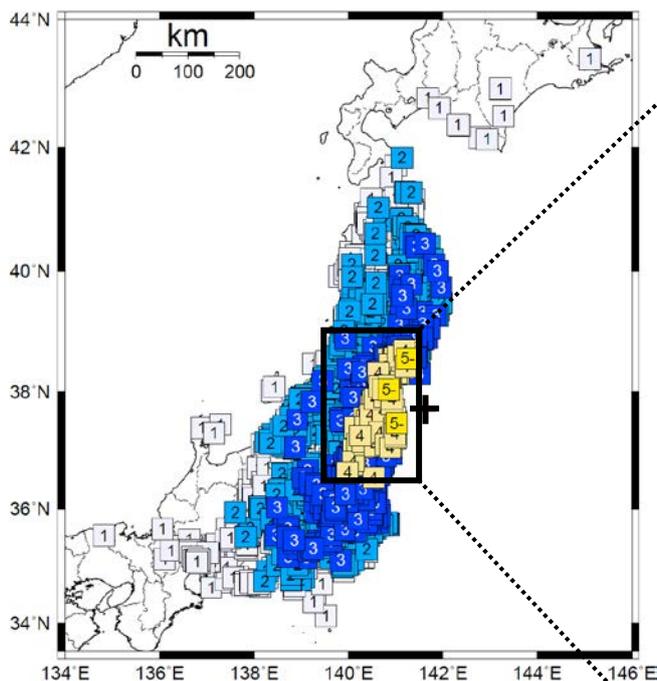


図3 令和元年8月に発生したM4.0以上の地震（図中の番号は、表の番号に対応）

1 8月4日 19時23分 福島県沖
(M6.4、深さ45km、最大震度5弱)



<推計震度分布図について>
地震の際に観測される震度は、ごく近い場所でも地盤の違いなどにより1階級程度異なることがある。また、このほか震度を推計する際にも誤差が含まれるため、推計された震度と実際の震度が1階級程度ずれることがある。
このため、個々のメッシュの位置や震度の値ではなく、大きな震度の面的な広がり具合とその形状に着目して利用されたい。
なお、この推計震度分布図は震度の精査後に再作成したものであり、地震発生直後に発表したものと一部異なる。

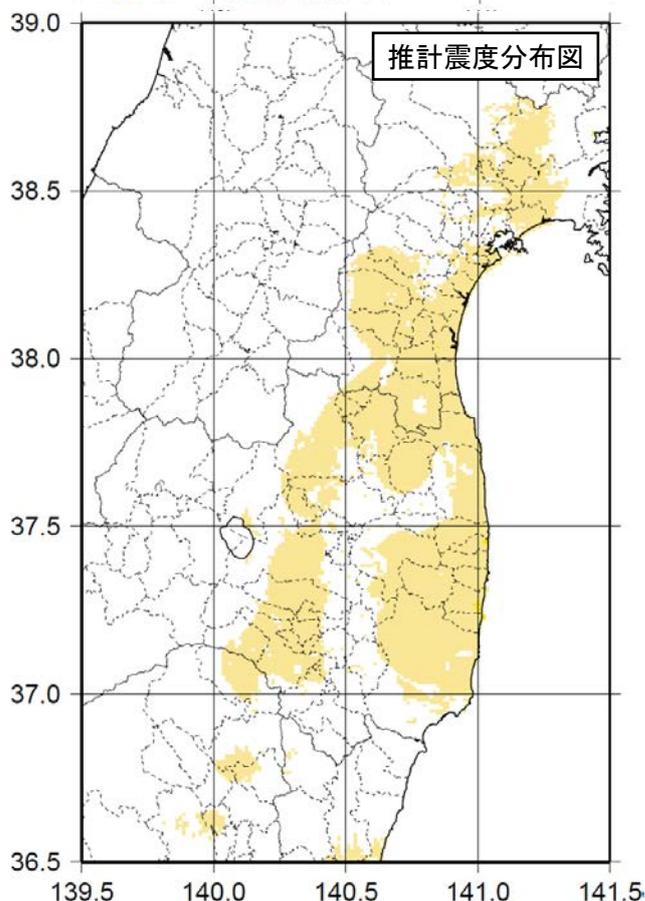


図4 震度分布図及び推計震度分布図（続く）
（各図の左上の数字は表1、図2、図3の番号に対応する。+印は震央を示す）

※その他の地震の震度分布図については、気象庁HPの震度データベース
(<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.php>) をご覧ください。

3 8 月 15 日 14 時 32 分 青森県三八上北地方
 (M5.5、深さ 93km、最大震度 4)

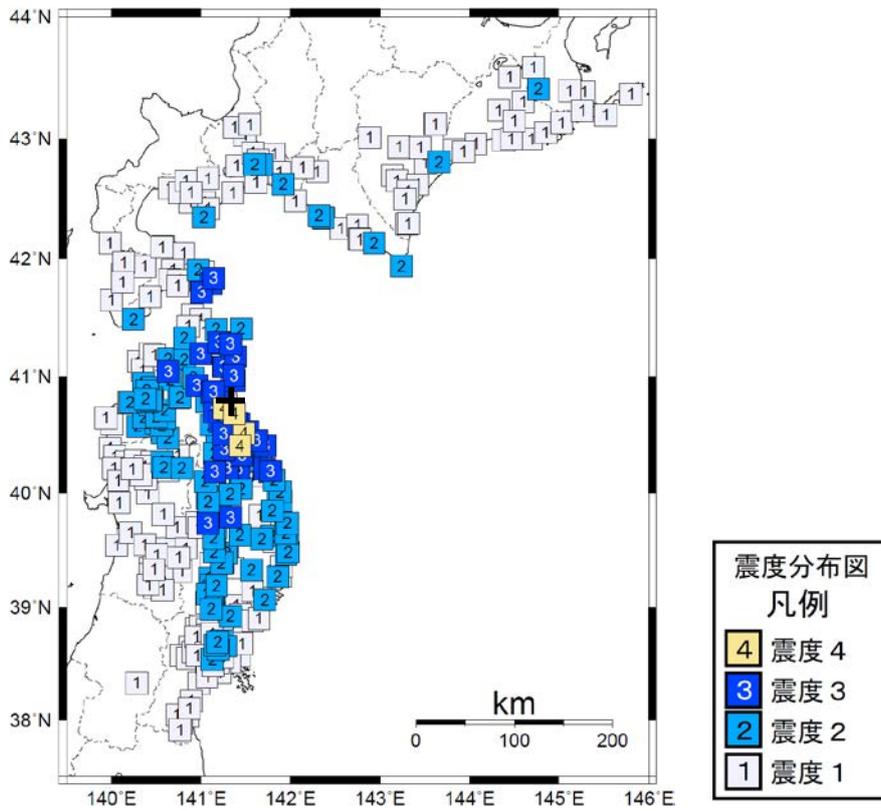


図 4 震度分布図及び推計震度分布図（続き）
 （各図の左上の数字は表 1、図 2、図 3 の番号に対応する。+印は震央を示す）

○北海道地方の地震活動

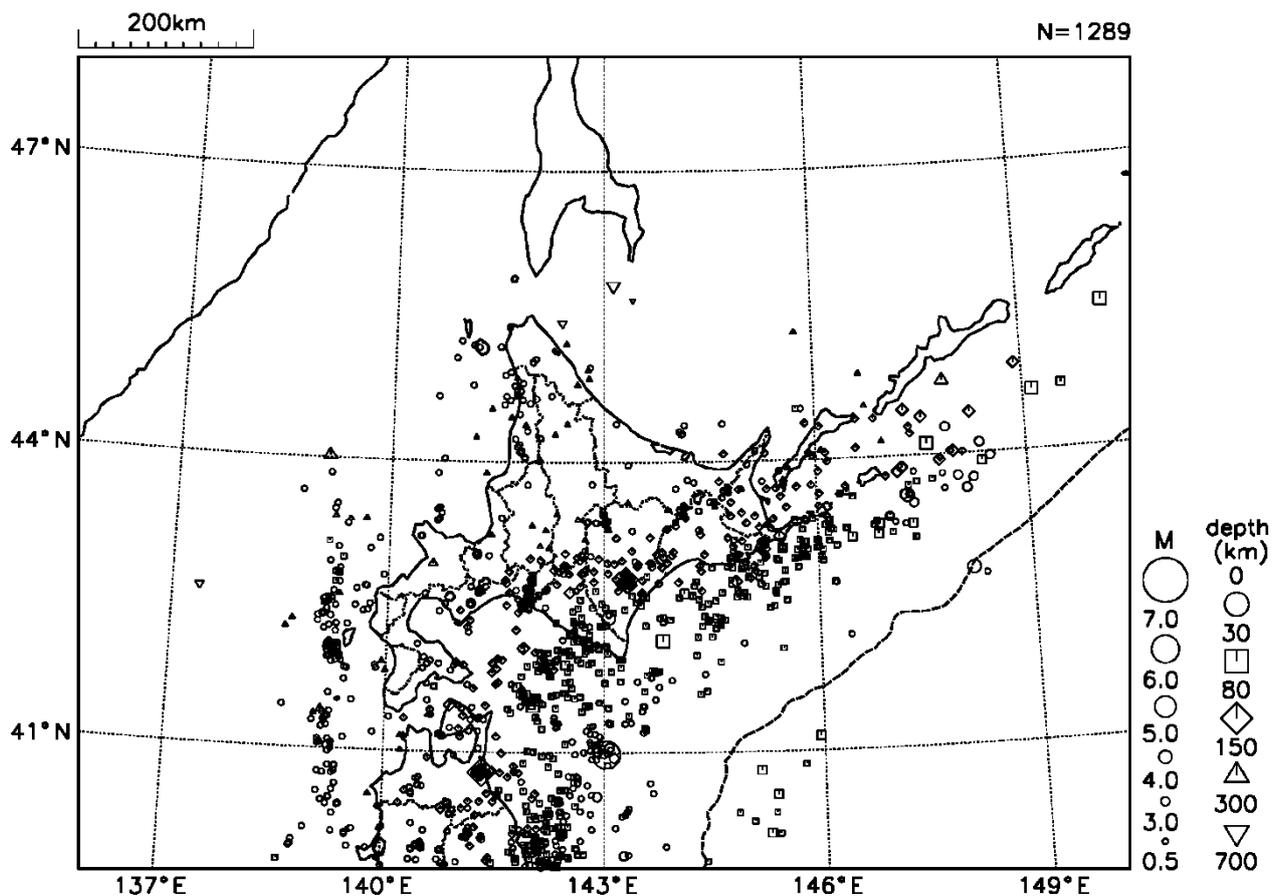


図5 北海道地方の震央分布図（2019年8月1日～8月31日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

8月に北海道地方で震度1以上を観測した地震は17回（7月は14回）であった。

8月中、特に目立った活動はなかった。

（8月29日に発生した青森県東方沖の地震については、p.11を参照）

○東北地方の地震活動

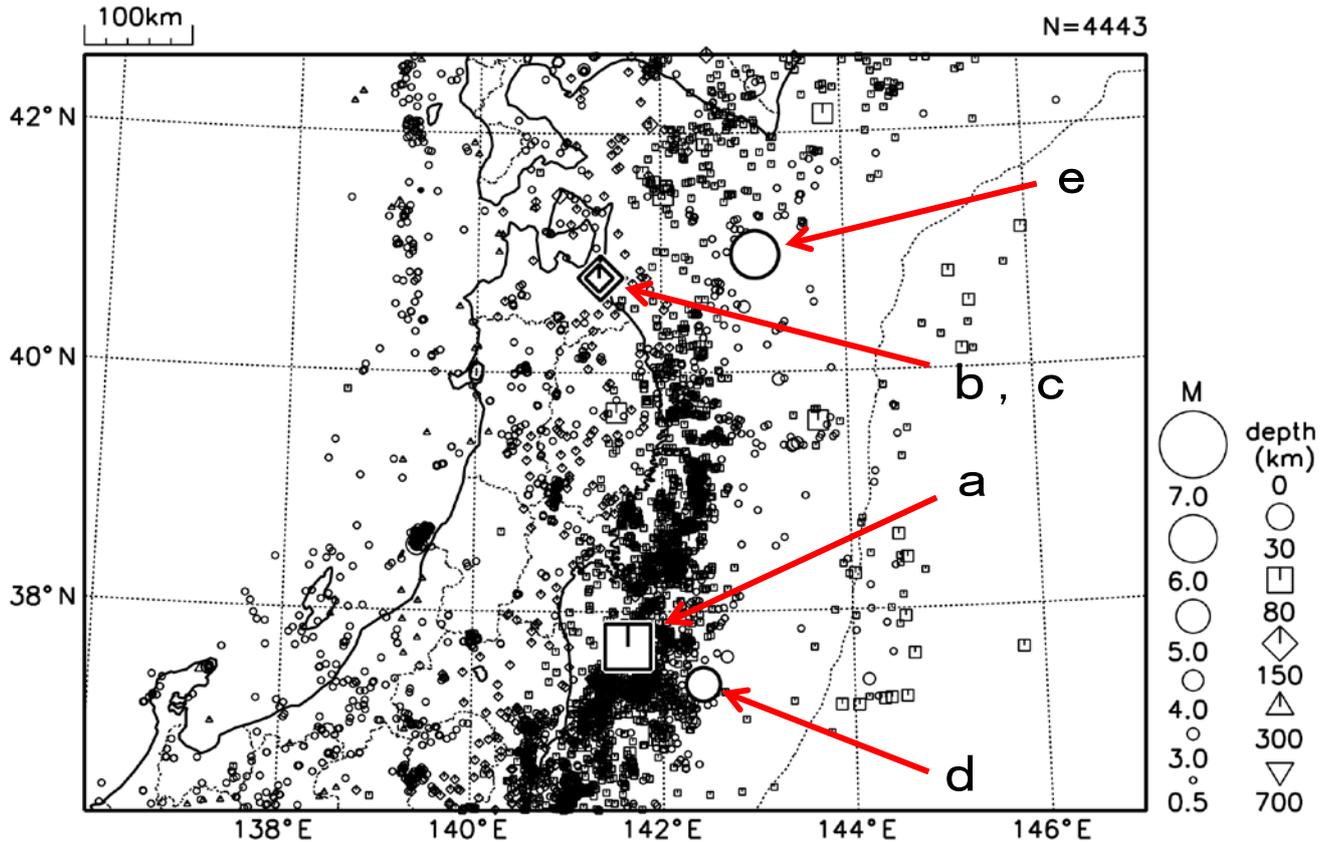


図6 東北地方の震央分布図（2019年8月1日～8月31日、M \geq 0.5）

〔概況〕

8月に東北地方で震度1以上を観測した地震は30回（7月は34回）であった。
8月中の主な活動は次の通りである。

4日19時23分に福島県沖の深さ45kmでM6.4の地震（図6中のa）が発生し、宮城県石巻市、亘理町、福島県双葉町で震度5弱を観測したほか、北海道から近畿地方にかけて震度4～1を観測した（p. 4、8参照）。

29日08時46分に青森県東方沖の深さ33km（CMT解による）でM6.1の地震（図6中のe）が発生し、北海道、青森県、岩手県で震度3を観測したほか、北海道と東北地方で震度2～1を観測した（p. 11参照）。

15日14時32分に青森県三八上北地方の深さ93kmでM5.5の地震（図6中のb）が発生し、青森県八戸市、三沢市、東北町で震度4を観測したほか、北海道と東北地方で震度3～1を観測した。また、同日15時06分に青森県三八上北地方の深さ91kmでM4.5の地震（図6中のc）が発生し、青森県で震度3を観測したほか、北海道、青森県、岩手県で震度2～1を観測した。（p. 5、9参照）

24日13時52分に福島県沖でM5.6の地震（図6中のd）が発生し、宮城県石巻市、登米市で震度3を観測したほか、東北地方と関東地方及び長野県で震度2～1を観測した（p. 10参照）。

8月4日 福島県沖の地震

震央分布図

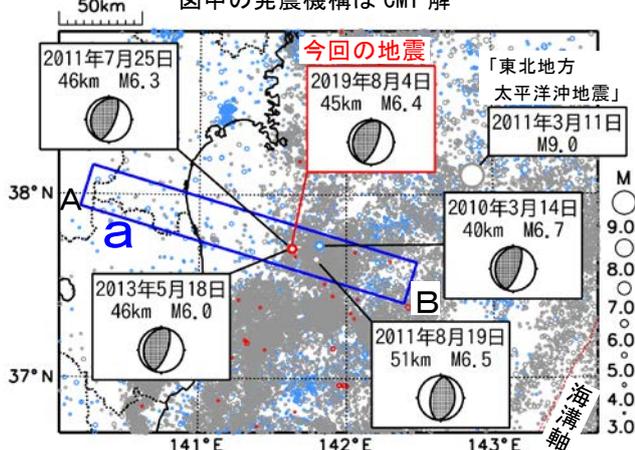
(1997年10月1日～2019年8月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 3.0$)

2011年3月10日以前の地震を○、

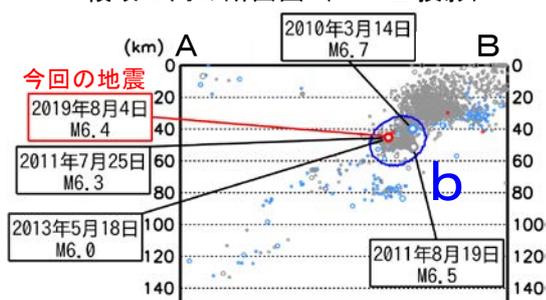
2011年3月11日以降の地震を○、

2019年8月の地震を●で表示

図中の発震機構はCMT解



領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図

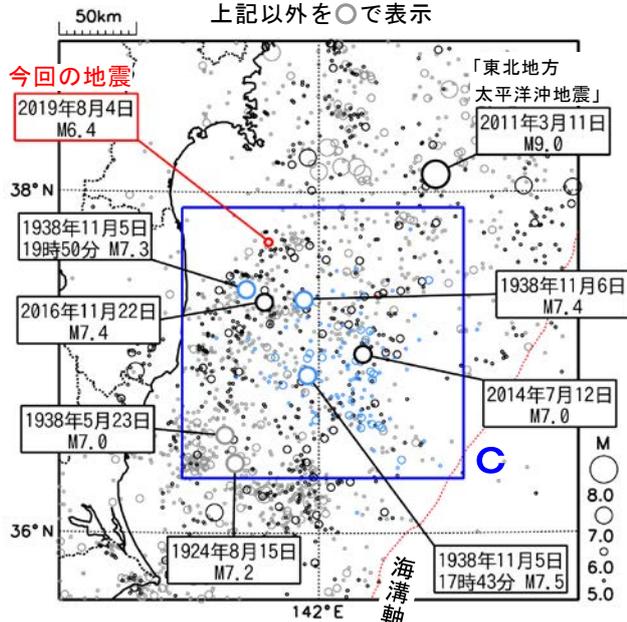
(1922年1月1日～2019年8月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 5.0$)

1938年11月5日～11月30日の地震を○、

2011年3月11日以降の地震を○、

2019年8月の地震を●、

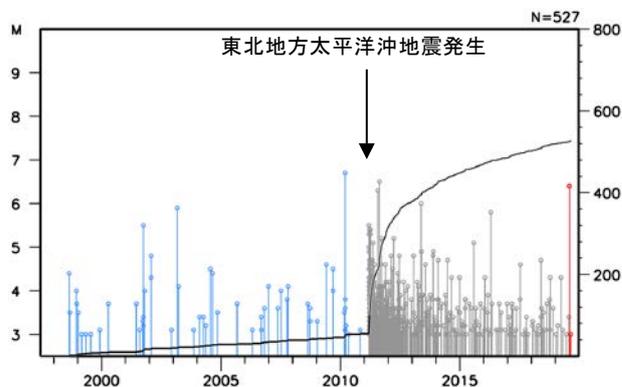
上記以外を○で表示



2019年8月4日19時23分に福島県沖の深さ45kmで $M 6.4$ の地震 (最大震度5弱) が発生した。この地震は、発震機構 (CMT解) が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。この地震により軽傷者1人の被害が生じた (8月13日現在、総務省消防庁による)。

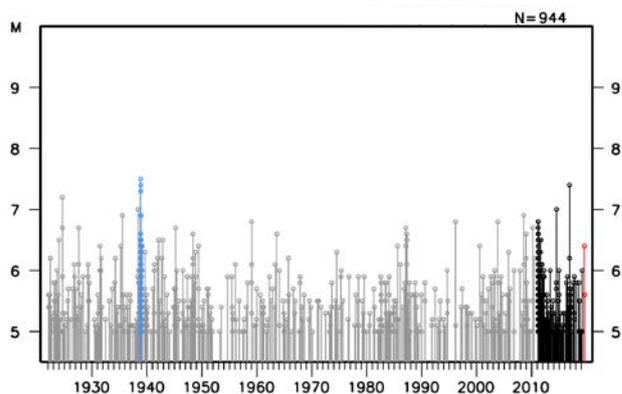
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、2011年7月25日に $M 6.3$ の地震 (最大震度5弱) が発生するなど、「平成23年 (2011年) 東北地方太平洋沖地震」の発生以降、地震活動が活発化し、 $M 5.0$ を超える地震がしばしば発生している。

領域b内のM-T図及び回数積算図



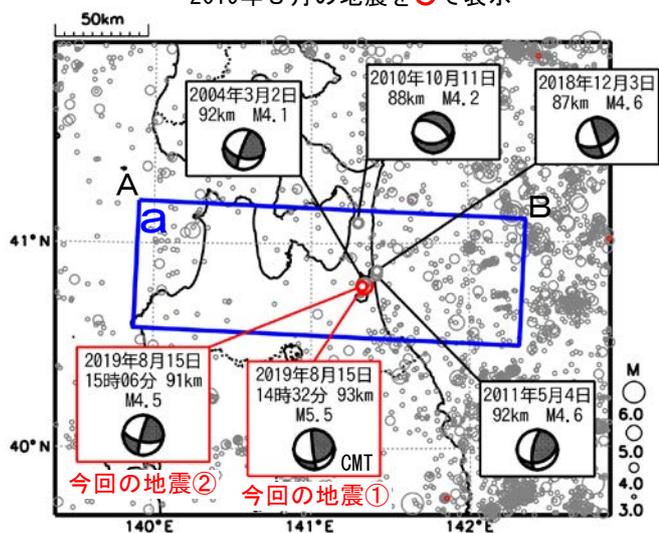
1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、1938年11月5日17時43分に $M 7.5$ の地震 (最大震度5) が発生した。この地震により、宮城県花巻で113cm (全振幅) の津波を観測した。この地震の後、福島県沖で地震活動が活発となった。この地震を含め、同年11月30日までに $M 6.0$ 以上の地震が26回発生し、このうち7回は津波を観測した。これらの地震により、死者1人、負傷者9人、住家全壊4棟、半壊29棟などの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

領域c内のM-T図



8月15日 青森県三八上北地方の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2019年8月31日、
深さ0～200km、 $M \geq 3.0$)、
2019年8月の地震を○で表示

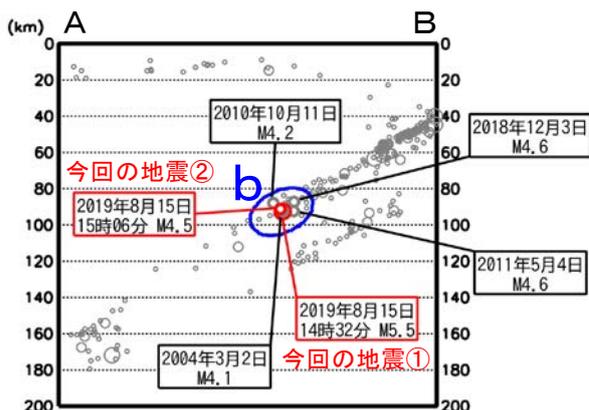


2019年8月15日14時32分に青森県三八上北地方の深さ93kmでM5.5の地震（最大震度4、今回の地震①）が発生した。また同日15時06分にはほぼ同じ場所の深さ91kmでM4.5の地震（最大震度3、今回の地震②）が発生した。これらの地震は、太平洋プレート内部で発生した。今回の地震①の発震機構（CMT解）は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ型である。また、今回の地震②の発震機構は北西－南東方向に圧力軸を持つ型である。

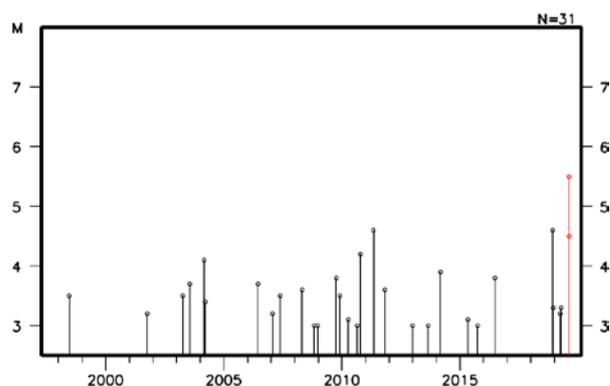
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、M4.0以上の地震が時々発生していたが、M5.0以上の地震は今回の地震①が初めてである。

1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、1945年2月10日にM7.1の地震（最大震度5）が発生し、死者2人の被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。

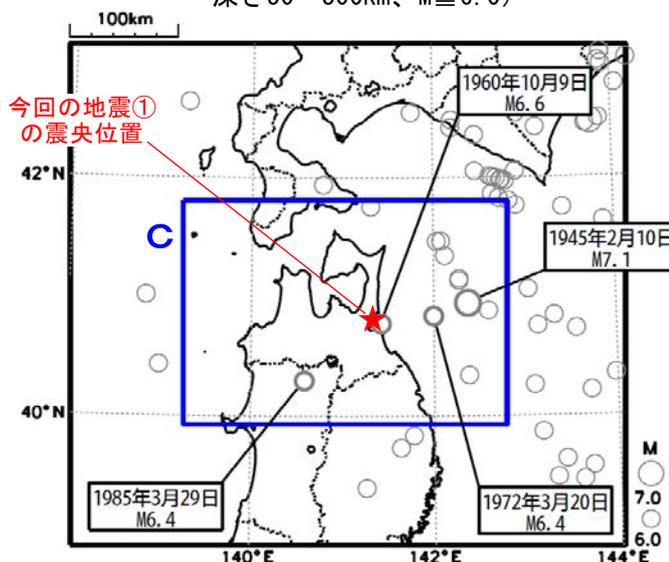
領域a内の断面図（A－B投影）



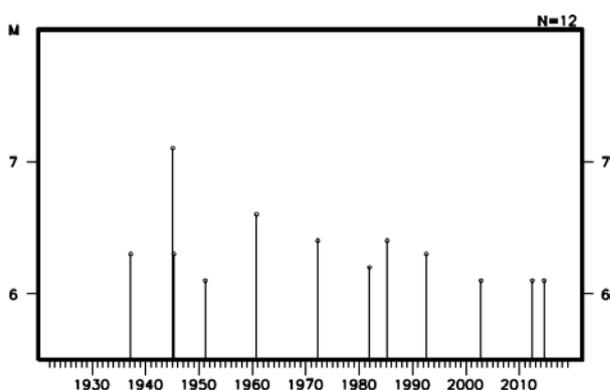
領域b内のM-T図



震央分布図
(1922年1月1日～2019年8月31日、
深さ50～300km、 $M \geq 6.0$)

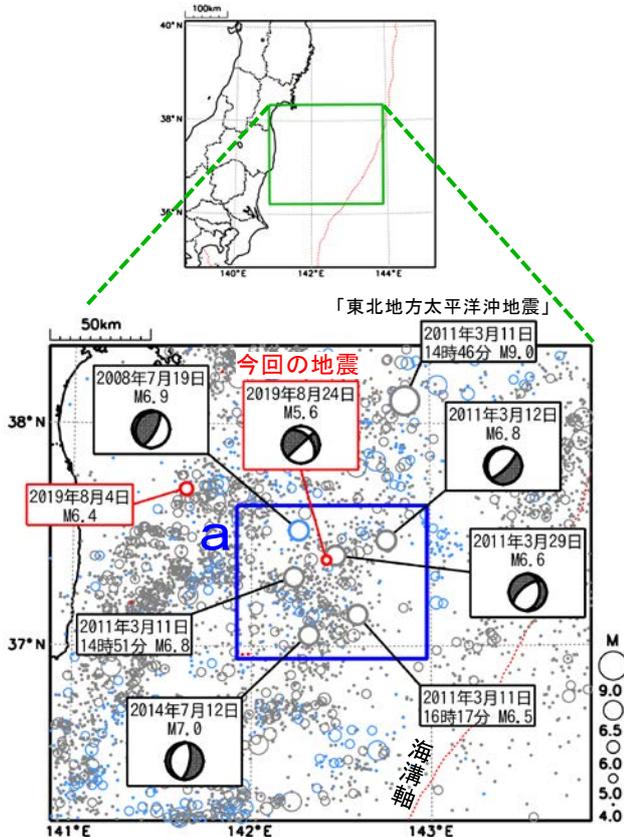


領域c内のM-T図

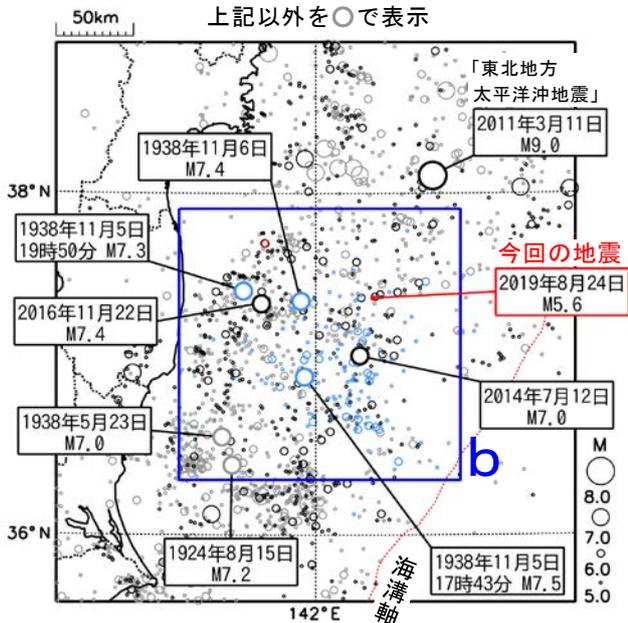


8月24日 福島県沖の地震

震央分布図
 (1997年10月1日～2019年8月31日、
 深さ0～100km、 $M \geq 4.0$)
 2011年3月10日以前の地震を○、
 2011年3月11日以降の地震を○、
 2019年8月の地震を●で表示
 図中の発震機構はCMT解



震央分布図
 (1922年1月1日～2019年8月31日、
 深さ0～150km、 $M \geq 5.0$)
 1938年11月5日～11月30日の地震を○、
 2011年3月11日以降の地震を○、
 2019年8月の地震を●、
 上記以外を○で表示

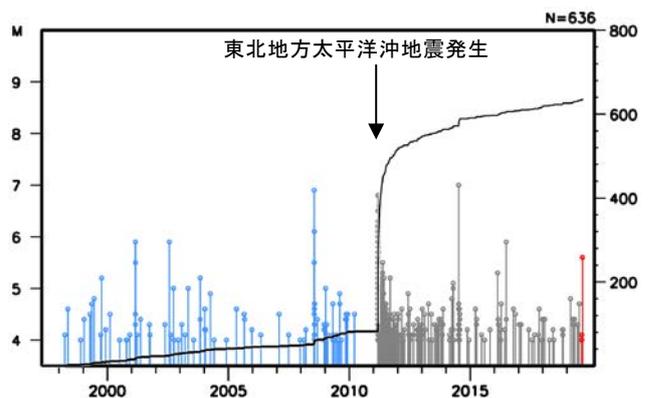


2019年8月24日13時52分に福島県沖でM5.6の地震（最大震度3）が発生した。発震機構（CMT解）は西北西－東南東方向に張力軸を持つ型である。

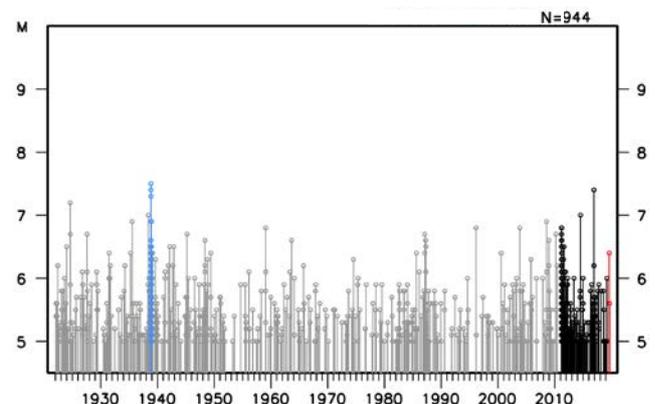
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」の発生以降、地震活動が活発化し、M6.5以上の地震が5回発生している。

1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、1938年11月5日17時43分にM7.5の地震（最大震度5）が発生した。この地震により、宮城県花淵で113cm（全振幅）の津波を観測した。この地震の後、福島県沖で地震活動が活発となり、同年11月30日までにM6.0以上の地震が26回発生し、このうち7回は津波を観測した。これらの地震により、死者1人、負傷者9人、住家全壊4棟、半壊29棟などの被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。

領域a内のM-T図及び回数積算図

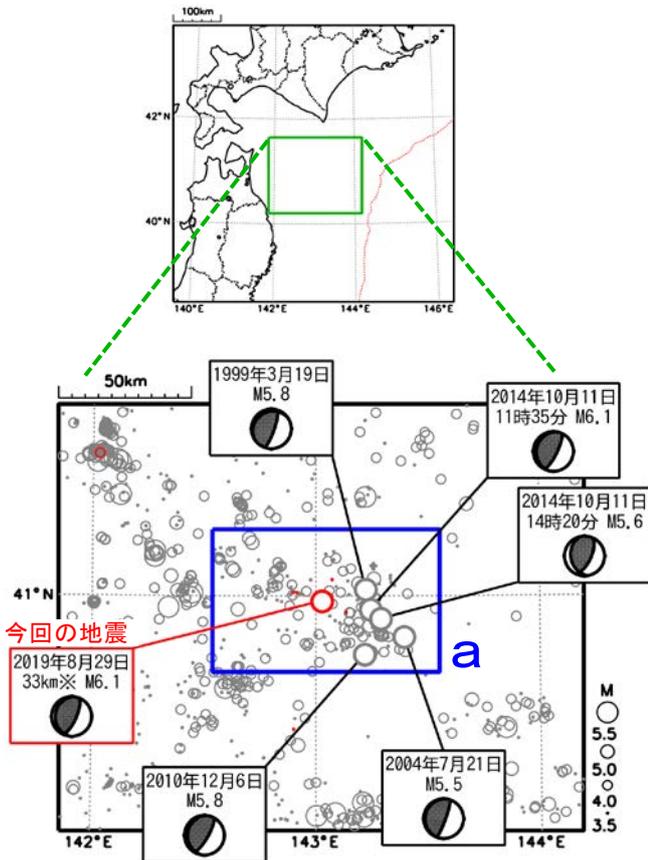


領域b内のM-T図



8月29日 青森県東方沖の地震

震央分布図
 (1997年10月1日～2019年8月31日、
 深さ0～100km、 $M \geq 3.5$)
 2019年8月の地震を○で表示
 図中の発震機構はCMT解



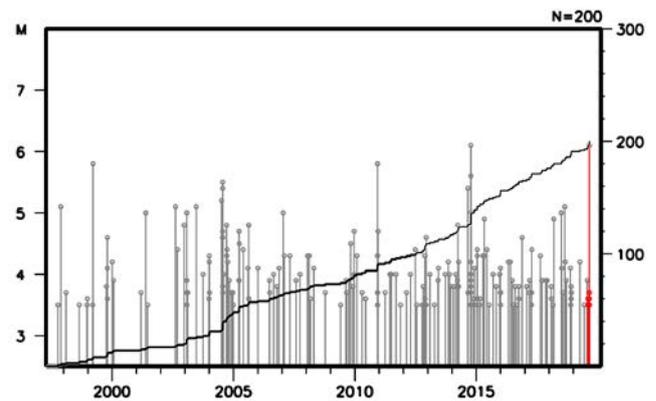
※2019年8月29日の地震 ($M6.1$) の深さはCMT解による。

2019年8月29日08時46分に青森県東方沖の深さ33km (CMT解による) で $M6.1$ の地震 (最大震度3) が発生した。この地震は、発震機構 (CMT解) が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

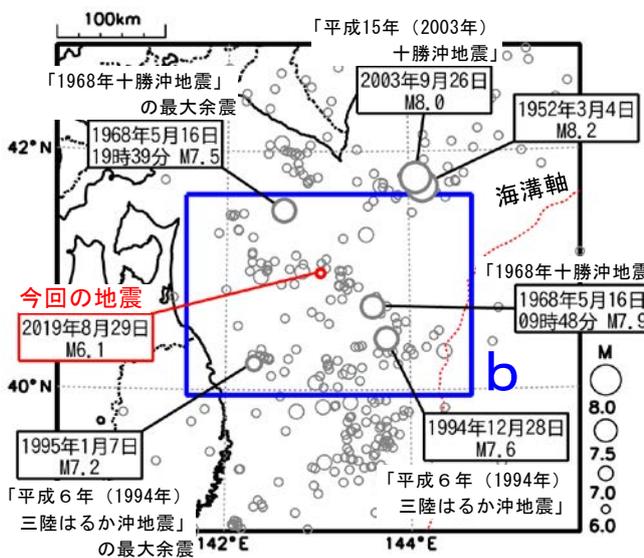
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近 (領域a) では、 $M5.5$ 以上の地震が時々発生している。

1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域b) では、1968年5月16日09時48分に「1968年十勝沖地震」($M7.9$ 、最大震度5) が発生した。この地震により、青森県八戸で238cm (平常潮位からの最大の高さ) の津波を観測したほか、死者52人、負傷者330人、住家全壊673棟などの被害が生じた (被害は「日本被害地震総覧」による)。

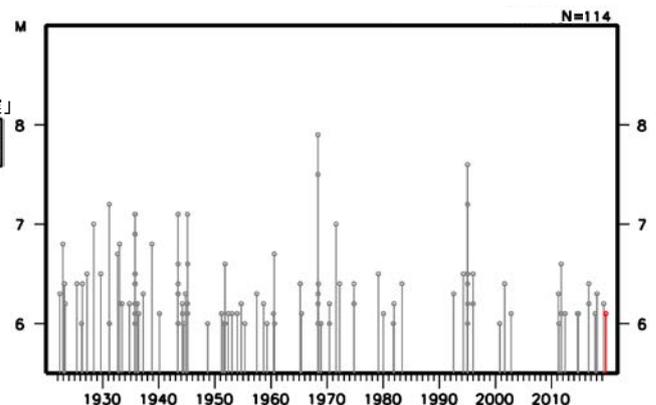
領域a内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
 (1922年1月1日～2019年8月31日、
 深さ0～200km、 $M \geq 6.0$)
 2019年8月の地震を○で表示



領域b内のM-T図



○関東・中部地方の地震活動

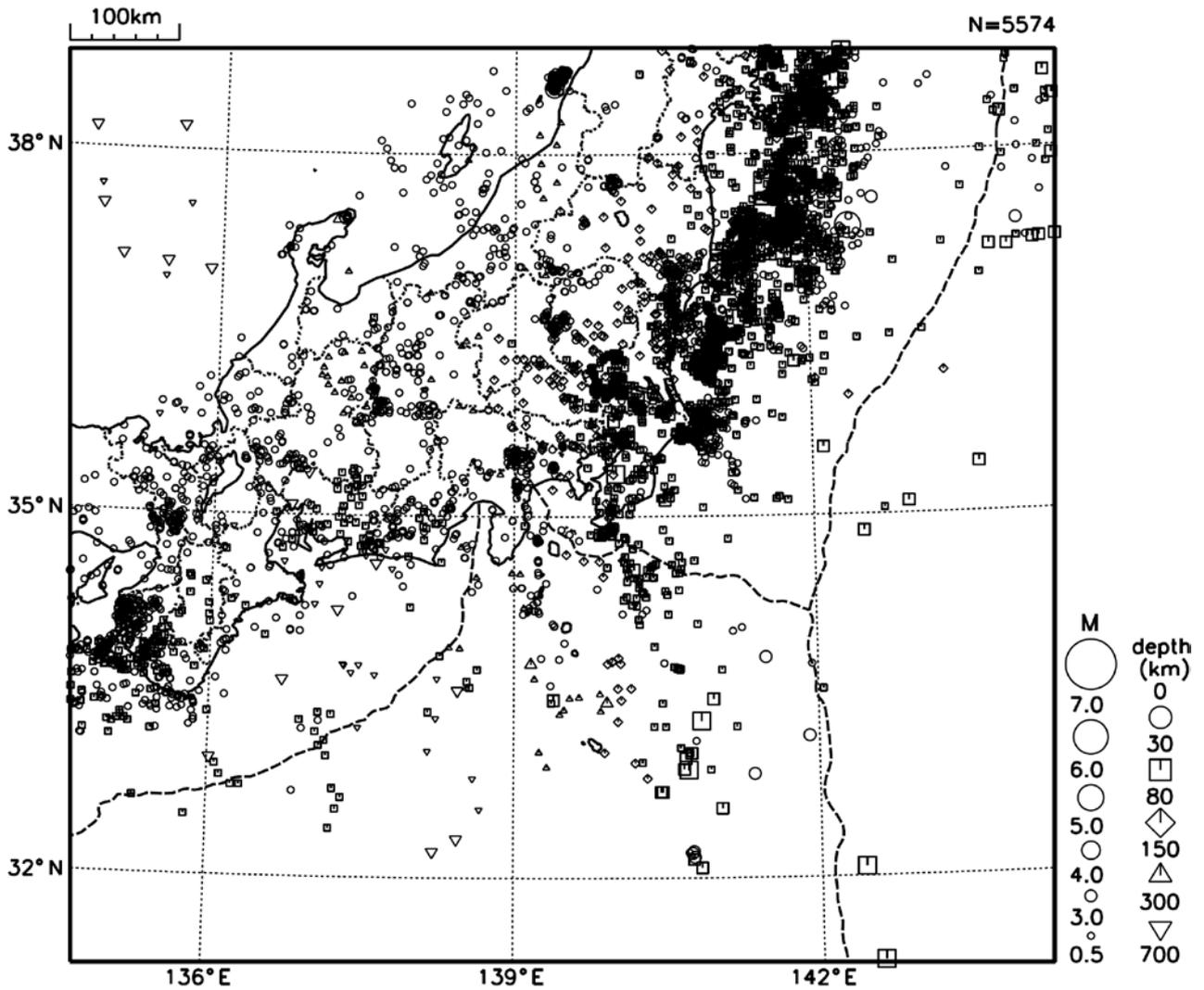


図7 関東・中部地方の震央分布図（2019年8月1日～8月31日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

8月に関東・中部地方（三重県を含む）で震度1以上を観測した地震は32回（7月は51回）であった。8月中、特に目立った活動はなかった。

○近畿・中国・四国地方の地震活動

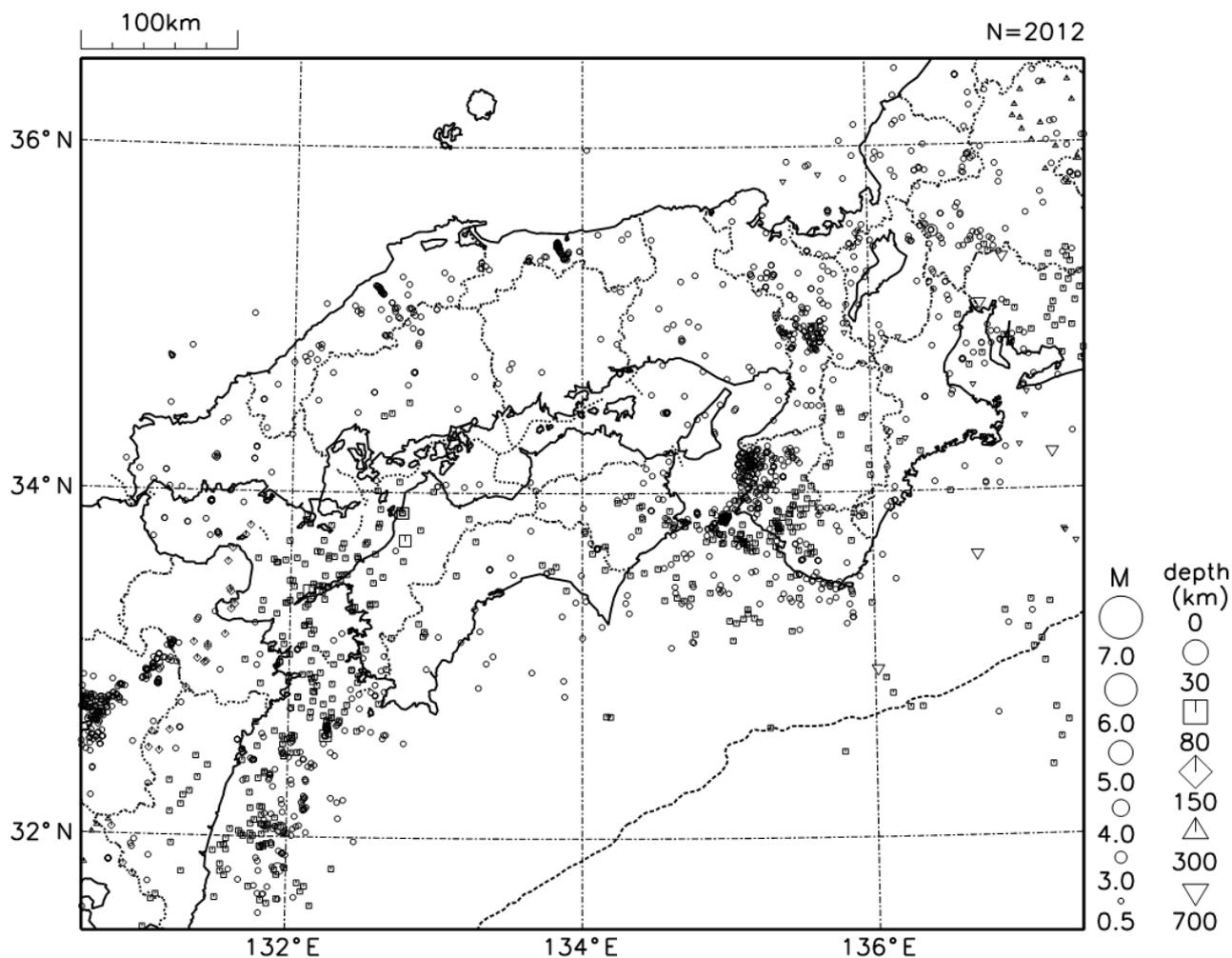


図8 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2019年8月1日～8月31日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

8月に近畿・中国・四国地方で震度1以上を観測した地震は14回（7月は11回）であった。
8月中、特に目立った活動はなかった。

○九州地方の地震活動

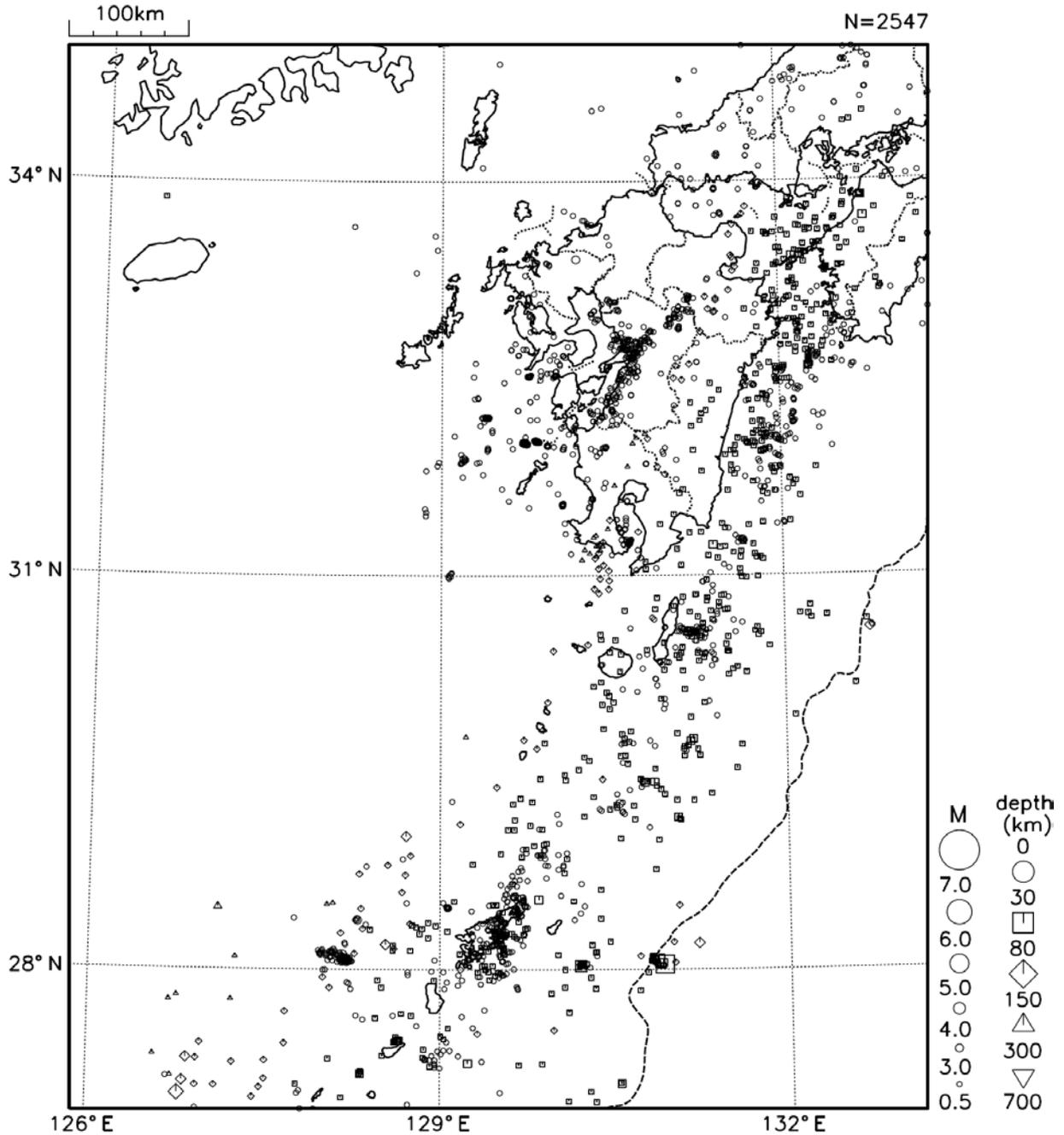


図9 九州地方の震央分布図（2019年8月1日～8月31日、M \geq 0.5）

[概況]

8月に九州地方で震度1以上を観測した地震は21回（7月は25回）であった。
8月中、特に目立った活動はなかった。

○沖縄地方の地震活動

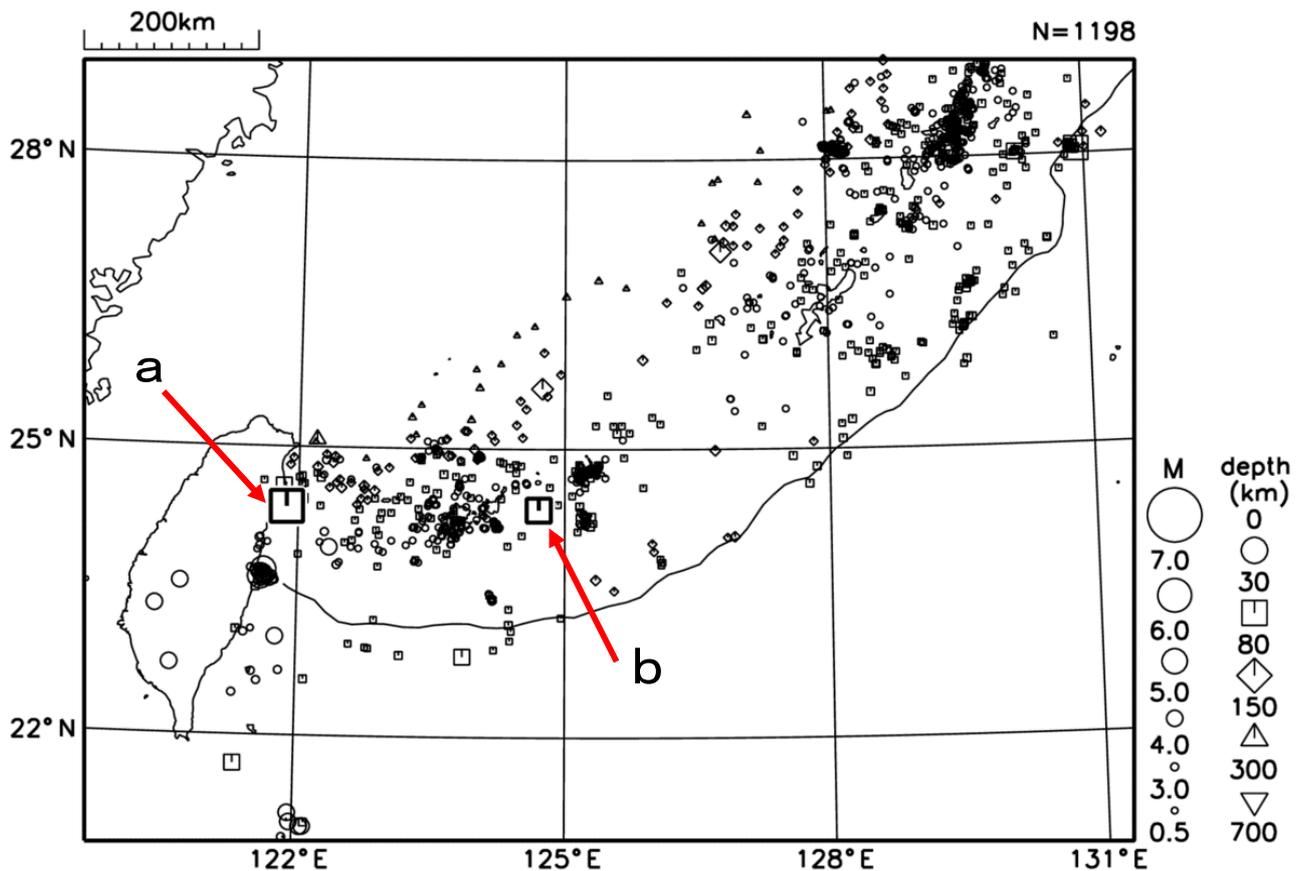


図 10 沖縄地方の震央分布図（2019年8月1日～8月31日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

8月に沖縄地方で震度1以上を観測した地震は9回（7月は12回）であった。
8月中の主な活動は次のとおりである。

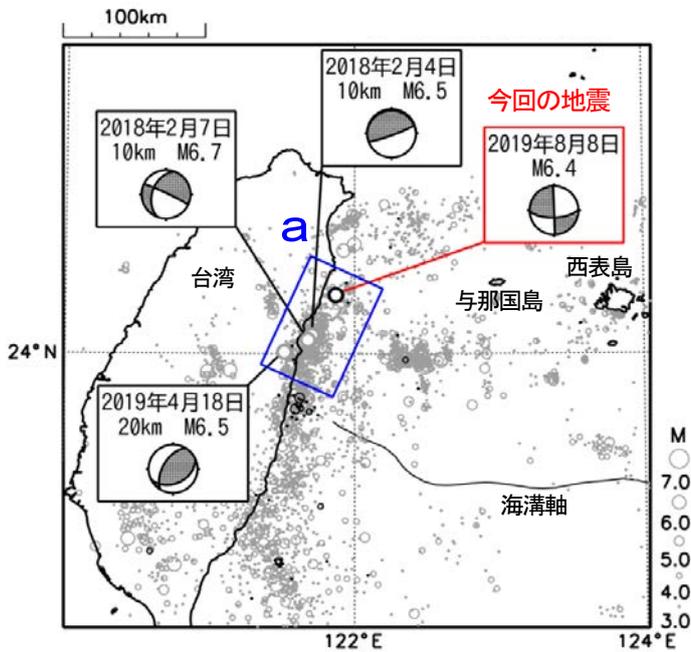
8日06時28分に台湾付近でM6.4の地震（図10中のa）が発生し、沖縄県八重山地方で震度2～1を観測した（p.16参照）。

24日08時44分に石垣島近海でM5.2の地震（図10中のb）が発生し、沖縄県宮古島市、多良間村で最大震度3を観測したほか、宮古島から西表島にかけて震度2～1を観測した（p.17参照）。

8月8日 台湾付近の地震

震央分布図

(2009年9月1日～2019年8月31日、
深さ0～50km、 $M \geq 3.0$)
2019年8月以降の地震を濃く表示
図中の発震機構はCMT解

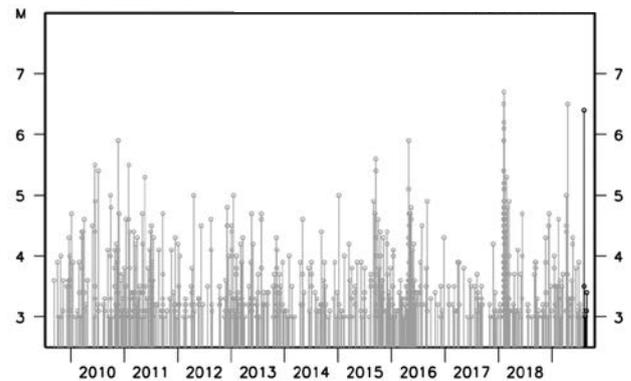


2019年8月8日06時28分に台湾付近でM6.4の地震（日本国内で最大震度2）が発生した。

この地震の発震機構（CMT解）は、北東-南西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。

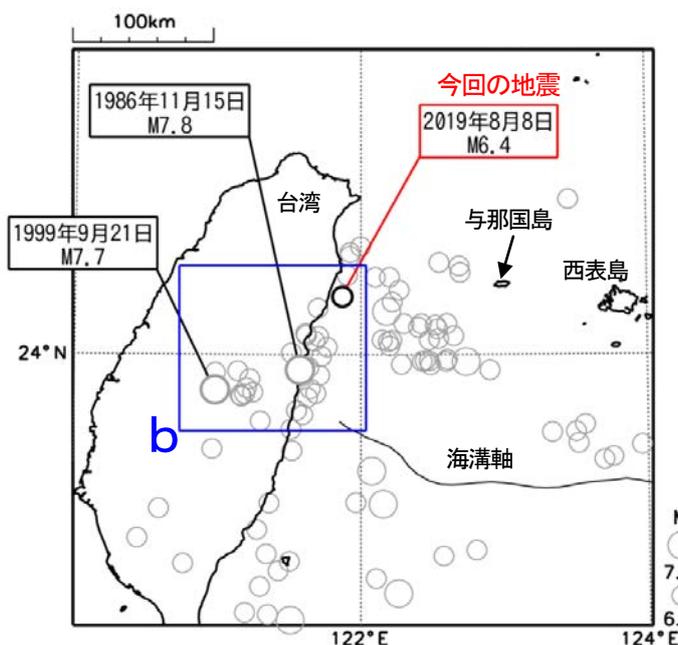
2009年9月以降の活動をみると、この地震の震央付近（領域a）では、M6.0以上の地震が時々発生しており、最近では2019年4月18日の地震（M6.5）により日本国内で最大震度2を観測している。

領域a内のM-T図



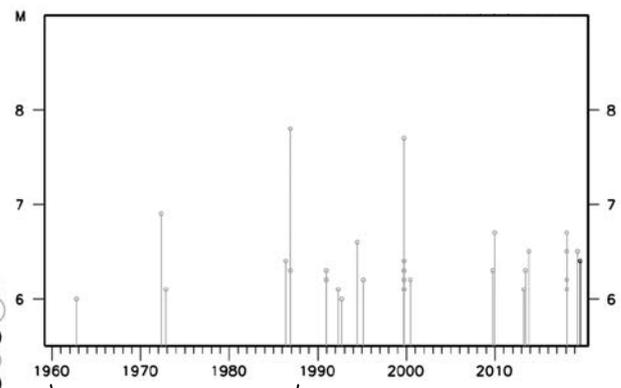
震央分布図

(1960年1月1日～2019年8月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)
2019年8月以降の地震を濃く表示



1960年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、1986年11月15日にM7.8の地震（日本国内で最大震度3）が発生、宮古島平良で30cmの津波を観測し、台湾では死者13人、負傷者45人の被害が生じた。また、1999年9月21日にM7.7の集集地震（日本国内で最大震度2）が発生し、台湾では死者2,413人、負傷者8,700人の被害が生じた（被害は、宇津の「世界の被害地震の表」による）。

領域b内のM-T図



（この期間は検知能力が低い）

※本資料中、2009年8月までの震源要素は米国地質調査所（USGS）による。2009年9月以降の震源要素は気象庁による。

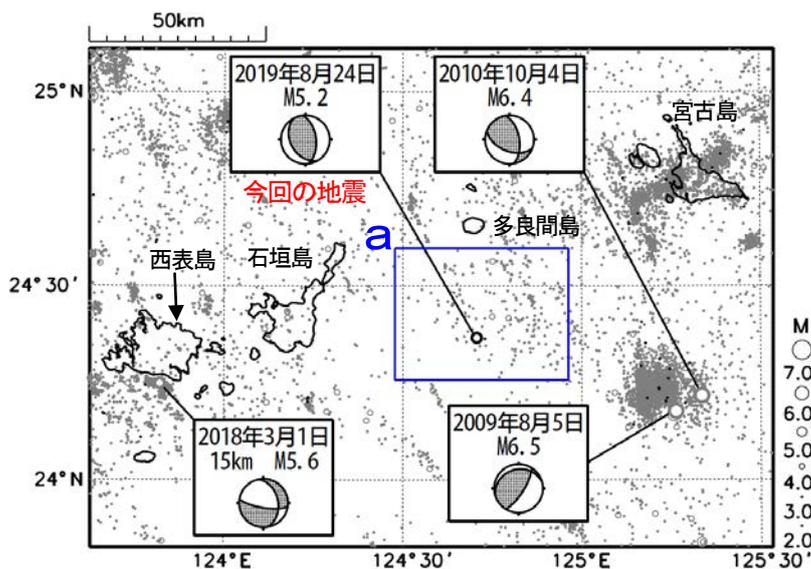
8月24日 石垣島近海の地震

震央分布図

(2000年7月1日～2019年8月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 2.0$)

2019年8月以降の地震を濃く表示

図中の発震機構はCMT解

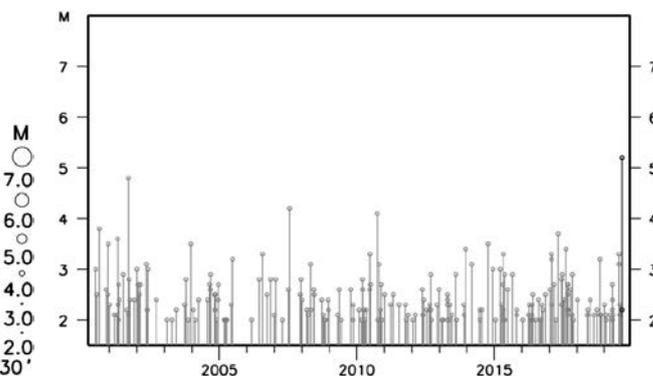


2019年8月24日08時44分に石垣島近海でM5.2の地震（最大震度3）が発生した。

この地震の発震機構（CMT解）は、東北東-西南西方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。

2000年7月以降の活動をみると、この地震の震央付近（領域a）ではM4.0以上の地震が時々発生しているが、M5.0以上の地震は今回が初めてであった。

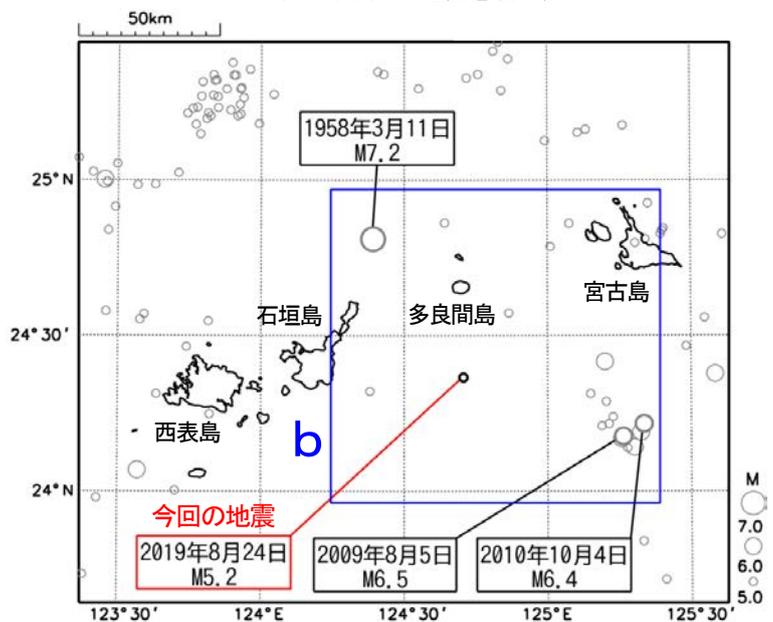
領域a内のM-T図



震央分布図

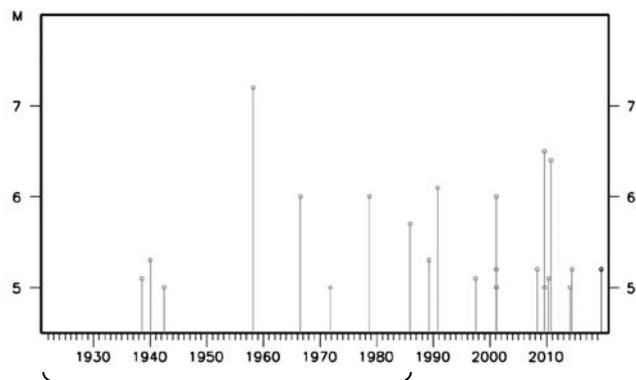
(1922年1月1日～2019年8月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)

2019年8月以降の地震を濃く表示



1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、1958年3月11日にM7.2の地震（最大震度5）が発生し、死者2人、負傷者4人の被害があった（被害は、「日本被害地震総覧」による）。

領域b内のM-T図



(この期間は検知能力が低い)

○その他の地域の地震活動

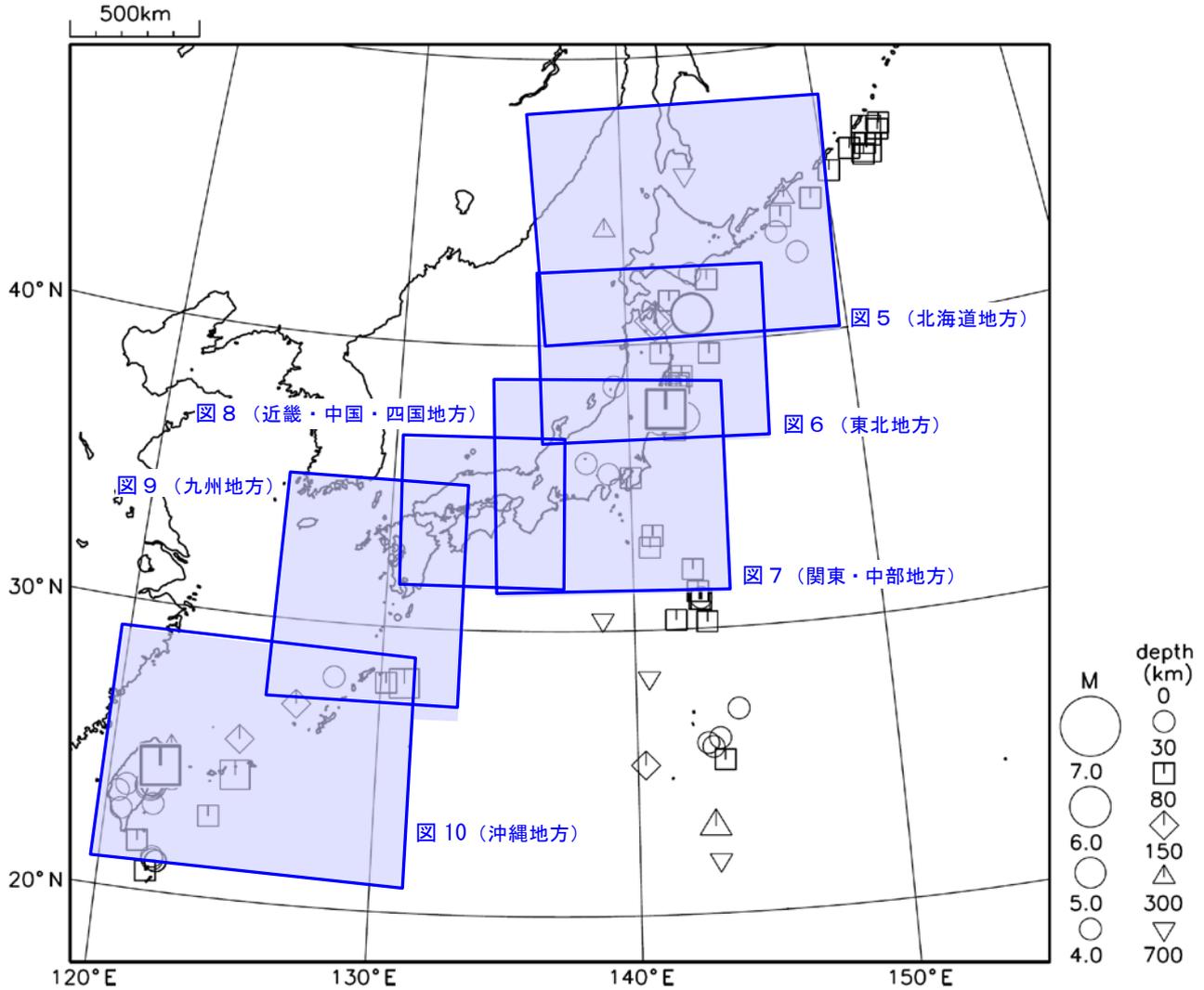


図 11 日本周辺で発生した主な地震の震央分布図（2019年8月1日～8月31日、 $M \geq 4.0$ ）

[概況]

8月に日本周辺で発生した $M6.0$ 以上の地震は3回であった（7月は3回）。

8月中に図5～10の領域外で特に目立った活動はなかった。

● 南海トラフ周辺の地殻活動

令和元年 9 月 6 日に気象庁において第 23 回南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、第 401 回地震防災対策強化地域判定会（定例）を開催し、気象庁は「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として次の内容の南海トラフ地震関連解説情報を発表した。これに関連する資料を p. 21～54 に掲載する。

現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時^(注)と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

（注）南海トラフ沿いの大規模地震（M8～M9 クラス）は、「平常時」においても今後30年以内に発生する確率が70～80%であり、昭和東南海地震・昭和南海地震の発生から既に70年以上が経過していることから切迫性の高い状態です。

1. 地震の観測状況

（顕著な地震活動に関する現象）

南海トラフ周辺では、特に目立った地震活動はありませんでした。

（ゆっくりすべりに関係する現象）

プレート境界付近を震源とする深部低周波地震（微動）のうち、主なものは以下のとおりです。

- （1）四国西部から中部：8月1日から8月20日
- （2）東海：8月1日から8月8日
- （3）紀伊半島中部：8月3日から8月7日

2. 地殻変動の観測状況

（ゆっくりすべりに関係する現象）

上記（1）から（3）の深部低周波地震（微動）とほぼ同期して、周辺に設置されている複数のひずみ計でわずかな地殻変動を観測しました。また、周辺の傾斜データ及びGNSS観測でも、わずかな変化が見られています。

2018年春頃から九州北部のGNSS観測で、また、2018年秋頃から四国西部のGNSS観測及びひずみ観測で観測されている、それまでの傾向とは異なる地殻変動は、2019年6月頃から停滞しているように見えます。

（長期的な地殻変動）

GNSS観測等によると、御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺では長期的な沈降傾向が継続しています。

3. 地殻活動の評価

（ゆっくりすべりに関係する現象）

上記（1）から（3）の深部低周波地震（微動）と地殻変動は、想定震源域のプレート境界深部において発生した短期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。

2018年春頃からの九州北部の地殻変動及び2018年秋頃からの四国西部の地殻変動は、日向灘北部及び豊後水道周辺のプレート境界深部における長期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。この長期的ゆっくりすべりは、2019年6月頃から停滞しているように見えます。

これらの深部低周波地震（微動）、短期的ゆっくりすべり、及び長期的ゆっくりすべりは、それぞれ、従来からも繰り返し観測されてきた現象です。

（長期的な地殻変動）

御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺で見られる長期的な沈降傾向はフィリピン海プレートの沈み込みに伴うもので、その傾向に大きな変化はありません。

上記観測結果を総合的に判断すると、南海トラフ地震の想定震源域ではプレート境界の固着状況に特段の変化を示すようなデータは得られておらず、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

気象庁では、大規模地震の切迫性が高いと指摘されている南海トラフ周辺の地震活動や地殻変動等の状況を定期的に評価するため、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催して委員の意見提供等を受け、現在の状況を「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として取りまとめ南海トラフ地震関連解説情報を発表している。

【「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」についての頁で使われる用語】

・「想定震源域」

南海トラフ沿いの大規模地震発生時に、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が破壊されると想定される領域。「想定震源域」全体もしくは一部が破壊されると考えられている。

・「クラスタ」、「クラスタ除去」

地震は時間空間的に群（クラスタ：cluster）をなして起きることが多くある。「本震とその後起きる余震」、「群発地震」などが典型的なクラスタで、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。例えば、相互の震央間の距離が 3 km 以内で、相互の発生時間差が 7 日以内の地震群をクラスタとして扱い、その中の最大の地震をクラスタに含まれる地震の代表とし、地震が 1 つ発生したと扱う。

・「長期的ゆっくりすべり（長期的スロースリップ）」

想定震源域の深部で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が数ヶ月～数年間かけてゆっくりとすべる現象で、数年～十年程度の間隔で繰り返し発生していると考えられている。例えば、東海地域では、前々回は 2000 年秋頃～2005 年夏頃にかけて発生し、前回は 2013 年はじめ頃から 2017 年はじめ頃にかけて発生した。

・「深部低周波地震（微動）」

深さ約 30km～40km で発生する、通常の地震より長周期の波が卓越する地震を「深部低周波地震」と言う。長野県南部～日向灘にかけては帯状につながる深部低周波地震の震央分布が見られる。深部低周波微動は、P 波や S 波が明瞭ではなく震動が継続するもので、現象的には深部低周波地震と同じであるが、解析手法に違いがあるため、深部低周波地震が観測されない場合にも観測されることがある。

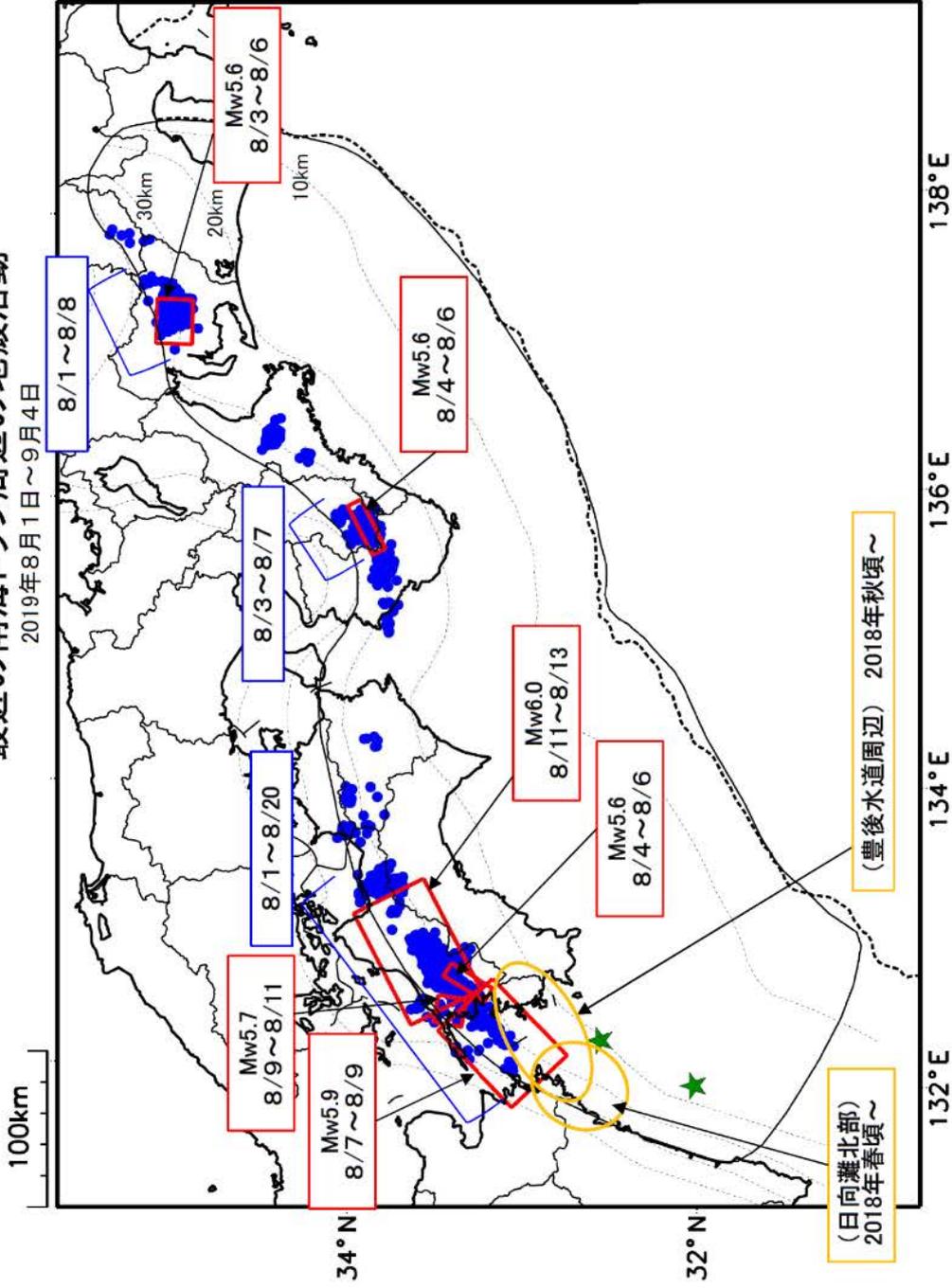
・「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」

「短期的ゆっくりすべり」は、長期的ゆっくりすべりが発生する領域のさらに深部の、深部低周波地震（微動）の発生領域とほぼ同じ領域でのフィリピン海プレートと陸のプレートの境界のすべりと考えられている。数日～1 週間程度継続する「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」が観測されるときは、ほぼ同時に深部低周波地震（微動）活動が観測されることが多い。短期的ゆっくりすべりは、数ヶ月から 1 年程度の間隔で繰り返し発生している。

注）地震活動および地殻活動の解析には Hirose et al. (2008)、Baba et al. (2002) によるフィリピン海プレートと陸のプレートの境界データを使用している。

最近の南海トラフ周辺の地殻活動

2019年8月1日～9月4日



- 緑(★) 通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上)
- 青(●) 深部低周波地震(微動)
- 赤(□) 短期的ゆっくりすべり
- 黄(○) 長期的ゆっくりすべり

※地図中の点線は、Hirose et al.(2008), Baba et al.(2002)によるフィリピン海プレート上面の深さを示す。

※M5.0以上の地震に吹き出しを付けている。

通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上)……………気象庁の解析結果による。
 深部低周波地震(微動)……………(震源データ)気象庁の解析結果による。(活動期間)気象庁の解析結果による。
 短期的ゆっくりすべり……………【四国西部・中部、紀伊半島中部】産業技術総合研究所の解析結果による。【東海】気象庁の解析結果による。
 長期的ゆっくりすべり……………【日向灘北部】……………【豊後水道周辺】国土地理院の解析結果を元におよその場所を表示している。

令和元年 8 月 1 日～令和元年 9 月 4 日の主な地震活動

○南海トラフ巨大地震の想定震源域およびその周辺の地震活動：

【最大震度 3 以上を観測した地震もしくは M3.5 以上の地震及びその他の主な地震】

月/日	時:分	震央地名	深さ (km)	M	最大 震度	発生場所
8/9	23:20	日向灘	32	3.7	1	フィリピン海プレート内部で発生したと考えられる
8/13	05:19	日向灘	16	3.5	1	

※震源の深さは、精度がやや劣るものは表記していない。

※太平洋プレートの沈み込みに伴う震源が深い地震は除く

○深部低周波地震（微動）活動期間

四国	紀伊半島	東海
<p>■四国東部</p> <p>8月5日</p> <p>8月16日～18日</p> <p>8月20日～23日</p> <p>■四国中部</p> <p>7月30日～8月1日</p> <p>8月11日～20日・・・(1)</p> <p>■四国西部</p> <p>8月1日～18日・・・(1)</p> <p>8月21日～26日</p> <p>8月28日～29日</p> <p>8月31日～（継続中）</p>	<p>■紀伊半島北部</p> <p>8月3日</p> <p>8月5日～6日</p> <p>8月8日</p> <p>8月12日～13日</p> <p>8月22日</p> <p>8月28日</p> <p>8月31日～9月1日</p> <p>■紀伊半島中部</p> <p>8月3日～7日・・・(3)</p> <p>■紀伊半島西部</p> <p>8月5日～7日</p> <p>8月9日</p> <p>8月22日</p> <p>8月24日～27日</p> <p>8月29日～9月1日</p>	<p>8月1日～8日・・・(2)</p> <p>8月10日～14日</p> <p>8月20日</p> <p>8月28日～30日</p> <p>9月4日～（継続中）</p>

※深部低周波地震（微動）活動は、気象庁一元化震源を用い、地域ごとの一連の活動（継続日数 2 日以上 または活動日数 1 日の場合で複数個検知したもの）について、活動した場所ごとに記載している。

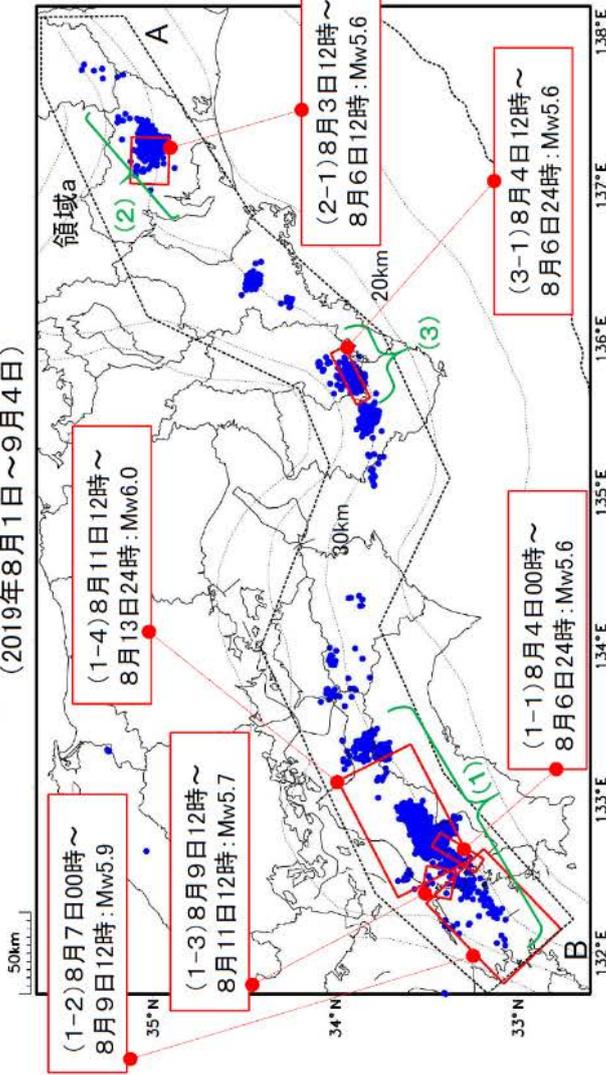
※ひずみ変化と同期して観測された深部低周波地震（微動）活動を**赤字**で示す。

※上の表中（1）～（3）を付した活動は、今期間、主な深部低周波地震（微動）活動として取り上げたもの。

気象庁作成

深部低周波地震（微動）活動と短期的ゆっくりすべりの全体概要

深部低周波地震（微動）の震央分布図と短期的ゆっくりすべりの断層モデル
 (2019年8月1日～9月4日)

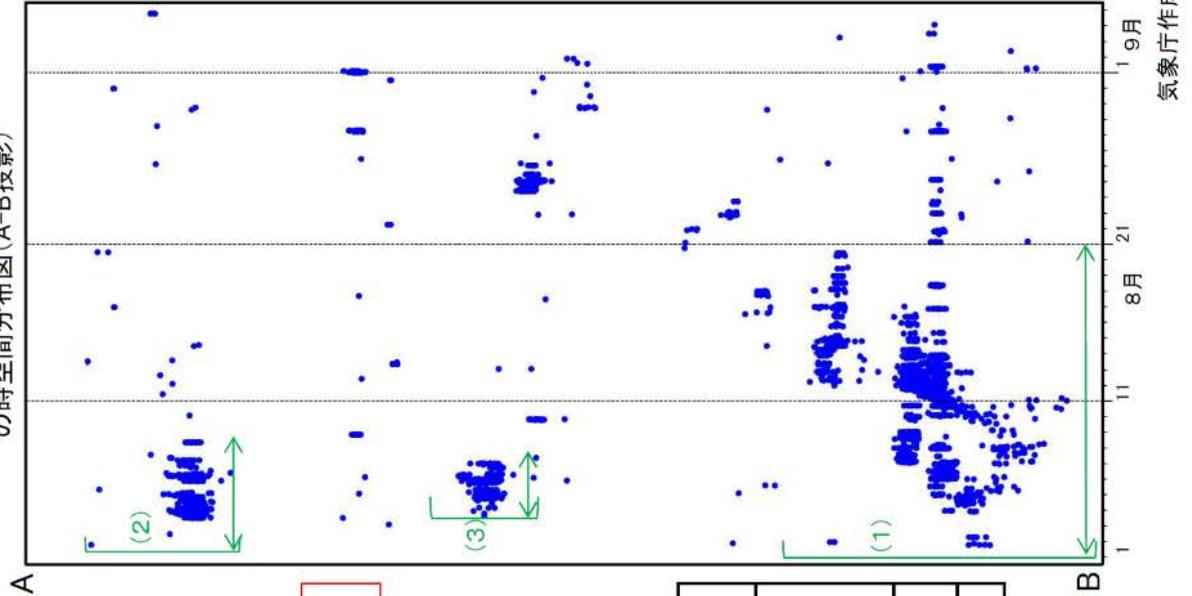


主な深部低周波地震（微動）活動と短期的ゆっくりすべり

活動場所	深部低周波地震（微動）活動の期間	短期的ゆっくりすべりの期間と規模
(1) 四国西部から四国中部	8月1日～8月20日	(1-1) 8月4日00時～8月6日24時: Mw5.6 (1-2) 8月7日00時～8月9日12時: Mw5.9 (1-3) 8月9日12時～8月11日12時: Mw5.7 (1-4) 8月11日12時～8月13日24時: Mw6.0
(2) 東海	8月1日～8月8日	(2-1) 8月3日12時～8月6日12時: Mw5.6
(3) 紀伊半島中部	8月3日～8月7日	(3-1) 8月4日12時～8月6日24時: Mw5.6

●: 深部低周波地震（微動）活動震央（氣象庁の解析結果を示す）
 □: 短期的ゆっくりすべりの断層モデル
 (2-1)は氣象庁、(1-1)～(1-4)及び(3-1)は産業技術総合研究所の解析結果を示す
 点線は、Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)によるフィリピン海プレート上面の深さ(10kmごとの等深線)を示す。

領域a(点線矩形)内の深部低周波地震（微動）の時間分布図(A-B投影)

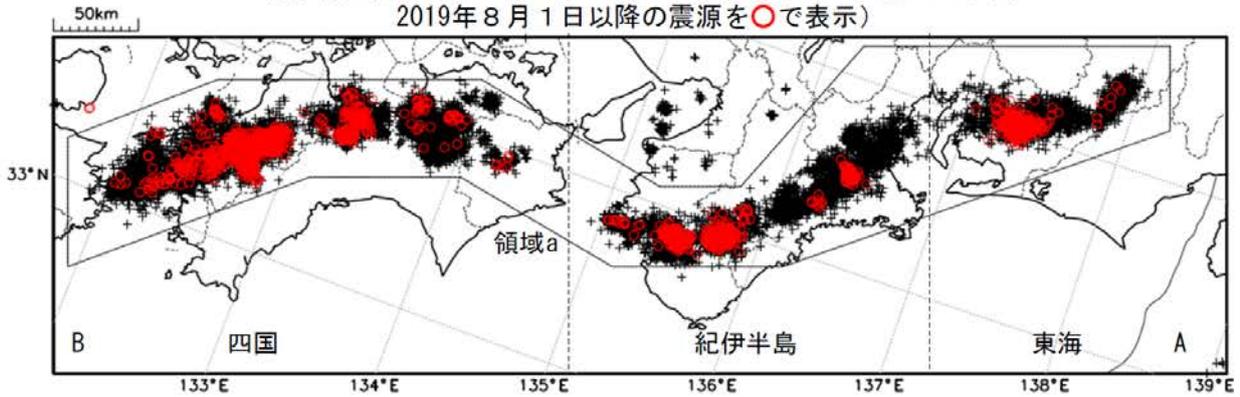


氣象庁作成

深部低周波地震（微動）活動（2009年9月1日～2019年8月31日）

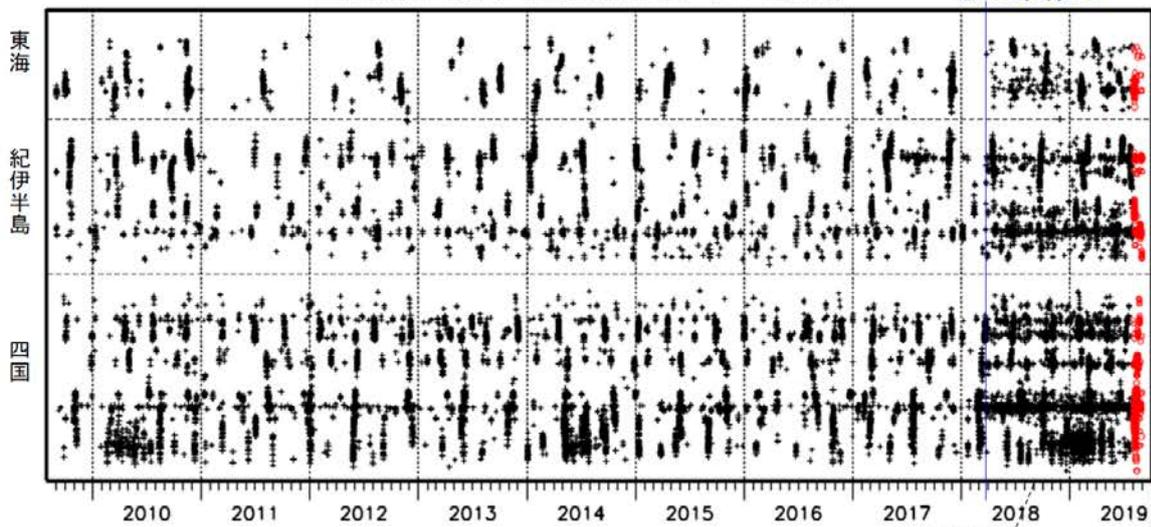
深部低周波地震（微動）は、「短期的ゆっくりすべり」に密接に関連する現象とみられており、プレート境界の状態の変化を監視するために、その活動を監視している。

震央分布図（2009年9月1日～2019年8月31日：過去10年間
2019年8月1日以降の震源を○で表示）

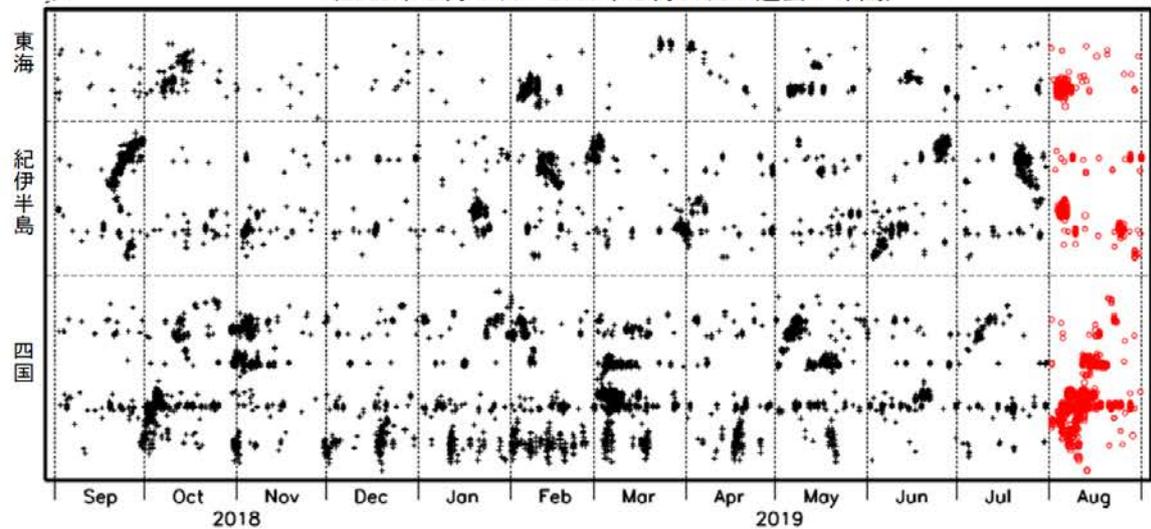


上図領域a内の時空間分布図（A-B投影）

※2018年3月22日



（2018年9月1日～2019年8月31日：過去1年間）



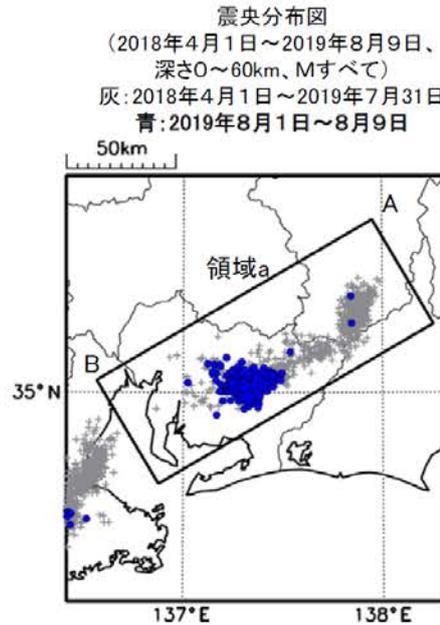
※2018年3月22日から、深部低周波地震（微動）の処理方法の変更（Matched Filter法の導入）により、それ以前と比較して検知能力が変わっている。

気象庁作成

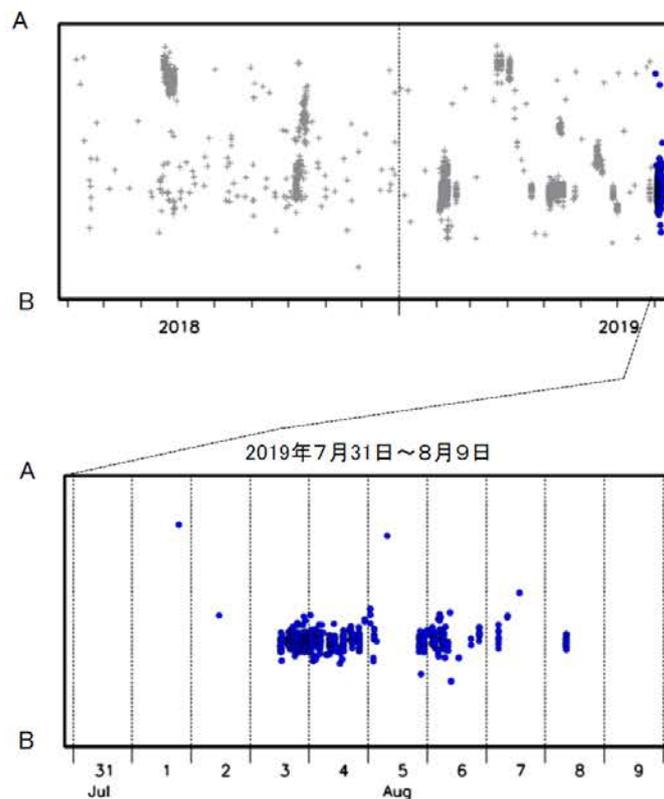
東海の深部低周波地震（微動）活動と 短期的ゆっくりすべり

8月1日から8日にかけて、東海で深部低周波地震（微動）を観測した。深部低周波地震（微動）活動とほぼ同期して、周辺に設置されている複数のひずみ計で地殻変動を観測した。これらは、短期的ゆっくりすべりに起因すると推定される。

深部低周波地震（微動）活動

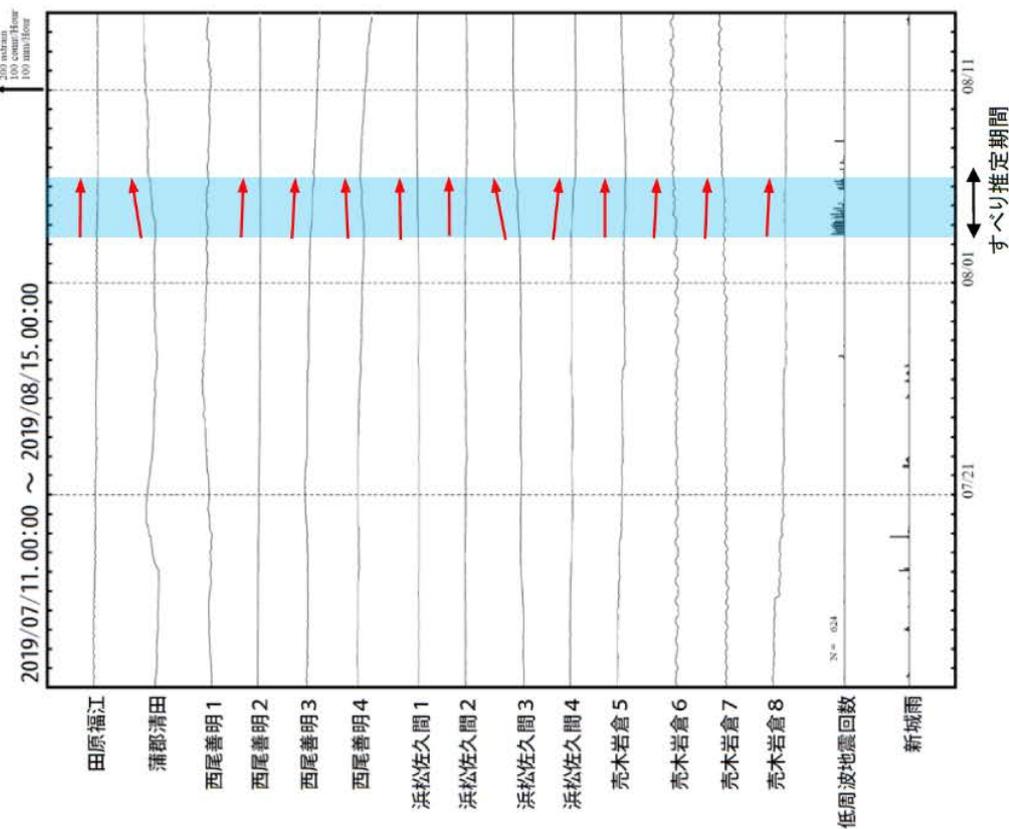
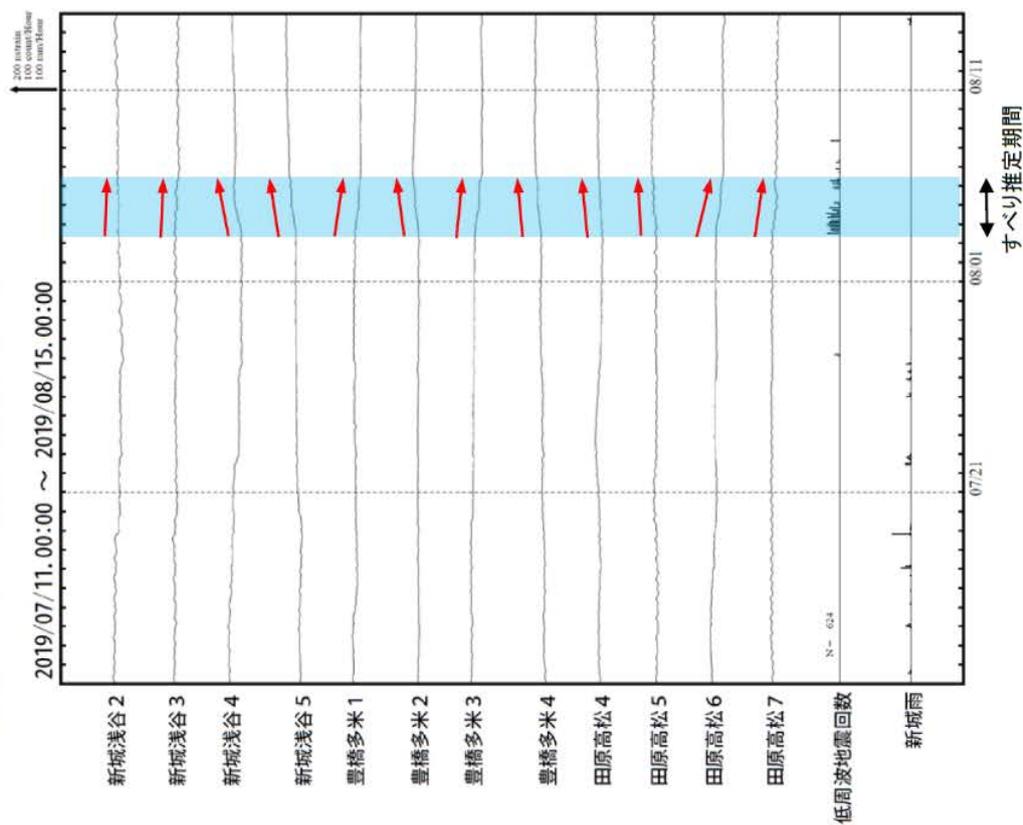


震央分布図の領域a内の時空間分布図（AB投影）



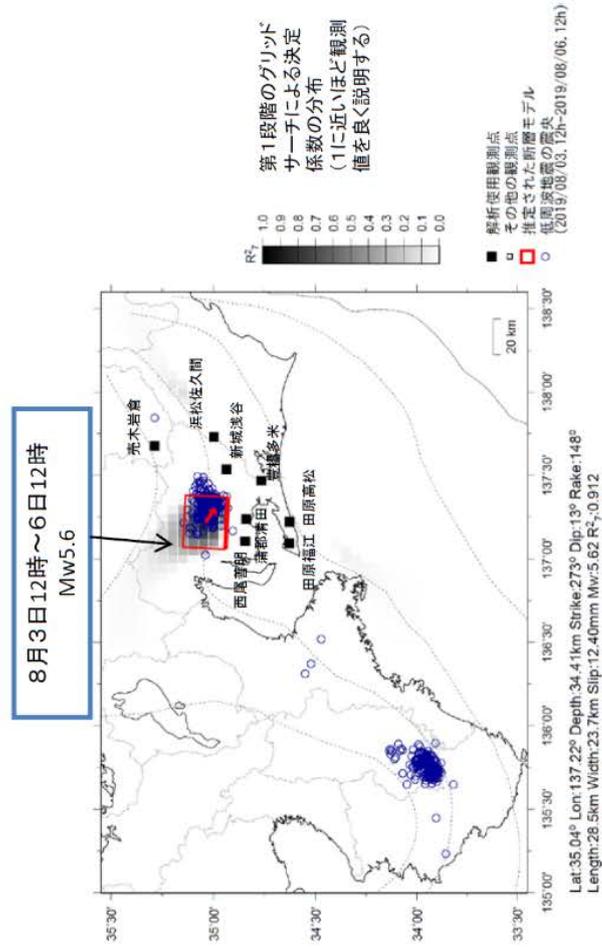
東海で発生した短期的ゆくりすべり(8月3日～8月6日)

愛知県から長野県で観測されたたひずみ変化



豊橋多米及び西尾善明は産業技術総合研究所のひずみ計である。

東海で発生した短期的ゆっくりすべり(8月3日～8月6日)



前図に観測されたひずみ変化等の変化量を基にすべり推定を行っ
たところ、図の場所にすべり領域が求まった。

断層モデルの推定は、産総研の解析方法(板場ほか, 2012)を参考に以下の2段階で行う。
・断層サイズを20km×20kmに固定し、位置を0.05度単位でグリッドサーチにより推定する。
・その位置を中心にして、他の断層パラメータの最適解を求める。

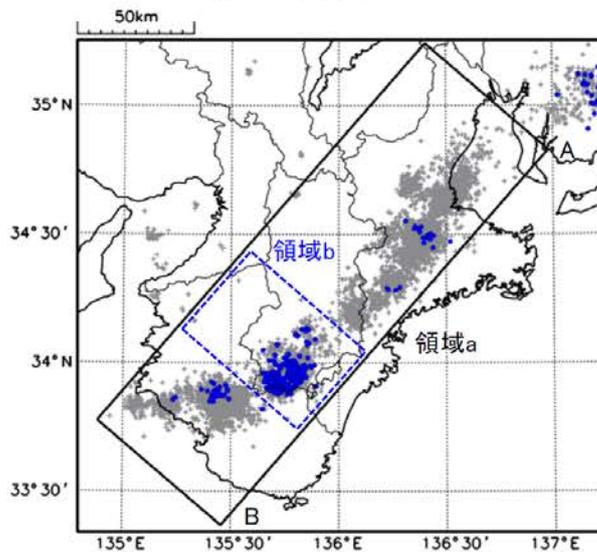
気象庁作成

紀伊半島中部の深部低周波地震（微動）活動と短期的ゆっくりすべり

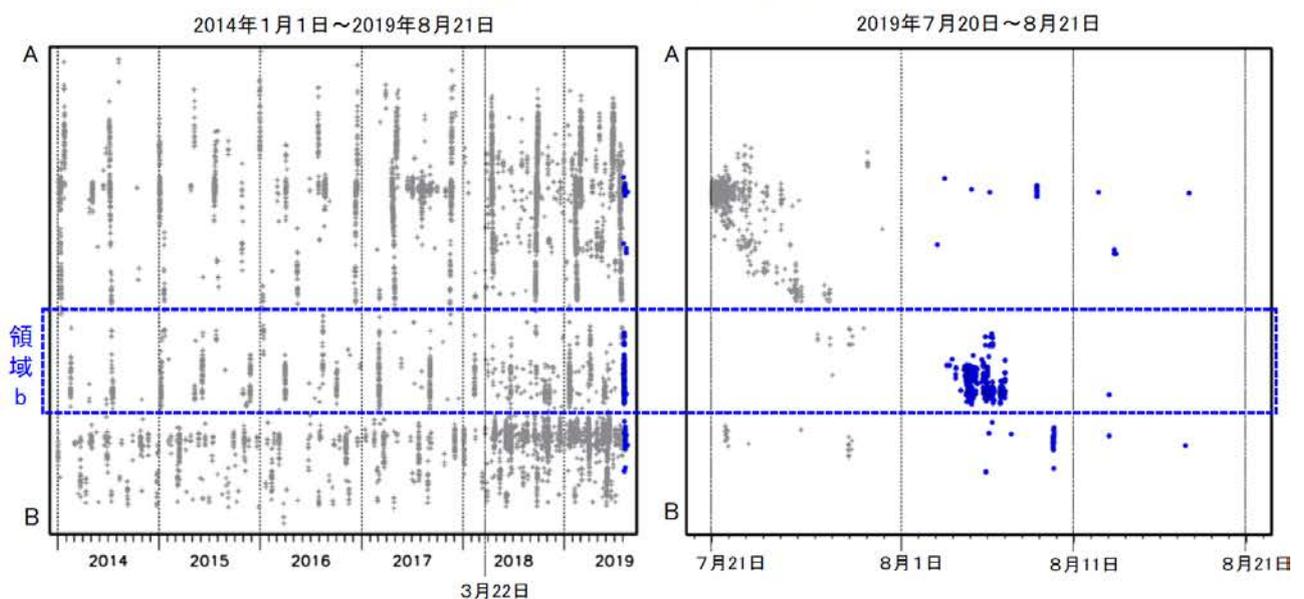
8月3日から7日にかけて、紀伊半島中部（領域b）で深部低周波地震（微動）を観測した。
 周辺に設置されているひずみ計で、深部低周波地震（微動）に関連すると思われるわずかな地殻変動が観測された。

深部低周波地震（微動）活動

震央分布図
 （2014年1月1日～2019年8月21日、深さ0～60km、Mすべて）
 青：2019年8月3日～



震央分布図の領域a内のAB方向の時空間分布図



※2018年3月22日から、深部低周波地震（微動）の処理方法の変更（Matched Filter法の導入）により、それ以前と比較して検知能力が変わっている。

気象庁作成

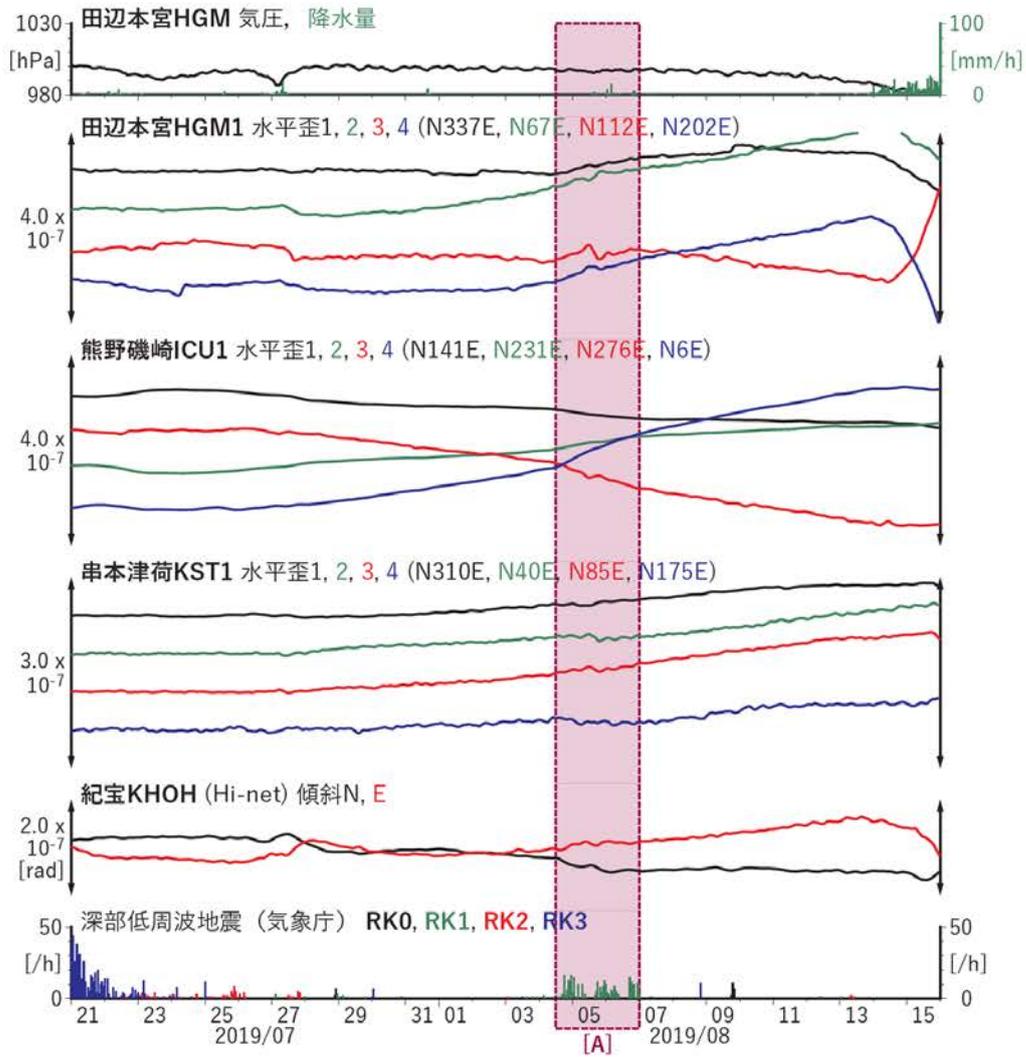
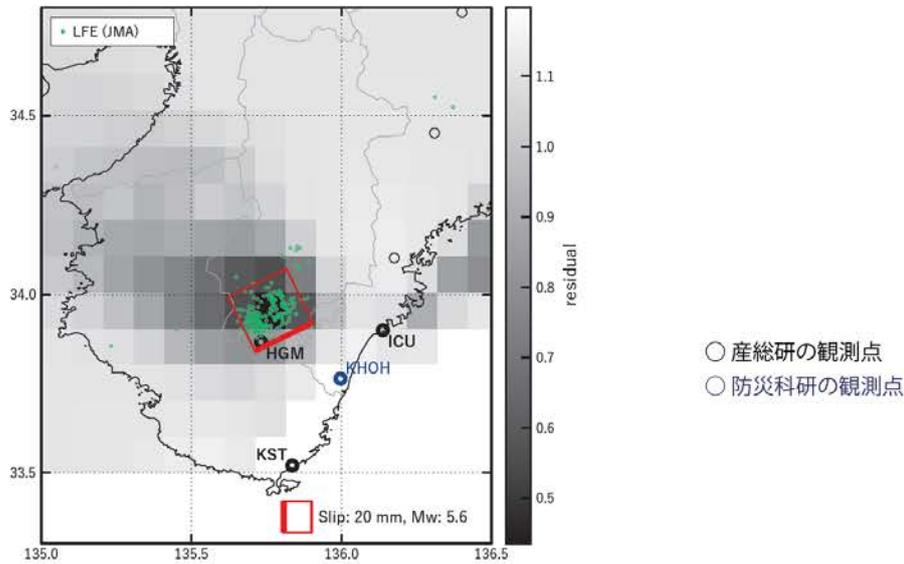


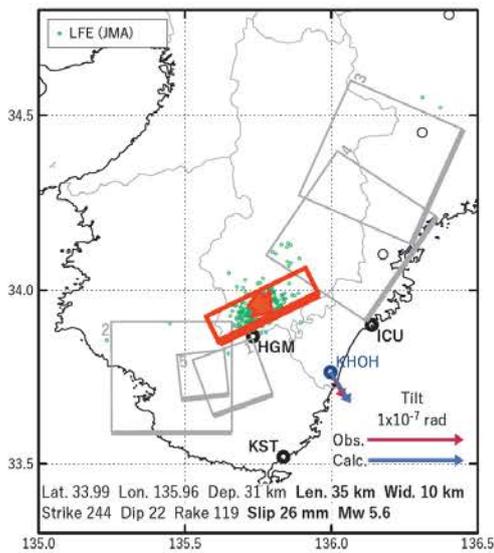
図14 紀伊半島における歪・傾斜観測結果
(2019/07/21 00:00 - 2019/08/16 00:00 (JST))

[A] 2019/08/04PM-06

(a) 断層の大きさを固定した場合の断層モデルと残差分布



(b1) 推定した断層モデル



(b2) 主歪

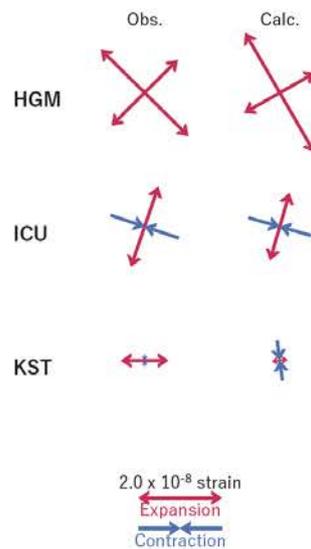


図15 2019/08/04PM-06の歪・傾斜変化（図14[A]）を説明する断層モデル。

(a) プレート境界面に沿って分布させた20×20kmの矩形断層面を移動させ、各位置で残差の総和を最小とするすべり量を選んだ時の残差の総和の分布。赤色矩形が残差の総和が最小となる断層面の位置。

(b1) (a)の位置付近をグリッドサーチして推定した断層面（赤色矩形）と断層パラメータ。灰色矩形は最近周辺で発生したイベントの推定断層面。

1: 2018/01/04-05 (Mw5.3), 2: 2018/06/22-25 (Mw5.6), 3: 2019/02/10-15 (Mw5.8)

4: 2019/02/16-18 (Mw5.5), 5: 2019/03/29-04/01 (Mw5.4)

(b2) 主歪の観測値と(b1)に示した断層モデルから求めた計算値との比較。

四国の深部低周波地震(微動)活動とゆっくりすべり

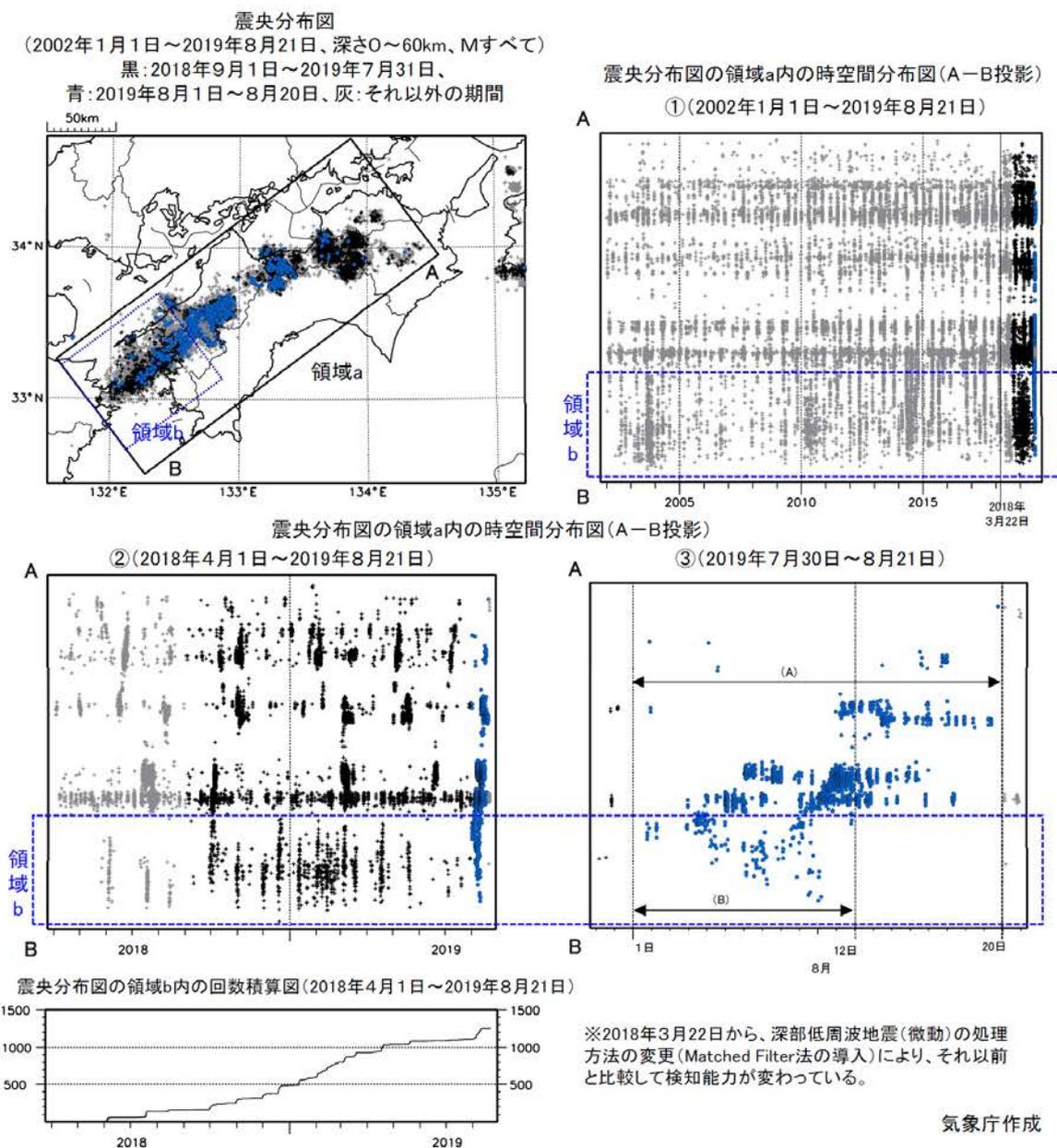
【四国西部、四国中部】

(A) 8月1日から20日にかけて四国西部から四国中部で深部低周波地震(微動)を観測した。深部低周波地震(微動)活動とほぼ同期して、周辺に設置されている複数のひずみ計で地殻変動を観測した。これらは、短期的ゆっくりすべりに起因すると推定される。

【四国西部の南西側(領域b:豊後水道とその付近)】

(B)(A)の活動期間のうち、8月1日から12日にかけて豊後水道付近(領域b)で、まとまった活動がみられた。周辺に設置されているひずみ計で、深部低周波地震(微動)に関連すると思われるわずかな地殻変動が観測された。

豊後水道付近(領域b)では、2018年秋頃から深部低周波地震(微動)活動が活発になっていたが、2019年6月頃から7月頃にかけて減衰傾向がみられた。また、2018年秋頃から、周辺に設置されている複数のひずみ計で地殻変動を観測している。これらは、豊後水道周辺のプレート境界深部において発生している長期的ゆっくりすべりに関係すると推定される。この長期的ゆっくりすべりは、2019年6月頃から停滞しているようにみえる。



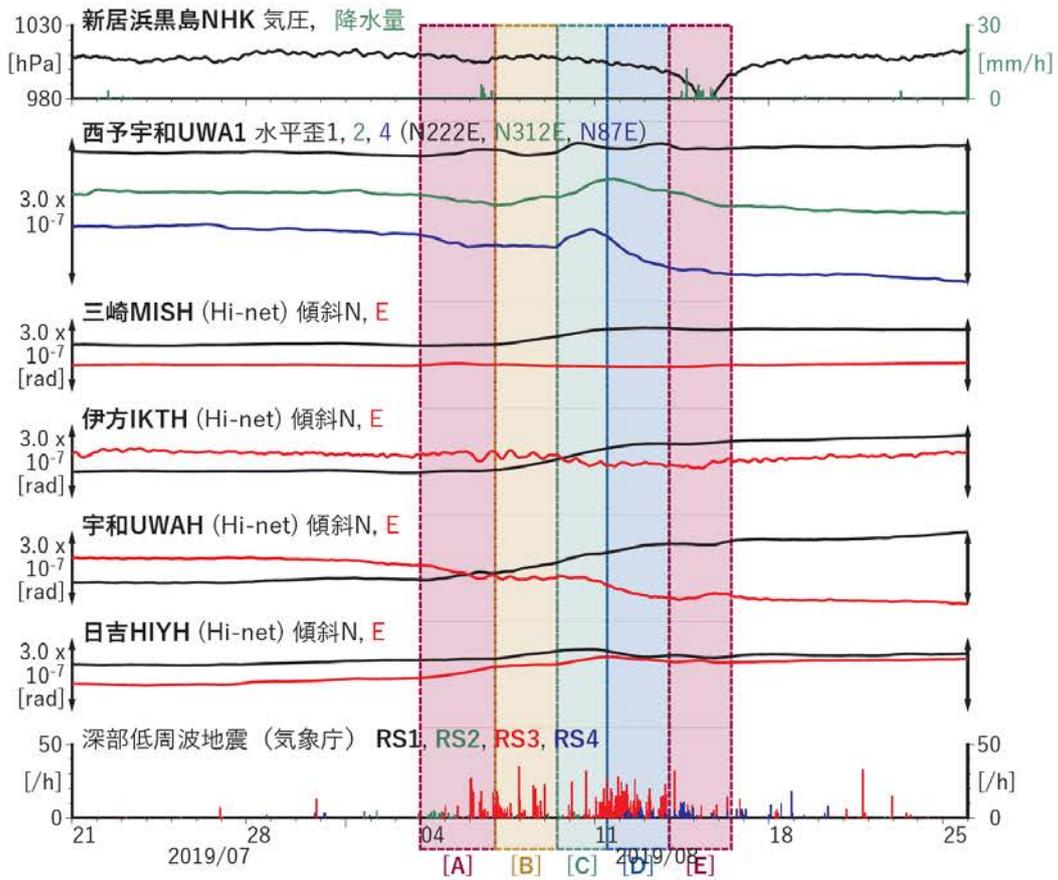


図5 四国地方（西部）における歪・傾斜観測結果
(2019/07/21 00:00 - 2019/08/26 00:00 (JST))

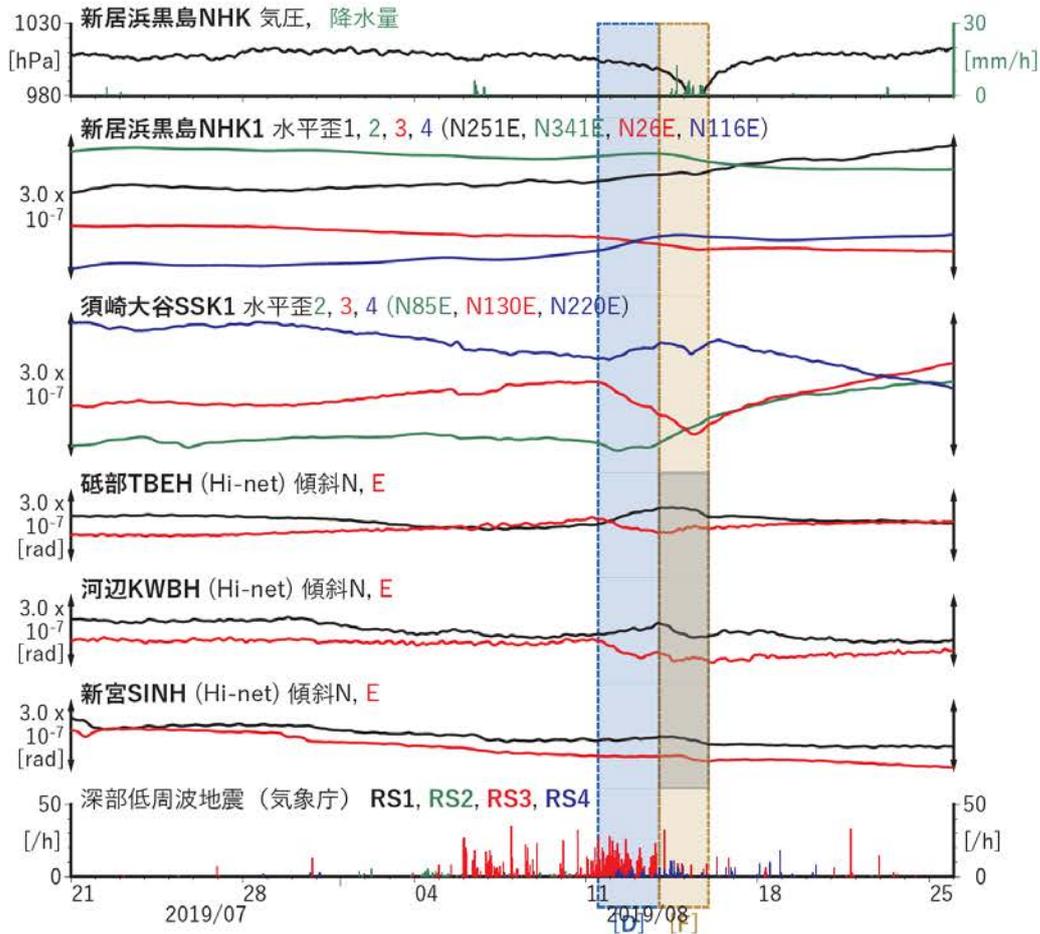
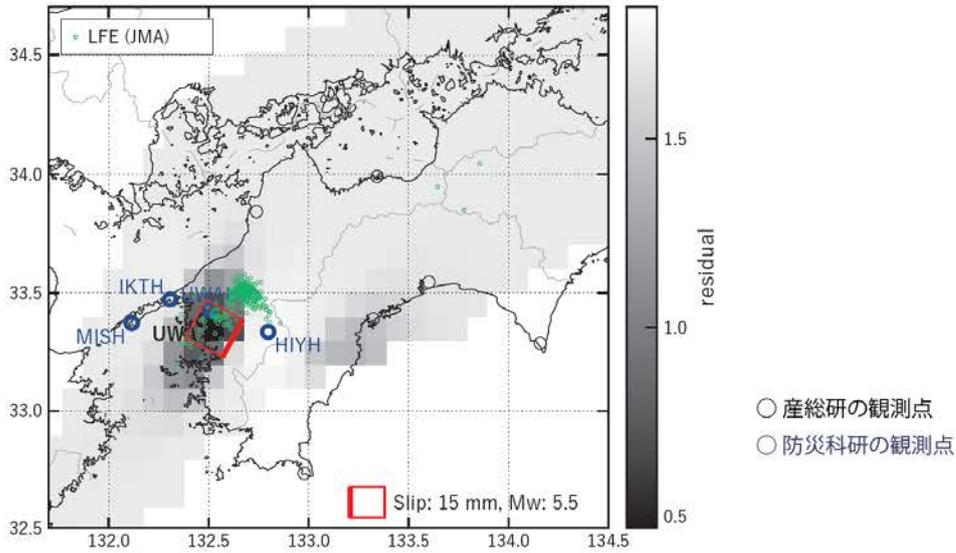


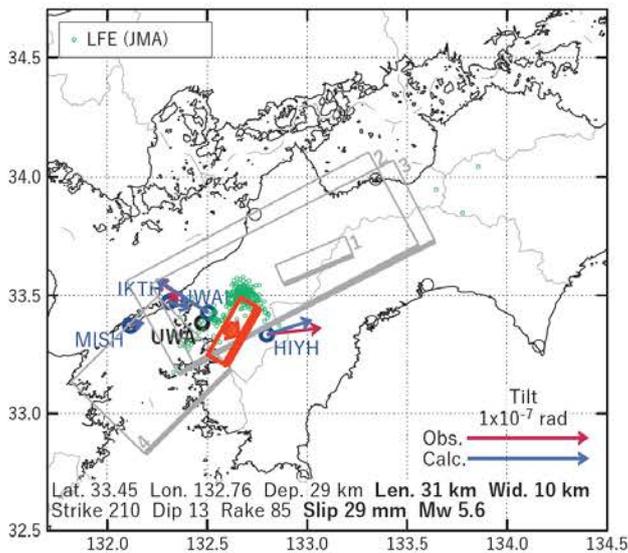
図6 四国地方（中部）における歪・傾斜観測結果
(2019/07/21 00:00 - 2019/08/26 00:00 (JST))

[A] 2019/08/04-06

(a) 断層の大きさを固定した場合の断層モデルと残差分布



(b1) 推定した断層モデル



(b2) 主歪

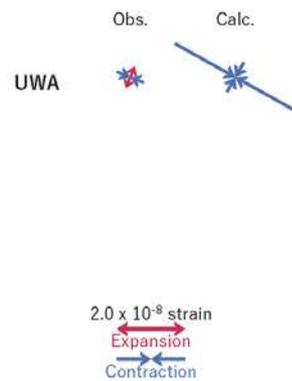


図7 2019/08/04-06の歪・傾斜変化（図5[A]）を説明する断層モデル。

(a) プレート境界面に沿って分布させた20×20kmの矩形断層面を移動させ、各位置で残差の総和を最小とするすべり量を選んだ時の残差の総和の分布。赤色矩形が残差の総和が最小となる断層面の位置。

(b1) (a)の位置付近をグリッドサーチして推定した断層面（赤色矩形）と断層パラメータ。灰色矩形は最近周辺で発生したイベントの推定断層面。

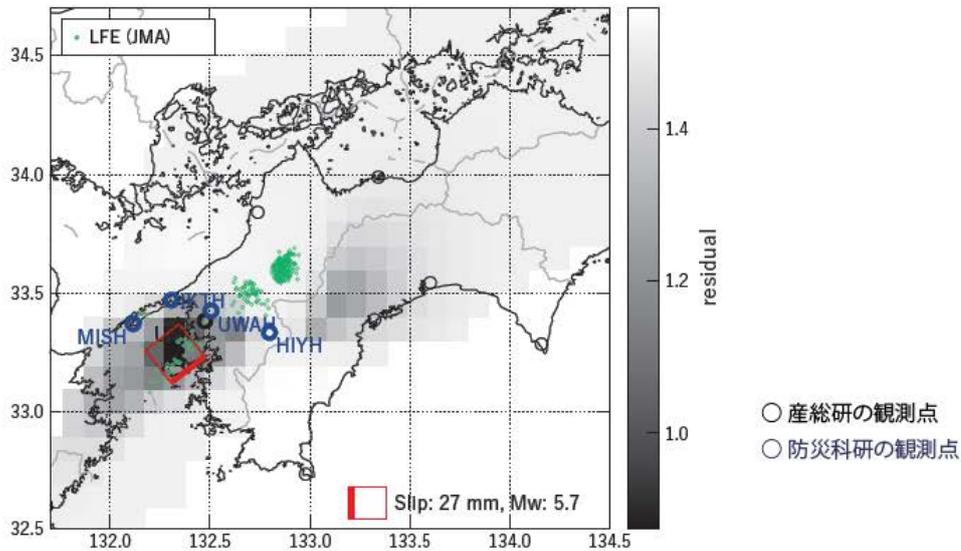
1: 2019/03/02-04AM (Mw5.6), 2: 2019/03/04PM-06 (Mw6.2), 3: 2019/03/07-09 (Mw6.0)

4: 2019/04/17-18 (Mw5.7)

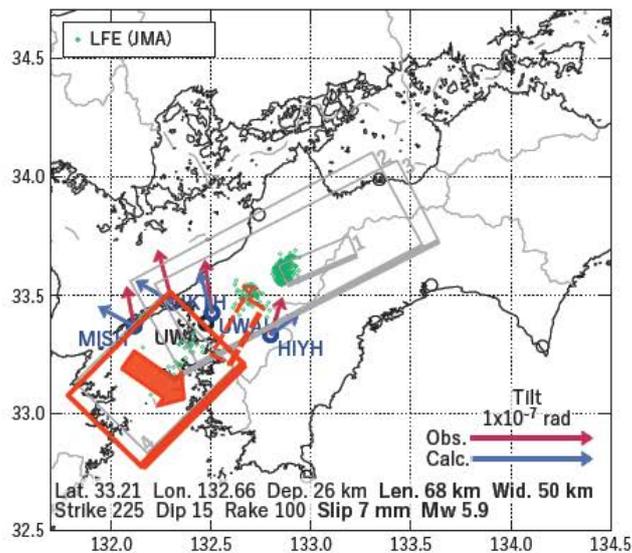
(b2) 主歪の観測値と(b1)に示した断層モデルから求めた計算値との比較。

[B] 2019/08/07-09AM

(a) 断層の大きさを固定した場合の断層モデルと残差分布



(b1) 推定した断層モデル



(b2) 主歪

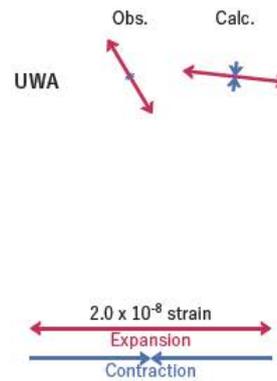


図8 2019/08/07-09AMの歪・傾斜変化（図5[B]）を説明する断層モデル。

(a) プレート境界面に沿って分布させた20×20kmの矩形断層面を移動させ、各位置で残差の総和を最小とするすべり量を選んだ時の残差の総和の分布。赤色矩形が残差の総和が最小となる断層面の位置。

(b1) (a)の位置付近をグリッドサーチして推定した断層面（赤色矩形）と断層パラメータ。灰色矩形は最近周辺で発生したイベントの推定断層面。

1: 2019/03/02-04AM (Mw5.6), 2: 2019/03/04PM-06 (Mw6.2), 3: 2019/03/07-09 (Mw6.0)

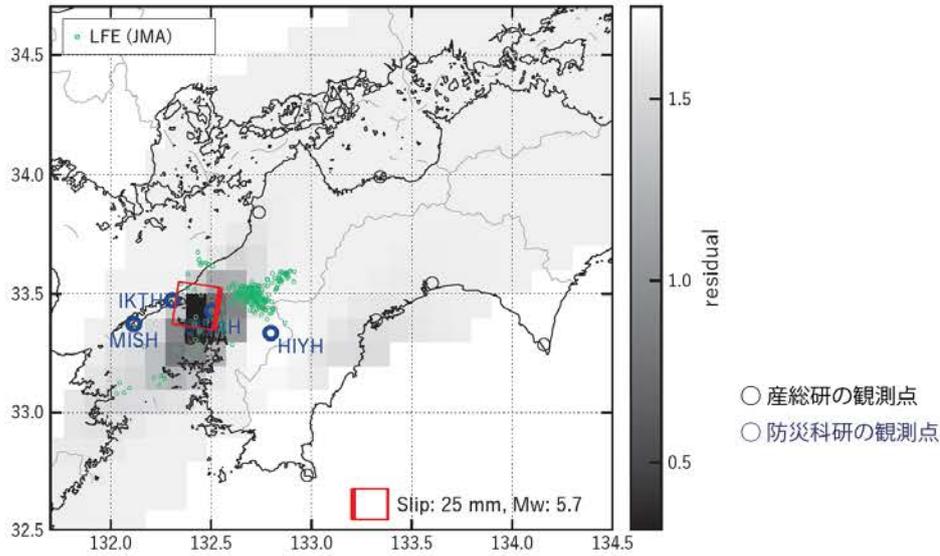
4: 2019/04/17-18 (Mw5.7)

A: 2019/08/04-06 (Mw 5.6)

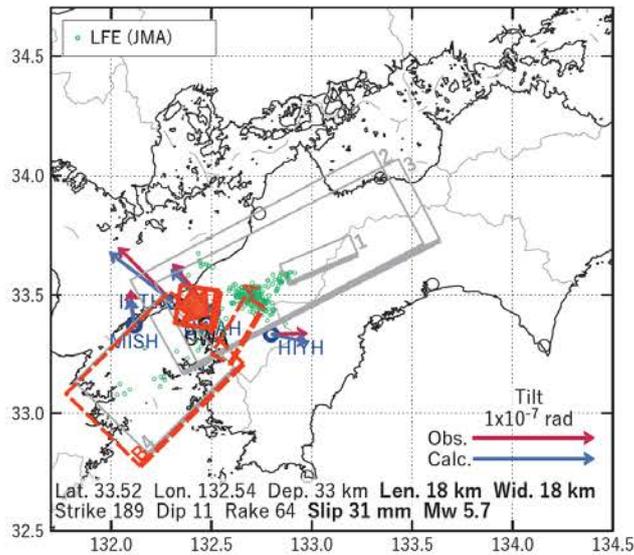
(b2) 主歪の観測値と(b1)に示した断層モデルから求めた計算値との比較。

[C] 2019/08/09PM-11AM

(a) 断層の大きさを固定した場合の断層モデルと残差分布



(b1) 推定した断層モデル



(b2) 主歪

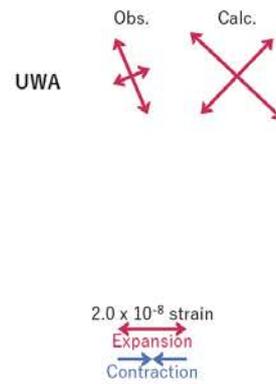


図9 2019/08/09PM-11AMの歪・傾斜変化（図5[C]）を説明する断層モデル。

(a) プレート境界面に沿って分布させた20×20kmの矩形断層面を移動させ、各位置で残差の総和を最小とするすべり量を選んだ時の残差の総和の分布。赤色矩形が残差の総和が最小となる断層面の位置。

(b1) (a)の位置付近をグリッドサーチして推定した断層面（赤色矩形）と断層パラメータ。灰色矩形は最近周辺で発生したイベントの推定断層面。

1: 2019/03/02-04AM (Mw5.6), 2: 2019/03/04PM-06 (Mw6.2), 3: 2019/03/07-09 (Mw6.0)

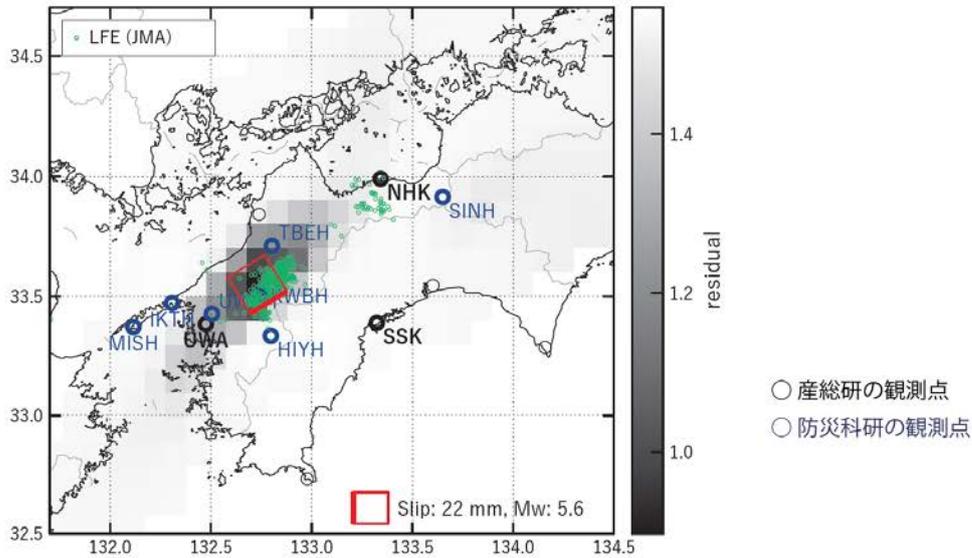
4: 2019/04/17-18 (Mw5.7)

A: 2019/08/04-06 (Mw 5.6), B: 2019/08/07-09AM (Mw 5.9)

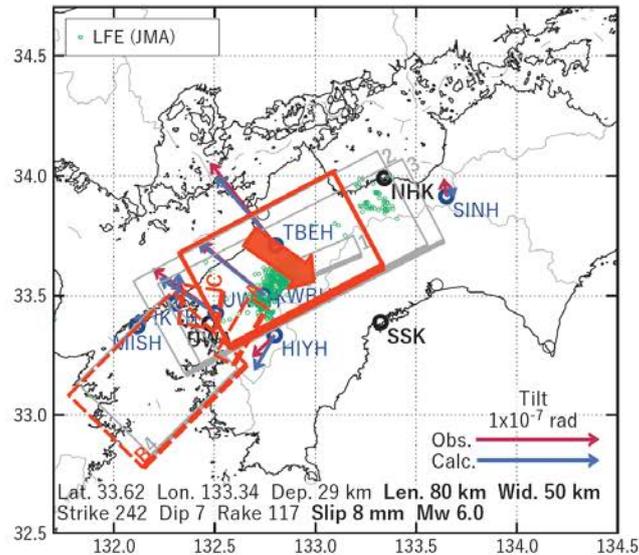
(b2) 主歪の観測値と(b1)に示した断層モデルから求めた計算値との比較。

[D] 2019/08/11PM-13

(a) 断層の大きさを固定した場合の断層モデルと残差分布



(b1) 推定した断層モデル



(b2) 主歪

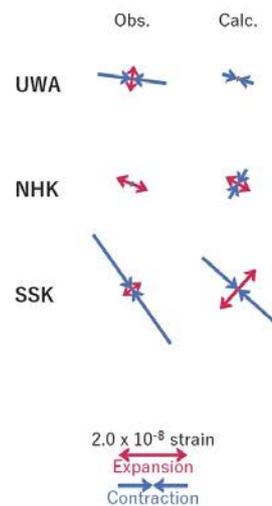


図10 2019/08/11PM-13の歪・傾斜変化（図5, 図6[D]）を説明する断層モデル。

(a) プレート境界面に沿って分布させた20×20kmの矩形断層面を移動させ、各位置で残差の総和を最小とするすべり量を選んだ時の残差の総和の分布。赤色矩形が残差の総和が最小となる断層面の位置。

(b1) (a)の位置付近をグリッドサーチして推定した断層面（赤色矩形）と断層パラメータ。灰色矩形は最近周辺で発生したイベントの推定断層面。

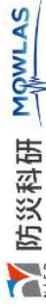
1: 2019/03/02-04AM (Mw5.6), 2: 2019/03/04PM-06 (Mw6.2), 3: 2019/03/07-09 (Mw6.0)

4: 2019/04/17-18 (Mw5.7)

A: 2019/08/04-06 (Mw 5.6), B: 2019/08/07-09AM (Mw 5.9), C: 2019/08/09PM-11AM (Mw 5.7)

(b2) 主歪の観測値と(b1)に示した断層モデルから求めた計算値との比較。

四国西部の短期的スロースリップ活動状況（2019年8月）



- ・四国西部を活動域とする短期的スロースリップイベント (Mw 6.0)
- ・2019年3月 (Mw 6.2) 以来約5ヶ月ぶり

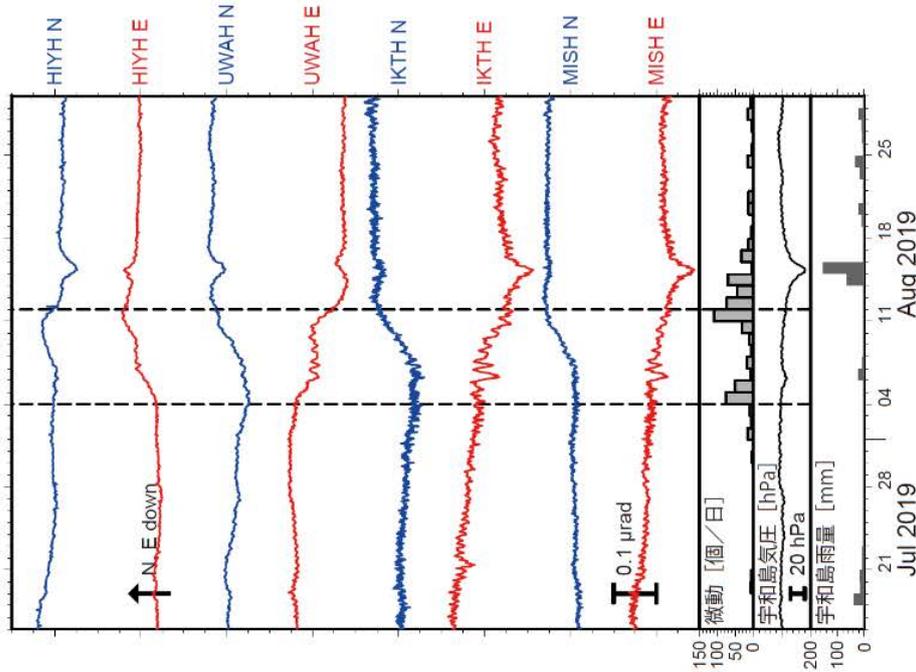


図1：2019年7月16日～8月29日の傾斜時系列。上方への変化が北・東下がり
の傾斜変動を表し、BAYTAP-Gにより潮汐・気圧応答成分を除去した。8月4
日～11日の傾斜変化ベクトルを図2に示す。四国西部での微動活動度、気象庁宇
和島観測点の気圧・雨量をあわせて示す。

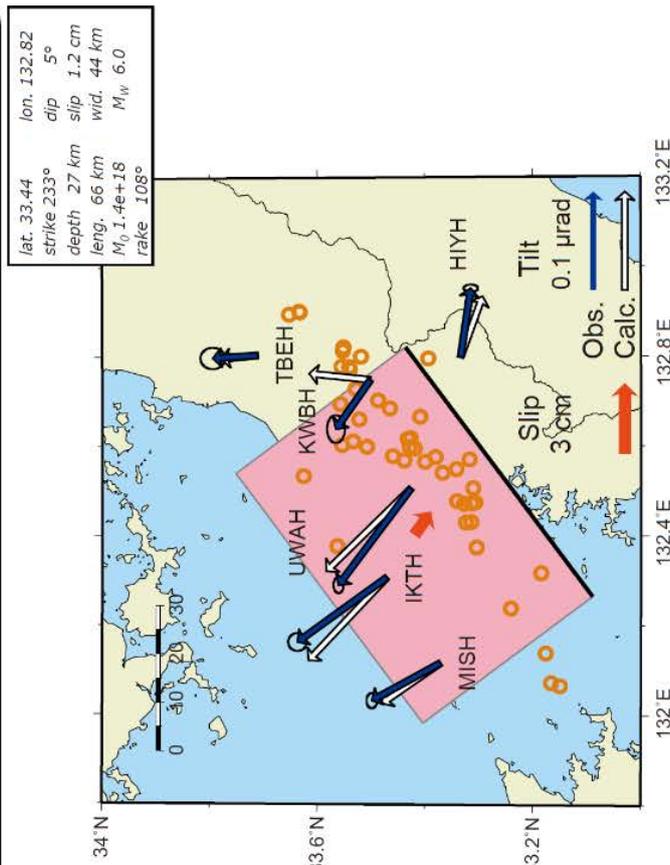


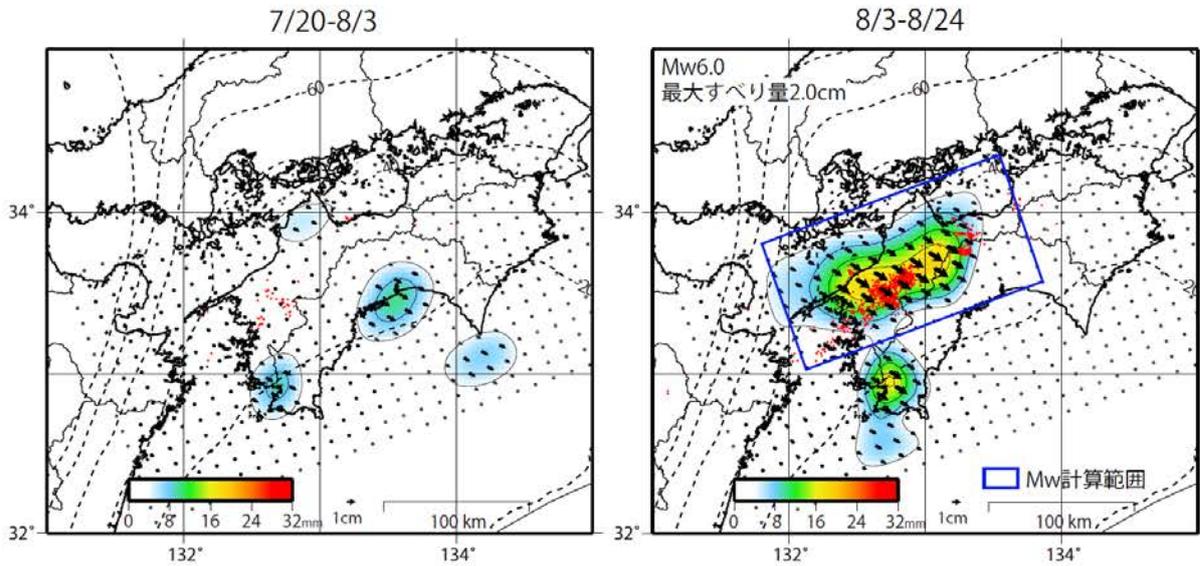
図2：8月4日～11日に観測された傾斜変化ベクトル（青矢印）、推定されたスロースリップイベントの断
層モデル（赤矩形・矢印）、モデルから計算される傾斜変化ベクトル（白抜き矢印）を示す。1時間ごとの
微動エネルギーの重心位置（橙丸）もあわせて示す。すべり角はプレート相対運動方向に固定している。

謝辞

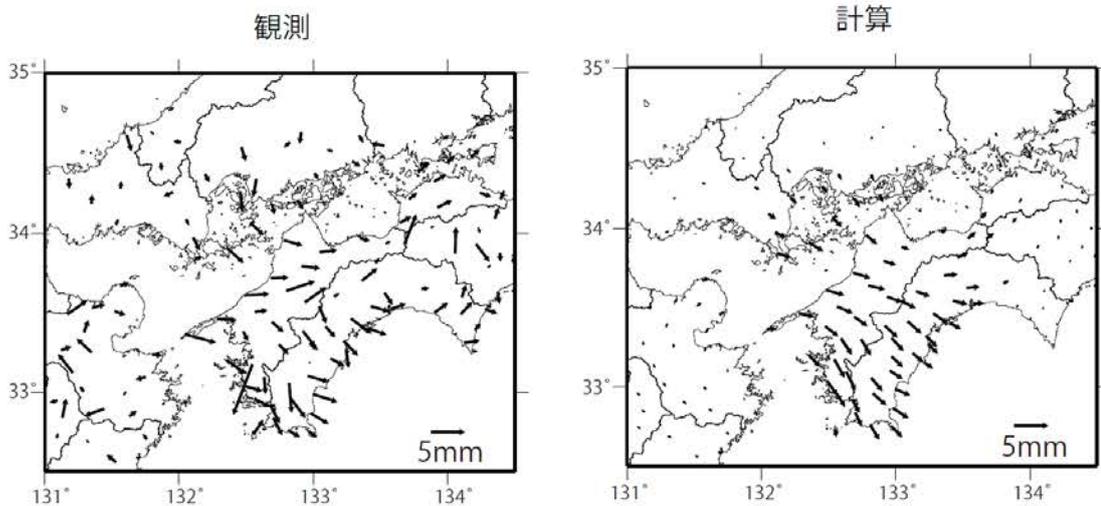
気象庁のWEBページで公開されている気象データを使用させて頂きました。記して感謝いたします。

防災科学技術研究所資料

GNSSデータから推定された
四国地方の深部低周波微動と同期したスロースリップ(暫定)



推定したすべり量が標準偏差(σ)の3倍以上のグリッドを黒色表示

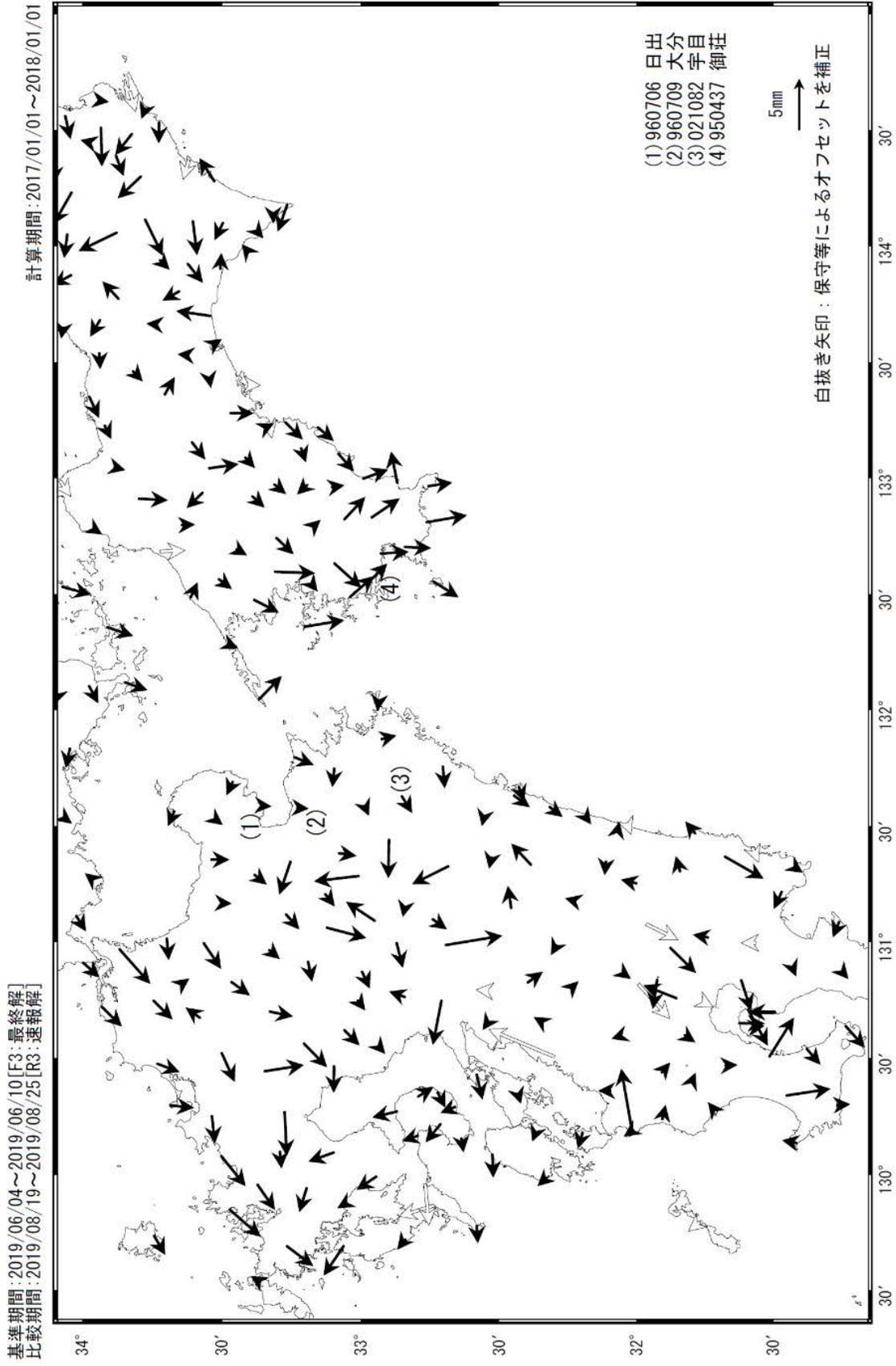


解析に使用した全観測点の座標時系列から共通に含まれる
時間変化成分を取り除き、7/22 - 8/1の平均と8/24 - 8/31の
平均の差をとった値

解析に使用した観測点の範囲:概ね北緯32~34.6°、東経131~134.8°
データ:F3解(2019/7/1 - 8/17)+R3解(2019/8/18 - 8/31)
トレンド期間:2006/1/1 - 2009/1/1
黒破線:フィリピン海プレート上面の等深線(弘瀬・他、2007)
赤丸:低周波地震(気象庁一元化震源)
コンター間隔:4mm
固定局:三隅

（国土地理院による GNSS 解析）

九州北部・四国西部の非定常水平地殻変動（1次トレンド・年周期・半年周期除去後）



国土地理院

☆ 固定局: 福江 (950462)

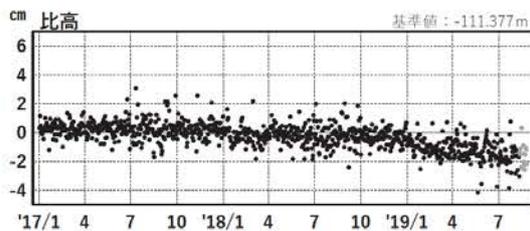
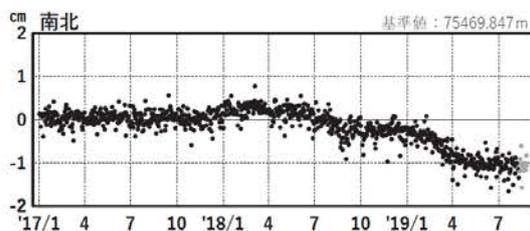
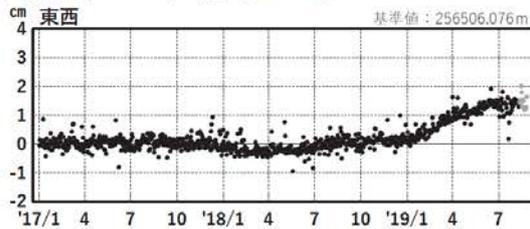
九州北部・四国西部 G N S S 連続観測時系列

1 次トレンド・年周成分・半年周成分除去後グラフ

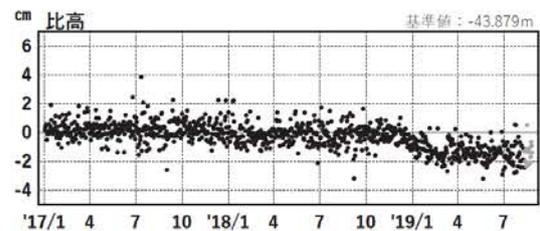
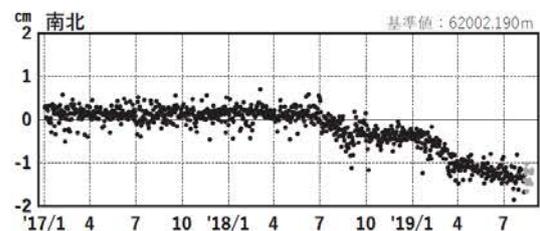
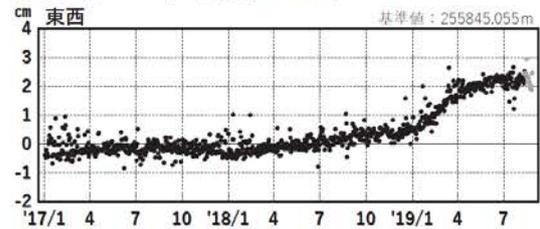
期間: 2017/01/01~2019/08/26 JST

計算期間: 2017/01/01~2018/01/01

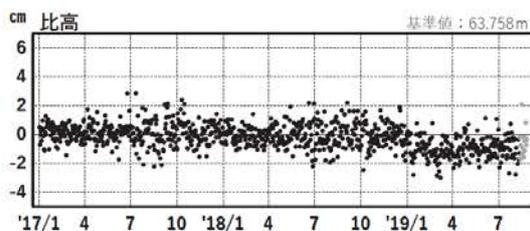
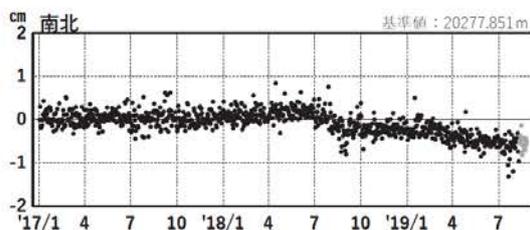
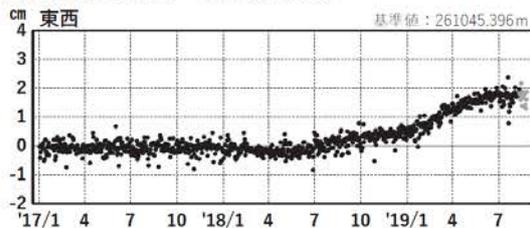
(1) 福江(950462)ー日出(960706)



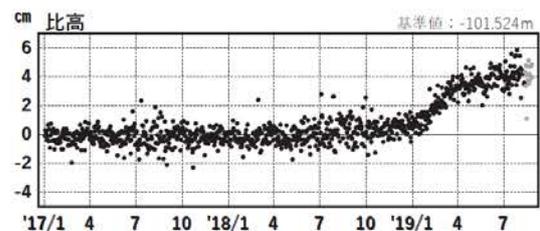
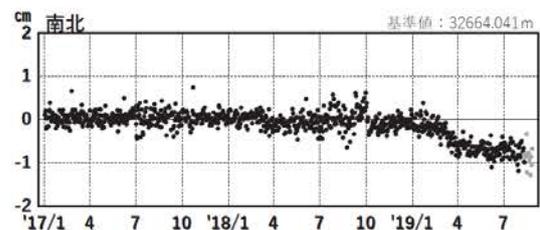
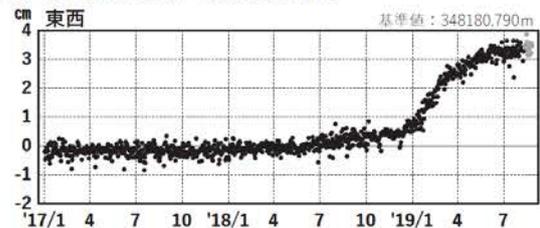
(2) 福江(950462)ー大分(960709)



(3) 福江(950462)ー宇目(021082)



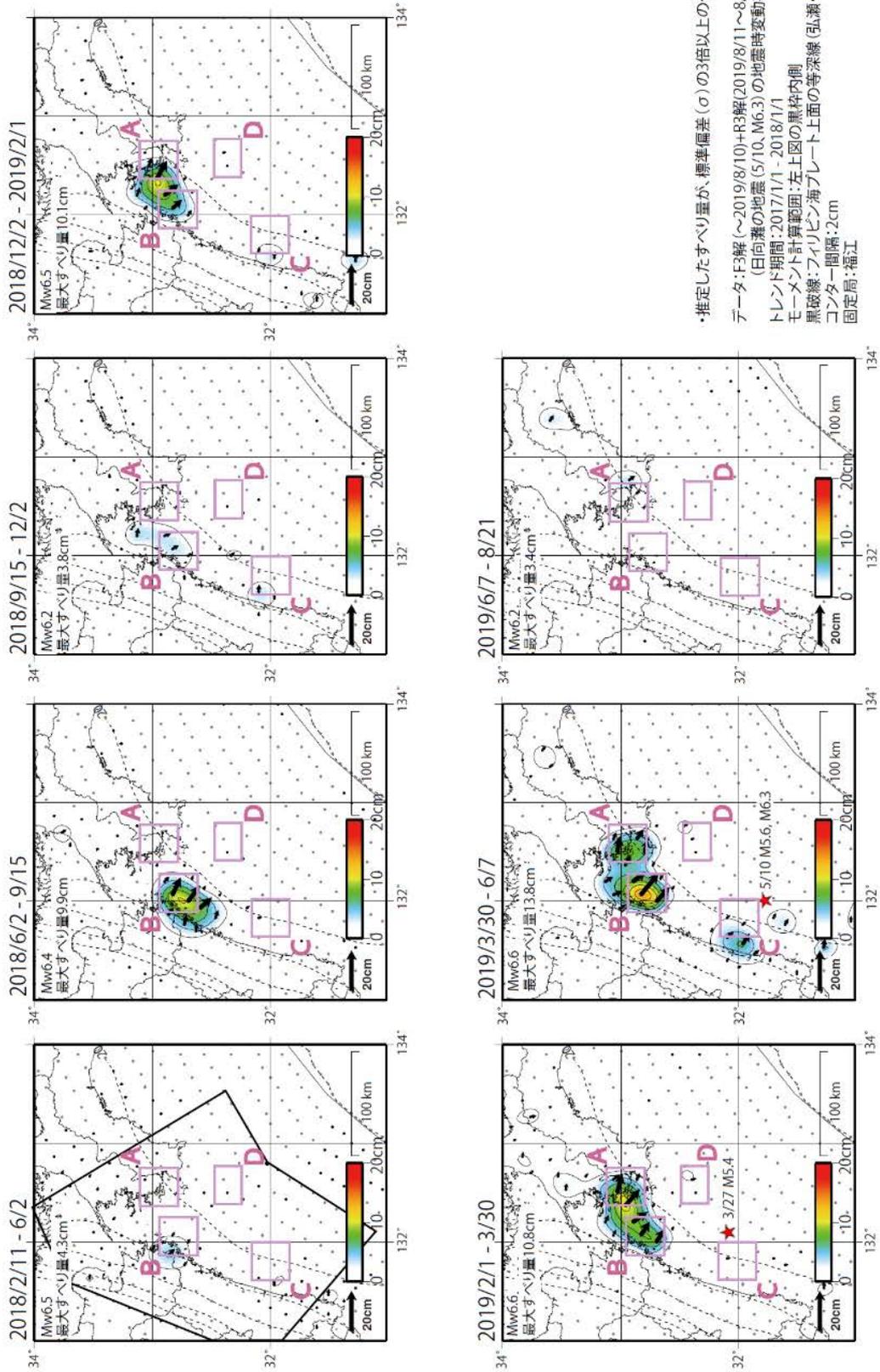
(4) 福江(950462)ー御荘(950437)



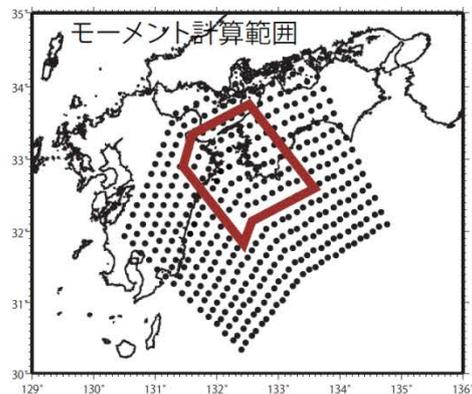
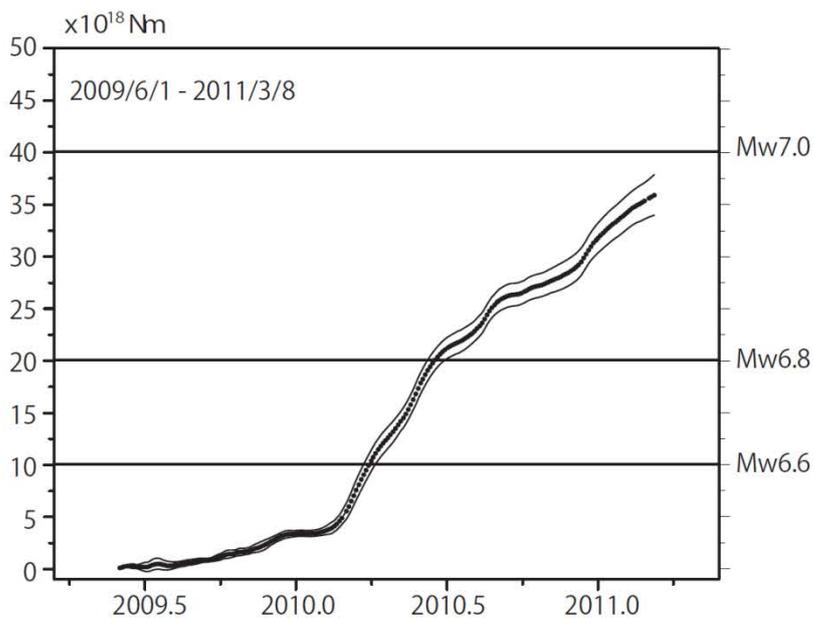
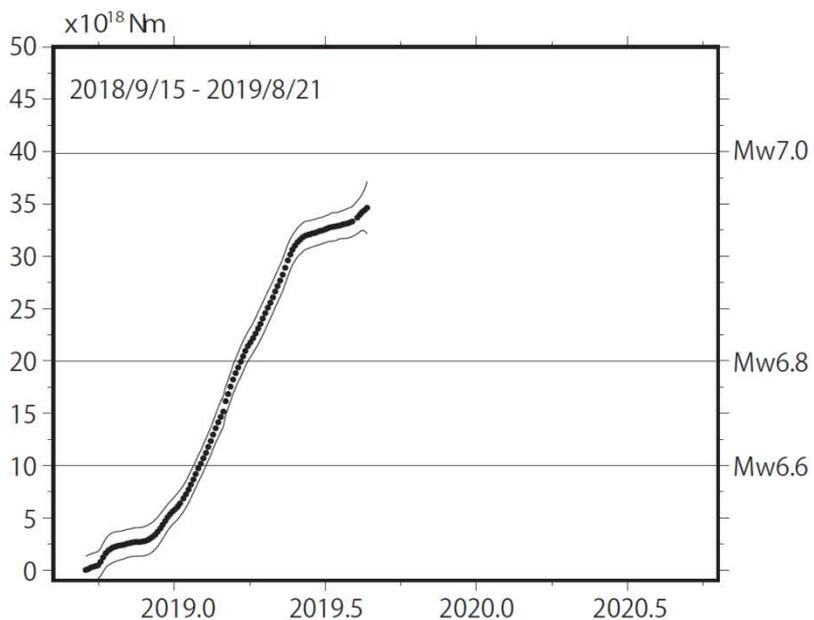
●---[F3:最終解] ●---[R3:速報解]

国土地理院

GNSSデータから推定された日向灘・豊後水道の長期的ゆっくりすべり(暫定)
推定すべり分布



モーメント^{*}積算図（試算）



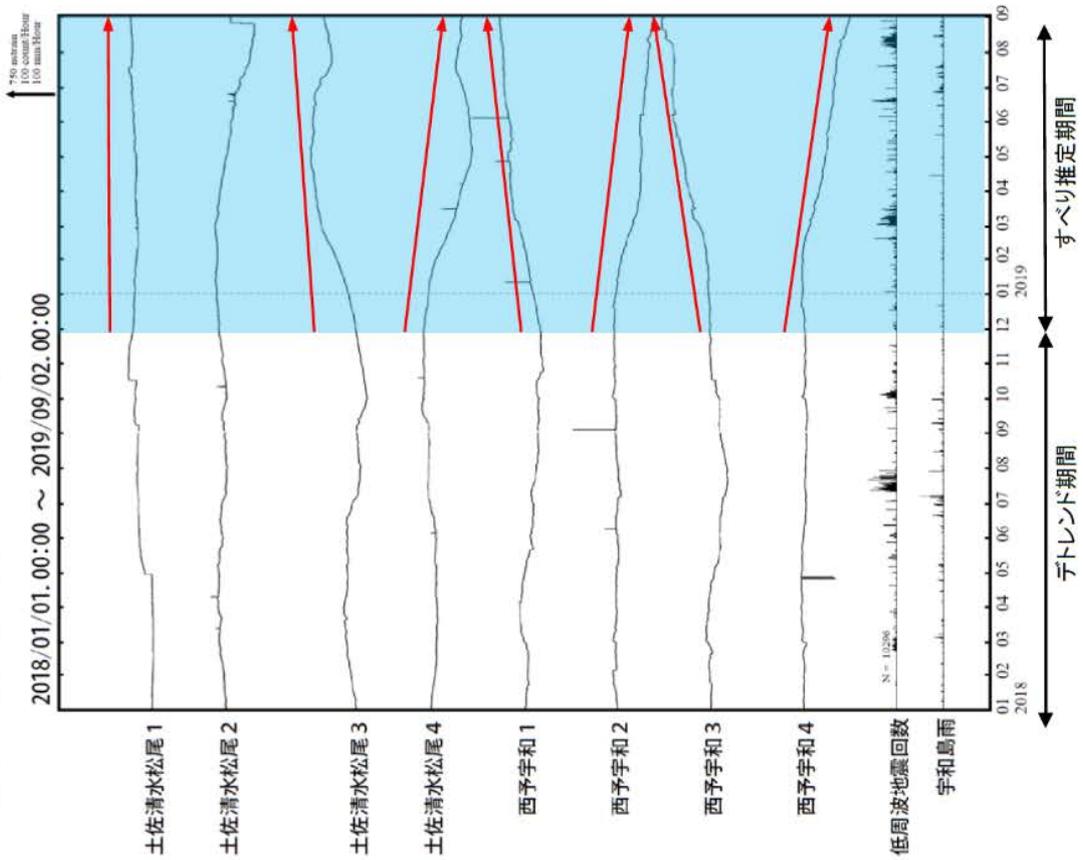
モーメント積算図には、標準偏差 (σ) の3倍を誤差として表示。

※モーメント
断層運動のエネルギーの目安となる量。
地震の場合のMw（モーメント・マグニチュード）
に換算できる。

国土地理院

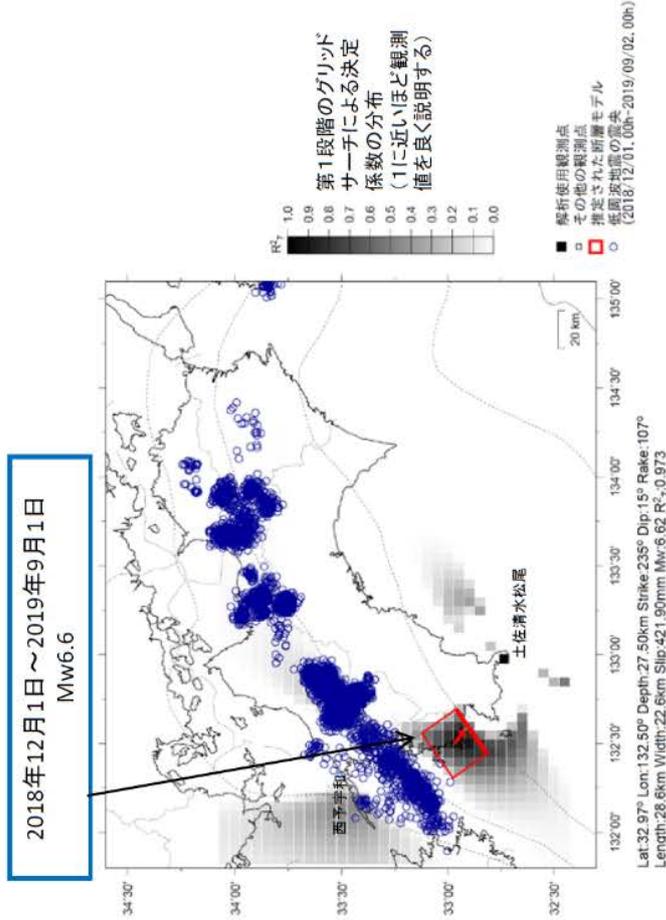
豊後水道で発生している長期的ゆっくりすべり

愛媛県から高知県で観測されたひずみ変化



土佐清水松尾及び西予宇和は産業技術総合研究所のひずみ計である。

ひずみ変化から推定される断層モデル



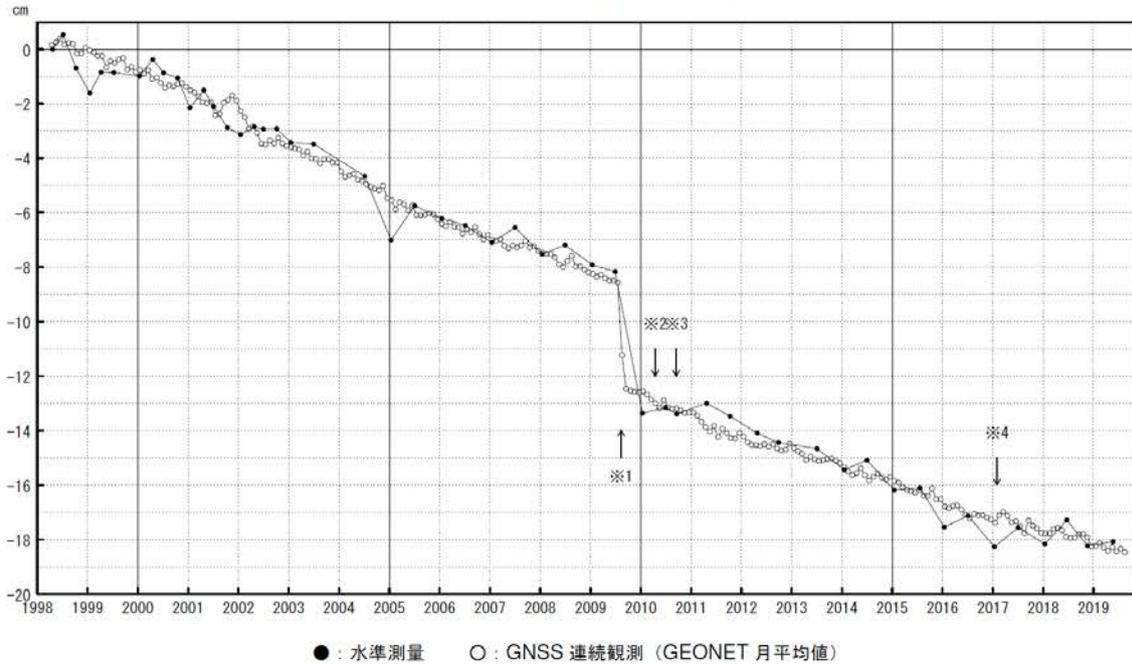
左図に観測されたひずみ変化のうち、赤矢印を示す領域にすべり領域が求まった。

断層モデルの推定は、産総研の解析方法（坂場ほか、2012）を参考に以下の2段階で行う。
 ・断層サイズを20km×20kmに固定し、位置を0.05度単位でグリッドサーチにより推定する。
 ・その位置を中心にして、他の断層パラメータの最適解を求める。

御前崎 電子基準点の上下変動
水準測量と GNSS 連続観測

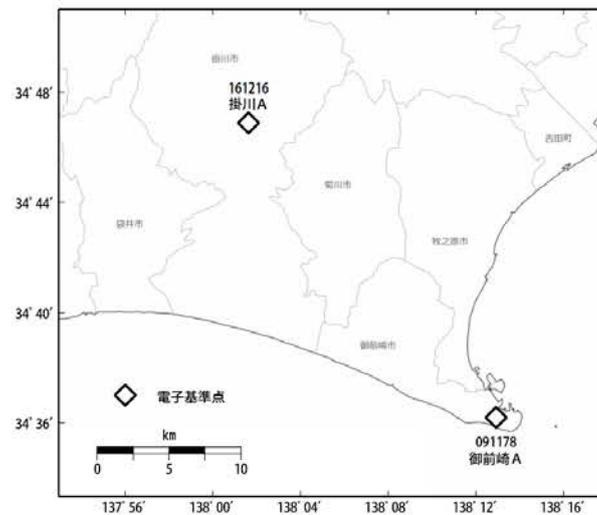
掛川に対して、御前崎が沈降する長期的な傾向が続いている。

掛川 A (161216) - 御前崎 A (091178)



・ 最新のプロット点は 08/01~08/10 の平均。

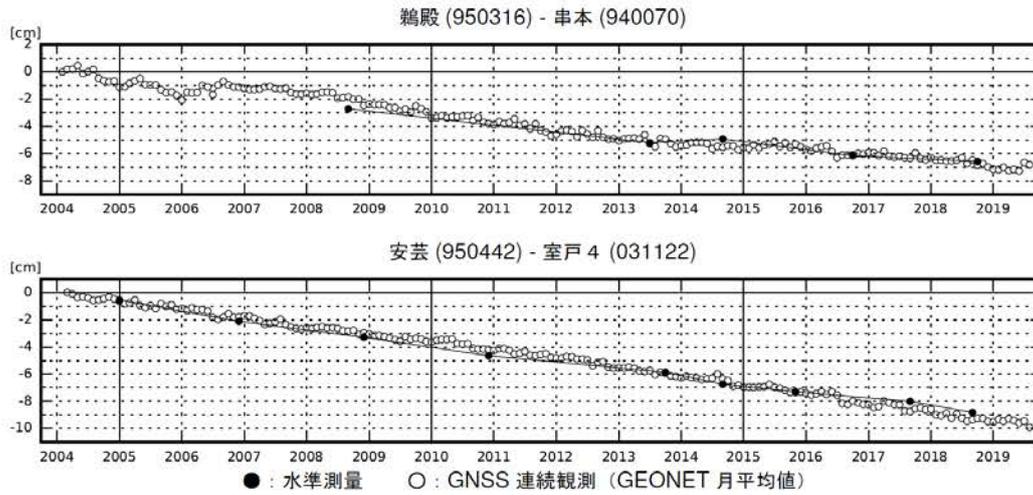
- ※ 1 電子基準点「御前崎」は 2009 年 8 月 11 日の駿河湾の地震 (M6.5) に伴い、地表付近の局所的な変動の影響を受けた。
- ※ 2 2010 年 4 月以降は、電子基準点「御前崎」をより地盤の安定している場所に移転し、電子基準点「御前崎 A」とした。上記グラフは電子基準点「御前崎」と電子基準点「御前崎 A」のデータを接続して表示している。
- ※ 3 水準測量の結果は移転後初めて変動量が計算できる 2010 年 9 月から表示している。
- ※ 4 2017 年 1 月 30 日以降は、電子基準点「掛川」は移転し、電子基準点「掛川 A」とした。上記グラフは電子基準点「掛川」と電子基準点「掛川 A」のデータを接続して表示している。



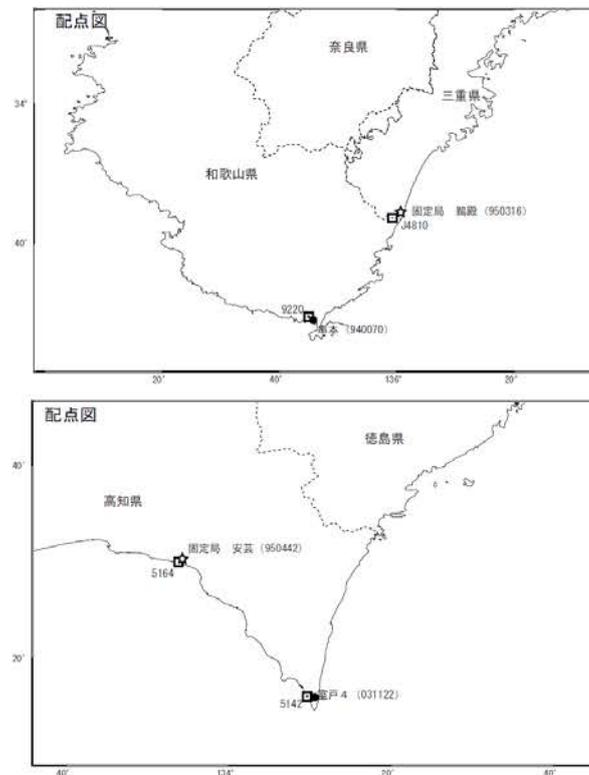
国土地理院

紀伊半島及び室戸岬周辺 電子基準点の上下変動

潮岬周辺及び室戸岬周辺の長期的な沈降傾向が続いている。



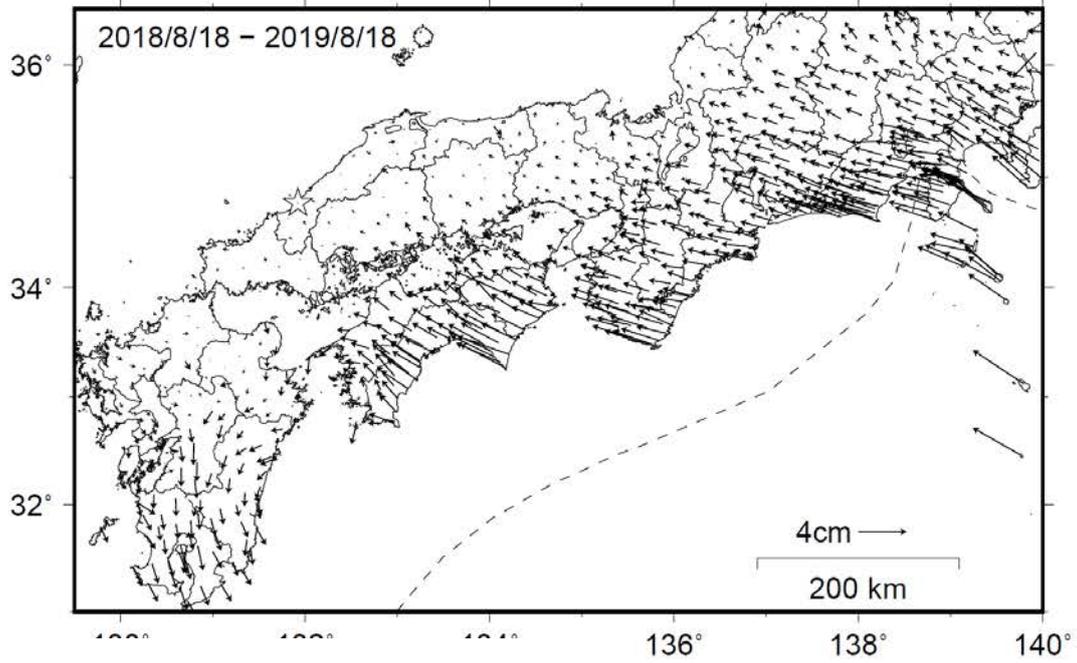
- ・ 最新のプロット点は 8/1～8/10 の平均。
- ・ 水準測量による結果については、最寄り的一等水準点の結果を表示している。



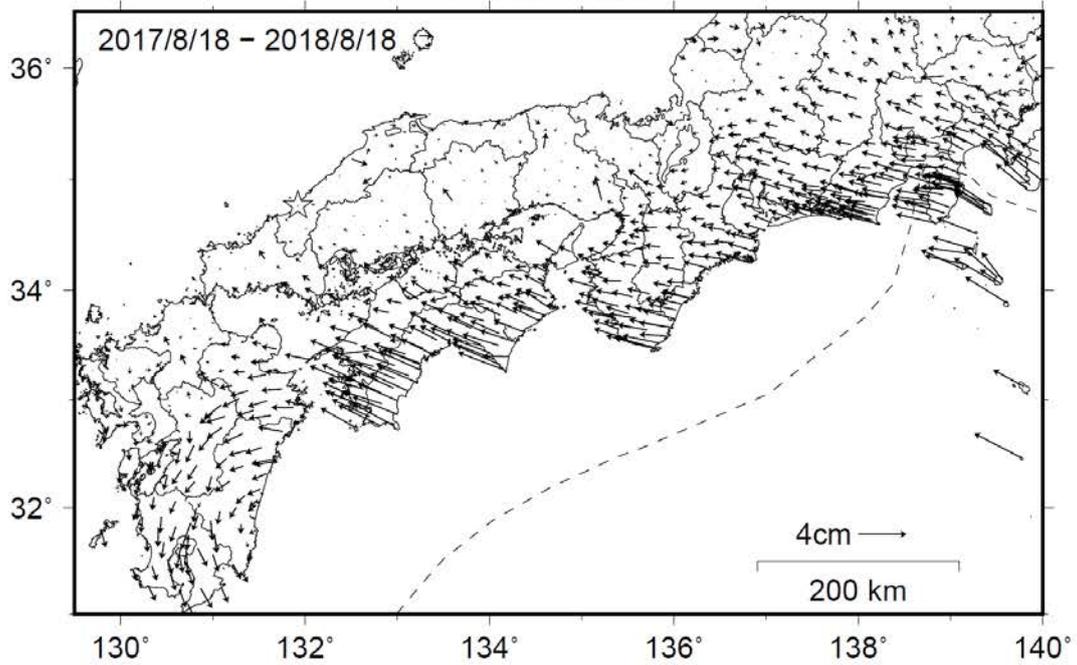
国土地理院

南海トラフ沿いの水平地殻変動【固定局：三隅】

【最近1年間】



【1年前の1年間】



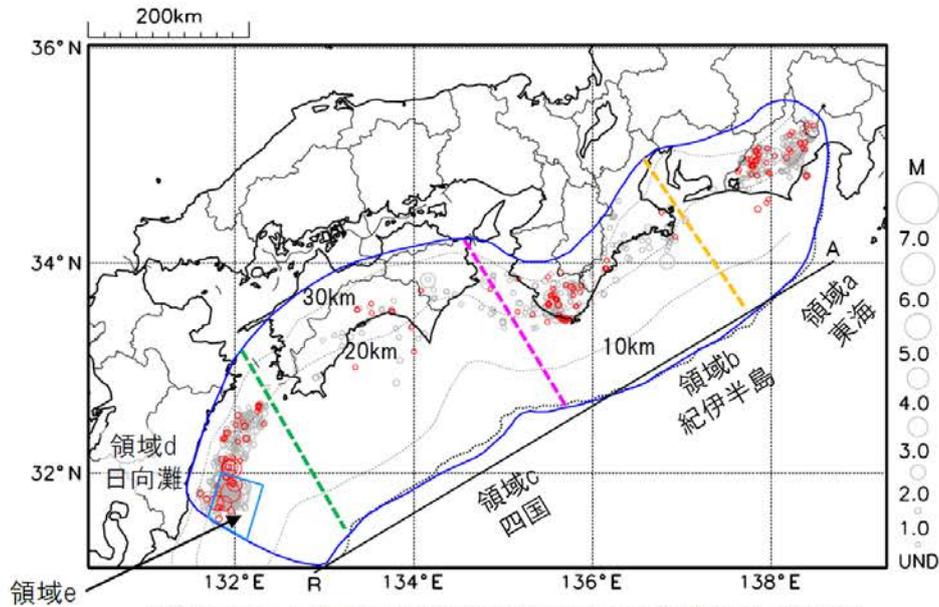
・各日付から6日間の変動量の平均をとり、その差から1年間の変動量を示している。

プレート境界とその周辺の地震活動

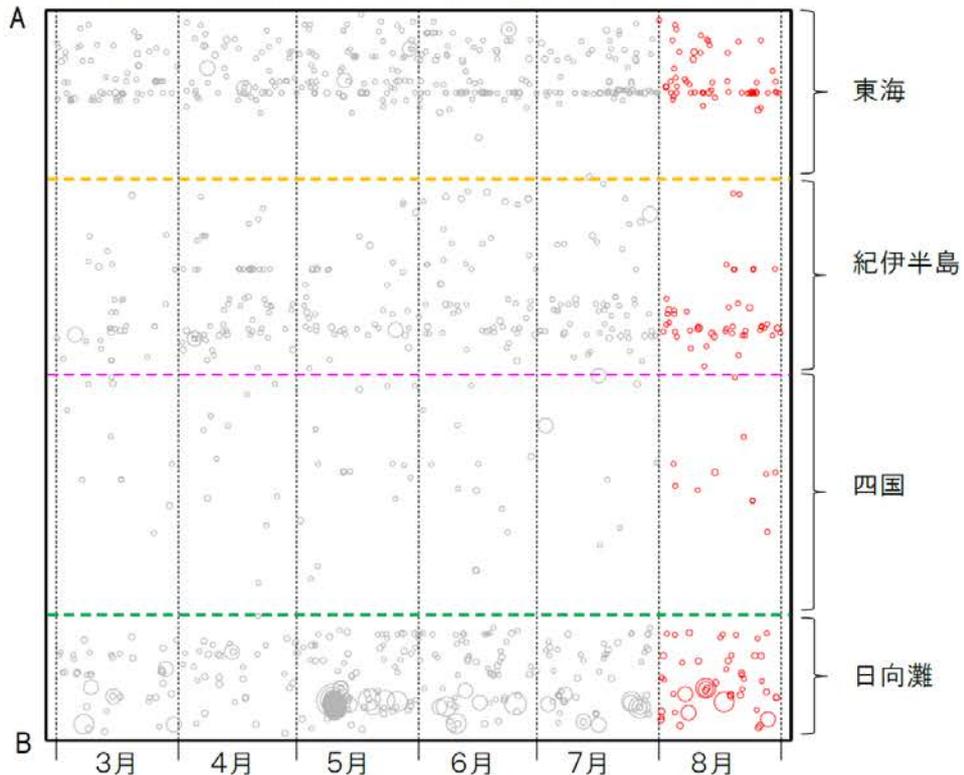
フィリピン海プレート上面の深さから±6km未満の地震を表示している。
日向灘の領域e内のみ、深さ20km～30kmの地震を追加している。

震央分布図

(2019年3月1日～2019年8月31日、M全て、2019年8月の地震を赤く表示)



南海トラフ巨大地震の想定震源域内の時空間分布図(A-B投影)



・フィリピン海プレート上面の深さは、Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)による。震央分布図中の点線は10kmごとの等深線を示す。

・今期間の地震のうち、M3.2以上の地震で想定南海トラフ地震の発震機構解と類似の型の地震に吹き出しを付している。吹き出しの右下の数値は、フィリピン海プレート上面の深さからの差(+は浅い、-は深い)を示す。

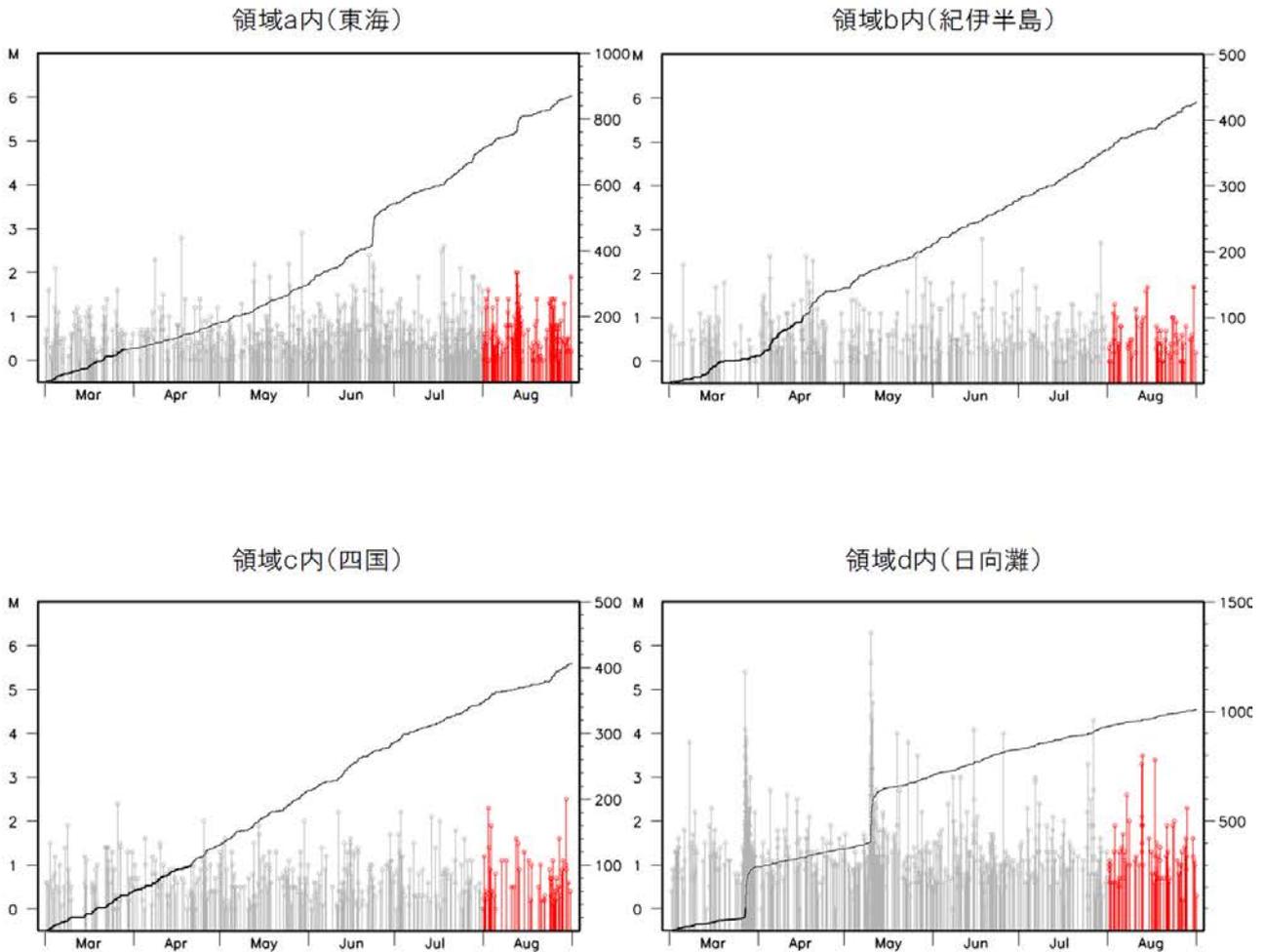
・発震機構解の横に「S」の表記があるものは、精度がやや劣るものである。

気象庁作成

プレート境界とその周辺の地震活動

フィリピン海プレート上面の深さから±6km未満の地震を表示している。

震央分布図の各領域内のMT図・回数積算図



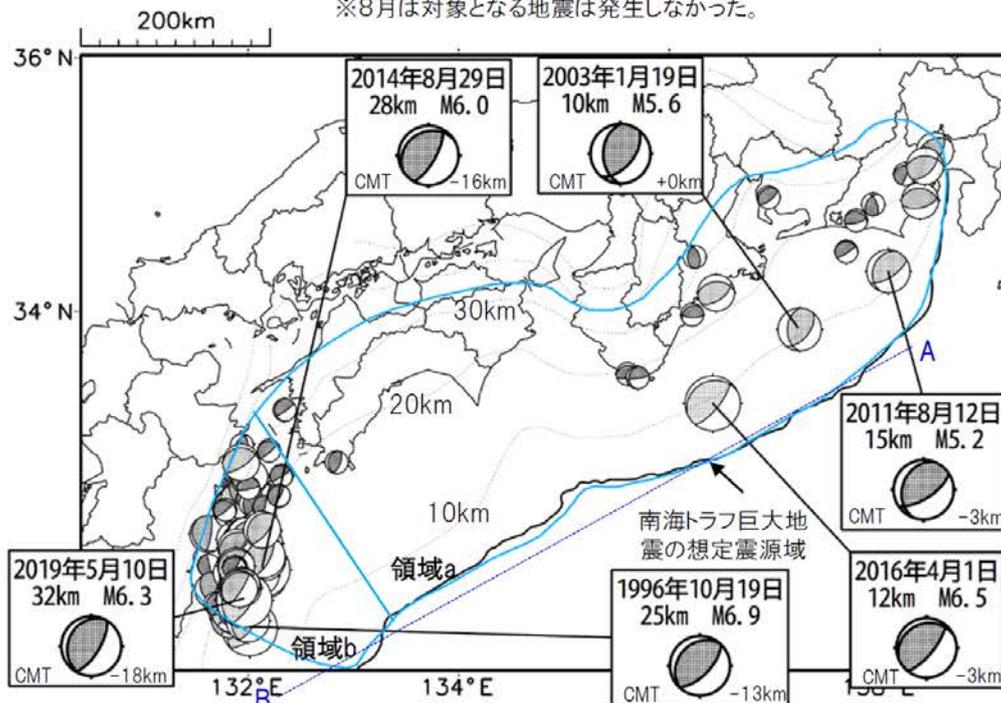
※M全ての地震を表示していることから、検知能力未満の地震も表示しているため、回数積算図は参考として表記している。

気象庁作成

想定南海トラフ地震の発震機構解と類似の型の地震

震央分布図(1987年9月1日～2019年8月31日、M \geq 3.2、2019年8月の地震を赤く表示)

※8月は対象となる地震は発生しなかった。



・フィリピン海プレート上面の深さは、Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)による。震央分布図中の点線は10kmごとの等深線を示す。

・今期間に発生した地震(赤)、日向灘のM6.0以上、その他の地域のM5.0以上の地震に吹き出しを付けている。

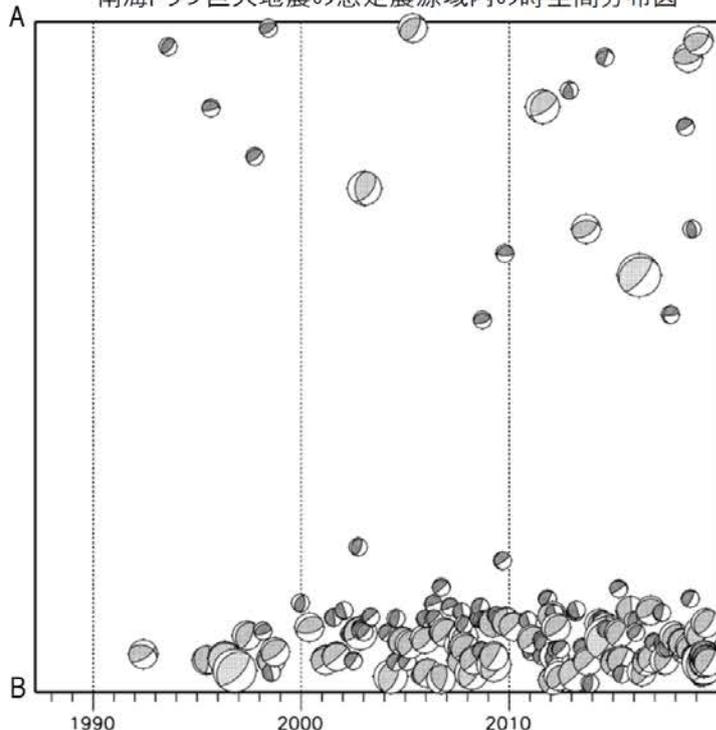
・発震機構解の横に「S」の表記があるものは、精度がやや劣るものである。

・吹き出しの右下の数値は、フィリピン海プレート上面の深さからの差を示す。+は浅い、-は深いことを示す。

・吹き出しに「CMT」と表記した地震は、発震機構解と深さはCMT解による。Mは気象庁マグニチュードを表記している。

・発震機構解の解析基準は、解析当時の観測網等に応じて変遷しているため一定ではない。

南海トラフ巨大地震の想定震源域内の時空間分布図



プレート境界型の地震と類似の型の発震機構解を持つ地震は以下の条件で抽出した。

【抽出条件】

- ・M3.2以上の地震
- ・領域a内(南海トラフの想定最大規模の想定震源域内)で発生した地震
- ・発震機構解が以下の条件を全て満たしたものを抽出した。

P軸の傾斜角が45度以下

P軸の方位角が65度以上180度以下(※)

T軸の傾斜角が45度以上

N軸の傾斜角が30度以下

※以外の条件は、東海地震と類似の型を抽出する条件と同様

・発震機構解は、CMT解と初動解の両方で検索をした。

・同一の地震で、CMT解と初動解の両方がある場合はCMT解を選択している。

・東海地方から四国地方(領域a)は、フィリピン海プレート上面の深さから±10km未満の地震のみ抽出した。日向灘(領域b)は、+10km～-20km未満の震源を抽出した。CMT解はセントロイドの深さを使用した。

気象庁作成

南海トラフ巨大地震の想定震源域とその周辺の地震活動指数

2019年8月31日

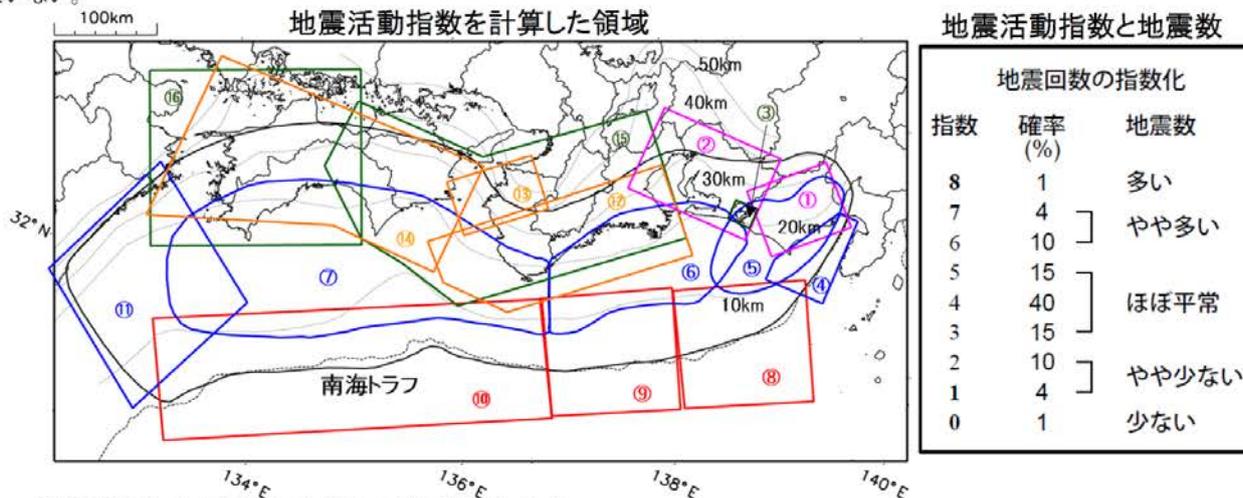
領域	①静岡県 中西部		②愛知県		③浜名湖 周辺	④駿河 湾	⑤東海	⑥東南 海	⑦南海
	地	プ	地	プ	プ	全	全	全	全
地震活動指数	7	4	5	3	7	4	5	3	3
平均回数	16.4	18.4	26.5	13.6	13.2	13.3	18.3	19.7	21.2
Mしきい値	1.1		1.1		1.1	1.4	1.5	2.0	2.0
クラスタ 除去	距離		3km		3km	10km	10km	10km	10km
	日数		7日		7日	10日	10日	10日	10日
対象期間	60日	90日	60日	30日	360日	180日	90日	360日	90日
深さ	0～ 30km	0～ 60km	0～ 30km	0～ 60km	0～ 60km	0～ 60km	0～ 60km	0～ 100km	0～ 100km

領域	南海トラフ沿い		⑪日向 灘	⑫紀伊 半島	⑬和歌 山	⑭四国	⑮紀伊半 島	⑯四国	
	⑧東側	⑩西側	全	地	地	地	プ	プ	
	全	全	全	地	地	地	プ	プ	
地震活動指数	7	3	5	0	3	5	4	7	
平均回数	12.1	14.9	20.6	22.8	42.2	30.3	27.6	28.1	
Mしきい値	2.5	2.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	
クラスタ 除去	距離		10km	10km	10km	3km	3km	3km	3km
	日数		10日	10日	10日	7日	7日	7日	7日
対象期間	720日	360日	60日	120日	60日	90日	30日	30日	
深さ	0～ 100km	0～ 100km	0～ 100km	0～ 20km	0～ 20km	0～ 20km	20～ 100km	20～ 100km	

* 基準期間は、全領域1997年10月1日～2019年8月31日

* 領域欄の「地」は地殻内、「プ」はフィリピン海プレート内で発生した地震であることを示す。ただし、震源の深さから便宜的に分類しただけであり、厳密に分離できていない場合もある。「全」は浅い地震から深い地震まで全ての深さの地震を含む。

* ⑨の領域(三重県南東沖)は、2004年9月5日以降の地震活動の影響で、地震活動指数を正確に計算できないため、掲載していない。



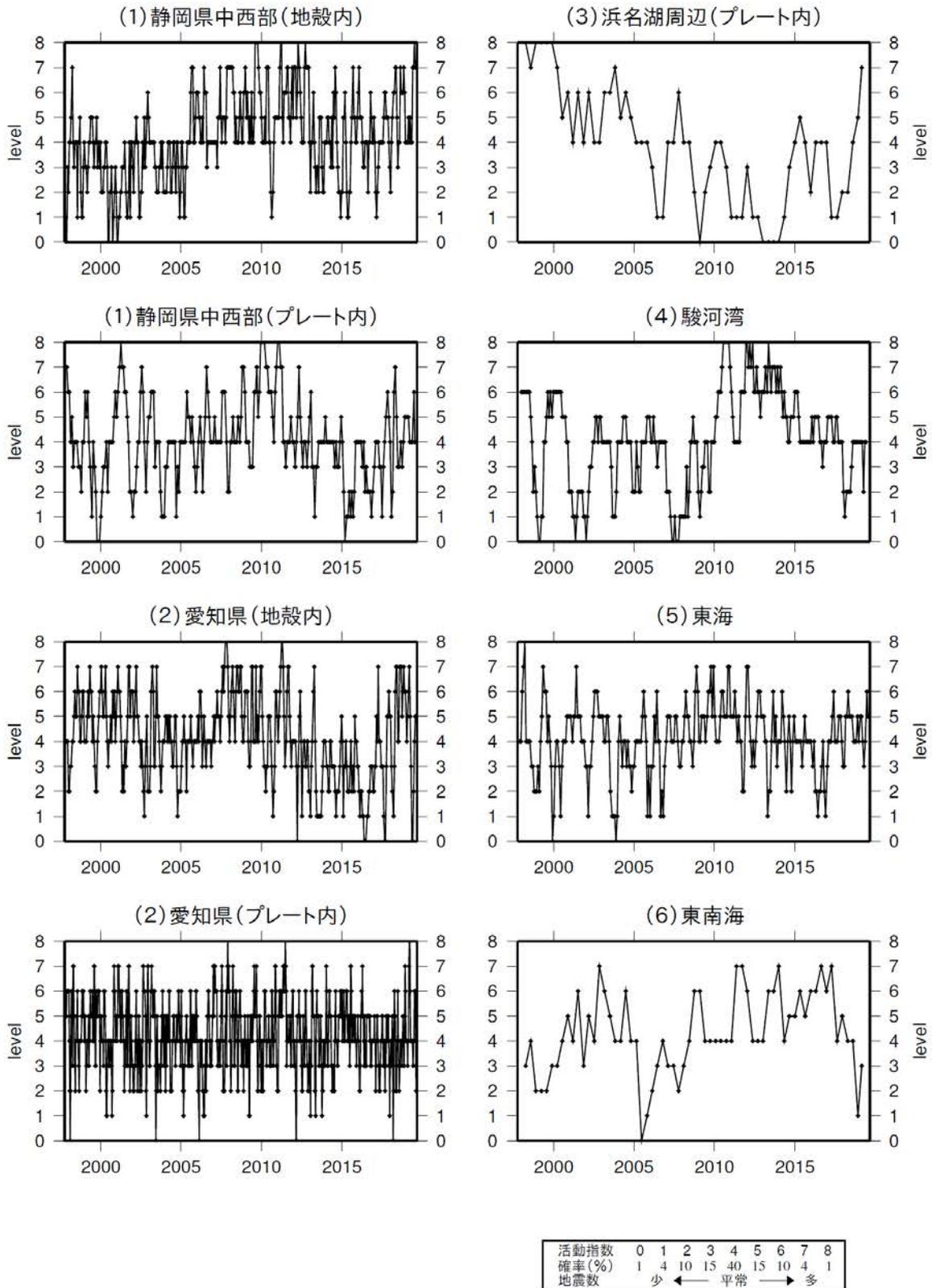
* 黒色実線は、南海トラフ巨大地震の想定震源域を示す。

* Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)によるプレート境界の等深線を破線で示す。

気象庁作成

地震活動指数一覧

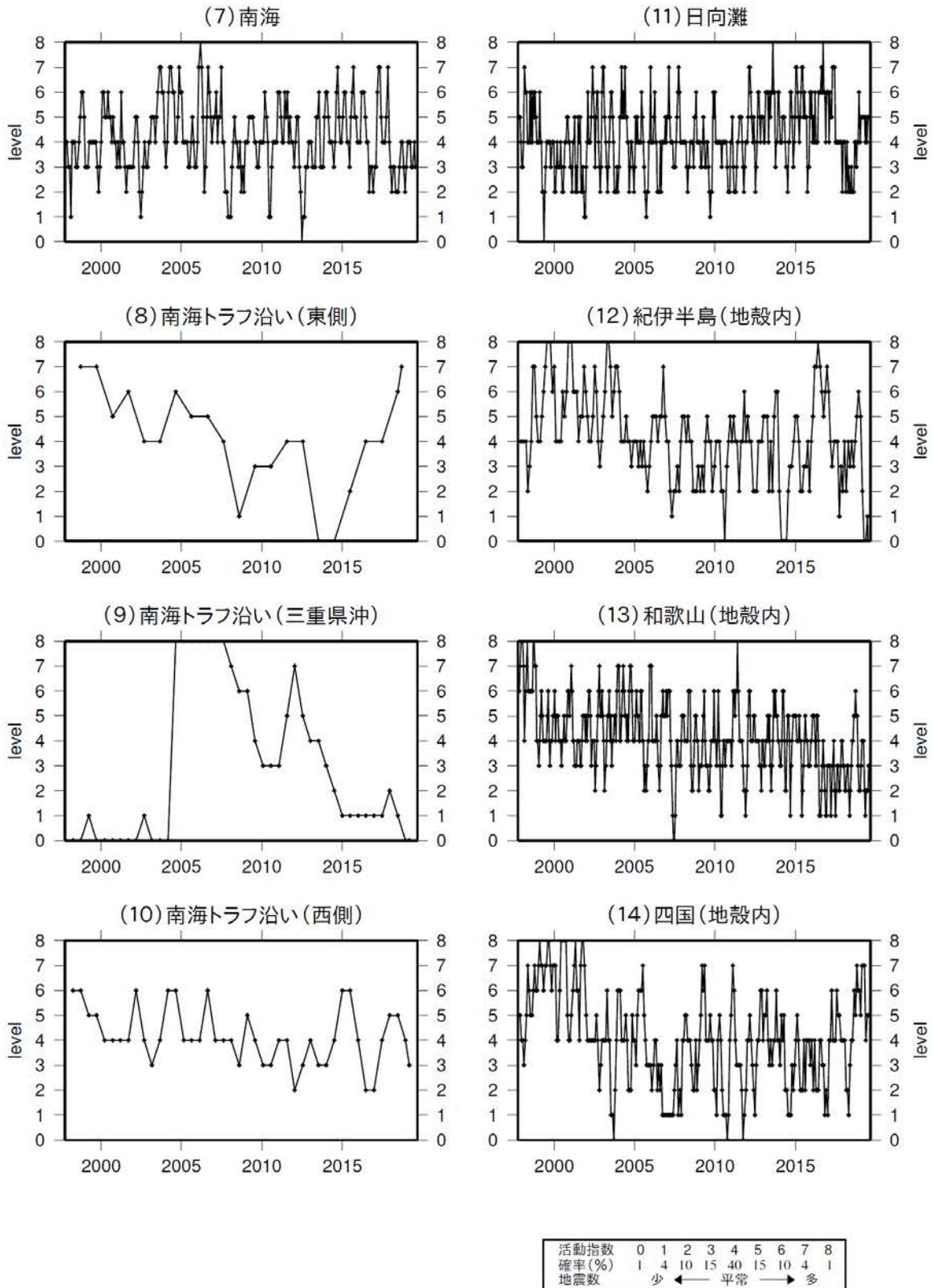
2019年08月31日



気象庁作成

地震活動指数一覧

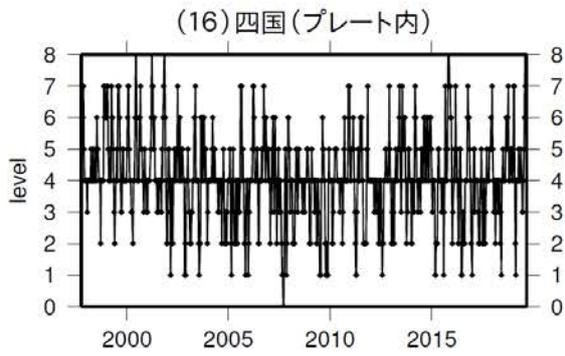
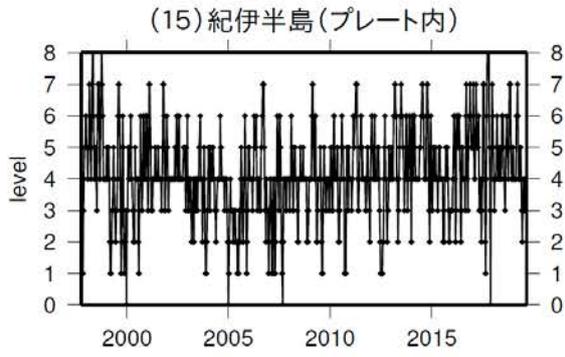
2019年08月31日



気象庁作成

地震活動指数一覧

2019年08月31日



活動指数	0	1	2	3	4	5	6	7	8
確率(%)	1	4	10	15	40	15	10	4	1
地震数		少	←	平常	→				多

気象庁作成

● 日本の主な火山活動

全国月間火山概況（令和元年 8 月）

警報・予報事項に変更のあった火山は以下のとおりです。その他の火山では、警報・予報事項に変更はありません（令和元年 9 月 9 日 14 時現在）。

浅間山では、7 日に山頂火口で小噴火が発生し、今後、山頂火口から概ね 4 km の範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があるとして判断したことから、同日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 1（活火山であることに留意）から 3（入山規制）へ引き上げました。その後、火山活動のさらなる活発化は認められず山頂火口から概ね 2 km を超える範囲に影響を及ぼす中噴火が発生する可能性は低いと判断し、19 日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 3（入山規制）から 2（火口周辺規制）へ引き下げました。

表 1 令和元年 9 月 9 日現在の火山現象に関する警報及び予報の発表状況

特別警報・警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル 3（入山規制）	桜島
	レベル 2（火口周辺規制）	草津白根山（白根山（湯釜付近））、浅間山、箱根山、阿蘇山、口永良部島、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	西之島、硫黄島*
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	福徳岡ノ場*
噴火予報	レベル 1（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、大雪山、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山、岩木山、八甲田山、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、日光白根山、草津白根山（本白根山）、新潟焼山、弥陀ヶ原、焼岳、乗鞍岳、御嶽山、白山、富士山、伊豆東部火山群、伊豆大島、新島、神津島、三宅島、八丈島、青ヶ島、鶴見岳・伽藍岳、九重山、雲仙岳、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、霧島山（新燃岳）、霧島山（御鉢）、薩摩硫黄島
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、恐山、十和田、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳、高原山、男体山、赤城山、榛名山、草津白根山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、御蔵島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福徳堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

※印を付した火山は火山現象に関する海上警報も発表

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>



図1 火山現象に関する警報を発表中の火山

【各火山の活動状況及び警報・予報事項】（8月1日～9月9日）

全国の主な火山の活動状況及び警報・予報事項は以下のとおりです。その他の火山については、火山活動に特段の変化はなく、警報・予報事項に変更はありません。

草津白根山（白根山（湯釜付近））[火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

湯釜付近浅部の火山性地震は少ないものの継続して発生しており、また、湯釜湖水中の高温の火山ガス由来の成分濃度は依然として高い状態です。引き続き、小規模な水蒸気噴火が発生する可能性があります。

湯釜火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。噴火時には、風下側で火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

浅間山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）] ←7日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から3（入山規制）へ引上げ、19日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引下げ

山頂火口で小噴火が7日22時08分に発生し、7日22時30分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から3（入山規制）へ引き上げました。

その後、地震活動や噴煙活動は低調で深部からのマグマ上昇を示す地殻変動は観測されませんでした。また、この噴火による火山灰には、明らかな本質物質（新たなマグマ物質）と考えられる粒子はほとんど含まれていませんでした。これらのことから、火山活動のさらなる活発化は認められず山頂火口から概ね2kmを超える範囲に影響を及ぼす中噴火が発生する可能性は低いと判断し、19日11時00分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）へ引き下げました。

8月7日、25日と小噴火を繰り返しており、今後も小噴火が発生する可能性がありますので、しばらくの間は火山活動の推移に注意する必要があります。山頂火口から概ね2kmの範囲では、引き続き弾道を描いて飛散する大きな噴石や火砕流に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降

るおそれがあるため注意してください。

箱根山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

2019年5月に増加した地震回数は、その後、徐々に減少しているものの、2019年4月より前の少ない状態に戻っていません。GNSS連続観測では、箱根山周辺の基線で伸びが認められています。大涌谷周辺の短い基線では、6月頃から伸びが鈍化ないし停滞していましたが、8月には再び基線の伸びが認められました。また、大涌谷周辺の想定火口域内では活発な噴気活動が続いており、火山活動は高まった状態になっているとみられます。

大涌谷周辺の想定火口域内では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るため注意してください。

西之島 [火口周辺警報（火口周辺危険）]

西之島では、噴火が確認されていた 2018 年 7 月中旬ごろに比べ、火山活動は明らかに低下しています。噴火の可能性は低くなっていますが、火口付近に噴気を確認されており、今後の火山活動の推移に注意が必要です。火口から概ね 500m の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。また、これまでの噴火で流れ出た溶岩は、表面が冷え固まっても、地形的に崩れやすくなっている可能性が考えられますので、火口から概ね 500m を超える範囲でも注意してください。

硫黄島 [火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報]

GNSS連続観測によると、隆起を示す地殻変動がみられています。また、硫黄島の島内は全体に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、過去には各所で小規模な噴火が発生しています。火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では噴火に警戒してください。

福徳岡ノ場 [噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報]

海上保安庁、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福徳岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されるなど、活動はやや活発な状態で経過しています。今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では海底噴火に警戒してください。また、周辺海域では海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

阿蘇山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

阿蘇山では、7月28日に発生した噴火が8月16日まで続きました。18日から23日、25日、29日にも噴火しました。29日に発生した噴火は、その後も継続しています。

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、7月下旬から8月上旬にかけて一時的に非常に多い状態となり、その後もやや多い状態で推移しました。また、中岳第一火口では火映、火炎¹⁾及び赤熱を確認するなど熱活動の高まった状態が続いています。

このように火山活動が高まっていますので、中岳第一火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスに注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

桜島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）]

南岳山頂火口ではごく小規模な噴火が時々発生していますが、噴火活動は低調に経過しています。

広域の GNSS 連続観測では、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部で長期にわたり供給されたマグマが蓄積した状態が継続しており、また、火山ガス（二酸化硫黄）の 1 日あたりの放出量がやや多い状態が続いていることから、南岳山頂火口を中心に、今後も噴火が発生すると考えられます。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

口永良部島【火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）】

口永良部島では、2月3日以降、噴火は観測されていませんが、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、やや多い状態が続いていることから、小規模な噴火の可能性があります。

新岳火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。また、新岳火口から西側の概ね2kmの範囲では、火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

諏訪之瀬島【火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）】

御岳^{おたけ}火口では、今期間、噴火が時々発生しました。

諏訪之瀬島では、今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

（火山の順は日本活火山総覧（第4版）による）

- 1) 高温の噴出物が炎のように見える現象です。

資料 1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ

(1) 主な活火山

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	雌阿寒岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年9月29日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17日噴火予報（平常） 2008年11月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常） 2015年7月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年11月13日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年11月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年12月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	大雪山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年3月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	十勝岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年12月16日噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年2月24日噴火予報（レベル1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	倶多楽	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年10月1日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	有珠山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年6月9日噴火予報（レベル1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	恵山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	東北地方	岩木山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
秋田焼山		噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年7月25日噴火予報（レベル1、平常）
八甲田山		噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
十和田		噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常）
岩手山		噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
秋田駒ヶ岳		噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年10月27日噴火予報（レベル1、平常）
鳥海山		噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年3月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
栗駒山		噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
蔵王山		噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年4月13日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年6月16日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年1月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年3月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）

令和元年 8 月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
東北地方	吾妻山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年10月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年9月15日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月22日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年5月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年6月17日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	安達太良山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	磐梯山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
関東・中部地方	那須岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	日光白根山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	草津白根山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年11月27日噴火予報（活火山であることに留意）
	草津白根山（白根山（湯釜付近））	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常）切替 2014年6月3日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年6月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年4月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年9月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年9月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年11月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	草津白根山（本白根山）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年1月23日火口周辺警報（火口周辺危険） 2018年1月23日火口周辺警報（入山危険） 2018年3月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年11月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	浅間山	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月7日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月15日噴火予報（レベル1、平常） 2015年6月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年8月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年8月7日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2019年8月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	新潟焼山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	弥陀ヶ原	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	焼岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	乗鞍岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年3月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	御嶽山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2014年9月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2014年9月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年1月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年3月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年6月26日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年8月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	白山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年9月2日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）

令和元年 8 月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	富士山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	箱根山	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2015年5月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月30日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年9月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年11月20日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年5月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	伊豆東部火山群	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
伊豆・小笠原諸島	伊豆大島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	新島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	神津島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	三宅島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年3月31日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	八丈島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	青ヶ島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	ベヨネース列岩	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2017年3月24日噴火警報（周辺海域警戒） 2018年10月31日噴火予報（活火山であることに留意）
	西之島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年11月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2014年6月3日火口周辺警報（入山危険） 2014年6月11日火口周辺警報（入山危険）切替 2015年2月24日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年2月17日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年8月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2017年2月14日噴火予報（活火山であることに留意） 2017年4月20日火口周辺警報（入山危険） 2018年6月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2018年7月13日火口周辺警報（入山危険） 2018年10月31日火口周辺警報（火口周辺危険）
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険）
	福徳岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火警報（周辺海域警戒）
九州地方・南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	九重山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	阿蘇山	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2011年5月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年6月20日噴火予報（レベル1、平常） 2013年9月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年10月11日噴火予報（レベル1、平常） 2013年12月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2014年3月12日噴火予報（レベル1、平常） 2014年8月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年9月14日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年11月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年10月8日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2016年12月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年2月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年3月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年3月29日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年4月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）

令和元年 8 月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	雲仙岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	霧島山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年12月6日噴火予報（活火山であることに留意）
	霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2014年10月24日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年5月1日噴火予報（平常） 2016年2月28日火口周辺警報（火口周辺危険） 2016年3月29日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2016年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年1月13日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2017年5月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年10月31日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年2月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年4月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2018年5月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（新燃岳）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月29日噴火予報（レベル1、平常） 2010年3月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月16日噴火予報（レベル1、平常） 2010年5月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年1月26日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2011年1月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年3月22日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年6月26日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2013年10月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年5月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2017年10月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年10月11日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2017年10月15日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2017年10月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月10日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月15日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年6月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年1月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年2月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2018年2月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年3月15日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）

令和元年 8 月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	桜島	火口周辺警報 (レベル3、入山規制)	2007年12月1日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年2月3日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2008年2月20日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年4月8日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2008年7月14日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年7月28日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2008年8月28日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年2月2日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2009年2月19日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年3月2日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2009年3月10日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替 2009年4月24日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年7月19日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2010年9月30日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2010年10月13日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2012年3月12日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替 2012年3月21日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替 2015年8月15日噴火警報 (レベル4、避難準備) 2015年9月1日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2015年11月25日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2016年2月5日火口周辺警報 (レベル3、入山規制)
	薩摩硫黄島	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2012年11月29日噴火予報 (レベル1、平常) 2013年6月4日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2013年7月10日噴火予報 (レベル1、平常) 2017年1月5日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2017年2月24日噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意) 2018年3月19日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2018年4月27日噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)
	口永良部島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年1月25日噴火予報 (レベル1、平常) 2008年9月4日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年10月27日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2009年3月18日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年8月4日噴火予報 (レベル1、平常) 2009年9月27日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年10月30日噴火予報 (レベル1、平常) 2011年12月15日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2012年1月20日噴火予報 (レベル1、平常) 2014年8月3日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2014年8月7日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替 2015年5月29日噴火警報 (レベル5、避難) 2015年10月21日噴火警報 (レベル5、避難) 切替 2016年6月14日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2018年4月18日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2018年8月15日噴火警報 (レベル4、避難準備) 2018年8月29日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2019年6月12日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)

注) 特別警報、警報及び予報の発表履歴欄には、2007年12月1日の火山現象に関する警報・予報及び噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示しています。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示しています。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルを示しています。

（2）その他の活火山

以下の活火山（*印を除く）では 2007 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。また、*印の活火山では、活火山として選定された 2011 年 6 月 7 日に噴火予報（平常）を発表し、**印の活火山では、活火山として選定された後の 2017 年 12 月 5 日に噴火予報（活火山であることに留意）を発表しました。その後、いずれも火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、男体山**、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、アカンダナ山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山

注）2015 年 5 月 18 日から（平常）は（活火山であることに留意）に変更しました。

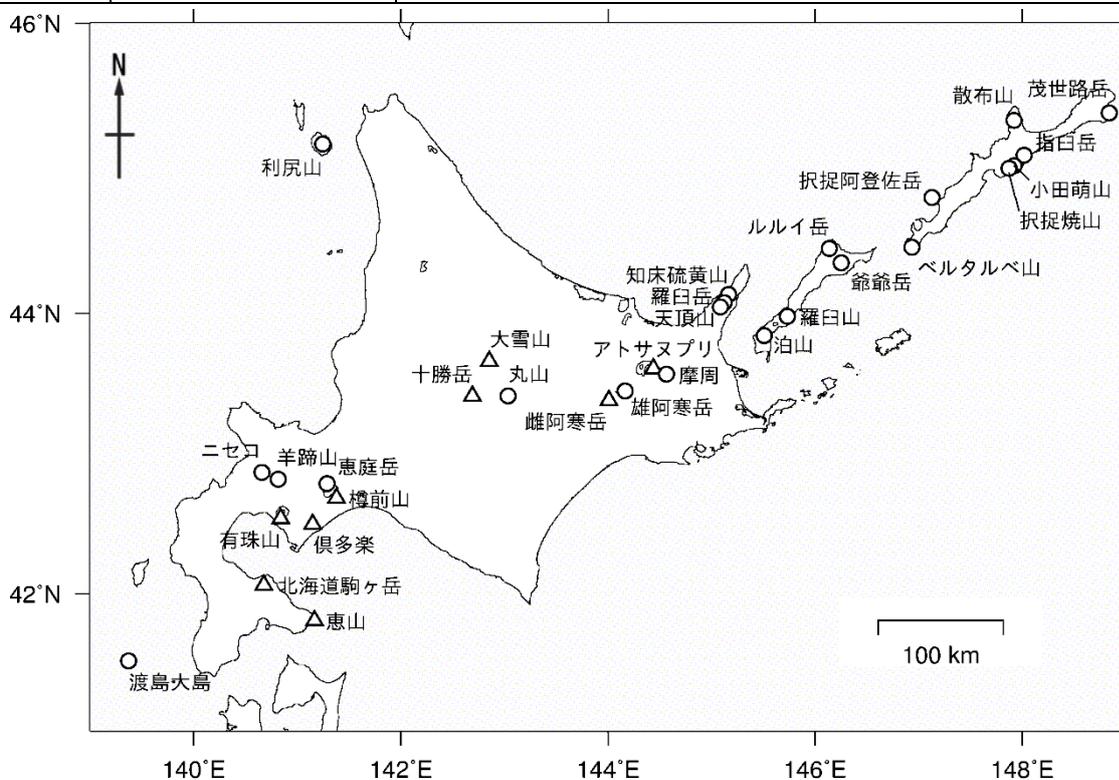
○ 北海道地方の火山活動

管内月間火山概況（令和元年 8月）

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（8月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、大雪山、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山



凡例		
噴火警戒レベル対象火山	▲：噴火警報発表中	△：噴火予報発表中
噴火警戒レベル対象外の火山	●：噴火警報発表中	○：噴火予報発表中

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は札幌管区気象台のホームページ(<https://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)でも閲覧することができます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。
<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省北海道開発局、国土地理院、北海道大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、北海道、地方独立行政法人北海道立総合研究機構地質研究所及び森町のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号 平29情使、第798号）。

各火山の活動状況及び予報警報事項（8月1日～31日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

アトサヌプリ〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

雌阿寒岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

大雪山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十勝岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

2006年以降継続していた山体浅部の膨張を示す地殻変動は、2017年秋以降停滞しています。一方、長期的にみると、噴煙高の高い状態、地熱域の拡大や温度上昇、地震の一時的な増加など、火山活動の活発化を示唆する現象が観測されていますので、今後の活動の推移に注意が必要です。

樽前山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

一方、山頂溶岩ドーム周辺では、1999年以降、高温の状態が続いていますので、突発的な火山ガス等の噴出に注意してください。

恵庭岳〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

倶多楽〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

有珠山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

羊蹄山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

ニセコ〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

北海道駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

恵山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

○ 東北地方の火山活動

管内月間火山概況（令和元年 8 月）

仙台管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（8月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	岩木山、八甲田山、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山
	活火山であることに留意	恐山、十和田、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳

各火山の活動状況及び予報警報事項（8月1日～31日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

岩木山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

八甲田山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十和田〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

秋田焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

岩手山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

秋田駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はありませんでした。

山頂付近では火山性地震の活動がやや活発な状況が引き続き認められ、また、女岳^{めだけ}では地熱活動が続いていることから、今後の火山活動の推移に注意してください。

鳥海山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



栗駒山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

蔵王山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はありませんでした。

蔵王山では、2013年以降、時々、火山性地震や火山性微動が発生し、地殻変動がみられています。今後の火山活動の推移に注意してください。

吾妻山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

吾妻山では熱活動が継続しています。地震活動や地殻変動には特段の変化はなく、火山活動の活発化を示す傾向は認められません。

大穴火口や旧火口周辺では、火山ガスの噴出が認められており、熱活動も継続していることから、火山灰や高温の土砂、熱水等が突発的に噴出する可能性があります。また、硫黄平橋周辺でも火山ガスに注意が必要です。地元自治体の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

安達太良山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

磐梯山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報警報事項に変更はありません。

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は、仙台管区気象台のホームページ (<https://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、東北大学、弘前大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、青森県及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号 平29情使、第798号）。

○ 関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動

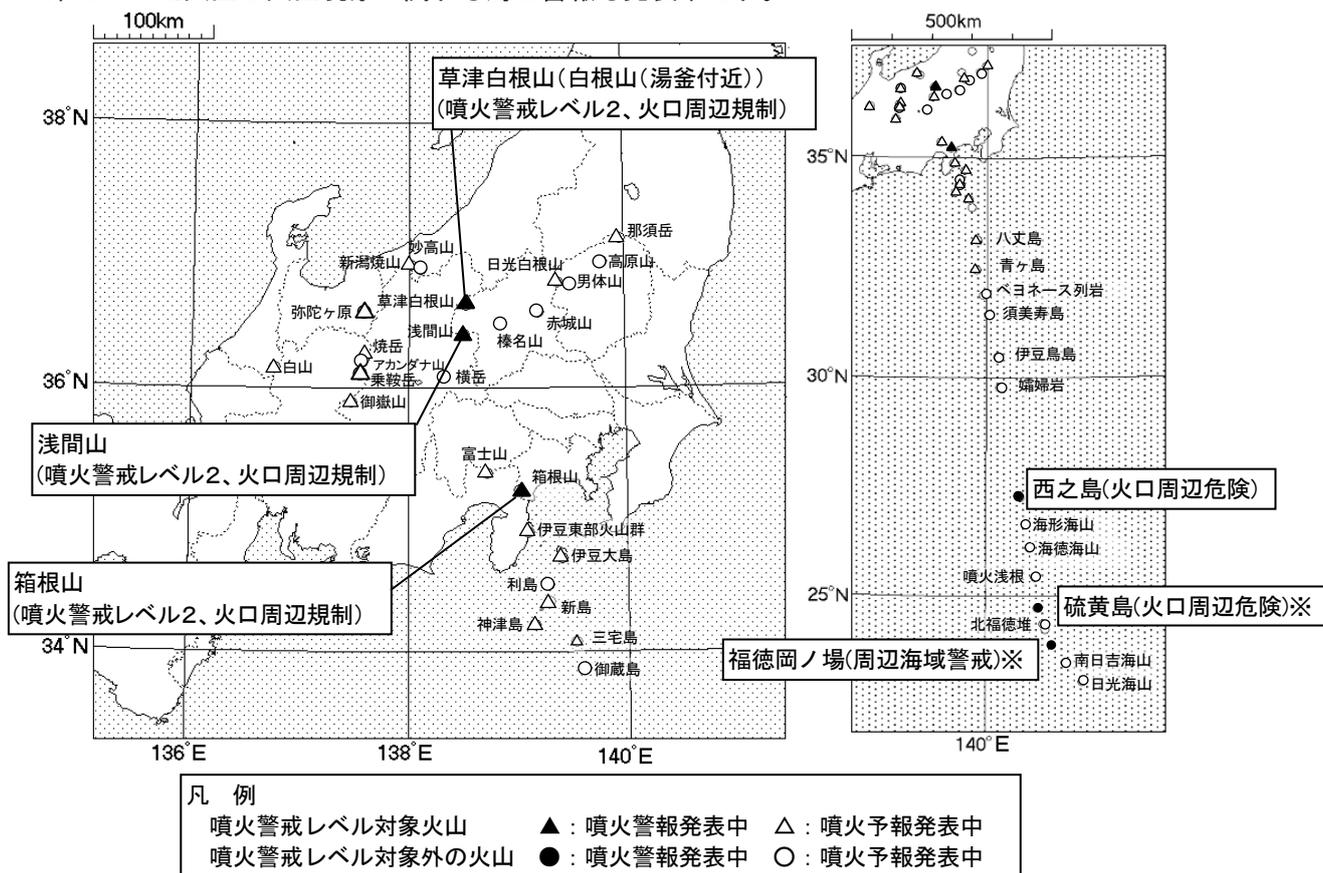
管内月間火山概況（令和元年 8月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（8月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル2（火口周辺規制）	草津白根山（白根山（湯釜付近））、浅間山、箱根山
	火口周辺危険	西之島、硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	福德岡ノ場※
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	那須岳、日光白根山、草津白根山（本白根山）、新潟焼山、弥陀ヶ原、焼岳、乗鞍岳、御嶽山、白山、富士山、伊豆東部火山群、伊豆大島、新島、神津島、三宅島、八丈島、青ヶ島
	活火山であることに留意	高原山、男体山、赤城山、榛名山、草津白根山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、御蔵島、ペヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山

※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中です。



*噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、北陸地方整備局、関東地方整備局、中部地方整備局、国土地理院、海上保安庁、海上自衛隊、東北大学、東京大学、東京工業大学、名古屋大学、京都大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、東京都、新潟県、長野県、岐阜県、神奈川県温泉地学研究所及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 29 情使、第 798 号）。

各火山の活動状況及び予報警報事項（8月1日～31日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

浅間山では7日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から3（入山規制）に引き上げました。その後、19日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制意）から2（火口周辺規制）に引き下げました。

その他の火山では、予報警報事項に変更はありません。

那須岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

日光白根山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

草津白根山（白根山（湯釜付近））〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

湯釜付近浅部の火山性地震は少ないものの継続して発生しており、また、湯釜湖水中の高温の火山ガス由来の成分濃度は依然として高い状態です。引き続き、小規模な水蒸気噴火が発生する可能性があります。

湯釜火口から概ね1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。噴火時には、風下側で火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

草津白根山（本白根山）〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

ただし、2018年1月のように突発的に噴火が発生したことを踏まえ、今後も火口付近では、突発的な噴出に注意する必要があります。地元自治体の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

浅間山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕 ←7日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から3（入山規制）に引上げ、19日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引下げ

山頂火口で小噴火が7日22時08分に発生し、7日22時30分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から3（入山規制）へ引き上げました。

その後、地震活動や噴煙活動は低調で深部からのマグマ上昇を示す地殻変動は観測されませんでした。また、この噴火による火山灰には、明らかな本質物質（新たなマグマ物質）と考えられる粒子はほとんど含まれていませんでした。これらのことから、火山活動のさらなる活発化は認められず山頂火口から概ね2 km を超える範囲に影響を及ぼす中噴火が発生する可能性は低いと判断し、19日11時00分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）へ引き下げました。

8月7日、25日と小噴火を繰り返しており、今後も小噴火が発生する可能性がありますので、しばらくの間は火山活動の推移に注意する必要があります。山頂火口から概ね2 km の範囲では、引き続き弾道を描いて飛散する大きな噴石や火砕流に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

新潟焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

噴煙活動及び地震活動は低下した状態が続いています。

しかしながら、新潟焼山はこれまでも噴気活動の活発化を繰り返しているため、今後の活動の推移に注意してください。

弥陀ヶ原〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

立山地獄谷では熱活動が活発な状態が続いています。2012年6月以降の観測で噴気の拡大・活発化や温度の上昇が確認されていますので、今後の火山活動の推移に注意してください。また、この付近では火山ガスに注意してください。

焼岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

7月27日以降、空振を伴う火山性地震がしばしば観測されています。山頂付近の噴気活動や地殻変

動に現時点では活発化を示す変化は認められていませんが、今回の活動は、山頂付近の微小な地震活動が継続する中で発生しています。今後の火山活動の推移に注意してください。

乗鞍岳〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

御嶽山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

噴煙活動や山頂直下付近の地震活動は緩やかな低下が続いており、火山活動の静穏化の傾向が続いています。

ただし、2014 年に噴火が発生した火口列の一部の噴気孔では、引き続き噴気が勢いよく噴出しています。状況によっては、火山灰等のごく小規模な噴出が突発的に発生する可能性があります。

噴気活動の活発な噴気孔から概ね 500m の範囲では、突発的な火山灰等のごく小規模な噴出に注意が必要です。

地元自治体等が行う立入規制等に留意し、登山する際はヘルメットを持参するなどの安全対策をしてください。

白山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

富士山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

箱根山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）〕

2019 年 5 月に増加した地震回数は、その後、徐々に減少しているものの、2019 年 4 月より前の少ない状態に戻っていません。GNSS 連続観測では、箱根山周辺の基線で伸びが認められています。大涌谷周辺の短い基線では、6 月頃から伸びが鈍化ないし停滞していましたが、8 月には再び基線の伸びが認められました。また、大涌谷周辺の想定火口域内では活発な噴気活動が続いており、火山活動は高まった状態になっているとみられます。

大涌谷周辺の想定火口域内では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るため注意してください。

伊豆東部火山群〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

伊豆大島〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

地殻変動観測によると、短期的な膨張と収縮を繰り返しながら、長期的には地下深部へのマグマ供給によると考えられる島全体の膨張傾向が続いています。ただちに噴火が発生する兆候は認められませんが、長期的には山体の膨張が継続していることから、今後の火山活動の推移に注意してください。

新島〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

神津島〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

三宅島〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山ガス放出量は、2016 年 6 月以降は 1 日あたり数十トン以下に減少しており、少ない状態で経過しています。

主火口における噴煙活動が続いていることから、火口内では火山灰等が突発的に噴出する可能性がありますので、山頂火口内及び主火口から 500m 以内では火山灰噴出に警戒してください。

また、火山ガスの放出がわずかながら継続していることから、風下にあたる地域では火山ガスに注意してください。

八丈島〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

令和元年 8 月 地震・火山月報（防災編）

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

青ヶ島〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

西之島〔火口周辺警報（火口周辺危険）〕

西之島では、噴火が確認されていた 2018 年 7 月中旬ごろに比べ、火山活動は明らかに低下しています。噴火の可能性は低くなっていますが、火口付近に噴気が確認されており、今後の火山活動の推移に注意が必要です。火口から概ね 500m の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。また、これまでの噴火で流れ出た溶岩は、表面が冷え固まっていますが、地形的に崩れやすくなっている可能性が考えられますので、火口から概ね 500m を超える範囲でも注意してください。

硫黄島〔火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報〕

GNSS 連続観測によると、隆起を示す地殻変動がみられています。また、硫黄島の島内は全体に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、過去には各所で小規模な噴火が発生しています。火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では噴火に警戒してください。

福徳岡ノ場〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

海上保安庁、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福徳岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されるなど、活動はやや活発な状態で経過しています。今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では海底噴火に警戒してください。また、周辺海域では海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

○ 近畿・中国・四国地方の火山活動

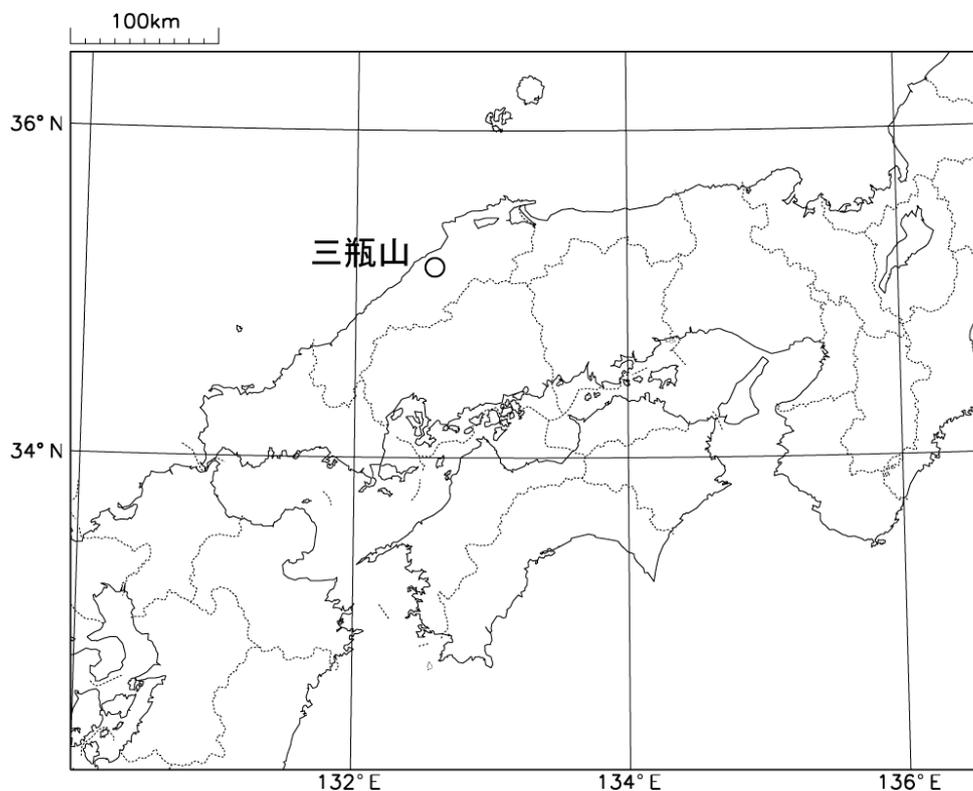
管内月間火山概況（令和元年 8 月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
大阪管区气象台地震火山課

噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況（8月31日現在）

三瓶山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。
<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 29 情使、第 798 号）。

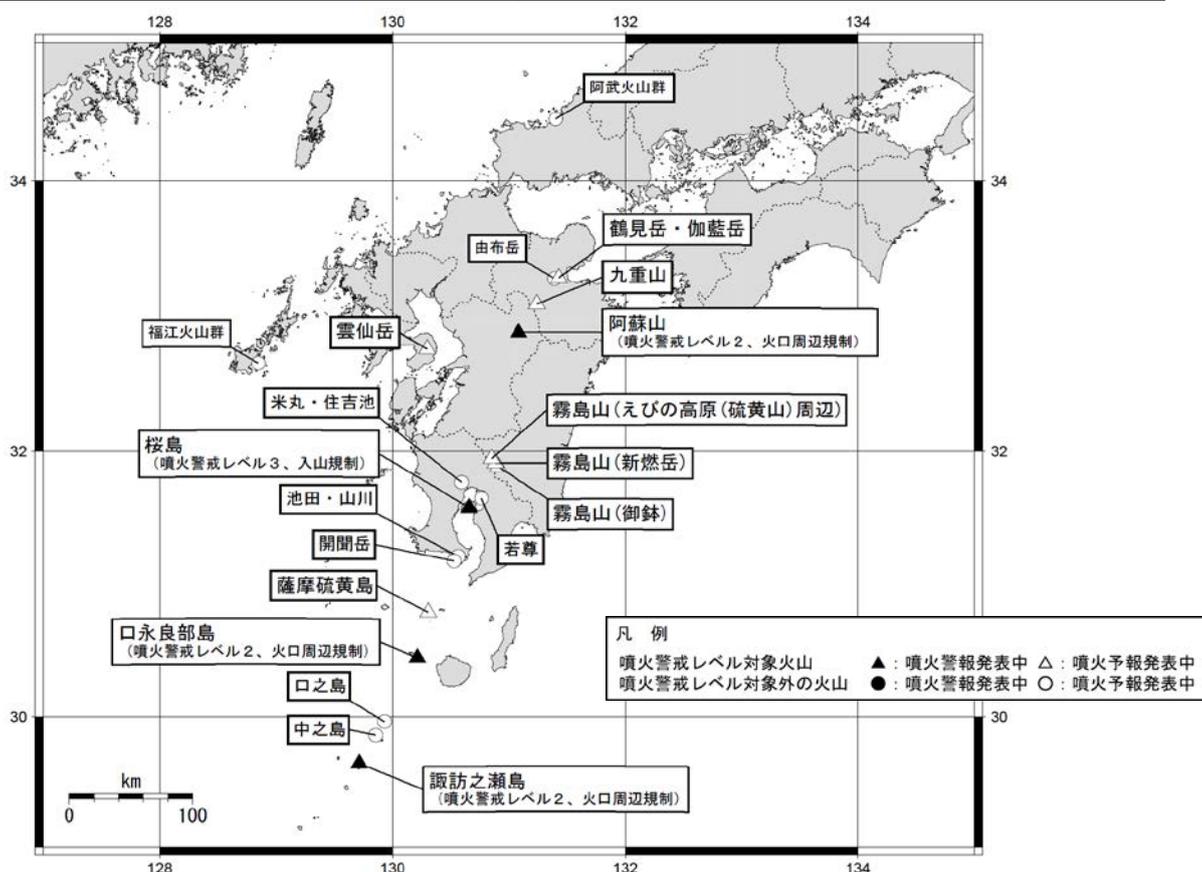
○ 九州地方の火山活動

管内月間火山概況（令和元年 8 月）

福岡管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（8月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	桜島
	レベル2（火口周辺規制）	阿蘇山、口永良部島、諏訪之瀬島
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	鶴見岳・伽藍岳、九重山、雲仙岳、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、霧島山（新燃岳）、霧島山（御鉢）、薩摩硫黄島
	活火山であることに留意	阿武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島



噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は福岡管区気象台ホームページ (<https://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>) や気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、九州地方整備局、国土地理院、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、大分県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、屋久島町、三島村、十島村及び阿蘇火山博物館のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政区・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 29 情使、第 798 号）。

各火山の活動状況及び予報警報事項（8月1日～31日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

鶴見岳・伽藍岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

九重山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山性地震は少ない状態で経過しました。

2014年以降、硫黄山付近の噴気孔群地下の温度上昇を示唆する全磁力の変化がみられており、わずかに火山活動が高まっている可能性があります。今後の火山活動に留意してください。

阿蘇山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

阿蘇山では、7月28日に発生した噴火が8月16日まで続きました。18日から23日、25日、29日にも噴火しました。29日に発生した噴火は、その後も継続しています。

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、7月下旬から8月上旬にかけて一時的に非常に多い状態となり、その後もやや多い状態で推移しました。また、中岳第一火口では火映、火炎¹⁾及び赤熱を確認するなど熱活動の高まった状態が続いています。

このように火山活動が高まっていますので、中岳第一火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスに注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

雲仙岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はありませんが、2010年頃から普賢岳から平成新山直下の深さ1～2kmを震源とする火山性地震が時々発生していますので、今後の火山活動に留意してください。

霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺） [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

硫黄山では活発な噴気活動が続いていますが、火山性地震は少ない状態で経過しています。また、GNSS連続観測では、硫黄山近傍の基線の伸びは2019年2月頃から停滞もしくはわずかに収縮しています。

火山活動に特段の変化は認められませんが、現在活発な噴気活動がみられている硫黄山の西側500mの噴気地帯から概ね100mの範囲、及び硫黄山火口内では、熱水・熱泥等が飛散する可能性がありますので注意してください。また、火山ガスにも注意が必要です。地元自治体等が行う立ち入り規制に従うとともに、火口周辺や噴気孔の近くには留まらないでください。

霧島山（新燃岳） [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

新燃岳では、火山性地震は少ない状態で経過しました。また、GNSS連続観測では、霧島山の深い場所でのマグマの蓄積を示すと考えられる基線の伸びは2019年2月以降停滞しています。

火山活動に特段の変化は認められませんが、活火山であることから、火口内及び西側斜面の割れ目付近では、火山灰の噴出や火山ガス等に注意してください。

なお、これまでの噴火により登山道等が危険な状態となっている可能性があるため、引き続き地元自治体等が行う立入規制等に留意してください。

霧島山（御鉢） [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

桜島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）]

南岳山頂火口ではごく小規模な噴火が時々発生していますが、噴火活動は低調に経過しています。

広域の GNSS 連続観測では、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部で長期にわたり供給されたマグマが蓄積した状態が継続しており、また、火山ガス（二酸化硫黄）の 1 日あたりの放出量がやや多い状態が続いていることから、南岳山頂火口を中心に、今後も噴火が発生すると考えられます。南岳山頂火口及び昭和火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

さつまいおうじま

薩摩 硫黄島 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

火山性地震は少ない状態でした。火山性微動は観測されていません。

火山活動に特段の変化はありませんが、硫黄岳山頂火口では噴煙活動が続いていますので、火口内では火山灰等が噴出する可能性があります。火口付近では火山ガスに注意してください。なお、地元自治体実施している立入規制等に留意してください。

くちのえらぶじま

口永良部島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

口永良部島では、2 月 3 日以降、噴火は観測されていませんが、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、やや多い状態が続いていることから、小規模な噴火の可能性があります。

新岳火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。また、新岳火口から西側の概ね 2 km の範囲では、火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

すわのせじま

諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

御岳 火口では、今期間、噴火が時々発生しました。

諏訪之瀬島では、今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

上記以外の火山の活動状況に変化はなく、予報事項に変更はありません。

- 1) 高温の噴出物が炎のように見える現象です。

○ 沖縄地方の火山活動

管内月間火山概況（令和元年 8 月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
沖縄気象台地震火山課

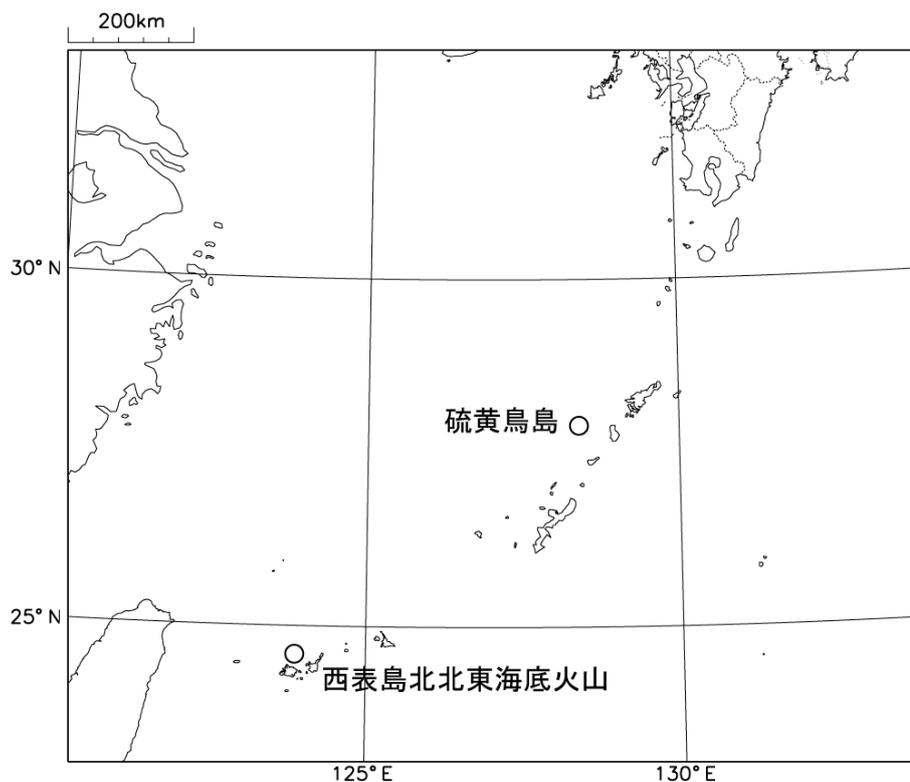
噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況（8月31日現在）

硫黄島 [噴火予報（活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

西表島北北東海底火山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。
<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 29 情使、第 798 号）。

表 令和元年 8 月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報の発表履歴

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報等		概要
		種類、号数等	発表日時	
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	解説情報 第 62 号～70 号	2 日、5 日、9 日、 13 日、16 日、19 日、 23 日、26 日、30 日 16 時 00 分	ごく小規模な噴火の状況。噴煙、火山性地震・微動等火山活動の状況。 現地調査による火山ガス等の状況。
草津白根山 (白根山(湯釜付近))	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 70 号～78 号	2 日、5 日、9 日、 12 日、16 日、19 日、 23 日、26 日、30 日 16 時 00 分	火山性地震、地殻変動、湯釜火口内の状況等火山活動の状況。
浅間山	噴火予報 (噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意)	噴火速報	7 日 22 時 10 分	7 日 22 時 08 分頃、噴火が発生。
		火口周辺警報	7 日 22 時 30 分	7 日に山頂火口で小噴火が発生。山頂火口から概ね 4 km の範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性がある判断し、7 日に火口周辺警報を発表して、噴火警戒レベルを 3 (入山規制) に引上げ。噴煙、火山性地震、地殻変動等火山活動の状況。 現地調査による火山ガス等の状況。
	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	解説情報 第 1 号～15 号	7 日 23 時 40 分 8 日 09 時 00 分 10 時 30 分 16 時 40 分	
			9 日 09 時 00 分 18 時 00 分	
			10 日、11 日、12 日、 13 日、14 日、15 日、 16 日、17 日、18 日 16 時 00 分	
	降灰予報 (速報)	7 日 22 時 15 分	噴火発生から 1 時間以内に予想される降灰量分布や小さな噴石の落下範囲を予想。	
降灰予報 (詳細)	7 日 22 時 37 分	噴火発生から 6 時間先までに予想される降灰量分布や降灰開始時刻を予想。		
箱根山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	火口周辺警報	19 日 11 時 00 分	火山活動のさらなる活発化は認められず、山頂火口から概ね 2 km を超える範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性は低いと判断し、19 日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 2 に引下げ。25 日に発生した小噴火の状況。 噴煙、火山性地震、地殻変動等火山活動の状況。 現地調査による火山ガス等の状況。
		解説情報 第 16 号～22 号	19 日 16 時 20 分 23 日 16 時 00 分 25 日 20 時 00 分 22 時 00 分 26 日 09 時 00 分 16 時 50 分 30 日 16 時 15 分	
阿蘇山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 85 号～93 号	2 日、5 日、9 日、 13 日、16 日、19 日、 23 日、26 日、30 日 16 時 00 分	噴火の状況。 火山性地震・微動、地殻変動等火山活動の状況。 現地調査による火山ガス等の状況。
降灰予報 (詳細)		4 日 21 時 16 分 21 日 21 時 18 分	噴火発生から 6 時間先までに予想される降灰量分布や降灰開始時刻を予想。	

令和元年 8 月 地震・火山月報（防災編）

口永良部島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 78 号～86 号	2 日、5 日、9 日、 13 日、16 日、19 日、 23 日、26 日、30 日 16 時 00 分	噴煙、火山性地震等火山活動の状況。 現地調査による火山ガス等の状況。
諏訪之瀬島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 31 号～36 号	2 日、5 日、9 日、 16 日、23 日、30 日 16 時 00 分	噴火の状況。 噴煙、火山性地震等火山活動の状況。
焼岳	噴火予報 (噴火警戒レベル 1、活火山であるこ とに留意)	解説情報 第 5 号～8 号	1 日、2 日 16 時 00 分 10 日 09 時 00 分 21 日 09 時 00 分	空振を伴う低周波地震の発生状況や表面 現象等の火山活動の状況。

注 1) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。

注 2) 草津白根山（白根山（湯釜付近））、阿蘇山、桜島、口永良部島、諏訪之瀬島においては、毎日 02 時から 3 時間毎に 8 回降灰予報（定時）を発表している。浅間山においては、8 日以降、毎日 02 時から 3 時間毎に 8 回降灰予報（定時）を発表している。

● 世界の主な地震

令和元年（2019年）8月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0以上または被害を伴った地震の震央分布を図1に示す。また、その震源要素等を表1に示す。

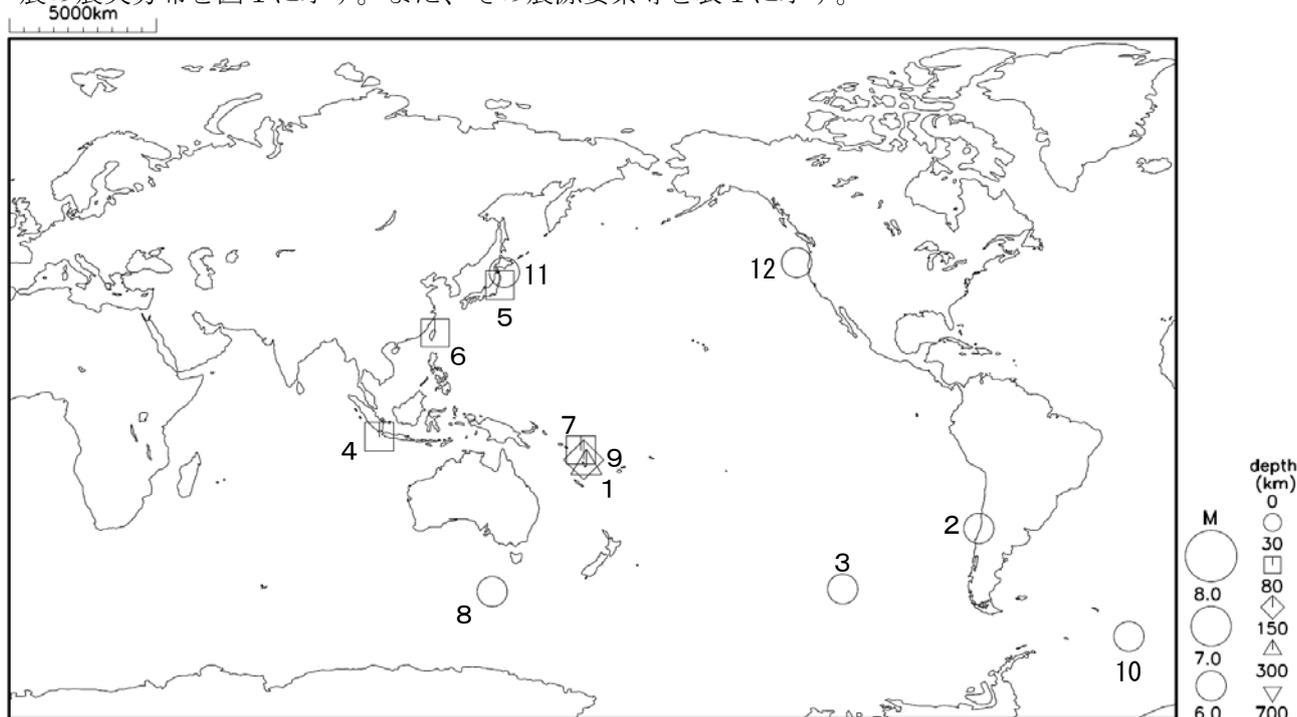


図1 令和元年（2019年）8月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震央分布

表1 令和元年（2019年）8月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北西	遠地
1	08月01日00時02分	S16° 11.9′	E167° 59.8′	181			6.6	バヌアツ諸島			
2	08月02日03時28分	S34° 14.2′	W 72° 18.4′	25			6.8	チリ中部沿岸			
3	08月02日14時50分	S49° 43.8′	W113° 49.9′	10			6.0	東太平洋海膨南部			
4	08月02日21時03分	S 7° 16.0′	E104° 49.4′	53			6.9	インドネシア、スマトラ南西方			
5	08月04日19時23分	N37° 42.4′	E141° 37.9′	45		6.4	(6.3)	福島県沖	負傷者1人		
6	08月08日06時28分	N24° 22.4′	E121° 52.1′	38		6.4	(5.9)	台湾付近			
7	08月20日22時03分	S11° 21.2′	E166° 17.9′	37			6.0	サンタクルーズ諸島			
8	08月21日23時28分	S50° 19.1′	E139° 15.2′	10			6.0	インド-南極海嶺西部			
9	08月25日00時51分	S14° 19.1′	E167° 10.4′	115			6.0	バヌアツ諸島			
10	08月28日08時55分	S60° 11.7′	W 26° 33.8′	16			6.6	サウスサンドウィッチ諸島			
11	08月29日08時46分	N40° 58.8′	E143° 01.6′	21		6.1	(6.0)	青森県東方沖			
12	08月30日00時07分	N43° 32.6′	W127° 52.5′	5			6.3	米国、オレゴン州沖			

- ・震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Earthquake Archive Search & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による (2019年8月31日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mj の欄に記載したマグニチュード、Mw の欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは、気象庁による。
- ・被害状況は、出典のないものはOCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所)、国内は、総務省消防庁による。
- ・地震発生時刻は日本時間 [日本時間=協定世界時+9時間] である。
- ・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報 (NWPTA) (※) を発表したことを表す。
※気象庁ホームページの「国際的な津波監視体制」(<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/joho/nwpta.html>) 参照。
- ・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。
- ・深さに「*」を付したものは、気象庁による CMT 解のセントロイドの深さを表す。

● 世界の主な火山活動

令和元年（2019年）8月に顕著な被害を伴った噴火が報告された主な火山（日本を除く）*は以下のとおり。



図 令和元年（2019年）8月に顕著な被害を伴った噴火が発生した主な火山（日本を除く）*

* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ“Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report” (http://www.volcano.si.edu/reports_weekly.cfm) による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。

● 付録 1. 震度 1 以上を観測した地震の表

※ 震度データは、震度データベース検索 [気象庁ホームページ: <https://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.php>] で確認できる。震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ: <https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/bulletin/index.html>] に掲載する。

※ 震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度（平成 25 年 12 月 地震・火山月報（防災編）の付録 2 参照）を記す。なお、* のついている地点は、地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点、（注）を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に「D」を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。また、本文中で震源の深さに CMT 解による深さを採用している場合があり、本表の震源決定による深さと異なる場合がある。震度 3 以上を観測した地震については、震源要素を太字で表示する。

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
1	1 19 31	石狩地方中部 北海道 2 札幌手稲区前田* 札幌東区元町* 1 札幌北区篠路* 札幌厚別区もみじ台* 札幌南区石山*	43° 02.6' N	141° 13.5' E	8km	M: 3.1 札幌北区新琴似* 札幌北区太平* 札幌白石区北郷* 札幌豊平区月寒東* 札幌南区定山溪温泉* 札幌西区琴似* 札幌中央区北 2 条* 江別市緑町* 札幌清田区平岡*
2	1 22 52	択捉島付近 北海道 1 別海町常盤	44° 45.3' N	147° 50.9' E	179km	M: 4.6 根室市牧の内*
3	3 09 08	新潟県中越地方 新潟県 長野県 1 津南町下船渡* 1 栄村北信*	36° 59.1' N	138° 37.4' E	7km	M: 2.4
4	3 14 23	宮古島近海 沖縄県 1 宮古島市下地*	24° 46.3' N	125° 14.2' E	44km	M: 3.1
5	4 03 04	岩手県沿岸北部 岩手県 3 大船渡市大船渡町* 2 山田町大沢* 奥州市江刺* 盛岡市薮川* 北上市相去町* 花巻市石鳥谷町* 宮古市茂市* 宮古市区界* 二戸市浄法寺町* 1 久慈市川崎町* 葛巻町葛巻木* 釜石市只越町* 一戸町高善寺* 軽米町軽米* 田野畑村田野畑* 西和賀町沢内川舟* 岩手町五日市* 一関市竹山町* 青森県 2 階上町道仏* 1 八戸市湊町* 東通村砂子又沢内* 宮城県 2 気仙沼市唐桑町* 石巻市桃生町* 1 栗原市一迫* 大崎市松山* 栗原市築館* 大崎市鹿島台* 名取市増田* 石巻市前谷地* 宮城美里町北浦* 大崎市古川大崎* 仙台若林区遠見塚* 秋田県 1 大仙市高梨* 秋田美郷町六郷東根*	39° 39.8' N	141° 30.7' E	73km	M: 4.4 住田町世田米* 遠野市青笹町* 一関市大東町* 宮古市田老* 奥州市宮守町* 山田町八幡町* 一関市室根町* 釜石市中妻町* 一関市千厩町* 矢巾町南矢幅* 宮古市川井* 奥州市胆沢* 八幡平市野駄* 宮古市五月町* 大船渡市盛町* 奥州市衣川* 一関市東山町* 一関市藤沢町* 盛岡市山王町* 宮古市鉾ヶ崎* 花巻市東和町* 盛岡市馬場町* 陸前高田市高田町* 盛岡市洪民* 西和賀町川尻* 釜石市鶴飼* 野田村野田* 宮古市長沢* 岩泉町岩泉* 普代村銅屋* 八幡平市叭田* 岩手洋野町種市* 田野畑村役場* 九戸村伊保内* 紫波町紫波中央駅前* 岩泉町大川* 奥州市水沢大鐘町* 奥州市水沢佐倉河* 久慈市長内町* 一関市花泉町* 葛巻町役場* 岩手洋野町大野* 葛巻町消防分署* 二戸市福岡* 一関市川崎町* 青森南部町苦米地* 八戸市内丸* 八戸市南郷* 三戸町在府小路町* 五戸町倉石中市* 八戸市島守* 南三陸町志津川* 気仙沼市笹が陣* 登米市栗駒* 登米市中田町* 登米市石越町* 登米市東和町* 岩沼市桜* 栗原市若柳* 登米市迫町* 大崎市田尻* 亶理町下小路* 石巻市北上町* 東松島市矢本* 南三陸町歌津* 大崎市古川三日町* 石巻市本吉町津谷* 色麻町四籠* 登米市南方町* 仙台宮城野区苦竹* 栗原市金成* 登米市米山町* 宮城加美町小野田* 大衡村大衡* 仙台泉区将監* 角田市角田* 登米市登米町* 栗原市鶯沢* 角田市角田* 登米市津山町* 石巻市泉町* 仙台宮城野区五輪* 大仙市刘和野* 仙北市角館町東勝楽丁* 仙北市角館町小勝田* 大仙市北長野* 仙北市田沢湖生保内上清水* 大仙市神宮寺*
6	4 14 44	新潟県下越沖 新潟県 1 村上市府屋*	38° 31.1' N	139° 27.5' E	8km	M: 2.4
7	4 16 16	大阪府北部 大阪府 1 枚方市大垣内*	34° 50.0' N	135° 37.3' E	10km	M: 2.6

令和元年 8 月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模	
8	4 19 23	福島県沖 宮城県	37° 42.4' N	141° 37.9' E	45km	M: 6.4	
		5弱 石巻市桃生町*4.5 亘理町下小路*4.5 4 岩沼市桜*4.3 大河原町新南*4.3 東松島市矢本*4.3 丸森町鳥屋*4.2 蔵王町円田*4.2 登米市迫町*4.2 角田市角田*4.0 大崎市田尻*3.9 仙台青葉区作並*3.9 名取市増田*3.9 宮城美里町木間塚*3.9 宮城川崎町前川*3.9 石巻市前谷地*3.8 塩竈市旭町*3.8 柴田町船岡*3.8 仙台空港*3.7 登米市豊里町*3.7 石巻市大街道南*3.7 村田町村田*3.7 登米市米山町*3.7 登米市南方町*3.7 七ヶ浜町東宮浜*3.7 利府町利府*3.7 松島町高城*3.6 仙台若林区遠見塚*3.6 涌谷町新町裏*3.6 大衡村大衡*3.6 石巻市相野谷*3.6 大崎市古川三日町*3.6 大崎市古川旭*3.6 大崎市松山*3.6 登米市中田町*3.5 大崎市三本木*3.5 仙台宮城野区苦竹*3.5 色麻町四籠*3.5 東松島市小野*3.5 登米市登米町*3.5 3 宮城加美町中新田*3.4 栗原市若柳*3.4 大崎市鹿島台*3.4 仙台青葉区落合*3.4 富谷市富谷*3.4 白石市亘理町*3.3 丸森町上滝*3.3 栗原市築館*3.3 仙台宮城野区五輪*3.3 仙台太白区山田*3.3 大郷町粕川*3.3 栗原市志波姫*3.3 大和町吉岡*3.2 栗原市瀬峰*3.2 栗原市高清水*3.2 大崎市古川大崎*3.2 仙台区区将監*3.2 栗原市一迫*3.1 登米市石越町*3.1 宮城美里町北浦*3.1 仙台青葉区雨宮*3.1 栗原市栗駒*3.0 栗原市金成*3.0 南三陸町志津川*3.0 仙台青葉区大倉*3.0 石巻市北上町*3.0 多賀城市中央*2.9 宮城加美町小野田*2.9 石巻市泉町*2.8 登米市東和町*2.8 石巻市鮎川浜*2.7 七ヶ宿町関*2.7 気仙沼市赤岩*2.7 気仙沼市笹か陣*2.7 宮城加美町宮崎*2.7 気仙沼市唐桑町*2.6 女川町女川浜*2.6 登米市津山町*2.5 栗原市篤沢*2.5 栗原市花山*2.5 大崎市鳴子*2.5 大崎市岩出山*2.5 2 石巻市大瓜*2.4 石巻市雄勝町*2.3 南三陸町歌津*2.2 気仙沼市本吉町津谷*2.1 気仙沼市本吉町西川内*1.8					
		福島県	5弱 双葉町両竹*4.6 4 相馬市中村*4.4 檜葉町北田*4.4 新地町谷地小屋*4.4 福島広野町下北迫大谷地原*4.3 南相馬市小高区*4.3 浪江町幾世橋*4.2 いわき市平梅本*4.2 国見町藤田*4.1 天栄村下松本*4.1 大熊町大川原*4.1 白河市東*4.0 二本松市油井*4.0 福島広野町下北迫苗代替*4.0 郡山市朝日*4.0 泉崎村泉崎*4.0 古殿町松川新桑原*4.0 田村市滝根町*4.0 飯館村伊丹沢*4.0 いわき市三和町*4.0 桑折町東大隅*3.9 鏡石町不時沼*3.9 玉川村小高*3.9 白河市新白河*3.9 南相馬市鹿島区西町*3.9 福島伊達市霊山町*3.9 須賀川市八幡山*3.9 富岡町本岡*3.8 川内村上川内早渡*3.8 福島伊達市保原町*3.8 川俣町五百田*3.8 田村市大越町*3.8 福島市五老内町*3.8 福島伊達市梁川町*3.8 郡山市湖南町*3.7 中島村滑津*3.7 矢吹町一本木*3.7 浅川町浅川*3.7 田村市常葉町*3.7 福島伊達市前川原*3.7 福島市松木町*3.7 本宮市白岩*3.7 いわき市平四ツ波*3.6 白河市表郷*3.6 須賀川市長沼支所*3.6 須賀川市岩瀬支所*3.6 川内村上川内小山平*3.6 須賀川市八幡町*3.6 大熊町野上*3.6 二本松市金色*3.6 二本松市針道*3.6 南相馬市原町区三島町*3.6 本宮市本宮*3.6 郡山市開成*3.6 南相馬市原町区本町*3.5 大玉村南小屋*3.5 田村市船引町*3.5 白河市郭内*3.5 3 福島市飯野町*3.4 大玉村玉井*3.4 西郷村熊倉*3.4 棚倉町棚倉中居野*3.4 小野町小野新町*3.4 福島伊達市月館町*3.4 川内村下川内*3.4 猪苗代町千代田*3.4 三春町大町*3.3 小野町中通*3.3 いわき市小名浜*3.3 いわき市錦町*3.3 葛尾村落合落合*3.3 南相馬市鹿島区栲窪*3.3 福島市桜木町*3.3 白河市八幡小路*3.3 猪苗代町城南*3.2 石川町長久保*3.2 白河市大信*3.2 平田村永田*3.1 会津美里町新鶴庁舎*3.0 瑞町瑞*3.0 会津坂下町市中三番甲*2.9 棚倉町棚倉館ヶ丘*2.8 矢祭町東館*2.8 古殿町松川横川*2.7 矢祭町戸塚*2.7 湯川村清水田*2.7 二本松市小浜*2.6 磐梯町磐梯*2.5 2 会津若松市東栄町*2.4 天栄村湯本支所*2.3 鮫川村赤坂中野*2.3 喜多方市塩川町*2.3 西会津町登世島*2.3 会津美里町本郷庁舎*2.3 下郷町高岡*2.2 柳津町柳津*2.2 会津若松市材木町*2.2 喜多方市高郷町*2.2 会津若松市北会津町*2.1 南会津町田島*2.0 西会津町野沢*2.0 会津美里町高田庁舎*2.0 喜多方市御清水*1.9 下郷町塩生*1.9 南会津町界*1.8 会津若松市河東町*1.8 喜多方市山都町*1.8 只見町只見*1.7 喜多方市熱塩加納町*1.7 喜多方市松山町*1.6 只見町黒谷*1.6 福島昭和村下中津川*1.6 北塩原村北山*1.5 1 南会津町古町*1.4 柳津町大成沢*1.3 三島町宮下*1.2 福島金山町川口*1.0 南会津町滝原*1.0 檜枝岐村上河原*0.7 4 常陸太田市金井町*3.7 3 常陸太田市高柿町*3.4 笠間市石井*3.4 笠間市中央*3.4 大子町池田*3.4 筑西市舟生*3.4 笠間市笠間*3.3 那珂市瓜連*3.3 水戸市内原町*3.2 日立市助川小学校*3.2 日立市十王町友部*3.2 茨城町小堤*3.2 城里町石塚*3.2 小美玉市上玉里*3.2 石岡市八郷*3.2 桜川市真壁*3.2 常総市新石下*3.2 城里町阿波山*3.1 北茨城市中郷町*3.1 土浦市常名*3.1 土浦市藤沢*3.1 石岡市柿岡*3.1 石岡市若宮*3.1 鉾田市汲上*3.1 東海村東海*3.1 常陸大宮市野口*3.1 那珂市福田*3.1 坂東市山*3.0 行方市山田*3.0 行方市麻生*3.0 常陸大宮市北町*3.0 常陸大宮市山方*3.0 つくばみらい市福田*3.0 高萩市本町*3.0 北茨城市磯原町*3.0 笠間市下郷*3.0 水戸市千波町*3.0 取手市井野*3.0 坂東市馬立*3.0 高萩市安良川*2.9 つくば市天王台*2.9 境町旭町*2.9 稲敷市結佐*2.9 水戸市金町*2.9 小美玉市小川*2.9 小美玉市堅倉*2.9 水戸市栗崎町*2.9 常総市水海道諏訪町*2.9 つくばみらい市加藤*2.9 ひたちなか市南神敷台*2.9 日立市役所*2.8 城里町小勝*2.8 稲敷市伊佐津*2.8 ひたちなか市東石川*2.8 桜川市岩瀬*2.8 常陸大宮市中富町*2.8 桜川市羽田*2.8 龍ヶ崎市役所*2.8 下妻市鬼怒*2.8 つくば市研究学園*2.8 美浦村受領*2.8 阿見町中央*2.8 茨城古河市仁連*2.7 鉾田市鉾田*2.7 下妻市本城町*2.7 取手市藤代*2.7 常陸太田市大中町*2.7 茨城鹿嶋市鉢形*2.7 潮来市辻*2.7 河内町源清田*2.7 五霞町小福田*2.7 筑西市門井*2.7 かすみがうら市上土田*2.7 神栖市溝口*2.7 常陸大宮市小瀬*2.6 取手市寺田*2.6 かすみがうら市大和田*2.6 つくば市小茎*2.6 茨城鹿嶋市宮中*2.6 鉾田市造谷*2.6 潮来市堀之内*2.6 常陸太田市町田町*2.6 土浦市田中*2.6 茨城古河市下大野*2.6 常陸大宮市高部*2.5 守谷市大柏*2.5 坂東市岩井*2.5 結城市結城*2.5 稲敷市江戸崎甲*2.5 稲敷市役所*2.5				
		茨城県					

令和元年 8 月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>稲敷市須賀津* = 2.5 筑西市海老ヶ島* = 2.5 行方市玉造* = 2.5</p> <p>2 茨城古河市長谷町* = 2.4 八千代町菅谷* = 2.4 坂東市役所* = 2.4 筑西市下中山* = 2.4 常陸太田市町屋町* = 2.3 牛久市中央* = 2.3 利根町布川* = 2.3 ひたちなか市山ノ上町* = 2.1 神栖市波崎* = 2.1 大洗町磯浜町* = 1.9</p> <p>4 高根沢町石末* = 4.0 大田原市湯津上* = 3.9 那須町寺子* = 3.6 栃木那珂川町小川* = 3.6</p> <p>3 市貝町市塙* = 3.3 大田原市黒羽田町* = 3.1 大田原市本町* = 3.1 那須塩原市鍋掛* = 3.1 宇都宮市中岡本町* = 3.1 那須烏山市中央* = 3.1 那須塩原市あたご町* = 3.0 宇都宮市明保野町* = 3.0 芳賀町祖母井* = 3.0 那須烏山市大金* = 3.0 栃木那珂川町馬頭* = 3.0 真岡市石島* = 2.9 真岡市田町* = 2.8 益子町益子* = 2.8 栃木さくら市喜連川* = 2.8 那須塩原市共壘社* = 2.8 鹿沼市晃望台* = 2.8 矢板市本町* = 2.7 栃木市岩舟町静* = 2.7 鹿沼市今宮町* = 2.7 小山市神鳥谷* = 2.7 真岡市荒町* = 2.7 下野市田中* = 2.7 茂木町茂木* = 2.6 栃木さくら市氏家* = 2.6 那須烏山市役所* = 2.5 日光市芹沼* = 2.5 宇都宮市中里町* = 2.5 足利市大正町* = 2.5 佐野市高砂町* = 2.5</p> <p>2 栃木市藤岡町藤岡* = 2.4 佐野市葛生東* = 2.4 小山市中央町* = 2.4 野木町丸林* = 2.4 下野市笹原* = 2.4 日光市瀬川* = 2.3 那須塩原市臺沼* = 2.3 那須塩原市塩原庁舎* = 2.3 宇都宮市旭* = 2.3 栃木市大平町富田* = 2.3 茂木町北高岡天矢場* = 2.3 壬生町通町* = 2.3 下野市大松山* = 2.3 佐野市田沼町* = 2.2 鹿沼市口栗野* = 2.2 塩谷町玉生* = 2.2 那須塩原市中塩原* = 2.2 宇都宮市塙田* = 2.2 栃木市旭町* = 2.2 栃木市万町* = 2.1 上三川町しらさぎ* = 2.1 日光市鬼怒川温泉大原* = 2.1 栃木市都賀町家中* = 2.0 栃木市西方町本城* = 2.0 日光市今市本町* = 2.0 日光市足尾町中才* = 1.8 日光市藤原庁舎* = 1.8 日光市御幸町* = 1.8 佐野市中町* = 1.8 日光市中宮祠* = 1.6 日光市湯元* = 1.5 日光市足尾町通洞* = 1.5</p> <p>1 日光市黒部* = 1.4</p> <p>3 階上町道仏* = 3.3 八戸市南郷* = 2.7 青森南部町苦米地* = 2.5</p> <p>2 六戸町大落瀬* = 2.4 五戸町古館* = 2.4 おいらせ町中下田* = 2.4 おいらせ町上明堂* = 2.4 東北町上北南* = 2.2 七戸町森ノ上* = 2.2 七戸町七戸* = 2.0 八戸市内丸* = 1.9 五戸町倉石中市* = 1.8 十和田市西二番町* = 1.8 野辺地町野辺地* = 1.7 三沢市桜町* = 1.7 野辺地町田狭沢* = 1.7 三戸町在府小路町* = 1.6 田子町田子* = 1.6 八戸市湊町* = 1.6 むつ市金曲* = 1.5 東通村砂子又沢内* = 1.5 青森市花園* = 1.5 青森市中央* = 1.5 外ヶ浜町蟹田* = 1.5 平川市猿賀* = 1.5</p> <p>1 青森市浪岡* = 1.4 東北町塔ノ沢山* = 1.4 むつ市金谷* = 1.4 横浜町寺下* = 1.3 蓬田村蓬田* = 1.3 青森南部町沖田面* = 1.3 新郷村戸来* = 1.3 つがる市柏* = 1.3 東通村砂子又蒲谷地* = 1.3 藤崎町水木* = 1.3 つがる市稲垣町* = 1.2 藤崎町西豊田* = 1.2 鶴岡町鶴岡* = 1.2 むつ市川内町* = 1.2 田舎館村田舎館* = 1.2 平川市柏木町* = 1.2 十和田市奥瀬* = 1.2 つがる市木造* = 1.2 五所川原市敷島町* = 1.2 八戸市島守* = 1.1 板柳町板柳* = 1.1 黒石市市ノ町* = 1.0 大間町大間* = 1.0 六ヶ所村尾野* = 1.0 今別町今別* = 0.9 西目屋村田代* = 0.8 つがる市車力町* = 0.8 中泊町中里* = 0.8 五所川原市金木町* = 0.8 平内町東田沢* = 0.7 弘前市五所* = 0.7 つがる市森田町* = 0.7 むつ市脇野沢* = 0.7 外ヶ浜町平箱* = 0.7 六ヶ所村出戸* = 0.6 東通村白糠* = 0.5</p> <p>3 一関市千厩町* = 3.3 普代村銅屋* = 3.2 一関市室根町* = 3.2 一関市花泉町* = 3.2 矢巾町南矢幅* = 3.1 一関市藤沢町* = 3.0 野田村野田* = 2.9 花巻市東和町* = 2.9 盛岡市藪川* = 2.9 奥州市胆沢* = 2.8 奥州市前沢* = 2.8 北上市相去町* = 2.7 盛岡市山王町* = 2.7 奥州市衣川* = 2.7 一関市東山町* = 2.7 大船渡市大船渡町* = 2.7 住田町世田米* = 2.7 奥州市江刺* = 2.6 一関市竹山町* = 2.6 釜石市中妻町* = 2.6 花巻市材木町* = 2.6 平泉町平泉* = 2.6 八幡平市田頭* = 2.5 宮古市田老* = 2.5 金ヶ崎町西根* = 2.5 遠野市青笹町* = 2.5 紫波町紫波中央駅前* = 2.5 滝沢市鶴飼* = 2.5 花巻市石鳥谷町* = 2.5</p> <p>2 盛岡市渋民* = 2.4 北上市柳原町* = 2.4 奥州市水沢大鐘町* = 2.4 奥州市水沢佐倉河* = 2.3 花巻市大迫町* = 2.3 久慈市川崎町* = 2.3 遠野市宮守町* = 2.3 一関市大東町* = 2.3 八幡平市野駄* = 2.3 八幡平市大更* = 2.2 一関市川崎町* = 2.2 宮古市区界* = 2.2 久慈市枝成沢* = 2.2 陸前高田市高田町* = 2.1 岩手町五日市* = 2.1 宮古市五月町* = 2.0 山田町八幡町* = 2.0 山田町大沢* = 2.0 釜石市只越町* = 2.0 八幡平市吹田* = 1.9 宮古市川井* = 1.9 軽米町軽米* = 1.9 盛岡市馬場町* = 1.9 二戸市浄法寺町* = 1.9 雫石町千刈田* = 1.9 大船渡市盛町* = 1.9 一戸町高善寺* = 1.9 久慈市長内町* = 1.9 二戸市福岡* = 1.8 岩手洋野町種市* = 1.8 大船渡市猪川町* = 1.8 西和賀町沢内川舟* = 1.8 宮古市鍛ヶ崎* = 1.7 二戸市石切所* = 1.6 大槌町小鎚* = 1.6 西和賀町川尻* = 1.6 葛巻町葛巻元木* = 1.6 九戸村伊保内* = 1.6 雫石町西根上駒木野* = 1.5 宮古市長沢* = 1.5 西和賀町沢内太田* = 1.5 岩泉町岩泉* = 1.5 宮古市茂市* = 1.5 花巻市大迫総合支所* = 1.5</p> <p>1 田野畑村田野畑* = 1.3 葛巻町消防分署* = 1.3 葛巻町役場* = 1.3 岩手洋野町大野* = 1.2 岩泉町大川* = 1.1 田野畑村役場* = 1.0</p> <p>3 中山町長崎* = 3.2 米沢市林泉寺* = 3.1 米沢市アルカディア* = 2.9 上山市河崎* = 2.9 山形川西町上小松* = 2.8 山辺町緑ヶ丘* = 2.8 西川町大井沢* = 2.8 南陽市三間通* = 2.7 高島町高島* = 2.7 村山市中央* = 2.6 天童市老野森* = 2.6 河北町谷地* = 2.6 米沢市金池* = 2.6 最上町向町* = 2.6 河北町役場* = 2.5 米沢市駅前* = 2.5 酒田市飛鳥* = 2.5</p> <p>2 酒田市山田* = 2.4 遊佐町遊佐* = 2.4 山形市薬師町* = 2.4 東根市中央* = 2.4 尾花沢市若葉町* = 2.4 鶴岡市藤島* = 2.3 酒田市亀ヶ崎* = 2.3 三川町横山* = 2.3 新庄市東谷地田町* = 2.3 大蔵村肘折* = 2.3 戸沢村古口* = 2.3 庄内町余目* = 2.2 大蔵村清水* = 2.2 山形市旅籠町* = 2.2 寒河江市中央* = 2.2 山形小国町小国小坂町* = 2.2 白鷹町黒鴨* = 2.2 飯豊町椿* = 2.1 遊佐町舞鶴* = 2.1 寒河江市西根* = 2.1 大江町左沢* = 2.1 大石田町緑町* = 2.1 山形小国町岩井沢* = 2.1 山形市緑町* = 2.1 長井市ままの上* = 2.0 舟形町舟形* = 2.0 鮎川村佐渡* = 2.0 鶴岡市道田町* = 2.0 西川町海味* = 2.0 山形朝日町宮宿* = 2.0 庄内町狩川* = 2.0 真室川町新町* = 1.9 鶴岡市温海川* = 1.9 新庄市住吉町* = 1.9 酒田市本町* = 1.8 飯豊町上原* = 1.8 新庄市堀端町* = 1.8 鶴岡市馬場町* = 1.7 酒田市観音寺* = 1.6 鶴岡市上山添* = 1.5</p> <p>1 鶴岡市羽黒町* = 1.4 遊佐町小原田* = 1.4 山形金山町金山* = 1.4 山形金山町中田* = 1.1 鶴岡市下名川* = 1.0 庄内町清川* = 0.9</p> <p>3 邑楽町中野* = 3.2 桐生市元宿町* = 3.0 前橋市鼻毛石町* = 2.8 太田市新田金井町* = 2.8 大泉町日の出* = 2.8 渋川市赤城町* = 2.7 千代田町赤岩* = 2.7 沼田市白沢町* = 2.7 館林市城町* = 2.7 太田市西本町* = 2.6 板倉町板倉* = 2.6 群馬明和町新里* = 2.6 前橋市富士見町* = 2.6 前橋市堀越町* = 2.5 前橋市粕川町* = 2.5</p>				
		<p>栃木県</p> <p>青森県</p> <p>岩手県</p> <p>山形県</p> <p>群馬県</p>				

令和元年 8 月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>2 高崎市高松町*2.4 桐生市織姫町=2.4 伊勢崎市今泉町*2.4 太田市浜町*2.4 安中市安中*2.4 吉岡町下野田*2.3 玉村町下新田*2.3 桐生市黒保根町*2.3 伊勢崎市西久保町*2.3 伊勢崎市境*2.3 太田市粕川町*2.3 館林市美園町*2.3 渋川市伊香保町*2.3 沼田市西倉内町=2.2 渋川市吹屋*2.2 桐生市新里町*2.1 渋川市北橋町*2.1 藤岡市中栗須*2.1 みどり市笠懸町*2.1 前橋市駒形町*2.1 高崎市箕郷町*2.1 高崎市新町*2.1 伊勢崎市東町*2.0 太田市大原町*2.0 渋川市有馬*2.0 高崎市足門町*2.0 みどり市大間々町*1.9 沼田市下久屋町*1.9 安中市松井田町*1.9 沼田市利根町*1.8 前橋市昭和町=1.8 榛東村新井*1.7 前橋市大手町*1.7 渋川市石原*1.7 高崎山下室田*1.7 高崎市吉井町吉井川*1.7 富岡市妙義町*1.7 片品村東小川=1.6 群馬昭和村糸井*1.6 甘楽町小幡*1.5 みどり市東町*1.5 草津町草津*1.5 群馬高山村中山*1.5 高崎市倉渕町*1.5</p> <p>1 東吾妻町本宿*1.4 東吾妻町奥田*1.4 渋川市村上*1.4 藤岡市鬼石*1.3 富岡市七日市=1.3 中之条町日影=1.3 中之条町中之条町*1.3 嬭恋村大前*1.3 みなかみ町後閑*1.3 長野原町長野原*1.2 神流町生利*1.2 神流町神ヶ原*1.2 群馬上野村川和*1.1 川場村谷地*1.1 みなかみ町布施*1.1 東吾妻町原町=0.9 中之条町入山*0.9 みなかみ町鹿野沢*0.8 下仁田町下小坂*0.7 片品村鎌田*0.7</p> <p>3 春日部市粕壁*3.3 宮代町笠原*3.3 加須市大利根*3.2 さいたま見沼区堀崎*3.1 加須市三俣*3.0 加須市駒西*3.0 春日部市谷原新田*3.0 熊谷市大里*2.9 川島町下八ツ林*2.9 さいたま中央区下落合*2.9 鴻巣市吹上富士見*2.8 久喜市下早見=2.8 久喜市青葉*2.8 久喜市栗橋*2.8 久喜市鷲宮*2.8 吉見町下細谷*2.8 春日部市金崎*2.8 幸手市東*2.8 さいたま大宮区天沼町*2.8 行田市本丸*2.7 加須市北川辺*2.7 鴻巣市中央*2.7 久喜市菖蒲*2.7 草加市中央*2.7 杉戸町清地*2.7 さいたま南区別所*2.6 さいたま緑区中尾*2.6 白岡市千駄野*2.6 行田市南河原*2.6 羽生市東*2.6 深谷市川本*2.6 川口市中青木分室*2.6 八潮市中央*2.6 戸田市上戸田*2.5 志木市中宗岡*2.5 桶川市泉*2.5 富士見市鶴馬*2.5 鶴ヶ島市三ツ木*2.5 吉川市きよみ野*2.5 毛呂山町中央*2.5 さいたま北区宮原*2.5 鴻巣市川里*2.5</p> <p>2 川口市青木*2.4 上尾市本町*2.4 三郷市中央*2.4 坂戸市千代田*2.4 松伏町松伏*2.4 さいたま大宮区大門*2.4 さいたま岩槻区本丸*2.4 熊谷市妻沼*2.3 本庄市本庄*2.3 東松山市松葉町*2.3 上里町七本木*2.3 越谷市越ヶ谷*2.3 和光市広沢*2.3 北本市本町*2.3 伊奈町小室*2.3 さいたま西区指扇*2.3 さいたま浦和区高砂=2.3 蕨市中央*2.2 蓮田市黒浜*2.2 さいたま桜区道場*2.2 熊谷市江南*2.2 本庄市児玉町=2.2 深谷市花園*2.2 埼玉美里町木部*2.2 ときがわ町桃木*2.2 朝霞市本町*2.1 秩父市近戸町*2.1 熊谷市桜町=2.1 熊谷市宮町*2.1 滑川町福田*2.1 鳩山町大豆戸=2.1 川越市新宿町*2.1 川口市三ツ和*2.1 狭山市入間川*2.1 さいたま浦和区常盤*2.0 秩父市上町=2.0 東松山市市ノ川*2.0 横瀬町横瀬*2.0 嵐山町杉山*2.0 入間市豊岡*1.9 日高市南平沢*1.9 越生町越生*1.9 深谷市岡部*1.9 秩父市熊木町*1.9 川越市旭町=1.9 所沢市北有楽町*1.9 ふじみ野市福岡*1.8 新座市野火止*1.8 埼玉三芳町藤久保*1.8 ときがわ町玉川*1.7 飯能市名栗*1.7 深谷市仲町*1.7 小川町大塚*1.7 ふじみ野市大井*1.6 皆野町皆野*1.6 所沢市並木*1.5 長瀬町野上下郷*1.5 小鹿野町小鹿野*1.5 東秩父村御堂*1.5 秩父市荒川*1.5</p> <p>1 秩父市吉田*1.4 小鹿野町役場両神庁舎*1.4 埼玉神川町下阿久原*1.3 飯能市征矢町*1.3 飯能市双柳*1.3 長瀬町本野上*1.3 寄居町寄居*1.2 小鹿野町両神薄=1.0 秩父市大滝*0.9</p> <p>3 印西市笠神*3.1 香取市役所*2.9 野田市鶴奉*2.9 浦安市日の出=2.9 香取市佐原平田=2.8 千葉中央区都町*2.8 松戸市西馬橋*2.8 野田市東宝珠花*2.8 成田国際空港=2.8 印西市大森*2.8 香取市羽根川*2.7 千葉美浜区ひび野=2.7 千葉佐倉市海隣寺町*2.7 栄町安食台*2.7 鋸南町下佐久間*2.7 千葉中央区中央港=2.6 千葉花見川区花島町*2.6 船橋市湊町*2.6 八千代市大和田新田*2.6 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*2.6 印西市美瀬*2.6 白井市復*2.6 成田市役所*2.5 浦安市猫実*2.5 富里市七栄*2.5 旭市南堀之内*2.5 多古町多古=2.5 成田市中台*2.5</p> <p>2 神崎町神崎本宿*2.4 香取市佐原諏訪台*2.4 千葉稲毛区園生町*2.4 千葉若葉区小倉台*2.4 千葉美浜区稲毛海岸*2.4 習志野市鷲沼*2.4 柏市旭町=2.4 流山市平和台*2.4 東金市日吉台*2.3 香取市仁良*2.3 千葉中央区千葉市役所*2.3 市川市南八幡*2.3 成田市名古屋=2.3 成田市松子*2.3 柏市柏*2.3 市原市姉崎*2.3 いすみ市岬町長者*2.3 旭市二*2.2 九十九里町片貝*2.2 長生村本郷*2.2 白子町関*2.2 山武市蓮沼二*2.2 山武市埴谷*2.2 山武市蓮沼ハ*2.2 柏市大島田*2.2 四街道市鹿渡*2.2 八街市八街*2.2 南房総市谷向*2.2 市原市国分寺台中央*2.1 我孫子市我孫子*2.1 館山市北条*2.1 南房総市岩糸*2.1 東金市東岩崎*2.1 旭市高生*2.1 旭市萩園*2.1 睦沢町下之郷*2.1 香取市岩部*2.1 横芝光町宮川*2.1 横芝光町栗山*2.1 芝山町小池*2.0 匝瑳市八日市場ハ*2.0 匝瑳市今泉*2.0 山武市松尾町富士見台=2.0 山武市殿台*2.0 山武市松尾町五反田*2.0 千葉緑区おゆみ野*2.0 銚子市若宮町*2.0 茂原市道表*2.0 酒々井町中央*2.0 君津市久留里市場*2.0 君津市久保*2.0 富津市下飯野*2.0 東庄町笹川*2.0 長南町長南*1.9 館山市長須賀=1.9 木更津市富士見*1.9 鴨川市横渚*1.9 南房総市富浦町青木*1.9 東金市東新宿=1.9 松戸市根本*1.9 成田市猿山*1.9 木更津市太田=1.8 銚子市川口町=1.8 いすみ市国府台*1.8 南房総市上堀=1.8 銚子市小畑新町=1.8 大網白里市大網*1.8 長南町総合グラウンド=1.8 一宮町一宮=1.7 袖ヶ浦市坂戸市場*1.7 長柄町桜谷*1.7 南房総市和田町*1.7 鴨川市八色=1.5</p> <p>1 大多喜町大多喜*1.4 南房総市白浜町白浜*1.3 いすみ市大原*1.2 鴨川市内浦=1.0 勝浦市墨名=0.9 勝浦市新官*0.9</p> <p>3 東京荒川区東尾久*2.8 東京北区神谷*2.7 東京板橋区高島平*2.7 東京足立区伊興*2.7 東京千代田区大手町=2.6 東京江東区越中島*2.6 東京江東区森下*2.6 東京江東区枝川*2.6 東京世田谷区成城*2.6 東京渋谷区本町*2.6 東京杉並区高井戸*2.6 東京足立区神明南*2.6 東京江東区東陽*2.5 東京江東区亀戸*2.5 東京荒川区荒川*2.5 東京江戸川区中央=2.5 東京江戸川区船堀*2.5</p> <p>2 東京中央区勝どき*2.4 東京墨田区東向島*2.4 東京江東区青海=2.4 東京大田区多摩川*2.4 東京杉並区桃井*2.4 東京板橋区相生町*2.4 東京足立区千住中居町*2.4 東京葛飾区金町*2.4</p>				
		埼玉県				
		千葉県				
		東京都				

令和元年 8 月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>八王子市堀之内*2.4 調布市西つつじヶ丘*2.4 東京港区南青山*2.3 東京台東区千束*2.3 東京品川区北品川*2.3 東京品川区平塚*2.3 東京大田区本羽田*2.3 東京中野区中野*2.3 三鷹市野崎*2.3 町田市本町*2.3 東京墨田区横川*2.2 東京国際空港*2.2 東京渋谷区宇田川町*2.2 東京中野区江古田*2.2 東京北区西ヶ原*2.2 東京板橋区板橋*2.2 東京葛飾区立石*2.2 東京江戸川区鹿骨*2.2 武蔵野市緑町*2.2 町田市忠生*2.2 小平市小川町*2.2 日野市神明*2.2 東京新宿区上落合*2.2 東大和市中央*2.1 多摩市関戸*2.1 東京中央区日本橋兜町*2.1 東京港区白金*2.1 東京文京区大塚*2.1 東京台東区東上野*2.1 東京大田区大森東*2.1 東京世田谷区三軒茶屋*2.1 東京中野区中央*2.1 東京練馬区東大泉*2.1 八王子市大横町*2.1 武蔵野市吉祥寺東町*2.1 東京新宿区百人町*2.0 東京文京区スポーツセンター*2.0 東京文京区本郷*2.0 東京墨田区吾妻橋*2.0 東京世田谷区世田谷*2.0 東京世田谷区中町*2.0 東京豊島区南池袋*2.0 東京練馬区光が丘*2.0 八王子市石川町*2.0 東京府中市朝日町*2.0 調布市小島町*2.0 町田市森野*2.0 小金井市本町*2.0 東村山市本町*2.0 東村山市美住町*2.0 稲城市東長沼*2.0 東京千代田区富士見*2.0 東京中央区築地*2.0 東京港区海岸*2.0 西東京市中町*1.9 狛江市和泉本町*1.9 東京目黒区中央町*1.9 多摩市鶴牧*1.9 東京足立区中央本町*1.9 東京品川区広町*1.9 国分寺市戸倉*1.9 東京府中市寿町*1.8 東京大田区蒲田*1.8 国分寺市本多*1.8 国立市富士見台*1.8 清瀬市中里*1.8 武蔵村山市本町*1.8 青梅市日向和田*1.8 東京杉並区阿佐谷*1.8 東京港区芝公園*1.8 東京新宿区西新宿*1.8 瑞穂町箱根ヶ崎*1.7 東久留米市本町*1.7 清瀬市中清戸*1.6 羽村市緑ヶ丘*1.6 立川市泉町*1.6 昭島市田中町*1.5 福生市福生*1.5 あきる野市伊奈*1.5</p> <p>1 日の出町平井*1.2 青梅市東青梅*1.1 檜原村本宿*1.0 伊豆大島町波浮港*1.0 新島村本村*0.9 東京利島村東山*0.8 伊豆大島町差木地*0.8 伊豆大島町元町*0.8 三宅村神着*0.6</p> <p>3 横浜中区山吹町*2.8 横浜港北区日吉本町*2.8 二宮町中里*2.8 横浜戸塚区鳥が丘*2.7 小田原市荻窪*2.7 中井町比奈窪*2.7 横浜神奈川区広田太田町*2.6 横浜西区みなとみらい*2.6 横浜中区山手町*2.6 横浜中区山下町*2.6 横浜緑区鴨居*2.6 横浜中区日本大通*2.5 横浜保土ヶ谷区上菅田町*2.5 川崎宮前区野川*2.5 寒川町宮山*2.5 厚木市中町*2.5 厚木市下津古久*2.5 神奈川大井町金子*2.5 湯河原町中央*2.5</p> <p>2 横浜鶴見区末広町*2.4 横浜西区浜松町*2.4 横浜瀬谷区三ツ境*2.4 川崎川崎区宮前町*2.4 藤沢市打戻*2.4 藤沢市辻堂東海岸*2.4 横浜緑区十日市場町*2.3 横浜瀬谷区中屋敷*2.3 横浜青葉区榎が丘*2.3 横浜青葉区市ケ尾町*2.3 川崎川崎区千鳥町*2.3 川崎川崎区中島*2.3 川崎幸区戸手本町*2.3 平塚市浅間町*2.3 藤沢市大庭*2.3 茅ヶ崎市茅ヶ崎*2.3 海老名市大谷*2.3 相模原緑区橋本*2.3 横浜港北区綱島西*2.2 横浜戸塚区平戸町*2.2 横浜戸塚区戸塚町*2.2 横浜都筑区池辺町*2.2 座間市相武台*2.2 綾瀬市深谷*2.2 相模原緑区久保沢*2.2 横浜港北区大倉山*2.1 横浜旭区上白根町*2.1 横浜旭区川井宿町*2.1 横浜栄区小菅ヶ谷*2.1 川崎中原区小杉陣屋町*2.1 川崎中原区小杉町*2.1 川崎宮前区宮前平*2.1 松田町松田惣領*2.1 相模原南区相模大野*2.1 横浜泉区岡津町*2.0 藤沢市朝日町*2.0 藤沢市長後*2.0 大和市下鶴間*2.0 相模原中央区中央*2.0 横浜鶴見区馬場*2.0 横浜港南区丸山台東部*2.0 相模原緑区大島*1.9 相模原緑区中野*1.9 相模原緑区洋光台*1.9 横浜旭区大池町*1.9 横浜泉区和泉町*1.9 川崎多摩区登戸*1.9 三浦市城山町*1.9 秦野市曾屋*1.9 伊勢原市伊勢原*1.9 山北町山北*1.9 愛川町角田*1.9 清川村煤ヶ谷*1.9 相模原中央区上溝*1.9 相模原中央区水郷田名*1.9 横浜青葉区美しが丘*1.8 横浜都筑区茅ヶ崎*1.8 川崎高津区下作延*1.8 川崎麻生区万福寺*1.8 川崎麻生区片平*1.8 南足柄市関本*1.8 横浜鶴見区鶴見*1.8 横浜南区六ツ川*1.8 横浜磯子区磯子*1.8 横浜金沢区白帆*1.8 横浜金沢区釜利谷南*1.8 横浜旭区今宿東町*1.8 横浜栄区桂台南*1.8 横浜保土ヶ谷区神戸町*1.7 横浜金沢区寺前*1.7 相模原南区磯部*1.6 横浜南区大岡*1.6 横須賀市光の丘*1.6 開成町延沢*1.6 逗子市桜山*1.5 秦野市平沢*1.5</p> <p>1 鎌倉市御成町*1.4 大磯町月京*1.4 真鶴町岩*1.4 横須賀市坂本町*1.3 箱根町湯本*1.3 相模原緑区与瀬*1.3 小田原市久野*1.2 相模原緑区若柳*1.2 相模原緑区小淵*1.2</p> <p>3 阿賀野市岡山町*2.8 南魚沼市六日町*2.7 村上市岩船駅前*2.6 見附市昭和町*2.5</p> <p>2 阿賀野市姥ヶ橋*2.4 上越市三和区井ノ口*2.3 長岡市小島谷*2.3 長岡市山古志竹沢*2.3 刈羽村割町新田*2.3 新潟南区白根*2.3 新潟西区寺尾東*2.3 長岡市中之島*2.2 加茂市幸町*2.2 阿賀町鹿瀬中学校*2.2 新潟秋葉区程島*2.2 新潟秋葉区新津東町*2.2 十日町市下条*2.1 十日町市千歳町*2.1 十日町市水口沢*2.1 阿賀町津川*2.1 長岡市上岩井*2.0 長岡市東川口*2.0 十日町市松の山*2.0 田上町原ヶ崎新田*2.0 新発田市住田*2.0 新発田市中央町*2.0 村上市片町*2.0 五泉市太田*2.0 阿賀野市山崎*2.0 新潟空港*2.0 新潟中央区美咲町*2.0 上越市頸城区百間町*1.9 長岡市小国町法坂*1.9 三条市西裏館*1.9 三条市新堀*1.9 柏崎市中央町*1.9 十日町市松代*1.9 魚沼市今泉*1.9 新発田市本町*1.9 村上市岩沢*1.9 新潟北区葛塚*1.9 新潟中央区関屋*1.9 魚沼市小出島*1.8 新発田市乙次*1.8 弥彦村矢作*1.8 阿賀町鹿瀬支所*1.8 阿賀町豊川*1.8 新潟江南区泉町*1.8 魚沼市堀之内*1.7 南魚沼市塩沢庁舎*1.7 村上市山口*1.7 燕市秋葉町*1.7 燕市分水桜町*1.7 聖籠町諏訪山*1.7 上越市木田*1.7 上越市柿崎区柿崎*1.7 上越市吉川区原の町*1.7 新潟東区下木戸*1.7 長岡市寺泊敦ヶ曾根*1.7 小千谷市城内*1.7 南魚沼市浦佐*1.6 村上市三之町*1.6 長岡市浦*1.6 関川村下関*1.6 長岡市金町*1.6 胎内市大川町*1.6 三条市荻堀*1.6 新潟中央区新潟市役所*1.6 柏崎市高柳町岡野町*1.6 小千谷市旭町*1.6 長岡市与板町与板*1.5 胎内市新和町*1.5 新潟西蒲区役所*1.5 新潟西蒲区巻甲*1.5 南魚沼市塩沢小学校*1.5 燕市吉田西太田*1.5 十日町市上山*1.4 出雲崎町米田*1.4 新発田市真野原外*1.4 村上市府屋*1.4 五泉市村松乙*1.4 五泉市愛宕甲*1.4 出雲崎町川西*1.3 魚沼市大沢*1.3 魚沼市須原*1.3 村上市塩町*1.3 村上市寒川*1.3 上越市大手町*1.2 上越市牧区柳島*1.2 上越市板倉区針*1.2 長岡市幸町*1.1 柏崎市西山町池浦*1.1 魚沼市下折立*1.1 上越市安塚区安塚*1.1 粟島浦村日ノ見山*1.1 胎内市黒川*1.1 上越市大潟区土底浜*1.1 上越市清里区荒牧*1.0 長岡市千手*1.0 津南町下船渡*1.0 佐渡市両津支所*1.0 上越市中郷区藤沢*1.0 阿賀野市畑江*0.9 佐渡市千種*0.9 上越市浦川原区釜淵*0.8 上越市中ノ俣*0.7</p>				
		<p>神奈川県</p>				
		<p>新潟県</p>				

令和元年 8 月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
		山梨県				3 忍野村忍草*=2.9 富士河口湖町長浜*=2.7 甲府市下曾根町*=2.6 笛吹市役所*=2.6 甲州市勝沼町勝沼*=2.6 富士川町鯉沢*=2.6 山中湖村山中*=2.6 富士河口湖町勝山*=2.6 笛吹市一宮町末木*=2.5 甲州市塩山下於曾=2.5 甲州市塩山上於曾*=2.5 甲州市役所*=2.5 富士河口湖町役場*=2.5 2 甲府市相生*=2.4 南アルプス市寺部*=2.4 山梨北杜市長坂町*=2.4 中央市成島*=2.4 笛吹市春日居町寺本*=2.3 甲府市飯田=2.2 昭和町押越*=2.2 南アルプス市鮎沢*=2.2 甲斐市下今井*=2.2 笛吹市八代町南*=2.2 山梨北杜市明野町*=2.2 山梨北杜市高根町*=2.2 市川三郷町六郷支所*=2.2 中央市大島居*=2.2 富士河口湖町船津=2.2 甲斐市島上条*=2.1 山梨北杜市大泉町*=2.1 中央市臼井阿原*=2.1 富士吉田市上吉田*=2.1 富士吉田市下吉田*=2.1 西桂町小沼*=2.1 笛吹市御坂町夏目原*=1.9 山梨北杜市役所*=1.9 富士川町天神中条*=1.8 大月市役所*=1.8 上野原市役所*=1.8 南アルプス市小笠原*=1.7 甲斐市篠原*=1.7 笛吹市芦川町中芦川*=1.7 山梨北杜市健康ランド須玉*=1.7 大月市大月=1.7 大月市御太刀*=1.7 鳴沢村役場*=1.7 山梨市牧丘町窪平*=1.7 山梨北杜市小淵沢町*=1.6 甲州市大和町初鹿野*=1.6 韮崎市水神*=1.6 身延町大磯小磯=1.6 身延町役場*=1.6 南アルプス市飯野*=1.6 南アルプス市榎原*=1.6 山梨北杜市白州町*=1.5 市川三郷町役場*=1.5 上野原市四方津=1.5 富士河口湖町本栖*=1.5 山梨市小原西*=1.5 山梨北杜市武川町*=1.5 1 甲府市古閑町*=1.4 市川三郷町上野*=1.4 都留市上谷*=1.4 小菅村小菅小学校*=1.4 道志村役場*=1.3 丹波山村丹波*=1.2 早川町葉袋*=1.2 南アルプス市芦安芦倉*=1.1 山梨南部町栄小学校*=1.0
		長野県				3 長野南牧村海ノ口*=2.6 2 茅野市葛井公園*=2.1 佐久市中込*=2.1 諏訪市湖岸通り=2.0 諏訪市高島*=2.0 軽井沢町追分=1.9 軽井沢町長倉*=1.8 御代田町役場*=1.8 飯田市大久保町*=1.8 木曾町開田高原西野*=1.8 飯田市高羽町=1.7 飯島町飯島=1.7 長野川上村大深山*=1.6 富士見町落合*=1.6 佐久穂町畑*=1.6 原村役場*=1.5 飯田市上郷黒田*=1.5 長野高森町下市田*=1.5 1 松本市寿*=1.4 上田市築地=1.4 佐久市白田*=1.4 宮田村役場*=1.4 小諸市小諸消防署*=1.3 小諸市文化センター*=1.3 佐久市甲*=1.3 立科町芦田*=1.3 松川町元大島*=1.3 長野市豊野町豊野*=1.2 栄村北信*=1.2 伊那市下新田*=1.2 伊那市長谷溝口*=1.2 駒ヶ根市赤須町*=1.2 佐久市下小田切=1.1 佐久穂町高野町*=1.1 箕輪町中箕輪*=1.1 南箕輪村役場*=1.1 泰阜村梨久保=1.1 泰阜村役場*=1.1 長野市箱清水=1.0 長野市戸隠*=1.0 中野市豊津*=1.0 飯山市飯山福寿町*=1.0 坂城町坂城*=1.0 佐久市望月*=1.0 阿南町東条*=1.0 阿智村駒場*=1.0 喬木村役場*=1.0 豊丘村神稲*=1.0 南木曾町読書小学校*=1.0 下諏訪町役場*=0.9 東御市大日向*=0.9 松本市丸の内*=0.9 千曲市戸倉*=0.8 中川村大草*=0.8 飯綱町芋川*=0.8 岡谷市幸町*=0.8 南木曾町役場*=0.8 南相木村見上*=0.8 長野市大岡*=0.8 伊那市高遠町西高遠*=0.8 木島平村往郷*=0.8 辰野町中央=0.8 千曲市上山田温泉*=0.7 平谷村役場*=0.7 天龍村平岡*=0.7 麻績村麻*=0.7 山形村役場*=0.7 安曇野市穂高支所=0.7 木祖村藪原*=0.7 木曾町三岳*=0.7 木曾町日義*=0.7 上田市上武石*=0.7 大町市八坂*=0.7 塩尻市広丘高出*=0.7 上松町駅前通り*=0.6 筑北村坂井=0.5
		静岡県				3 富士市吉永*=2.5 御殿場市萩原=2.5 2 伊豆の国市長岡*=2.3 伊豆の国市四日町*=2.2 伊豆市中伊豆グラウンド=2.0 西伊豆町宇久須*=1.9 三島市東本町=1.9 富士宮市野中*=1.9 御殿場市菜葉沢*=1.9 西伊豆町仁科*=1.8 沼津市高島本町*=1.8 富士宮市弓次町=1.8 静岡清水町堂庭*=1.8 松崎町江奈*=1.7 沼津市御幸町*=1.7 静岡清水区千歳町=1.7 東伊豆町奈良本*=1.5 河津町田中*=1.5 函南町平井*=1.5 三島市大社町*=1.5 藤枝市岡部町岡部*=1.5 牧之原市静波*=1.5 1 沼津市戸田*=1.4 富士宮市猪之頭*=1.4 静岡葵区追手町県庁*=1.4 静岡菊川市赤土*=1.4 伊豆の国市田京*=1.3 富士市大淵*=1.3 裾野市石脇*=1.3 裾野市佐野*=1.3 静岡駿河区曲金=1.3 磐田市岡*=1.3 袋井市新屋=1.3 袋井市浅名*=1.3 熱海市網代=1.2 伊東市大原=1.2 富士市本市場*=1.2 富士市岩淵*=1.2 静岡葵区追手町市役所*=1.2 静岡清水区蒲原新栄*=1.2 南伊豆町下賀茂*=1.1 富士市永田町*=1.1 焼津市本町*=1.1 磐田市福田*=1.1 富士市富士総合運動公園=1.0 磐田市森岡*=1.0 静岡清水区由比北田*=0.9 浜松南区江之島町*=0.9 浜松北区三ヶ日町=0.9 伊豆市八幡*=0.9 焼津市宗高*=0.8 浜松東区流通元町*=0.8 浜松北区細江町*=0.8 東伊豆町稲取*=0.8 掛川市長谷*=0.7 湖西市吉美*=0.7 浜松中区元城町*=0.7 下田市加増野=0.6 南伊豆町石廊崎=0.6 西伊豆町一色*=0.6 掛川市三俣*=0.6 御前崎市池新田*=0.5 熱海市泉*=0.5
		北海道				2 函館市新浜町*=2.0 1 新冠町北星町*=1.4 十勝大樹町東本通*=1.1 様似町栄町*=1.0 帯広市東4条=1.0 帯広市東6条*=1.0 別海町常盤=0.8 厚真町鹿沼=0.8 新千歳空港=0.8 函館市泊町*=0.7 新心だか町静内山手町=0.7 浦河町潮見=0.6
		秋田県				2 由利本荘市西目町沼田*=2.3 大仙市高梨*=2.3 由利本荘市前郷*=2.2 仙北市西木町上桧木内*=2.2 横手市大雄*=2.1 大仙市刈和野*=2.1 大仙市大曲花園町*=2.1 井川町北川尻*=2.0 由利本荘市桜小路*=2.0 羽後町西馬音内*=2.0 秋田美郷町土崎*=2.0 秋田市河辺和田*=1.9 秋田市雄和新波*=1.9 にかほ市平沢*=1.9 東成瀬村椿川*=1.8 大仙市北長野*=1.8 大仙市太田町太田*=1.8 湯沢市川連町*=1.8 三種町豊岡*=1.8 仙北市田沢湖生保内宮ノ後*=1.7 湯沢市沖鶴=1.7 由利本荘市岩谷町*=1.7 秋田美郷町六郷東根=1.7 東成瀬村田子内*=1.6 由利本荘市島海町伏見*=1.6 由利本荘市矢島町矢島町*=1.6 大仙市神宮寺*=1.6 横手市雄物川町今宿=1.6 仙北市田沢湖生保内上清水*=1.6 横手市中央町*=1.6 秋田市山王=1.6 秋田市雄和女米木=1.6 湯沢市横堀*=1.6 大仙市南外*=1.5 五城目町西磯ノ目=1.5 大館市桜町*=1.5 横手市大森町*=1.5 横手市十文字町*=1.5 横手市平鹿町浅舞*=1.5 由利本荘市岩城内道川*=1.5 1 能代市上町*=1.4 にかほ市金浦*=1.4 鹿角市花輪*=1.4 横手市山内土淵*=1.4 湯沢市佐竹町*=1.4 仙北市角館町東勝楽丁=1.4 仙北市西木町上荒井*=1.4 能代市二ツ井町上台*=1.3 八郎潟町大道*=1.3 潟上市昭和久保*=1.3 潟上市天王*=1.3 由利本荘市石脇=1.3 由利本荘市東由利老方*=1.3 にかほ市象潟町浜ノ田*=1.3 大館市比内町扇田*=1.3 横手市安田柳堤地内*=1.3 横手市増田町増田*=1.3 大仙市協和境唐松岳*=1.3 仙北市角館町小勝田*=1.3 仙北市田沢湖田沢*=1.3 能代市緑町=1.3 能代市追分町*=1.2 秋田市八橋運動公園*=1.2

令和元年 8 月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		能代市常盤山谷=1.2 小阿仁村小沢田*=1.2 北秋田市新田目*=1.2 三種町鶴川*=1.1 湯沢市皆瀬*=1.1 北秋田市花園町=1.1 藤里町藤琴*=1.0 湯沢市寺沢*=1.0 三種町鹿渡*=1.0 北秋田市阿仁水無*=1.0 北秋田市米内沢*=1.0 大瀧村中央*=0.9 男鹿市角間崎*=0.9 潟上市飯田川下蛇川*=0.8 大館市比内町味噌内=0.8 大館市早口*=0.8 八峰町峰浜目名瀬*=0.5 小坂町小坂砂森*=0.5 男鹿市男鹿中=0.5				
		石川県 1 能登町宇出津=1.1 珠洲市正院町*=1.0 輪島市鳳至町=0.9				
		福井県 1 敦賀市松栄町=0.6				
		岐阜県 1 中津川市かやの木町=1.3 海津市平田町*=1.2 輪之内町四郷*=1.1 中津川市本町*=1.0 大野町大野*=1.0 中津川市付知町*=0.9 恵那市長島町*=0.9 岐阜市柳津町*=0.9 羽島市竹鼻町*=0.9 安八町氷取*=0.9 中津川市山口*=0.8 土岐市泉町*=0.6				
		愛知県 1 名古屋港区春田野*=1.4 飛島村竹之郷*=1.4 名古屋港区善進本町*=1.3 弥富市神戸*=1.3 名古屋千種区日和町=1.2 名古屋南区鳴尾*=1.2 名古屋守山区下志段味*=1.2 愛西市石田町*=1.2 弥富市前ヶ須町*=1.2 愛知津島市埋田町*=1.1 東郷町春木*=1.1 清須市清洲*=1.1 名古屋昭和区阿由知通*=1.0 名古屋港区金城ふ頭*=1.0 名古屋守山区西新*=1.0 春日井市鳥居松町*=1.0 稲沢市祖父江町*=1.0 尾張旭市東大道町*=1.0 蟹江町蟹江本町*=1.0 愛西市稲葉町=1.0 愛西市諏訪町*=1.0 清須市春日振形*=1.0 愛知みよし市三好町*=1.0 あま市七宝町*=1.0 あま市木田*=1.0 名古屋北区萩野通*=0.9 名古屋中川区大宮町*=0.9 名古屋瑞穂区塩入町*=0.9 名古屋熱田区一番*=0.9 名古屋中川区東春田*=0.9 大治町馬島*=0.9 あま市甚目寺*=0.9 長久手市岩作城の内*=0.9 名古屋西区八筋町*=0.8 豊橋市向山=0.8 新城市作手高里繩手上*=0.8 名古屋東区筒井*=0.8 豊川市諏訪*=0.7 田原市福江町=0.7 豊田市小坂本町=0.6				
		滋賀県 1 彦根市城町=1.0 近江八幡市桜宮町=0.9				
		兵庫県 1 豊岡市桜町=0.5				
9	5 01 06	宮城県北部 岩手県 1 一関市室根町*=0.8 一関市千厩町*=0.5	38° 55.7' N	141° 38.3' E	71km	M: 3.0
10	5 02 11	岩手県沖 青森県 岩手県 1 八戸市湊町=0.6 1 宮古市五月町*=1.3 宮古市田老*=1.3 山田町大沢*=1.2 山田町八幡町=0.8 宮古市鉾ヶ崎=0.7 釜石市中妻町*=0.6 田野畑村役場*=0.5 宮古市川井*=0.5	39° 38.3' N	142° 06.5' E	49km	M: 3.8
11	5 07 29	宮城県沖 宮城県 1 石巻市桃生町*=0.9 石巻市北上町*=0.6 七ヶ浜町東宮浜*=0.5	38° 10.9' N	141° 41.1' E	50km	M: 3.6
12	5 14 29	和歌山県北部 和歌山県 1 田辺市中屋敷町*=0.8	33° 47.4' N	135° 21.0' E	10km	M: 2.9
13	6 00 01	福島県沖 福島県 茨城県 1 矢祭町戸塚*=0.9 白河市新白河*=0.8 川内村下川内=0.7 浅川町浅川*=0.6 1 日立市十王町友部*=1.4 大子町池田*=0.9 常陸大宮市山方*=0.9 笠間市石井*=0.8 高萩市安良川*=0.8 常陸大宮市野口*=0.8 城里町小勝*=0.7 常陸大宮市北町*=0.6 日立市助川小学校*=0.5	36° 52.7' N	141° 08.2' E	49km	M: 3.6
14	6 19 03	宮城県北部 宮城県 1 大崎市鳴子*=0.8	38° 48.2' N	140° 44.0' E	3km	M: 2.2
15	6 21 51	山形県沖 新潟県 1 村上市府屋*=0.7	38° 37.6' N	139° 27.3' E	13km	M: 2.8
16	7 18 22	愛媛県中予 愛媛県 2 今治市吉海町*=1.5 1 今治市菊間町*=1.3 松山市北条辻*=0.9 大洲市長浜*=0.8 西条市丹原町鞍瀬=0.7 今治市大西町*=0.7 今治市南宝来町二丁目=0.6 今治市宮窪町*=0.5 広島県 1 大崎上島町中野*=0.9 江田島市大柿町*=0.7 呉市豊町*=0.7 呉市豊浜町*=0.6 江田島市沖美町*=0.5 三原市本郷南*=0.5 山口県 1 周防大島町久賀*=1.1 周防大島町東和総合支所*=1.0 平生町平生*=0.9 周防大島町西安下庄*=0.8 山口市秋徳東*=0.8 上関町長島*=0.7 周防大島町平野*=0.7 柳井市大島*=0.7 周防大島町小松*=0.5 岩国市横山*=0.5	33° 52.8' N	132° 45.8' E	42km	M: 3.6
17	7 21 10	福島県沖 宮城県 福島県 1 大崎市古川三日町=0.7 1 福島広野町下北迫苗代替*=1.0 福島広野町下北迫大谷地原*=0.9 天栄村下松本*=0.7 浪江町幾世橋=0.5	37° 11.5' N	141° 19.7' E	20km	M: 4.2
18	7 23 06	奄美大島北西沖 鹿児島県 1 天城町平土野*=1.0	28° 05.7' N	128° 09.5' E	9km	M: 3.5
19	8 04 24	鳥取県中部 鳥取県 1 北栄町土下*=0.7 湯梨浜町龍島*=0.5	35° 25.8' N	133° 49.5' E	11km	M: 2.6
20	8 06 28	台湾付近 沖縄県 2 与那国町役場*=1.8 与那国町久部良=1.7	24° 22.4' N	121° 52.1' E	38km	M: 6.4

令和元年 8 月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
21	8 11 14	釧路沖 北海道 1 釧路市幸町=0.5	42° 37.4' N	144° 56.2' E	51km	M: 3.9
22	8 14 10	茨城県南部 茨城県 1 城里町小勝*=0.8 土浦市常名=0.8 桜川市岩瀬*=0.7 笠間市石井*=0.7 取手市寺田*=0.7 つくば市小荊*=0.5 筑西市門井*=0.5 笠間市笠間*=0.5 栃木県 1 宇都宮市明保野町=0.9 真岡市石島*=0.9 栃木市旭町=0.6 栃木市岩舟町静*=0.5	36° 01.3' N	140° 04.7' E	61km	M: 3.3
23	8 17 50	北海道北西沖 北海道 2 遠別町本町*=1.7	44° 43.5' N	141° 46.8' E	13km	M: 3.0
24	8 19 39	愛媛県中予 愛媛県 2 今治市吉海町*=1.6 今治市菊間町*=1.5 1 西条市丹原町鞍瀬=1.3 大洲市長浜*=1.2 今治市南宝来町二丁目=1.1 今治市宮窪町*=0.9 西条市周布*=0.9 松山市北条辻*=0.9 宇和島市三間町*=0.9 大洲市大洲*=0.9 今治市大西町*=0.9 西条市丹原町池田*=0.8 伊予市下吾川*=0.8 新居浜市別子山*=0.8 今治市波方町*=0.7 久万高原町久万*=0.7 久万高原町洪草*=0.6 内子町平岡*=0.6 久万高原町東川*=0.5 上島町生名*=0.5 愛南町柏*=0.5 広島県 1 大崎上島町中野*=1.1 呉市豊浜町*=0.9 呉市豊町*=0.9 呉市安浦町*=0.8 呉市二河町*=0.8 呉市下蒲刈町*=0.8 尾道市向島町*=0.8 東広島市西条栄町*=0.7 三原市本郷南*=0.7 呉市川尻町*=0.7 三原市円一町=0.6 大崎上島町東野*=0.5 江田島市大柿町*=0.5 山口県 1 周防大島町久賀*=1.1 周防大島町東和総合支所*=0.8 周防大島町西安下庄*=0.7 柳井市大畠*=0.6 上関町長島*=0.6 平生町平生*=0.5	33° 52.8' N	132° 45.7' E	42km	M: 3.7
25	9 03 56	宮古島北西沖 沖縄県 1 宮古島市城辺福西*=0.9 宮古島市平良狩俣*=0.7 宮古島市城辺福北=0.5	25° 37.6' N	124° 44.4' E	108km	M: 4.7
26	9 06 48	富山県東部 富山県 1 立山町芦峯寺*=0.8 富山市楡原*=0.8 岐阜県 1 高山市上宝町本郷*=1.0 飛騨市神岡町東町*=0.8 飛騨市神岡町殿=0.7	36° 29.2' N	137° 14.6' E	7km	M: 2.9
27	9 14 30	熊本県熊本地方 熊本県 1 宇城市豊野町*=1.4 熊本西区春日=1.1 宇城市不知火町*=0.9 宇城市松橋町=0.7 菊池市旭志*=0.5 嘉島町上島*=0.5 熊本美里町永富*=0.5 熊本美里町馬場*=0.5	32° 41.8' N	130° 42.9' E	17km	M: 3.1
28	9 15 40	茨城県沖 茨城県 1 日立市助川小学校*=1.1 日立市十王町友部*=0.8 高萩市安良川*=0.8 城里町小勝*=0.8 東海村東海*=0.6 水戸市栗崎町*=0.6	36° 38.2' N	140° 46.1' E	26km	M: 3.2
29	9 17 15	山梨県東部・富士五湖 山梨県 2 富士河口湖町船津=1.6 1 富士河口湖町長浜*=0.9 大月市御太刀*=0.7 神奈川県 1 山北町山北*=1.1	35° 28.6' N	138° 59.3' E	23km	M: 3.0
30	9 23 20	日向灘 愛媛県 1 愛南町一本松*=0.7 愛南町城辺*=0.6 愛南町船越*=0.5 高知県 1 宿毛市桜町*=1.0 大分県 1 津久見市宮本町*=0.9 佐伯市蒲江蒲江浦=0.9 佐伯市鶴見*=0.8 津久見市立花町*=0.6 宮崎県 1 延岡市北浦町古江*=0.7	32° 35.2' N	132° 15.3' E	32km	M: 3.7
31	10 02 17	沖縄本島近海 沖縄県 1 座間味村座間味*=0.9 久米島町比嘉*=0.7 久米島町山城=0.6 久米島町謝名堂=0.5	26° 18.2' N	126° 38.8' E	77km	M: 3.9
32	10 12 33	熊本県熊本地方 熊本県 2 熊本西区春日=1.8 熊本東区佐土原*=1.6 1 嘉島町上島*=1.4 菊池市旭志*=1.1 西原村小森*=1.0 宇城市松橋町=1.0 大津町引水*=0.8 熊本南区城南町*=0.8 菊陽町久保田*=0.7 益城町惣領*=0.7 熊本北区植木町*=0.6	32° 46.0' N	130° 43.4' E	10km	M: 3.1
33	10 14 25	胆振地方中東部 北海道 1 胆振伊達市大滝区本町*=1.4 登別市鉱山=0.9 白老町大町=0.8 登別市桜木町*=0.7	42° 32.1' N	141° 08.9' E	2km	M: 3.2
34	10 23 11	熊本県阿蘇地方 熊本県 1 阿蘇市一の宮町*=0.6 南阿蘇村中松=0.5	32° 56.6' N	131° 01.7' E	11km	M: 2.6
35	11 04 10	釧路沖 北海道 1 十勝大樹町生花*=1.4 足寄町南1条*=0.9 弟子屈町弟子屈*=0.8 標茶町塘路*=0.8 幕別町本町*=0.7 釧路市幸町=0.6 本別町向陽町*=0.6 帯広市東6条*=0.5	42° 38.4' N	144° 06.9' E	62km	M: 3.8
36	12 09 13	新潟県下越沖 新潟県 1 村上市府屋*=0.9	38° 36.6' N	139° 24.5' E	10km	M: 3.0

令和元年 8 月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
37	12 13 36	大隅半島東方沖 鹿児島県 1 鹿屋市礼元* 錦江町城元* 肝付町新富*	31° 13.8' N	131° 23.1' E	39km	M: 3.5 鹿屋市礼元* 鹿屋市新栄町=1.0 大崎町仮宿* 錦江町田代支所* 肝付町新富* 志布志市志布志町志布志=0.5
38	12 16 39	千葉県南東沖 千葉県 1 南房総市岩糸*	34° 50.9' N	139° 51.4' E	51km	M: 3.6 南房総市岩糸* 鴨川市横渚*=0.5
39	12 20 51	和歌山県北部 和歌山県 1 和歌山市一番丁*	34° 13.2' N	135° 09.9' E	6km	M: 2.6 和歌山市一番丁* 和歌山市男野芝丁=1.0
40	12 21 31	日向灘 宮崎県 1 川南町川南*	32° 02.9' N	131° 57.6' E	20km	M: 3.3 川南町川南*=0.8
41	12 23 11	福島県中通り 福島県 1 古殿町松川横川*	37° 02.9' N	140° 37.1' E	9km	M: 3.2 古殿町松川横川* 浅川町浅川* 古殿町松川新桑原*=0.6
42	13 00 18	日高地方西部 北海道 1 千歳市若草*	42° 39.2' N	142° 31.3' E	87km	M: 3.3 千歳市若草* 安平町追分柏が丘* 千歳市支笏湖温泉*=0.5
43	13 05 19	日向灘 宮崎県 1 川南町川南*	32° 02.4' N	131° 57.8' E	16km	M: 3.5 川南町川南* 西都市上の宮*=0.6
44	13 06 05	天草灘 鹿児島県 1 薩摩川内市上甕町*	32° 01.3' N	129° 50.5' E	13km	M: 2.8 薩摩川内市上甕町*=0.7
45	13 09 18	山梨県東部・富士五湖 神奈川県 山梨県 1 相模原緑区中野* 1 大月市御太刀*	35° 32.9' N	139° 00.3' E	20km	M: 2.7 相模原緑区中野* 大月市御太刀*=1.1
46	13 11 48	岐阜県飛騨地方 岐阜県 1 高山市高根町*	36° 03.2' N	137° 34.5' E	7km	M: 2.2 高山市高根町*=1.1
47	13 14 47	山梨県東部・富士五湖 山梨県 1 上野原市役所*	35° 44.8' N	138° 57.5' E	23km	M: 2.8 上野原市役所* 丹波山村丹波*=0.7
48 (注)	14 04 34 14 04 35	鹿児島県薩摩地方 鹿児島県薩摩地方 鹿児島県 2 指宿市十町* 1 南大隅町根占*	31° 14.7' N 31° 14.9' N	130° 38.6' E 130° 38.9' E	9km 11km	M: 3.0 M: 2.7 指宿市十町* 南大隅町根占* 錦江町城元* 鹿児島市喜入町*=0.6
49	14 07 02	宮城県沖 岩手県 2 一関市室根町* 1 一関市千厩町* 釜石市只越町* 山田町大沢* 一関市東山町* 宮城県 2 気仙沼市笹が陣* 1 気仙沼市赤岩* 涌谷町新町裏* 栗原市金成* 石巻市北上町*	38° 50.2' N	142° 24.4' E	49km	M: 4.3 一関市室根町* 住田町世田米* 釜石市中妻町* 一関市千厩町* 遠野市青笹町* 大船渡市大船渡町=1.3 釜石市只越町* 大船渡市猪川町=1.2 陸前高田市高田町* 遠野市宮守町* 山田町大沢* 大船渡市盛町* 花巻市大迫町* 平泉町平泉* 奥州市江刺* 一関市東山町* 北上市相去町* 一関市大東町* 盛岡市藪川*=0.5 気仙沼市笹が陣* 南三陸町志津川=1.5 気仙沼市赤岩* 気仙沼市唐桑町* 栗原市若柳* 石巻市桃生町* 栗原市清水* 涌谷町新町裏* 栗原市瀬峰* 大崎市古川大崎* 岩沼市桜* 栗原市栗駒* 栗原市金成* 登米市東和町* 大崎市田尻* 栗原市築館* 登米市中田町* 石巻市北上町*=0.6
50	15 01 25	和歌山県北部 和歌山県 1 有田市初島町*	34° 08.8' N	135° 09.5' E	4km	M: 2.2 有田市初島町* 海南市下津*=1.0
51	15 10 30	新潟県下越沖 山形県 新潟県 1 鶴岡市温海* 1 村上市府屋*	38° 36.4' N	139° 25.1' E	13km	M: 3.2 鶴岡市温海*=0.9 村上市府屋*=1.3
52	15 14 32	青森県三八上北地方 青森県 4 三沢市桜町* 3 野辺地町田狭沢* 五戸町倉石中市* 野辺地町野辺地* 東北町塔ノ沢山* 東通村白糠* 外ヶ浜町蟹田* 2 十和田市奥瀬* 平内町東田沢* つがる市稲垣町* つがる市市柏* 青森市浪岡* 田子町田子* 鶴岡町鶴岡* 佐井村長後* 外ヶ浜町平館*	40° 47.5' N	141° 20.3' E	93km	M: 5.5 三沢市桜町* 八戸市南郷* 東北町上北南* 八戸市内丸*=3.5 野辺地町田狭沢* 階上町道仏* 三戸町在府小路町* 五戸町古館=3.3 五戸町倉石中市* 十和田市西二番町* 六ヶ所村犬落瀬* 青森南部町苦米地* 野辺地町野辺地* 七戸町七戸* 六ヶ所村出戸* 八戸市湊町* 東通村砂子又沢内* 東北町塔ノ沢山* おいらせ町中下田* 七戸町森ノ上* おいらせ町上明堂* 東通村白糠* 横浜町林ノ脇* 六ヶ所村尾駈* むつ市金谷* 青森南部町沖田面* 外ヶ浜町蟹田* 横浜町寺下* むつ市川内町* むつ市金曲* 平内町小湊=2.5 十和田市奥瀬* 東通村砂子又蒲谷地* むつ市大畑町中島* 五所川原市栄町=2.3 平内町東田沢* つがる市市木造* 青森市花園* 五所川原市敷島町*=2.2 つがる市稲垣町* つがる市市柏* 蓬田村蓬田* 青森市中央* 八戸市島守* 青森市浪岡* 田子町田子* 鶴岡町鶴岡* 佐井村長後* 外ヶ浜町平館*=1.8

令和元年 8 月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>黒石市市ノ町*=1.8 新郷村戸来*=1.8 藤崎町西豊田*=1.8 むつ市脇野沢*=1.8 平川市猿賀*=1.7 平川市柏木町*=1.7 弘前市弥生=1.7 七戸町北天間館=1.7 鱒ヶ沢町本町=1.7 田舎館村田舎館*=1.7 藤崎町水木*=1.6 つがる市森田町*=1.6 五所川原市金木町*=1.6 弘前市城東中央*=1.6 西目屋村田代*=1.5 大鰐町大鰐*=1.5 つがる市車力町*=1.5 弘前市賀田*=1.5 東通村尻屋*=1.5 平川市碓ヶ関*=1.5</p> <p>1 五所川原市相内*=1.4 今別町今別*=1.4 板柳町板柳*=1.4 むつ市大畑町奥薬研=1.4 佐井村佐井*=1.4 中泊町中里*=1.3 鱒ヶ沢町舞戸町*=1.3 風間浦村易国間*=1.2 五所川原市太田=1.1 大間町大間*=1.1 外ヶ浜町三厩*=1.1 弘前市五所*=1.0 弘前市和田町=0.9 深浦町深浦岡町=0.9 中泊町小泊*=0.8 深浦町長慶平=0.7</p> <p>3 函館市新浜町*=2.9 函館市泊町*=2.8 函館市日ノ浜町*=2.7</p> <p>2 浦幌町桜町*=2.3 様似町栄町*=1.7 新冠町北星町*=1.7 千歳市若草*=1.6 函館市川汲町*=1.6 えりも町えりも岬*=1.6 厚真町鹿沼=1.6 別海町西春別*=1.6 新千歳空港=1.5 福島町福島*=1.5 新ひだか町静内山手町=1.5 室蘭市寿町*=1.5</p> <p>1 函館市大森町*=1.4 壮瞥町滝之町*=1.4 浦河町潮見=1.4 浜中町茶内*=1.4 別海町常盤=1.4 根室市厚床*=1.4 幕別町忠類錦町*=1.3 十勝池田町西 1 条*=1.3 十勝大樹町東本通*=1.3 木古内町木古内*=1.3 上ノ国町大留*=1.3 函館市美原=1.3 函館市尾札部町=1.3 浦河町築地*=1.3 帯広市東 6 条*=1.3 新ひだか町静内御幸町*=1.2 新ひだか町三石旭町*=1.2 浦河町野深=1.2 本別町北 2 丁目=1.2 本別町向陽町*=1.2 千歳市北栄=1.2 十勝大樹町生花*=1.2 洞爺湖洞爺町*=1.2 標茶町塘路*=1.2 帯広市東 4 条=1.2 別海町本別海*=1.2 洞爺湖町栄町*=1.1 弟子屈町弟子屈*=1.1 釧路市音別町中園*=1.1 苫小牧市末広町=1.1 根室市瑤瑤岬*=1.1 厚真町京町*=1.0 むかわ町穂別*=1.0 胆振伊達市梅本=1.0 豊頃町炭岩本町*=1.0 渡島北斗市中央*=1.0 恵庭市京町*=1.0 七飯町桜町=1.0 乙部町緑町*=1.0 登別市桜木町*=1.0 白糠町西 1 条*=0.9 檜山江差町姥神=0.9 日高地方日高町門別*=0.9 平取町振内*=0.9 広尾町並木通=0.9 胆振伊達市大滝区本町*=0.9 江別市緑町*=0.9 七飯町本町*=0.9 安平町追分柏が丘*=0.9 根室市落石東*=0.8 札幌東区元町*=0.8 標茶町川上*=0.8 豊浦町大岸*=0.8 鹿部町宮浜*=0.8 渡島森町上台町*=0.8 更別村更別*=0.8 釧路町別保*=0.8 鶴居村鶴居東*=0.7 札幌厚別区もみじ台*=0.7 檜山江差町中歌町*=0.7 厚岸町真栄*=0.7 中標津町養老牛=0.6 厚岸町尾幌=0.6 十勝清水町南 4 条=0.6 千歳市支笏湖温泉*=0.6 広尾町白樺通=0.6 中札内村東 2 条*=0.6 八雲町熊石雲石町*=0.6 渡島森町御幸町=0.6 厚沢部町木間内*=0.5 釧路市幸町=0.5 釧路市音別町尺別=0.5 登別市鉱山=0.5 上ノ国町小砂子*=0.5 白老町大町=0.5</p> <p>3 盛岡市薮川*=3.3 久慈市川崎町=3.1 軽米町軽米*=3.1 二戸市浄法寺町*=3.0 久慈市枝成沢=2.9 二戸市福岡=2.8 一戸町高善寺*=2.8 二戸市石切所*=2.7 岩手洋野町種市=2.6 九戸村伊保内*=2.5 滝沢市鶴飼*=2.5</p> <p>2 宮古市五月町*=2.4 宮古市田老*=2.4 久慈市長内町*=2.4 岩泉町岩泉*=2.4 野田村野田*=2.4 八幡平市田頭*=2.4 八幡平市吹田*=2.4 矢巾町南矢幅*=2.4 普代村銅屋*=2.3 遠野市青笹町*=2.2 岩手洋野町大野*=2.1 盛岡市山王町=2.1 葛巻町葛巻元木=2.1 八幡平市大更=2.0 釜石市中妻町*=2.0 八幡平市野駄*=2.0 岩手町五日市*=2.0 宮古市区界*=1.9 盛岡市浪民*=1.9 紫波町紫波中央駅前*=1.9 花巻市石鳥谷町*=1.9 奥州市江刺*=1.9 宮古市鉄ヶ崎=1.8 葛巻町消防分署*=1.8 一関市千厩町*=1.8 平泉町平泉*=1.8 葛巻町役場*=1.7 山田町大沢*=1.7 田野畑村田野畑=1.7 田野畑村役場*=1.7 花巻市東和町*=1.7 奥州市水沢大鐘町=1.7 山田町八幡町=1.7 奥州市前沢*=1.7 奥州市胆沢*=1.7 盛岡市馬場町*=1.6 花巻市大迫町=1.6 金ヶ崎町西根*=1.6 奥州市水沢佐倉河*=1.6 宮古市川井*=1.6 大船渡市大船渡町=1.5 宮古市茂市*=1.5 北上市相去町*=1.5</p> <p>1 久慈市山形町*=1.4 岩泉町大川*=1.4 釜石市只越町=1.4 住田町世田米*=1.4 大槌町小鏡*=1.4 雫石町千刈田=1.4 花巻市材木町*=1.4 奥州市衣川*=1.3 北上市柳原町=1.2 一関市室根町*=1.2 花巻市大迫総合支所*=1.1 遠野市宮守町*=1.1 一関市藤沢町*=1.1 西和賀町沢内太田*=1.1 宮古市長沢=1.0 雫石町西根上駒木野=1.0 一関市竹山町*=0.9 西和賀町沢内川舟*=0.9 一関市大東町=0.8 大船渡市猪川町=0.7 西和賀町川尻*=0.7 大船渡市盛町*=0.6 一関市東山町*=0.6 陸前高田市高田町*=0.5</p> <p>2 登米市迫町*=1.7 涌谷町新町裏=1.6 登米市中田町=1.6 登米市登米町*=1.6 登米市米山町*=1.6 登米市南方町*=1.6</p> <p>1 栗原市若柳*=1.3 南三陸町志津川=1.3 宮城美里町木間塚*=1.3 丸森町鳥屋*=1.3 石巻市桃生町*=1.3 気仙沼市赤岩=1.2 気仙沼市唐桑町*=1.2 大崎市古川三日町=1.2 石巻市前谷地*=1.2 栗原市一迫*=1.1 大崎市松山*=1.1 大崎市田尻*=1.1 東松島市矢本*=1.1 松島町高城=1.1 栗原市志波姫*=1.1 岩沼市桜*=1.0 石巻市相野谷*=1.0 気仙沼市笹が陣*=1.0 栗原市栗駒=1.0 栗原市築館*=1.0 栗原市金成*=1.0 大崎市鹿島台*=0.9 栗原市高清水*=0.9 大崎市古川大崎=0.8 宮城加美町中新田*=0.8 宮城加美町小野田*=0.8 色麻町四竈*=0.8 名取市増田*=0.8 角田市角田*=0.8 大河原町新南*=0.8 亶理町下小路*=0.7 大崎市岩出山*=0.7 利府町利府*=0.7 栗原市鶯沢*=0.7 石巻市北上町*=0.5 登米市東和町*=0.5</p> <p>2 鹿角市花輪*=1.6 大館市桜町*=1.5 大館市比内町扇田*=1.5</p> <p>1 能代市二ツ井町上台*=1.3 小坂町小坂砂森*=1.3 大館市早口*=1.2 北秋田市花園町=1.2 北秋田市新田目*=1.2 井川町北川尻*=1.1 北秋田市米内沢*=1.1 横手市大雄*=1.1 藤里町藤里*=1.0 三種町豊岡*=1.0 秋田市河辺和田*=1.0 大館市比内町味噌内=1.0 大仙市刈野*=1.0 大仙市高梨*=1.0 能代市常盤山谷=0.9 能代市上町*=0.9 羽後町西馬音内*=0.9 仙北市西木町上桧木内*=0.9 八峰町峰浜目名瀬*=0.8 横手市雄物川町今宿=0.8 湯沢市沖鶴=0.8 湯沢市川連町*=0.8 大仙市大曲花園町*=0.8 能代市緑町=0.8 横手市中央町*=0.7 仙北市田沢湖生保内宮ノ後*=0.7 八峰町八森木戸の沢*=0.6 由利本荘市岩城内道川*=0.6 大仙市太田町太田*=0.6 北秋田市阿仁水無*=0.6 秋田美郷町六郷東根=0.5 横手市大森町*=0.5 横手市十文字町*=0.5</p> <p>1 中山町長崎*=1.2</p>				
北海道						
岩手県						
宮城県						
秋田県						
山形県						

令和元年 8 月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
53	15 15 06	青森県三八上北地方 青森県 3 三沢市桜町*3.0 八戸市南郷*2.8 八戸市内丸*2.6 三戸町在府小路町*2.5 青森南部町苦米地*2.5 階上町道仏*2.5 2 八戸市湊町*2.4 五戸町古館*2.3 五戸町倉石中市*2.3 東通村砂子又沢内*2.1 野辺地町田狭沢*2.1 東北町上北南*2.0 東通村白糠*2.0 十和田市西二番町*2.0 六戸町犬落瀬*1.7 七戸町七戸*1.7 おいらせ町中下田*1.7 東北町塔ノ沢山*1.7 六ヶ所村尾駈*1.7 野辺地町野辺地*1.6 青森南部町沖田面*1.6 外ヶ浜町蟹田*1.6 七戸町森ノ上*1.6 六ヶ所村出戸*1.6 つがる市木造*1.5 おいらせ町上明堂*1.5 横浜町林ノ脇*1.5 平内町小湊*1.5 1 むつ市金谷*1.4 むつ市川内町*1.4 東通村砂子又蒲谷地*1.4 むつ市金曲*1.3 五所川原市敷島町*1.3 つがる市柏*1.3 十和田市奥瀬*1.3 横浜町寺下*1.1 青森市花園*1.1 つがる市稲垣町*1.1 むつ市大畑町中島*1.1 平内町東田沢*1.1 むつ市脇野沢*1.0 鶴田町鶴田*1.0 子子町子子*1.0 外ヶ浜町平館*0.9 八戸市島守*0.9 青森市中央*0.9 青森市浪岡*0.9 蓬田村蓬田*0.9 鯉ヶ沢町本町*0.8 佐井村長後*0.8 東通村尻屋*0.6 藤崎町水木*0.6 平川市猿賀*0.6 藤崎町西豊田*0.6 つがる市車力町*0.5 弘前市弥生*0.5 北海道 2 函館市新浜町*1.9 函館市日ノ浜町*1.8 函館市泊町*1.6 岩手県 1 函館市川汲町*1.0 厚真町鹿沼*0.5 2 盛岡市藪川*2.2 二戸市浄法寺町*2.1 軽米町軽米*2.1 一戸町高善寺*1.9 二戸市福岡*1.9 岩手町五日市*1.7 二戸市石切所*1.5 久慈市枝成沢*1.5 岩手洋野町種*1.5 1 久慈市川崎町*1.4 普代村銅屋*1.4 八幡平市叭田*1.4 九戸村伊保内*1.4 野田村野田*1.3 盛岡市洪民*1.3 葛巻町葛巻元木*1.3 八幡平市田頭*1.3 盛岡市山王町*1.2 滝沢市鶴飼*1.2 宮古市田老*1.1 矢巾町南矢幅*1.1 八幡平市大更*1.0 久慈市長内町*1.0 宮古市五月町*0.8 葛巻町消防分署*0.8 岩手洋野町大野*0.8 遠野市青笹町*0.7 雫石町千刈田*0.6 宮古市鉾ヶ崎*0.6 盛岡市馬場町*0.5 宮古市区界*0.5 釜石市中妻町*0.5 花巻市大迫町*0.5	40° 47.5' N 141° 19.4' E 91km M: 4.5			
54	15 15 54	宮城県沖 岩手県 2 一関市千厩町*1.5 1 一関市室根町*1.2 一関市藤沢町*0.9 一関市東山町*0.9 住田町世田米*0.8 一関市花泉町*0.7 一関市大東町*0.7 大船渡市猪川町*0.5 宮城県 1 石巻市桃生町*1.3 涌谷町新町裏*1.2 石巻市北上町*1.0 登米市東和町*0.9 大崎市田尻*0.7 石巻市鮎川浜*0.7 石巻市大街道南*0.7 栗原市瀬峰*0.6 登米市石越町*0.6 登米市中田町*0.6 石巻市泉町*0.6 南三陸町志津川*0.5 南三陸町歌津*0.5 気仙沼市笹か陣*0.5 東松島市小野*0.5	38° 14.0' N 141° 49.8' E 62km M: 4.0			
55	15 17 52	福島県沖 福島県 2 檜葉町北田*2.1 葛尾村落合落合*1.9 川内村下川内*1.7 福島広野町下北迫大谷地原*1.6 川内村上川内早渡*1.6 富岡町本岡*1.6 1 田村市常葉町*1.3 大熊町大川原*1.3 飯館村伊丹沢*1.3 浪江町幾世橋*1.2 田村市船引町*1.2 川内村上川内小山平*1.1 小野町小野新町*1.0 相馬市中村*1.0 白河市新白河*1.0 いわき市三和町*0.9 いわき市平四ツ波*0.9 川俣町五百田*0.9 いわき市錦町*0.8 二本松市金色*0.8 田村市滝根町*0.8 小野町中通*0.7 二本松市針道*0.7 大熊町野上*0.7 福島広野町下北迫苗代替*0.6 白河市郭内*0.6 南相馬市鹿島区栞窪*0.5 棚倉町棚倉中居野*0.5 本宮市本宮*0.5 宮城県 1 山元町浅生原*0.9 茨城県 1 日立市助川小学校*0.6 常陸大宮市山方*0.6	37° 06.7' N 141° 13.6' E 62km M: 3.8			
56	15 18 07	宮城県沖 岩手県 1 釜石市中妻町*1.2 大船渡市大船渡町*1.0 一関市千厩町*0.8 一関市室根町*0.8 一関市花泉町*0.8 一関市藤沢町*0.7 住田町世田米*0.6 奥州市前沢*0.5 陸前高田市高田町*0.5 北上市相去町*0.5 大船渡市盛町*0.5 宮城県 1 南三陸町志津川*1.4 気仙沼市笹か陣*1.2 石巻市桃生町*1.2 気仙沼市唐桑町*1.0 登米市迫町*1.0 気仙沼市赤岩*1.0 大崎市田尻*0.9 大崎市古川三日町*0.9 涌谷町新町裏*0.8 宮城美里町木間塚*0.7 登米市南方町*0.7 登米市中田町*0.7 大崎市古川大崎*0.6 岩沼市桜*0.6 大河原町新南*0.6 石巻市北上町*0.6 石巻市前谷地*0.6 栗原市栗駒*0.6 松島町高城*0.6 石巻市泉町*0.5	38° 35.4' N 142° 16.7' E 39km M: 4.6			
57	15 18 15	十勝沖 北海道 2 浜中町茶内*1.8 浦幌町桜町*1.7 十勝大樹町生花*1.7 十勝池田町西1条*1.7 本別町向陽町*1.6 釧路市黒金町*1.5 1 本別町北2丁目*1.4 標茶町塘路*1.4 弟子屈町弟子屈*1.2 豊頃町茂岩本町*1.2 別海町西春別*1.2 別海町本別海*1.2 足寄町南1条*1.0 別海町常盤*1.0 釧路市幸町*1.0 釧路市音別町中園*1.0 鶴居村鶴居東*0.9 釧路市音別町尺別*0.9 足寄町上螺湾*0.9 幕別町本町*0.9 白糠町西1条*0.8 中標津町養老牛*0.8 標茶町川上*0.8 釧路市阿寒町中央*0.8 釧路町別保*0.8 根室市厚床*0.8 幕別町忠類錦町*0.7 浜中町湯沸*0.6 北見市留辺蘂町栄町*0.5 新得町2条*0.5 根室市瑠瑠瑠*0.5 陸別町陸別*0.5 青森県 1 東通村砂子又沢内*0.8	42° 08.9' N 143° 48.7' E 68km M: 4.4			
58	15 20 19	沖縄本島近海 鹿児島県 1 伊仙町伊仙*1.4 知名町瀬利覚*1.4 与論町茶花*1.2 和泊町国頭*0.5 知名町知名*0.5 1 国頭村奥*1.1 国頭村辺土名*1.0 伊平屋村役場*0.8	27° 12.2' N 128° 19.3' E 52km M: 3.9			
59	15 21 50	有明海 熊本県 1 熊本西区春日*0.5	32° 43.5' N 130° 36.3' E 13km M: 2.6			

令和元年 8 月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
60	16 19 06	茨城県北部 茨城県 1 日立市助川小学校*0.5	36° 42.6' N	140° 36.4' E	9km	M: 2.6
61	18 02 17	釧路沖 北海道 1 浜中町茶内*1.0 鶴居村鶴居東*0.9 標茶町塘路*0.7 弟子屈町弟子屈*0.6 別海町本別海*0.6 根室市落石東*0.6 根室市厚床*0.5	42° 45.5' N	144° 50.3' E	82km	M: 3.8
62	18 17 17	広島県北部 広島県 1 庄原市高野町*0.8	35° 03.7' N	132° 59.0' E	7km	M: 2.0
63	18 19 06	新潟県下越沖 新潟県 3 村上市寒川*2.7 村上市府屋*2.7 2 阿賀町白崎*2.3 粟島浦村日ノ見山*1.8 関川村下関*1.8 村上市岩船駅前*1.7 村上市山口*1.6 粟島浦村笹畑*1.6 村上市片町*1.5 村上市岩沢*1.5 1 新発田市乙次*1.4 阿賀町鹿瀬中学校*1.3 胎内市黒川*1.3 長岡市上岩井*1.2 村上市塩田*1.2 阿賀町豊川*1.1 新発田市中央町*1.1 新潟秋葉区程島*1.1 胎内市大川町*1.0 胎内市新和町*0.9 村上市三之町*0.9 阿賀野市姥ヶ橋*0.9 出雲崎町米田*0.9 新潟秋葉区新津東町*0.9 阿賀町津川*0.8 阿賀野市岡山町*0.8 新潟南区白根*0.8 佐渡市畑野*0.8 新発田市住田*0.7 佐渡市新徳瓜生屋*0.7 三条市茨堀*0.6 五泉市太田*0.6 阿賀野市畑江*0.6 新潟江南区泉町*0.6 佐渡市両津湊*0.6 佐渡市千種*0.6 長岡市与板町与板*0.5 三条市新堀*0.5 柏崎市西山町池浦*0.5 出雲崎町川西*0.5 魚沼市須原*0.5 新発田市本町*0.5 上越市安塚区安塚*0.5 新潟西区寺尾東*0.5 佐渡市相川三丁目*0.5 長岡市小島谷*0.5 聖籠町諏訪山*0.5 佐渡市相川栄町*0.5 長岡市寺泊敦ヶ曾根*0.5	38° 32.8' N	139° 23.8' E	11km	M: 4.4
		福島県 2 西会津町登世島*1.5 1 南会津町界*1.0 西会津町野沢*1.0 福島金山町川口*0.7 下郷町高陸*0.5				
		宮城県 1 岩沼市桜*0.5 宮城美里町北浦*0.5				
		山形県 1 鶴岡市温海川*1.4 飯豊町上原*1.4 中山町長崎*1.0 鶴岡市道田町*0.9 鶴岡市温海*0.8 米沢市林泉寺*0.7 西川町大井沢*0.7 鶴岡市上山添*0.6 三川町横山*0.6 山辺町緑ヶ丘*0.6 山形小国町岩井沢*0.6 山形小国町小国小坂町*0.6 鶴岡市下名川*0.5 山形川西町上小松*0.5 鶴岡市馬場町*0.5				
64	18 22 35	宮城県沖 宮城県 1 気仙沼市唐桑町*0.8 大崎市田尻*0.7	38° 27.1' N	142° 00.6' E	42km	M: 3.8
65	19 13 59	新潟県中越地方 新潟県 1 長岡市浦*1.2 小千谷市旭町*1.0 小千谷市城内*0.5 長岡市山古志竹沢*0.5	37° 23.3' N	138° 47.2' E	9km	M: 2.6
66	19 17 38	新潟県下越沖 新潟県 1 村上市府屋*1.1 村上市寒川*0.7	38° 32.9' N	139° 23.9' E	11km	M: 3.2
67	19 17 43	佐賀県南部 佐賀県 2 佐賀市富士町*1.5 1 唐津市七山*1.2 佐賀市三瀬*1.1 佐賀市駅前中央*1.0 唐津市厳木町*0.9 佐賀市大和*0.8 吉野ヶ里町東脊振*0.8 みやき町中原*0.7 福岡県 1 糸島市前原東*1.2 糸島市二丈深江*1.0 糸島市前原西*0.9 久留米市小森野町*0.8 糸島市志摩初*0.7 福岡西区今宿*0.6 久留米市津福本町*0.6	33° 24.4' N	130° 11.6' E	16km	M: 3.1
68	19 19 11	茨城県北部 茨城県 1 高萩市安良川*1.0 日立市助川小学校*0.9	36° 41.9' N	140° 38.4' E	5km	M: 2.9
69	20 09 30	大阪府北部 京都府 2 八幡市八幡*1.5 久御山町田井*1.5 1 長岡京市開田*1.4 大山崎町円明寺*1.4 京都西京区大枝*1.1 宇治市宇治琵琶*1.1 京都伏見区向島*1.0 京都伏見区淀*0.8 向日市寺戸町*0.8 宇治市折居台*0.7 亀岡市安町*0.7 城陽市寺田*0.7 京都伏見区久我*0.7 亀岡市余部町*0.6 京都西京区榎原*0.5 京都伏見区醍醐*0.5 京都中京区河原町御池*0.5 大阪府 1 島本町若山台*1.0 豊能町余野*0.9 高槻市立第2中学校*0.7 枚方市大垣内*0.6 高槻市桃園町*0.6 高槻市消防本部*0.5	34° 55.4' N	135° 38.5' E	10km	M: 2.9
70	20 17 20	奄美大島近海 鹿児島県 3 喜界町滝川*2.8 喜界町湾*2.7 奄美市笠利町里*2.5 2 奄美市名瀬港町*1.9 瀬戸内町請島*1.7 1 龍郷町屋入*1.3 天城町平土野*1.3 瀬戸内町加計呂麻島*1.2 奄美市住用町西仲間*1.2 瀬戸内町与路島*1.2 奄美市名瀬幸町*1.1 龍郷町浦*1.1 大和村思勝*1.0 瀬戸内町古仁屋*0.9 宇検村湯湾*0.9	28° 01.7' N	130° 12.2' E	46km	M: 4.9
71	20 18 28	奄美大島近海 鹿児島県 1 喜界町滝川*0.9	28° 02.6' N	130° 12.7' E	45km	M: 3.4
72	20 21 52	奄美大島近海 鹿児島県 2 瀬戸内町請島*1.8 奄美市笠利町里*1.8 1 喜界町滝川*1.4 奄美市名瀬港町*1.4 鹿児島十島村悪石島*1.2 鹿児島十島村諏訪之瀬島*1.1 瀬戸内町与路島*1.1 喜界町湾*0.9 瀬戸内町加計呂麻島*0.8 瀬戸内町古仁屋*0.6	28° 02.4' N	130° 55.1' E	75km	M: 5.0

令和元年 8 月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
73	21 00 07	新潟県下越沖 新潟県 山形県	38° 32.7' N	139° 23.9' E	11km	M: 3.9
		龍郷町屋入=0.5 2 村上市府屋*=2.3 村上市寒川*=2.2 1 関川村下関*=0.9 村上市岩沢*=0.6 1 鶴岡市温海川=1.4 鶴岡市道田町*=1.1 飯豊町上原*=1.1 大蔵村肘折*=0.9 鶴岡市温海*=0.9 西川町大井沢*=0.8 庄内町狩川*=0.6 鶴岡市馬場町=0.5 鶴岡市下名川*=0.5 三川町横山*=0.5				
74	21 12 35	十勝地方南部 北海道	42° 23.5' N	143° 03.7' E	26km	M: 4.3
		2 幕別町志類錦町*=2.2 広尾町白樺通=2.1 十勝大樹町東本通*=1.9 浦河町野深=1.9 十勝大樹町生花*=1.8 広尾町並木通=1.8 浦幌町桜町*=1.8 新ひだか町三石旭町*=1.7 浦河町築地*=1.7 豊頃町茂岩本町*=1.6 浦河町潮見=1.6 1 様似町栄町*=1.2 更別村更別*=1.2 新ひだか町静内山手町=1.1 むかわ町穂穂*=0.9 芽室町東2条*=0.8 えりも町目黒*=0.8 新得町2条*=0.6 幕別町本町*=0.6 帯広市東6条*=0.6 新ひだか町静内農生*=0.5 本別町向陽町*=0.5 安平町追分柏が丘*=0.5				
75	22 09 42	青森県東方沖 北海道 青森県	41° 35.7' N	141° 55.6' E	65km	M: 3.4
		1 函館市泊町*=0.7 1 東通村砂子又沢内*=0.6				
76	23 00 11	滋賀県北部 滋賀県	35° 25.0' N	136° 02.3' E	9km	M: 2.2
		1 高島市今津町日置前*=0.6				
77	23 20 49	千葉県南部 千葉県 神奈川県 東京都 静岡県	35° 21.0' N	140° 01.0' E	40km	M: 4.0
		2 木更津市富士見*=2.2 長南町長南*=2.1 長南町総合グラウンド=1.9 市原市姉崎*=1.9 富津市下飯野*=1.7 君津市久留里市場*=1.6 千葉中央区都町*=1.5 大多喜町大多喜*=1.5 1 千葉美浜区ひび野=1.4 勝浦市墨名=1.3 千葉緑区おゆみ野*=1.2 鴨川市横渚*=1.2 君津市久保*=1.2 勝浦市新官*=1.1 木更津市太田=1.1 一宮町一宮=1.1 鴨川市八色=1.0 袖ヶ浦市坂戸市場*=1.0 大網白里市大網*=0.9 南房総市富浦町青木*=0.9 南房総市岩糸*=0.9 千葉中央区千葉市役所*=0.9 四街道市鹿渡*=0.9 市原市国分寺台中央*=0.8 千葉中央区中央港=0.8 館山市長須賀=0.8 千葉花見川区花島町*=0.8 館山市北条*=0.7 南房総市谷向*=0.7 山武市埴谷*=0.7 茂原市道表*=0.7 習志野市鷺沼*=0.6 千葉稲毛区園生町*=0.6 長柄町桜谷*=0.6 東金市日吉台*=0.6 鴨川市内浦=0.6 千葉美浜区稲毛海岸*=0.6 2 横浜中区山手町=2.0 横浜中区山下町*=1.7 横浜港南区丸山台東部*=1.5 1 横浜神奈川区広台太田町*=1.4 横浜磯子区磯子*=1.4 横浜磯子区洋光台*=1.4 横浜中区日本大通*=1.3 川崎川崎区宮前町*=1.3 横浜鶴見区末広町*=1.2 横浜中区山吹町*=1.2 川崎川崎区千鳥町*=1.1 川崎中原区小杉陣屋町=1.1 川崎宮前区宮前平*=1.1 横浜栄区小菅ヶ谷*=1.0 横浜金沢区釜利谷南*=1.0 横浜港北区日吉本町*=1.0 横浜金沢区白帆*=0.9 横浜金沢区寺前*=0.9 横浜西区みなとみらい*=0.9 横浜戸塚区平戸町*=0.8 横浜保土ヶ谷区上菅田町*=0.8 横浜鶴見区鶴見*=0.8 横須賀市光の丘=0.8 三浦市城山町*=0.8 鎌倉市御成町*=0.7 横浜旭区大池町*=0.7 横浜保土ヶ谷区神戸町*=0.6 横須賀市坂本町*=0.5 川崎川崎区中島*=0.5 横浜旭区今宿東町*=0.5 1 東京千代田区大手町=1.2 東京国際空港=1.2 調布市西つつじヶ丘*=0.9 東京品川区平塚*=0.8 東京大田区本羽田*=0.8 東京江戸川区船堀*=0.7 東京中央区勝どき*=0.7 東京港区白金*=0.6 東京文京区本郷*=0.6 東京大田区多摩川*=0.6 東京世田谷区三軒茶屋*=0.6 東京渋谷区宇田川町*=0.6 1 富士宮市野中*=0.5				
78	23 21 41	熊本県天草・芦北地方 熊本県	32° 21.7' N	130° 28.9' E	9km	M: 3.0
		1 球磨村渡*=1.1 上天草市龍ヶ岳町*=0.9 芦北町田浦町*=0.8 水俣市陣内*=0.7 水俣市牧ノ内*=0.6 芦北町芦北=0.6				
79	24 01 39	宮城県沖 宮城県 岩手県	38° 53.3' N	141° 58.1' E	49km	M: 3.9
		2 気仙沼市笹が陣*=1.5 1 登米市東和町*=1.1 気仙沼市赤岩=1.0 気仙沼市唐桑町*=0.9 石巻市北上町*=0.8 石巻市桃生町*=0.8 南三陸町志津川=0.7 南三陸町歌津*=0.7 気仙沼市本吉町西川内=0.7 大崎市田尻*=0.6 気仙沼市本吉町津谷*=0.5 1 大船渡市猪川町=1.4 一関市千厩町*=1.4 大船渡市大船渡町=1.1 一関市室根町*=1.0 一関市藤沢町*=0.8 釜石市中妻町*=0.8 陸前高田市高田町*=0.7 住田町世田米*=0.6				
80	24 03 05	宮城県沖 宮城県	38° 24.2' N	141° 53.4' E	54km	M: 4.2
		3 大崎市田尻*=2.5 2 涌谷町新町裏=2.3 石巻市桃生町*=2.3 東松島市矢本*=2.2 石巻市鮎川浜*=2.1 塩竈市旭町*=2.1 大崎市古川旭*=2.1 石巻市大街道南*=2.0 大崎市古川大崎=2.0 松島町高城=2.0 登米市豊里町*=1.9 大崎市古川三日町=1.9 仙台宮城野区苦竹*=1.9 名取市増田*=1.8 東松島市小野*=1.8 石巻市泉町=1.8 南三陸町志津川=1.7 南三陸町歌津*=1.7 宮城美里町北浦*=1.7 栗原市高清水*=1.7 石巻市雄勝町*=1.7 登米市中田町=1.7 大崎市松山*=1.7 岩沼市桜*=1.7 七ヶ浜町東宮浜*=1.7 大崎市鹿島台*=1.6 石巻市北上町*=1.6 栗原市瀬峰*=1.6 宮城川崎町前川*=1.6 仙台宮城野区五輪=1.6 大崎市鳴子*=1.6 登米市東和町*=1.6 大衡村大衡*=1.6 女川町女川浜*=1.6 登米市石越町*=1.5 登米市南方町*=1.5 登米市迫町*=1.5 仙台青葉区大倉=1.5 石巻市相野谷*=1.5 石巻市前谷地*=1.5 宮城美里町木間塚*=1.5 1 栗原市栗駒=1.4 栗原市金成*=1.4 栗原市若柳*=1.4 栗原市一迫*=1.4 登米市米山町*=1.4 仙台空港=1.4 仙台青葉区作並*=1.4 仙台若林区遠見塚*=1.4 気仙沼市唐桑町*=1.3				

令和元年 8 月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>登米市津山町*1.3 栗原市志波姫*1.3 気仙沼市笹が陣*1.3 大和町吉岡*1.3 大郷町粕川*1.3 宮城加美町中新田*1.2 栗原市築館*1.2 山元町浅生原*1.2 多賀城市中央*1.2 仙台青葉区落合*1.1 仙台区区将監*1.1 亘理町下小路*1.1 栗原市鶯沢*1.1 栗原市花山*1.1 富谷市富谷*1.1 仙台青葉区雨宮*1.1 柴田町船岡=1.0 色麻町四籠*1.0 登米市登米町*1.0 大崎市岩出山*1.0 宮城加美町小野田*0.9 蔵王町円田*0.9 大河原町新南*0.9 石巻市大瓜=0.8 気仙沼市赤岩=0.8 利府町利府*0.7 村田町村田*0.6 角田市角田*0.6 気仙沼市本吉町西川内=0.6 白石市亘理町*0.5</p> <p>岩手県 2 一関市千厩町*2.3 住田町世田米*2.1 一関市大東町=1.7 一関市室根町*1.7 奥州市衣川*1.6 一関市花泉町*1.6 一関市藤沢町*1.5</p> <p>1 大船渡市猪川町=1.4 一関市東山町*1.4 大船渡市大船渡町=1.3 奥州市前沢*1.3 遠野市宮守町*1.2 宮古市区界*1.2 陸前高田市高田町*1.2 釜石市中妻町*1.2 北上市相去町*1.2 奥州市胆沢*1.1 平泉町平泉*1.0 奥州市江刺*1.0 矢巾町南矢幅*1.0 金ヶ崎町西根*0.9 北上市柳原町=0.9 釜石市只越町=0.8 花巻市大迫町=0.8 花巻市東和町*0.8 盛岡市藪川*0.8 遠野市青笹町*0.7 一関市川崎町*0.7 一関市竹山町*0.7 盛岡市山王町=0.6 大船渡市盛町*0.6 盛岡市洪民*0.6 八幡平市田頭*0.6 盛岡市馬場町*0.5 花巻市石鳥谷町*0.5 西和賀町沢内川舟*0.5</p> <p>青森県 1 階上町道仏*0.9</p> <p>山形県 1 尾花沢市若葉町*0.6</p> <p>福島県 1 相馬市中村*1.2 大熊町大川原*0.9 飯館村伊丹沢*0.9 南相馬市鹿島区西町*0.9 川俣町五百田*0.8 福島伊達市霊山町*0.8 田村市船引町=0.6 福島伊達市梁川町*0.6 新地町谷地小屋*0.6 南相馬市鹿島区栴窪=0.6 南相馬市原町区高見町*0.5</p>				
81	24 08 44	石垣島近海 沖縄県	24° 21.9' N	124° 42.4' E	54km	M: 5.2
		<p>3 宮古島市下地*2.7 多良間村塩川=2.5 2 多良間村仲筋*2.3 宮古島市伊良部国仲=2.0 宮古島市平良下里=1.9 宮古島市上野新里=1.9 宮古島市平良池間=1.8 宮古島市平良西里*1.8 宮古島市城辺福北=1.7 石垣市平久保=1.7 宮古島市平良狩俣*1.6 宮古島市城辺福西*1.6 石垣市新栄町*1.6 石垣市美崎町*1.5 1 石垣市伊原間*1.4 石垣市登野城=1.3 石垣市新川=0.9 竹富町大原=0.8 竹富町黒島=0.8 竹富町船浮=0.7 竹富町上原*0.7</p>				
82	24 11 49	熊本県熊本地方 熊本県	32° 43.3' N	130° 38.4' E	11km	M: 2.3
		<p>1 熊本西区春日=0.7</p>				
83	24 13 52	福島県沖 宮城県	37° 23.2' N	142° 25.1' E	25km	M: 5.6
		<p>3 石巻市桃生町*2.8 登米市南方町*2.6 2 登米市豊里町*2.3 登米市米山町*2.3 登米市迫町*2.3 大崎市古川旭*2.3 丸森町鳥屋*2.3 大崎市古川三日町=2.2 涌谷町新町裏=2.1 東松島市矢本*2.1 宮城美里町木間塚*2.0 亘理町下小路*2.0 石巻市大街道南*2.0 石巻市相野谷*2.0 石巻市前谷地*2.0 大崎市田尻*2.0 利府町利府*2.0 名取市増田*2.0 岩沼市桜*2.0 蔵王町円田*2.0 大河原町新南*1.9 松島町高城=1.9 栗原市築館*1.9 登米市登米町*1.8 栗原市高清水*1.8 大崎市松山*1.8 登米市中田町=1.8 色麻町四籠*1.8 角田市角田*1.8 仙台空港=1.7 山元町浅生原*1.7 宮城加美町中新田*1.7 宮城美里町北浦*1.7 大崎市三本木*1.7 栗原市一迫*1.7 宮城川崎町前川*1.7 栗原市若柳*1.6 大崎市鹿島台*1.6 大崎市古川大崎=1.6 仙台青葉区作並*1.6 大衡村大衡*1.6 仙台太白区山田*1.6 栗原市志波姫*1.6 白石市亘理町*1.5 仙台青葉区落合*1.5 仙台宮城野区五輪=1.5 南三陸町志津川=1.5 1 宮城加美町小野田*1.4 仙台宮城野区苦竹*1.4 仙台若林区遠見塚*1.4 塩竈市旭町*1.4 東松島市小野*1.4 仙台青葉区雨宮*1.3 仙台区区将監*1.3 石巻市北上町*1.3 栗原市花山*1.3 栗原市瀬峰*1.3 村田町村田*1.2 大和町吉岡*1.2 大郷町粕川*1.2 富谷市富谷*1.2 仙台青葉区大倉=1.2 栗原市栗駒=1.2 七ヶ浜町東宮浜*1.1 登米市東和町*1.1 柴田町船岡=1.1 栗原市鶯沢*1.0 石巻市泉町=1.0 大崎市岩出山*1.0 七ヶ宿町関*1.0 宮城加美町宮崎*1.0 栗原市金成*0.9 気仙沼市赤岩=0.9 気仙沼市唐桑町*0.9 女川町女川浜*0.9 石巻市大瓜=0.8 石巻市鮎川浜*0.8 登米市石越町*0.8 気仙沼市笹が陣*0.8 丸森町上滝=0.7 石巻市雄勝町*0.7 大崎市鳴子*0.5</p> <p>岩手県 2 矢巾町南矢幅*1.7 盛岡市藪川*1.6 一関市千厩町*1.5 奥州市前沢*1.5 普代村銅屋*1.5 1 北上市相去町*1.4 一関市花泉町*1.4 盛岡市洪民*1.3 花巻市材木町*1.3 花巻市東和町*1.3 北上市柳原町=1.2 一関市藤沢町*1.2 奥州市胆沢*1.2 一関市竹山町*1.2 平泉町平泉*1.1 花巻市石鳥谷町*1.1 金ヶ崎町西根*1.1 釜石市中妻町*1.0 奥州市水沢大鐘町=1.0 一関市室根町*1.0 奥州市衣川*1.0 盛岡市山王町=1.0 奥州市水沢佐倉河*0.9 八幡平市田頭*0.8 久慈市川崎町=0.8 遠野市青笹町*0.7 花巻市大迫町=0.6 久慈市枝成沢=0.6 大船渡市大船渡町=0.6 宮古市五月町*0.5</p> <p>山形県 2 米沢市林泉寺*1.8 中山町長崎*1.7 米沢市アルカディア=1.5 1 高島町高島*1.4 山形川西町上小松*1.4 米沢市駅前=1.2 米沢市金池*1.2 南陽市三間通*1.2 上山市河崎*1.1 山辺町緑ヶ丘*1.1 天童市老野森*1.0 河北町谷地=0.9 河北町役場*0.9 西川町大井沢*0.9 村山市中央*0.9 東根市中央*0.8 尾花沢市若葉町*0.8 新庄市東谷地田町=0.8 最上町向町*0.8 山形市薬師町*0.6</p> <p>福島県 2 玉川村小高*2.3 国見町藤田*2.2 双葉町両竹*2.1 郡山市湖南町*2.0 本宮市白岩*2.0 猪苗代町千代田*2.0 福島伊達市保原町*1.9 大熊町大川原*1.9 南相馬市小高区*1.9 田村市滝根町*1.9 田村市大越町*1.8 相馬市中村*1.8 浪江町幾世橋=1.8 須賀川市八幡山*1.8 須賀川市八幡町*1.8 桑折町東大隅*1.8 福島伊達市前川原*1.7 鏡石町不時沼*1.7 天栄村下松本*1.7 白河市新白河*1.6 須賀川市岩瀬支所*1.6 本宮市本宮*1.6 いわき市三和町=1.6 川内村上川内早渡*1.6 新地町谷地小屋*1.6 南相馬市鹿島区西町*1.6 古殿町松川新桑原*1.6 会津美里町新鶴庁舎*1.6 福島市五老内町*1.5 泉崎村泉崎*1.5 郡山市朝日=1.5 郡山市開成*1.5 猪苗代町城南=1.5</p>				

令和元年 8 月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		1 福島市松木町=1.4 二本松市針道=1.4 川俣町五百田=1.4 大玉村南小屋=1.4 川内村上川内小山平=1.4 福島市桜木町=1.3 二本松市油井=1.3 大玉村玉井=1.3 石川町長久保=1.3 小野町小野新町=1.3 福島伊達市梁川町=1.3 福島伊達市壘山町=1.3 いわき市小名浜=1.3 檜葉町北田=1.3 白河市郭内=1.2 白河市東=1.2 矢吹町一本木=1.2 田村市常葉町=1.2 富岡町本岡=1.2 大熊町野上=1.2 葛尾村落合落合=1.2 南相馬市原町区高見町=1.2 福島広野町下北迫大谷地原=1.1 平田村永田=1.1 いわき市錦町=1.0 白河市大信=1.0 飯館村伊丹沢=1.0 南相馬市原町区三島町=1.0 浅川町浅川=1.0 田村市船引町=1.0 会津若松市材木町=0.9 二本松市金色=0.9 会津美里町本郷庁舎=0.8 福島広野町下北迫苗代替=0.7 棚倉町棚倉中居野=0.7 いわき市平四ツ波=0.7 南相馬市鹿島区栴窪=0.7 川内村下川内=0.6 小野町中通=0.6 茨城県 2 常陸太田市金井町=2.0 1 那珂市瓜連=1.3 常陸太田市高柿町=1.2 笠間市石井=1.2 日立市十王町友部=1.1 石岡市柿岡=1.1 筑西市舟生=1.1 東海村東海=1.0 桜川市岩瀬=0.9 大子町池田=0.8 つくば市天王台=0.8 水戸市金町=0.7 日立市助川小学校=0.7 土浦市常名=0.7 鉾田市鉾田=0.5 常陸大宮市中富町=0.5 取手市寺田=0.5 常陸大宮市北町=0.5 茨城鹿嶋市鉢形=0.5 栃木県 2 大田原市湯津上=1.6 1 那須町寺子=1.4 真岡市石島=1.0 益子町益子=0.9 那須烏山市中央=0.9 真岡市田町=0.8 那須塩原市鍋掛=0.7 宇都宮市明保野町=0.6 日光市芹沼=0.5 那須塩原市藁沼=0.5 青森県 1 階上町道仏=1.4 八戸市南郷=1.2 おいらせ町中下田=1.1 青森南部町苫米地=1.0 六戸町犬落瀬=0.9 五戸町古館=0.8 東北町上北南=0.8 おいらせ町上明堂=0.7 秋田県 1 大仙市大曲花園町=1.4 大仙市高梨=1.3 大仙市刈和野=1.1 由利本荘市前郷=1.0 横手市大雄=0.9 秋田市河辺和田=0.9 井川町北川尻=0.7 三種町豊岡=0.7 由利本荘市西目町沼田=0.6 群馬県 1 邑楽町中野=0.7 渋川市赤城町=0.5 埼玉県 1 加須市大利根=1.0 春日部市谷原新田=1.0 宮代町笠原=1.0 春日部市粕壁=0.8 久喜市下早見=0.5 千葉県 1 香取市佐原平田=0.8 千葉中央区都町=0.7 長野県 1 長野南牧村海ノ口=0.5				
84	25 03 51	青森県東方沖 青森県	41° 29.0' N	142° 01.7' E	63km	M: 4.1
		2 階上町道仏=2.3 八戸市湊町=1.8 東通村砂子又沢内=1.7 六ヶ所村尾駈=1.5 1 野辺地町田沢狭=1.3 八戸市南郷=1.2 青森南部町苫米地=1.1 八戸市内丸=1.0 東通村砂子又蒲谷地=0.9 野辺地町野辺地=0.9 むつ市金曲=0.8 東北町上北南=0.8 東通村白糠=0.8 五戸町古館=0.8 七戸町森ノ上=0.8 三沢市桜町=0.7 五戸町倉石中市=0.7 北海道 1 函館市泊町=0.9 様似町栄町=0.7 函館市新浜町=0.6 岩手県 1 軽米町軽米=1.1 久慈市枝成沢=1.0 盛岡市藪川=0.7 岩手洋野町種市=0.5				
85	26 05 31	愛媛県中子 愛媛県	33° 43.2' N	132° 46.8' E	40km	M: 3.2
		1 西条市丹原町鞍瀬=0.7				
86	26 20 53	宮古島近海 沖縄県	24° 24.4' N	125° 10.0' E	53km	M: 3.6
		1 宮古島市伊良部長浜=0.7 宮古島市城辺福北=0.5				
87	27 00 13	神奈川県西部 山梨県	35° 29.9' N	139° 04.1' E	14km	M: 4.2
		3 上野原市役所=2.9 2 大月市御太刀=2.1 道志村役場=2.1 富士川町鯉沢=2.0 上野原市秋山=1.9 富士河口湖町船津=1.9 富士河口湖町長浜=1.9 大月市大月=1.8 忍野村忍草=1.7 西桂町小沼=1.6 山中湖村山中=1.5 1 都留市上谷=1.4 甲府市古閑町=1.3 山梨北杜市高根町=1.3 山梨北杜市長坂町=1.3 上野原市四方津=1.3 中央市大鳥居=1.2 富士吉田市上吉田=1.2 富士吉田市下吉田=1.2 中央市成島=1.1 大月市役所=1.1 甲州市勝沼町勝沼=1.0 中央市臼井阿原=1.0 鳴沢村役場=1.0 富士河口湖町役場=1.0 笛吹市八代町南=1.0 甲州市大和町初鹿野=0.9 甲府市飯田=0.9 笛吹市春日居町寺本=0.8 富士河口湖町本栖=0.7 甲府市相生=0.7 丹波山村丹波=0.7 身延町大磯小磯=0.7 甲州市役所=0.6 甲州市塩山上於曾=0.6 山梨北杜市明野町=0.5 東京都 2 国分寺市戸倉=2.4 小平市小川町=2.2 八王子市大横町=1.9 町田市忠生=1.8 青梅市日向和田=1.7 東村山市本町=1.7 国分寺市本多=1.6 東大和市中央=1.6 日野市神明=1.6 町田市本町田=1.6 八王子市堀之内=1.6 東村山市美住町=1.5 1 八王子市石川町=1.4 西東京市中町=1.3 清瀬市中里=1.3 調布市西つづじヶ丘=1.3 青梅市東青梅=1.2 町田市森野=1.1 東京練馬区東大泉=1.0 小金井市本町=1.0 昭島市田中町=1.0 檜原村本宿=0.9 東京府中市寿町=0.9 瑞穂町箱根ヶ崎=0.9 武蔵野市吉祥寺東町=0.8 三鷹市野崎=0.8 国立市富士見台=1.0 甲州市朝日町=0.8 東京千代田区大手町=0.7 武蔵村山市本町=0.7 多摩市関戸=0.6 東京杉並区高井戸=0.6 東京渋谷区本町=0.6 日の出町平井=0.5 武蔵野市緑町=0.5 東京新宿区上落合=0.5 羽村市緑ヶ丘=0.5 東京北区西ヶ原=0.5 清瀬市中清戸=0.5 神奈川県 2 相模原緑区小淵=2.3 相模原緑区中野=2.2 相模原中央区水郷田名=2.1 秦野市平沢=2.1 山北町山北=2.1 相模原中央区上溝=1.9 相模原南区相模大野=1.9 横浜青葉区市ケ尾町=1.9 中井町比奈窪=1.7 松田町松田惣領=1.6 愛川町角田=1.6 相模原中央区中央=1.6 秦野市曾屋=1.6 厚木市中町=1.5 寒川町宮山=1.5 横浜保土ヶ谷区上菅田町=1.5 横浜瀬谷区三ツ境=1.5 1 横浜港南区丸山台東部=1.4 横浜旭区川井宿町=1.4 海老名市大谷=1.4 綾瀬市深谷=1.4 横浜旭区今宿東町=1.3 横浜泉区和泉町=1.3 川崎宮前区宮前平=1.3 藤沢市大庭=1.3 藤沢市打戻=1.3 横浜戸塚区鳥が丘=1.3 伊勢原市伊勢原=1.3 神奈川大井町金子=1.3 相模原緑区大島=1.3 相模原緑区久保沢=1.3 横浜磯子区磯子=1.2 横浜戸塚区戸塚町=1.2				

令和元年 8 月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		清川村煤ヶ谷* =1.2 川崎麻生区片平* =1.2 平塚市浅間町* =1.2 横浜旭区上白根町* =1.2 藤沢市長後* =1.2 茅ヶ崎市茅ヶ崎=1.2 横浜緑区十日市場町* =1.2 横浜泉区岡津町* =1.2 小田原市荻窪* =1.1 藤沢市辻堂東海岸* =1.1 相模原緑区橋本* =1.1 座間市相武台* =1.1 相模原南区磯部* =1.1 横浜青葉区榎が丘* =1.0 川崎宮前区野川* =1.0 横浜瀬谷区中屋敷* =1.0 相模原緑区与瀬* =1.0 大磯町月京* =1.0 相模原緑区若柳=0.9 横浜港北区日吉本町* =0.9 南足柄市関本* =0.9 横浜中区山吹町* =0.8 横浜緑区鴨居* =0.8 横浜磯子区洋光台* =0.8 開成町延沢* =0.8 横浜金沢区白帆* =0.7 川崎麻生区万福寺* =0.7 横浜中区山手町=0.7 大和市下鶴間* =0.7 横浜南区大岡* =0.6				
		長野県 2 茅野市葛井公園* =1.5 1 青木村田沢青木* =1.0 立科町芦田* =0.7 木曾町日義* =0.7 富士見町落合* =0.6 伊那市長谷溝口* =0.6 原村役場* =0.5 南箕輪村役場* =0.5				
		静岡県 2 富士市吉永* =1.5 1 富士市大淵* =1.3 富士宮市野中* =0.9 富士宮市弓沢町=0.8 御殿場市萩原=0.8 三島市東本町=0.5				
		埼玉県 1 川島町下八ツ林* =1.0 所沢市北有楽町* =0.9 川越市旭町=0.8 さいたま北区宮原* =0.8 新座市野火止* =0.8 さいたま緑区中尾* =0.7 さいたま大宮区天沼町* =0.6				
88	27 00 15	神奈川県西部 神奈川県 1 山北町山北* =1.1 秦野市曾屋=0.9 秦野市平沢* =0.8 松田町松田惣領* =0.7 相模原緑区中野* =0.7 相模原中央区上溝* =0.6 相模原緑区小淵* =0.5 山梨県 1 上野原市役所* =1.1 道志村役場* =1.0	35° 30.0' N	139° 03.9' E	14km	M: 3.0
89	27 03 47	沖縄本島北西沖 沖縄県 2 渡名喜村渡名喜* =1.9 1 国頭村奥=0.8 国頭村辺土名* =0.8 読谷村座喜味=0.7 座間味村座間味* =0.7 名護市港* =0.6 粟国村浜=0.6 宜野座村宜野座* =0.5 名護市豊原=0.5	27° 02.9' N	126° 46.6' E	120km	M: 4.6
90	27 09 41	宮城県沖 岩手県 1 釜石市中妻町* =0.9 大船渡市大船渡町=0.6 釜石市只越町=0.5 住田町世田米* =0.5 宮城県 1 栗原市築館* =0.7 南三陸町志津川=0.7 石巻市桃生町* =0.6 気仙沼市唐桑町* =0.5 気仙沼市笹が陣* =0.5	38° 29.8' N	142° 08.8' E	39km	M: 4.0
91	27 23 08	石川県能登地方 石川県 1 珠洲市正院町* =0.5	37° 27.4' N	137° 15.0' E	11km	M: 2.6
92	27 23 19	石川県能登地方 石川県 1 珠洲市正院町* =1.2 能登町松波* =1.1	37° 27.5' N	137° 15.0' E	11km	M: 2.8
93	27 23 58	石川県能登地方 石川県 3 珠洲市正院町* =3.2 能登町松波* =2.5 2 珠洲市三崎町=2.4 珠洲市大谷町* =2.1 1 能登町宇出津=1.3 輪島市鳳至町=0.6	37° 27.5' N	137° 14.8' E	10km	M: 3.8
94	28 17 35	茨城県北部 福島県 1 矢祭町戸塚* =0.7 茨城県 1 常陸太田市大中町* =1.2 北茨城市中郷町* =1.0 高萩市安良川* =0.8 常陸大宮市上小瀬* =0.8 常陸大宮市山方* =0.6 城里町小勝* =0.6 笠間市石井* =0.5 北茨城市磯原町* =0.5	36° 50.6' N	140° 37.6' E	8km	M: 3.4
95	29 08 46	青森県東方沖 北海道 3 函館市新浜町* =3.2 函館市泊町* =3.0 浦幌町桜町* =2.8 2 新冠町北星町* =2.4 様似町栄町* =2.3 釧路市音別町中園* =2.3 函館市大森町* =2.3 函館市日ノ浜町* =2.3 木古内町木古内* =2.3 厚真町鹿沼=2.3 むかわ町松風* =2.3 新篠津村第4 7線* =2.3 浦河町築地* =2.2 渡島北斗市中央* =2.2 浦河町潮見=2.2 函館市美原=2.1 南幌町栄町* =2.1 十勝大樹町東本通* =2.1 厚真町京町* =2.0 安平町早来北進* =2.0 厚沢部町新町* =2.0 札幌東区元町* =2.0 室蘭市寿町* =2.0 七飯町桜町=2.0 新ひだか町静内山手町=1.9 新ひだか町静内御幸町* =1.9 江別市緑町* =1.9 苫小牧市旭町* =1.9 知内町重内* =1.9 新千歳空港=1.9 千歳市若草* =1.9 釧路町別保* =1.9 千歳市支笏湖温泉* =1.9 むかわ町穂別* =1.9 長沼町中央* =1.9 帯広市東6条* =1.8 札幌北区新琴似* =1.8 平取町振内* =1.8 上ノ国町大留* =1.8 白老町大町=1.8 渡島森町砂原* =1.8 岩見沢市北村赤川* =1.8 札幌北区太平* =1.8 札幌北区篠路* =1.8 帯広市東4条=1.8 札幌手稲区前田* =1.7 恵庭市漁平=1.7 日高地方日高町門別* =1.7 白糠町西1条* =1.7 千歳市北栄=1.7 えりも町えりも岬* =1.7 乙部町緑町* =1.7 苫小牧市末広町=1.7 幕別町忠類錦町* =1.7 更別村更別* =1.7 札幌白石区北郷* =1.6 鹿追町東町* =1.6 新得町2条* =1.6 恵庭市京町* =1.6 七飯町本町* =1.6 芽室町東2条* =1.6 中富良野町本町* =1.6 中札内村東2条* =1.6 壮瞥町滝之町* =1.6 札幌清田区平岡* =1.6 広尾町並木通=1.6 当別町白樺* =1.6 新ひだか町静内御園=1.6 厚岸町真栄* =1.6 倶知安町南1条=1.6 倶知安町北4条* =1.6 妹背牛町妹背牛* =1.6 新十津川町中央* =1.6 福島町福島* =1.5 新ひだか町三石旭町* =1.5 浦河町野深=1.5 厚沢部町木間内* =1.5 二七コ町中央通* =1.5 胆振伊達市梅本=1.5 別海町本別海* =1.5 安平町追分柏が丘* =1.5 胆振伊達市大滝区本町* =1.5 真狩村真狩* =1.5 日高地方日高町日高* =1.5 洞爺湖町洞爺町* =1.5 音更町元町* =1.5 留寿都村留寿都* =1.5 岩見沢市栗沢町東本町* =1.5 美唄市西3条* =1.5 登別市桜木町* =1.5 1 札幌厚別区もみじ台* =1.4 江別市高砂町=1.4 北広島市共栄* =1.4 鹿部町宮浜* =1.4 渡島森町御幸町=1.4 赤井川村赤井川* =1.4 岩見沢市鳩が丘* =1.4 栗山町松風* =1.4 洞爺湖町栄町* =1.4 釧路市阿寒町中央* =1.4 豊頃町茂岩本町* =1.3 石狩市花川=1.3 滝川市大町=1.3	40° 58.8' N	143° 01.6' E	21km	M: 6.1

令和元年 8 月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>長万部町平里*1.3 美唄市西5条=1.3 渡島北斗市本町*1.3 檜山江差町中歌町*1.3 白老町緑丘*1.3 十勝清水町南4条=1.3 三笠市幸町*1.2 十勝大樹町生花*1.2 広尾町白樺通=1.2 檜山江差町姥神=1.2 別海町常盤=1.2 富良野市若松町=1.2 岩見沢市5条=1.2 渡島森町上台町*1.2 士幌町士幌*1.2 札幌南区石山*1.2 月形町円山公園*1.1 函館市川汲町*1.1 富良野市末広町*1.1 占冠村中央*1.1 小樽市勝納町=1.1 札幌西区琴似*1.1 標茶町塘路*1.1 新ひだか町静内農屋*1.1 函館市尾札部町=1.0 札幌中央区南4条*1.0 札幌豊平区月寒東*1.0 えりも町本町=1.0 えりも町目黒*1.0 上士幌町清水谷*1.0 石狩市聚富=1.0 札幌中央区北2条=1.0 増毛町見晴町*1.0 浜中町湯沸=0.9 喜茂別町喜茂別*0.9 北竜町竜西=0.9 芦別市旭町=0.9 知内町小谷石=0.9 夕張市若菜=0.9 釧路市幸町=0.9 豊浦町大岸*0.9 黒松内町黒松内*0.8 鶴居村鶴居東*0.8 札幌南区川谷*0.8 根室市落石東*0.8 渡島松前町福山=0.8 釧路市音別町尺別=0.8 由仁町新光*0.8 本別町北2丁目=0.8 平取町仁世宇=0.7 弟子屈町弟子屈*0.7 八雲町上の湯=0.7 標茶町川上*0.7 根室市瑤瑤瑠*0.7 登別市鉾山=0.6 厚岸町尾幌=0.6 幕別町忠類明和=0.6 室蘭市山手町=0.6 八雲町熊石雲石町*0.5 渡島松前町清部=0.5 足寄町上螺湾=0.5</p> <p>3 平内町小湊=3.4 五戸町古館=3.4 野辺地町野辺地*3.2 野辺地町田沢沢*3.1 八戸市南郷*3.0 七戸町森ノ上*3.0 五戸町倉石中市*2.9 東通村砂子又沢内*2.9 東北町上北南*2.8 外ヶ浜町蟹田*2.8 おいらせ町中下田*2.7 むつ市金曲=2.7 むつ市金谷*2.7 むつ市川内町*2.7 平内町東田沢*2.7 青森南部町苦米地*2.7 階上町道仏*2.7 横浜町林ノ脇*2.6 六戸町大落瀬*2.5 五所川原市栄町=2.5 横浜町寺下*2.5</p> <p>2 青森市花園=2.4 つがる市木造*2.4 つがる市柏*2.4 七戸町七戸*2.4 むつ市大畑町中島*2.4 つがる市車力町*2.3 東北町塔ノ沢山*2.3 三戸町在府小路町*2.3 東通村砂子又窪谷地=2.3 青森南部町沖田面*2.2 おいらせ町上明堂*2.2 つがる市稲垣町*2.2 中泊町中里*2.2 八戸市湊町=2.2 八戸市内丸*2.2 三沢市桜町*2.2 青森市中央*2.2 田子町田子*2.1 鶴田町鶴田*2.1 五所川原市敷島町*2.1 蓬田村蓬田*2.1 十和田市西二番町*2.0 青森市浪岡*2.0 藤崎町西豊田*2.0 むつ市脇野沢*2.0 五所川原市金木町*2.0 五所川原市相内*2.0 十和田市奥瀬*1.9 つがる市森田町*1.9 鱒ヶ沢町本町=1.9 藤崎町水木*1.9 新郷村戸来*1.8 大間町大間*1.8 東通村白糠*1.8 六ヶ所村尾駈=1.8 今別町今別*1.7 田舎館村田舎館*1.7 平川市猿賀*1.7 板柳町板柳*1.7 鱒ヶ沢町舞戸町*1.7 五所川原市太田=1.6 外ヶ浜町平館*1.6 むつ市大畑町奥栗研=1.6 弘前市城東中央*1.6 黒石市市ノ町*1.6 東通村尻屋*1.5 佐井村長後*1.5 七戸町北天間館=1.5 六ヶ所村出戸=1.5 1 外ヶ浜町三厩*1.4 弘前市弥生=1.4 平川市柏木町*1.4 八戸市島守=1.4 中泊町小泊*1.2 弘前市賀田*1.2 深浦町深浦岡町=1.2 西目屋村田代*1.2 風間浦村易国間*1.2 佐井村佐井*1.1 弘前市和田町=0.9 弘前市五所*0.9 深浦町長慶平=0.7 深浦町深浦中沢*0.7</p> <p>3 盛岡市藪川*3.0 二戸市浄法寺町*3.0 盛岡市渋民*2.5</p> <p>2 軽米町軽米*2.4 二戸市福岡=2.3 八幡平市田頭*2.3 八幡平市吹田*2.3 矢巾町南矢幅*2.3 滝沢市鶴飼*2.3 盛岡市山王町=2.2 岩手町五日市*2.2 八幡平市野駄*2.2 一戸町高善寺*2.1 野田村野田*2.1 二戸市石切所*2.1 八幡平市大更=2.0 普代村銅屋*2.0 紫波町紫波中央駅前*1.9 九戸村伊保内*1.8 花巻市材木町*1.7 花巻市東和町*1.7 花巻市石鳥谷町*1.6 北上市相去町*1.6 奥州市江刺*1.6 奥州市胆沢*1.6 宮古市田老*1.6 久慈市枝成沢=1.6 岩手洋野町種市=1.6 北上市柳原町=1.5 久慈市川崎町=1.5 金ヶ崎町西根*1.5 釜石市中妻町*1.5 雫石町千刈田=1.5</p> <p>1 盛岡市馬場町*1.4 葛巻町葛巻元木=1.4 遠野市青笹町*1.4 平泉町平泉*1.4 奥州市前沢*1.4 奥州市水沢大鐘町=1.3 奥州市水沢佐倉河*1.3 久慈市長内町*1.3 岩手洋野町大野*1.3 花巻市大迫町=1.3 一関市千厩町*1.3 宮古市五月町*1.1 宮古市川井*1.1 奥州市衣川*1.1 宮古市区界*1.1 雫石町西根上駒木野=1.1 一関市花泉町*1.1 遠野市宮守町*1.0 住田町世田米*0.9 一関市竹山町*0.9 一関市室根町*0.9 山田町八幡町=0.9 山田町大沢*0.9 大船渡市大船渡町=0.9 釜石市只越町=0.9 一関市藤沢町*0.8 西和賀町川尻*0.8 西和賀町沢内川舟*0.8 花巻市大迫総合支所*0.8 葛巻町消防分署*0.7 宮古市鍛ヶ崎=0.6</p> <p>2 涌谷町新町裏=1.9 登米市中田町=1.9 登米市迫町*1.9 登米市南方町*1.8 登米市米山町*1.7 登米市登米町*1.6 石巻市桃生町*1.6 栗原市若柳*1.5</p> <p>1 宮城美里町木間塚*1.4 大崎市古川三日町=1.4 栗原市築館*1.3 栗原市志波姫*1.3 栗原市一迫*1.3 大崎市田尻*1.3 石巻市前谷地*1.3 大崎市松山*1.2 東松島市矢本*1.2 栗原市高清水*1.2 松島町高城=1.1 宮城加美町中新田*1.1 大崎市古川大崎=1.1 丸森町鳥屋*1.1 大崎市岩出山*1.0 岩沼市桜*1.0 大河原町新南*1.0 石巻市大街道南*1.0 栗原市栗駒=1.0 栗原市鶯沢*1.0 栗原市金成*1.0 南三陸町志津川=0.9 大崎市鹿島台*0.9 名取市増田*0.9 角田市角田*0.9 気仙沼市赤岩=0.9 気仙沼市笹が陣*0.9 気仙沼市唐桑町*0.9 色麻町四籠*0.9 宮城美里町北浦*0.8 利府町利府*0.8 宮城加美町小野田*0.8 栗原市花山*0.8 蔵王町円田*0.8 石巻市相野谷*0.8 宮城川崎町前川*0.7 山元町浅生原*0.7</p> <p>2 井川町北川尻*2.3 鹿角市花輪*2.2 大館市比内町扇田*1.8 北秋田市米内沢*1.8 三種町豊岡*1.7 小阿仁村小沢田*1.7 湯上市昭和久保*1.6 大館市桜町*1.6 北秋田市花園町=1.6 大仙市高梨*1.6 小坂町小坂砂森*1.5</p> <p>1 能代市上町*1.4 五城目町西磯ノ目=1.4 湯上市飯田川下蛇川*1.4 湯上市天王*1.4 秋田市河辺和田*1.4 北秋田市新田目*1.4 横手市大雄*1.4 大仙市大曲花園町*1.4 能代市常盤山谷=1.3 能代市二ツ井町上台*1.3 八郎潟町大道*1.3 大館市早口*1.3 大仙市刈野*1.3 三種町鹿渡*1.2 秋田市山王=1.2 大館市比内町味噌増内=1.2 北秋田市阿仁水無*1.2 三種町鶴川*1.1 秋田市雄和新波*1.1 由利本荘市西目町沼田*1.1 由利本荘市前郷*1.1 にかほ市平沢*1.0 能代市緑町=1.0 大仙市北長野*1.0 大仙市太田町太田*1.0 大瀧村中央*0.9 秋田市雄和女米木=0.9 横手市中央町*0.9 秋田美郷町土崎*0.9 仙北市西木町上桧木内*0.9 仙北市田沢湖生保内宮ノ後*0.9 横手市雄物川町今宿=0.8 男鹿市角間崎*0.8 横手市平鹿町浅舞*0.8 秋田美郷町六郷東根=0.8 大仙市南外*0.8 大仙市神宮寺*0.8 湯沢市沖鶴=0.7 羽後町西馬音内*0.7 横手市大森町*0.7 横手市十文字町*0.7 男鹿市船川*0.7 横手市増田町増田*0.6 仙北市角館町東勝楽丁=0.6 仙北市角館町小勝田*0.6 由利本荘市矢島町矢島*0.6</p>				
		<p>青森県</p>				
		<p>岩手県</p>				
		<p>宮城県</p>				
		<p>秋田県</p>				

令和元年 8 月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
96	29 09 57	山形県 1 中山町長崎*=1.4 酒田市飛鳥*=0.9 酒田市亀ヶ崎=0.8 熊本県天草・芦北地方 32° 14.9' N 130° 30.9' E 熊本県 1 球磨村渡*=1.3	32° 14.9' N	130° 30.9' E	8km	M: 2.7
97	29 21 14	宮城県沖 38° 48.4' N 142° 00.5' E 岩手県 1 一関市千厩町*=0.7 宮城県 1 気仙沼市笹が陣*=0.6	38° 48.4' N	142° 00.5' E	47km	M: 3.4
98	30 04 24	根室半島南東沖 43° 08.3' N 145° 48.3' E 北海道 2 根室市瑠瑠瑠*=1.8 1 根室市落石東*=1.3 根室市牧の内*=1.1 根室市厚床*=1.0 根室市豊里=0.7 別海町本別海*=0.6	43° 08.3' N	145° 48.3' E	45km	M: 3.9
99	31 01 41	沖繩本島近海 26° 08.3' N 127° 15.4' E 沖繩県 1 座間味村座間味*=1.0 渡名喜村渡名喜*=0.5	26° 08.3' N	127° 15.4' E	37km	M: 3.1
100	31 03 05	熊本県天草・芦北地方 32° 14.3' N 130° 19.3' E 熊本県 1 水俣市陣内*=1.0 水俣市牧ノ内*=0.6 鹿児島県 1 長島町伊唐島*=1.0 長島町鷹巣*=0.6	32° 14.3' N	130° 19.3' E	11km	M: 2.7
101	31 08 32	岐阜県美濃中西部 35° 30.1' N 136° 27.0' E 岐阜県 2 揖斐川町東津波*=2.4 揖斐川町春日*=2.2 揖斐川町三輪=2.1 揖斐川町谷汲*=2.1 揖斐川町西横山*=1.9 大野町大野*=1.9 揖斐川町中籠橋*=1.8 揖斐川町東杉原*=1.8 1 関ヶ原町関ヶ原*=1.4 岐阜山県市美山支所*=1.4 岐阜池田町六之井*=1.3 本巣市文殊*=1.3 岐阜山県市高富*=1.2 本巣市根尾*=1.2 岐阜市京町*=1.1 神戸町神戸*=1.1 養老町高田*=1.1 本巣市三橋*=1.1 瑞穂市別府*=1.1 北方町北方*=1.0 瑞穂市宮田*=0.9 岐阜山県市大門*=0.9 本巣市下真桑*=0.8 垂井町役場*=0.6 各務原市川島河田町*=0.5 愛知県 1 一宮市千秋=0.5 滋賀県 1 米原市長岡*=0.8 米原市春照*=0.6 長浜市高月町渡岸寺*=0.5 長浜市余呉町中之郷*=0.5	35° 30.1' N	136° 27.0' E	11km	M: 3.7
102	31 17 45	奄美大島近海 28° 33.3' N 129° 38.0' E 鹿児島県 2 奄美市笠利町里*=1.5 1 奄美市名瀬港町=1.2 龍郷町浦*=0.8 龍郷町屋入=0.8 奄美市名瀬幸町*=0.8	28° 33.3' N	129° 38.0' E	19km	M: 3.6
103	31 18 03	長野県南部 35° 52.7' N 138° 07.7' E 長野県 3 茅野市葛井公園*=2.5 2 伊那市高遠町荊口=2.2 伊那市長谷溝口*=2.0 南箕輪村役場*=1.9 辰野町中央=1.8 下諏訪町役場*=1.8 木曾町新開*=1.8 諏訪市湖岸通り=1.7 諏訪市高島*=1.7 上松町駅前通り*=1.6 長野南牧村海ノ口*=1.5 箕輪町中箕輪*=1.5 伊那市下新田*=1.5 伊那市高遠町西高遠*=1.5 長野川上村大深山*=1.5 木曾町日義*=1.5 1 南相木村見上*=1.4 原村役場*=1.4 中川村大草*=1.4 阿智村清内路*=1.4 塩尻市木曾平沢*=1.3 駒ヶ根市赤須町*=1.3 長野高森町下市田*=1.3 松本市安曇*=1.2 富士見町落合*=1.2 南木曾町読書小学校*=1.2 飯田市高羽町=1.2 松本市寿*=1.1 飯田市長黒田*=1.1 大桑村長野*=1.1 木曾町福島*=1.1 松本市丸の内*=1.1 木曾町三岳*=1.0 塩尻市檜川保育園*=1.0 飯島町飯島=1.0 塩尻市広丘高出*=1.0 山形村役場*=1.0 朝日村役場*=1.0 北相木村役場*=0.9 岡谷市幸町*=0.9 大町市美麻*=0.9 根羽村役場*=0.9 王滝村役場*=0.8 長和町和田*=0.8 大鹿村大河原*=0.8 南木曾町役場*=0.8 上田市築地=0.6 松本市波田*=0.6 王滝村鈴ヶ沢*=0.6 佐久市下小田切=0.5 上田市上武石*=0.5 筑北村坂井=0.5 群馬県 2 神流町生利*=1.6 1 群馬上野村川和*=1.3 神流町神ヶ原*=1.2 山梨県 2 山梨北杜市長坂町*=1.7 1 富士川町鯉沢*=1.3 山梨北杜市高根町*=1.3 山梨北杜市白州町*=1.3 山梨北杜市大泉町*=1.3 山梨北杜市明野町*=1.2 山梨北杜市小淵沢町*=1.1 富士川町天神中条*=1.1 南アルプス市小笠原*=1.0 山梨北杜市健康ランド須玉*=1.0 丹波山村丹波*=0.9 山梨北杜市役所*=0.7 富士河口湖町船津=0.7 身延町大磯小磯=0.6 山梨北杜市武川町*=0.6 埼玉県 1 秩父市中津川*=1.2 秩父市近戸町*=0.8 長瀬町野上下郷*=0.7 岐阜県 1 中津川市付知町*=1.3 恵那市上矢作町*=1.3 中津川市加子母*=1.1 中津川市福岡*=1.1 中津川市本町*=1.0 美濃市役所*=1.0 瑞浪市上平町*=0.9 恵那市山岡町*=0.9 土岐市泉町*=0.9 可児市広見*=0.9 土岐市肥田*=0.8 川辺町中川辺*=0.8 中津川市かやの木町=0.7 八百津町八百津*=0.7 恵那市長島町*=0.7 高山市奥飛騨温泉郷柳尾*=0.7 御嵩町御嵩*=0.6 関市若草通り*=0.6 岐南町八剣*=0.6 揖斐川町東杉原*=0.6 下呂市下呂小学校*=0.6 富加町滝田*=0.6 白川町河岐*=0.5 中津川市川上*=0.5 中津川市坂下*=0.5 下呂市金山町*=0.5 愛知県 1 豊田市大洞町=0.9 名古屋北区萩野通*=0.8 一宮市千秋=0.8 岩倉市川井町*=0.7 清須市春日振形*=0.7 新城市矢部=0.6 小牧市安田町*=0.6 北名古屋市西之保*=0.6 名古屋西区八筋町*=0.5 名古屋守山区下志段味*=0.5 一宮市緑*=0.5	35° 52.7' N	138° 07.7' E	11km	M: 4.1
104	31 23 54	福島県沖 37° 23.2' N 141° 25.0' E 福島県 1 檜葉町北田*=1.1 大熊町大川原*=0.7	37° 23.2' N	141° 25.0' E	32km	M: 3.6

● 付録 2. 過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数
 <平成30年（2018年）9月～令和元年（2019年）8月>

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
平成30年（2018年）											
9月	229	113	46	19	1				1	409	「平成30年北海道胆振東部地震」の地震活動 (震度7：1回、震度5弱：1回、震度4：16回、震度3：33回、震度2：75回、震度1：151回)
10月	106	51	16	10	1					184	「平成30年北海道胆振東部地震」の地震活動 (震度5弱：1回、震度4：4回、震度3：2回、震度2：6回、震度1：22回)
11月	148	38	10	5						201	「平成30年北海道胆振東部地震」の地震活動 (震度4：1回、震度2：4回、震度1：8回) 岐阜県飛騨地方（長野・岐阜県境付近）の地震活動 (震度2：6回、震度1：43回)
12月	100	33	11	2						146	
平成31年/令和元年（2019年）											
1月	100	48	4	4	1		1			158	3日 熊本県熊本地方（震度6弱） 26日 熊本県熊本地方（震度5弱）
2月	82	40	7	1			1			131	「平成30年北海道胆振東部地震」の地震活動 (震度6弱：1回、震度3：1回、震度2：3回、震度1：6回)
3月	93	30	10	5						138	
4月	78	24	8	1						111	
5月	78	30	10	4	2					124	10日 日向灘（震度5弱） 25日 千葉県北東部（震度5弱）
6月	118	51	9	6				1		185	18日 山形県沖（震度6強） 地震活動（震度6強：1回、震度4：1回、震度3：4回、震度2：8回、震度1：27回）
7月	84	32	13	1						130	
8月	67	24	11	1	1					104	4日 福島県沖（震度5弱）
2019年計	700	279	72	23	4	0	2	1	0	1081	
過去1年計	1283	514	155	59	6	0	2	1	1	2021	(平成30年9月～令和元年8月)

注) 「記事」の欄には主に震度5弱以上を観測した地震、または震度1以上を10回以上観測した地震活動について記載した。

● 付録3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード（M）別の月別地震回数
 〈平成30年（2018年）9月～令和元年（2019年）8月〉

	M3.0 ～ M3.9	M4.0 ～ M4.9	M5.0 ～ M5.9	M6.0 ～ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0 以上	計 M4.0 以上	記事
平成30年（2018年）								
9月	586	120	14	3		723	137	「平成30年北海道胆振東部地震」の地震活動 6日 胆振地方中東部（M6.7） 15日 沖縄本島近海（M6.2） 16日 沖縄本島近海（M6.0）
10月	410	80	14	2		506	96	23日 与那国島近海（M6.1） 24日 与那国島近海（M6.3）
11月	362	77	9	2		450	88	2日 オホーツク海南部（M6.1） 5日 国後島付近（M6.3）
12月	308	66	13			387	79	
平成31年/令和元年（2019年）								
1月	324	65	10	1		400	76	8日 種子島近海（M6.0）
2月	369	66	14			449	80	
3月	336	69	14	3		422	86	2日 根室半島南東沖（M6.2） 11日 福島県沖（M6.0） 11日 硫黄島近海（M6.1）
4月	414	79	14	2		509	95	11日 三陸沖（M6.2） 18日 台湾付近（M6.5）
5月	337	70	7	1		415	78	10日 日向灘（M6.3）
6月	355	67	7	2		431	76	4日 鳥島近海（M6.2） 18日 山形県沖（M6.7）
7月	316	81	12	3		412	96	13日 奄美大島北西沖（M6.0） 27日 フィリピン付近（M6.0） 28日 三重県南東沖（M6.6）
8月	327	71	9	3		410	83	4日 福島県沖（M6.4） 8日 台湾付近（M6.4） 29日 青森県東方沖（M6.1）
2019年計	2778	568	87	15	0	3448	670	
過去1年計	4444	911	137	22	0	5514	1070	（平成30年9月～令和元年8月）

注) 日本及びその周辺：原則、北緯20～49度、東経120～154度の範囲。「記事」の欄には主にM6.0以上の地震を記載した。

● 付録 4. 長周期地震動階級 1 以上を観測した地震

令和元年 8 月に、長周期地震動階級* 1 以上を観測した地震は 1 回であった。

平成 25 年 3 月～令和元年 8 月に長周期地震動階級 1 以上を観測した地震の月別回数
（平成 25 年 3 月 28 日の長周期地震動に関する観測情報（試行）**の提供開始以降）

年 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計
平成 25 年 (2013 年)			1	4	1	0	0	1	1	1	1	1	11
平成 26 年 (2014 年)	0	1	1	0	1	1	3	0	1	1	1	0	10
平成 27 年 (2015 年)	0	3	0	1	2	0	2	0	0	0	1	0	9
平成 28 年 (2016 年)	1	0	0	13	1	1	0	2	0	2	4	1	25
平成 29 年 (2017 年)	1	2	0	0	0	1	2	0	1	1	0	1	9
平成 30 年 (2018 年)	1	0	1	1	1	2	2	0	2	2	0	0	12
平成 31 年 /令和元年 (2019 年)	1	1	0	0	1	1	1	1					6

長周期地震動階級関連解説表

長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
長周期地震動階級 1	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げもの大きく揺れる。	—
長周期地震動階級 2	室内で大きな揺れを感じ、物につかまりたいと感じる。物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。	—
長周期地震動階級 3	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
長周期地震動階級 4	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。

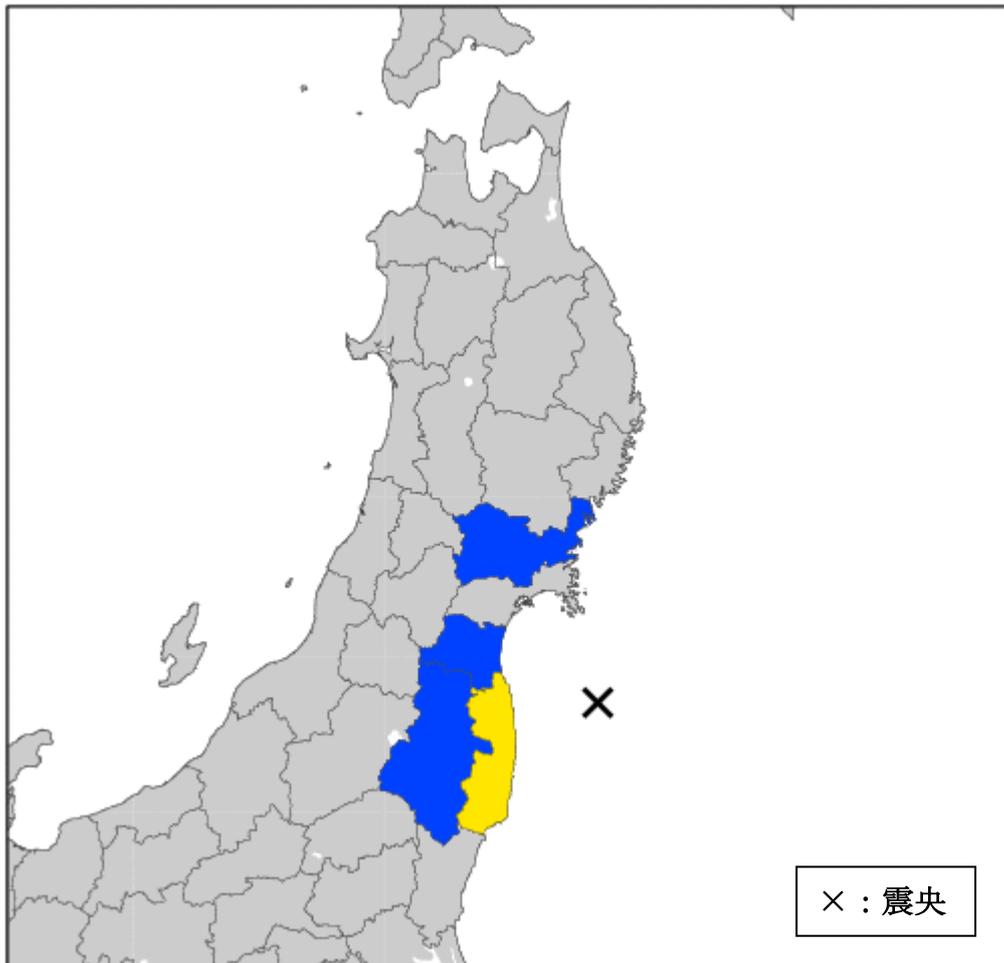
※ 長周期地震動階級に関する詳細は、平成 30 年 12 月号「付録 10. 長周期地震動階級関連解説表」を参照。
 ※※ 長周期地震動に関する観測情報（試行）に関する詳細は、地震・火山月報（防災編）平成 25 年 4 月号「特集 3. 長周期地震動に関する観測情報（試行）について」を参照。なお、平成 31 年 3 月 19 日に長周期地震動に関する観測情報の本運用を開始した。

1. 令和元年 8 月 4 日 19 時 23 分 福島県沖の地震

長周期地震動階級 1 以上を観測した地域・観測点

2019 年 8 月 4 日 19 時 23 分 福島県沖 北緯 37 度 42.4 分 東経 141 度 37.9 分 深さ 45km M6.4				
都道府県	長周期地震動階級	地域名称	観測点名称	震度
福島県	2	福島県浜通り	浪江町幾世橋	4
	1	福島県中通り	福島市松木町	4
		福島県浜通り	いわき市小名浜	3
		福島県浜通り	南相馬市原町区三島町	4
宮城県	1	宮城県北部	涌谷町新町裏	4
		宮城県北部	登米市中田町	4
		宮城県北部	大崎市古川三日町	4
		宮城県南部	仙台空港	4

長周期地震動階級 1 以上が観測された地域



長周期地震動階級の凡例: ■ 階級1 ■ 階級2 ■ 階級3 ■ 階級4

● 付録 5. 緊急地震速報の提供状況

令和元年 8 月に緊急地震速報（警報）を発表した回数は 1 回であった。また、緊急地震速報（予報）を発表した回数は 56 回であった。

令和元年 8 月に発表した緊急地震速報（警報）

地震発生日時	震央地名	マグニチュード (M)	最大震度	予想最大震度	警報発表までの経過時間 (秒)
令和元年 08 月 04 日 19 時 23 分	福島県沖	6.4	5 弱	5 弱	13.8

※表中の「予想最大震度」は緊急地震速報（警報）で発表した予想震度の最大値、「警報発表までの経過時間 (秒)」は地震検知から緊急地震速報（警報）第 1 報発表までの経過時間 (秒) を示す。

平成 19 年 10 月～令和元年 8 月に発表した緊急地震速報の月別回数

年	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計
平成 19 年 (2007 年)										0 (48)	0 (33)	0 (39)	0 (120)
平成 20 年 (2008 年)	0 (35)	0 (41)	0 (48)	1 (42)	1 (70)	3 (75)	2 (63)	0 (47)	1 (58)	0 (46)	1 (40)	0 (57)	9 (622)
平成 21 年 (2009 年)	0 (44)	0 (39)	0 (34)	0 (34)	0 (24)	0 (54)	0 (36)	2 (65)	0 (47)	1 (44)	0 (39)	0 (47)	3 (507)
平成 22 年 (2010 年)	0 (53)	1 (44)	1 (50)	0 (36)	0 (27)	0 (35)	0 (47)	0 (51)	1 (40)	1 (50)	0 (40)	1 (34)	5 (507)
平成 23 年 (2011 年)	0 (50)	0 (74)	45 (1191)	26 (770)	5 (425)	5 (304)	5 (248)	3 (239)	4 (188)	1 (163)	2 (135)	1 (136)	97 (3923)
平成 24 年 (2012 年)	2 (149)	3 (141)	3 (142)	2 (128)	1 (129)	3 (118)	0 (102)	1 (107)	0 (70)	0 (109)	0 (77)	1 (134)	16 (1406)
平成 25 年 (2013 年)	0 (81)	2 (99)	0 (53)	3 (103)	0 (91)	0 (83)	0 (102)	2 (97)	1 (61)	0 (80)	0 (93)	1 (67)	9 (1010)
平成 26 年 (2014 年)	0 (70)	0 (70)	1 (68)	0 (62)	0 (53)	0 (57)	2 (97)	1 (96)	1 (68)	0 (84)	1 (87)	0 (75)	6 (887)
平成 27 年 (2015 年)	0 (67)	1 (88)	0 (90)	1 (77)	3 (71)	0 (84)	1 (74)	0 (88)	0 (81)	0 (92)	1 (86)	0 (75)	7 (973)
平成 28 年 (2016 年)	1 (76)	0 (71)	0 (65)	20 (228)	1 (101)	2 (89)	0 (95)	0 (71)	1 (80)	3 (92)	2 (124)	1 (86)	31 (1178)
平成 29 年 (2017 年)	0 (77)	0 (72)	0 (61)	0 (60)	0 (52)	1 (55)	1 (79)	1 (73)	2 (52)	1 (53)	0 (57)	1 (77)	7 (768)
平成 30 年 (2018 年)	2 (64)	0 (61)	1 (76)	2 (80)	1 (52)	2 (70)	1 (55)	0 (58)	2 (158)	4 (97)	1 (68)	0 (69)	16 (908)
平成 31 年 / 令和元年 (2019 年)	1 (66)	1 (62)	0 (63)	0 (88)	1 (64)	2 (59)	0 (59)	1 (56)					6 (517)

※ 表中の数字は緊急地震速報（警報）の発表回数、() 内の数字は緊急地震速報（予報）の発表回数を示す。

緊急地震速報（警報及び予報）の提供には、気象庁の地震計の観測データに加え、国立研究開発法人防災科学技術研究所の地震観測データを利用している。

1. 令和元年8月4日19時23分 福島県沖の地震

発生した地震の概要（暫定値）

地震発生日時	震央地名	北緯	東経	深さ	M	最大震度
令和元年08月04日 19時23分3.5秒	福島県沖	37° 42.4′	141° 37.9′	45km	6.4	5弱

緊急地震速報の詳細

提供時刻等		経過時間	震源要素					予測震度
地震波検知時刻			震央地名	北緯	東経	深さ	M	
第1報	19時23分11.9秒	4.8	福島県沖	37.7	141.6	40km	5.6	※1
第2報	19時23分16.9秒	5.0	福島県沖	37.7	141.7	40km	5.6	※2
第3報	19時23分17.6秒	5.7	福島県沖	37.7	141.7	30km	5.4	最大震度3程度以上
第4報	19時23分17.9秒	6.0	福島県沖	37.7	141.6	40km	5.4	※3
第5報	19時23分18.2秒	6.3	福島県沖	37.7	141.7	40km	5.5	※4
第6報	19時23分19.7秒	7.8	福島県沖	37.7	141.7	40km	5.6	※2
第7報	19時23分19.9秒	8.0	福島県沖	37.7	141.7	40km	6.0	※5
第8報	19時23分20.2秒	8.3	福島県沖	37.7	141.7	50km	6.1	※6
第9報	19時23分22.1秒	10.2	福島県沖	37.7	141.6	50km	6.2	※7
第10報	19時23分24.5秒	12.6	福島県沖	37.7	141.7	40km	6.4	※8
第11報	19時23分25.7秒	13.8	福島県沖	37.7	141.7	50km	6.5	※9
第12報	19時23分33.1秒	21.2	福島県沖	37.7	141.7	50km	6.4	※10
第13報	19時23分34.1秒	22.2	福島県沖	37.7	141.7	50km	6.3	※11
第14報	19時23分37.9秒	26.0	福島県沖	37.7	141.7	50km	6.3	※11
第15報	19時23分40.8秒	28.9	福島県沖	37.7	141.7	50km	6.3	※12
第16報	19時23分42.2秒	30.3	福島県沖	37.7	141.7	50km	6.3	※12
第17報	19時23分51.2秒	39.3	福島県沖	37.7	141.7	50km	6.3	※13
第18報	19時23分54.9秒	43.0	福島県沖	37.7	141.8	40km	6.3	※14
第19報	19時23分56.9秒	45.0	福島県沖	37.7	141.7	40km	6.3	※15
第20報	19時24分08.3秒	56.4	福島県沖	37.7	141.7	40km	6.3	※15
第21報	19時24分28.2秒	76.3	福島県沖	37.7	141.7	40km	6.3	※15
第22報	19時24分48.1秒	96.2	福島県沖	37.7	141.7	40km	6.3	※15
第23報	19時25分08.2秒	116.3	福島県沖	37.7	141.7	40km	6.3	※15
第24報	19時25分24.5秒	132.6	福島県沖	37.7	141.7	40km	6.3	※15

- ※1 震度4程度 福島県浜通り、宮城県南部、福島県中通り、宮城県中部
震度3から4程度 宮城県北部
- ※2 震度4程度 宮城県南部、宮城県中部、福島県中通り
震度3から4程度 福島県浜通り
- ※3 震度3から4程度 宮城県南部
- ※4 震度4程度 宮城県南部
震度3から4程度 宮城県中部
- ※5 震度4程度 福島県浜通り、宮城県南部、宮城県北部、宮城県中部、福島県中通り
- ※6 震度4程度 福島県浜通り、宮城県南部、宮城県北部、宮城県中部、福島県中通り
震度3から4程度 岩手県内陸南部、山形県村山
- ※7 震度4程度 福島県浜通り、宮城県南部、宮城県北部、福島県中通り、宮城県中部、岩手県内陸南部、山形県村山
- ※8 震度4程度 福島県浜通り、宮城県南部、宮城県北部、宮城県中部、福島県中通り、

- 茨城県北部、岩手県内陸南部、山形県村山
- 震度 3 から 4 程度 福島県会津、岩手県内陸北部
- ※9 震度 4 から 5 弱程度 宮城県南部、宮城県中部、福島県中通り
- 震度 4 程度 福島県浜通り、宮城県北部、茨城県北部、岩手県内陸南部、福島県会津、山形県村山、山形県置賜、岩手県内陸北部、茨城県南部
- 震度 3 から 4 程度 栃木県北部
- ※10 震度 4 から 5 弱程度 宮城県南部
- 震度 4 程度 福島県浜通り、宮城県北部、宮城県中部、福島県中通り、茨城県北部、岩手県内陸南部、福島県会津、山形県村山
- 震度 3 から 4 程度 岩手県内陸北部、茨城県南部
- ※11 震度 4 程度 福島県浜通り、宮城県南部、宮城県北部、宮城県中部、福島県中通り、岩手県内陸南部、山形県村山
- 震度 3 から 4 程度 茨城県北部
- ※12 震度 4 程度 福島県浜通り、宮城県南部、宮城県北部、宮城県中部、福島県中通り、岩手県内陸南部、山形県村山、福島県会津
- 震度 3 から 4 程度 茨城県北部
- ※13 震度 4 程度 福島県浜通り、宮城県南部、宮城県北部、宮城県中部、福島県中通り、岩手県内陸南部、山形県村山、栃木県北部、福島県会津
- 震度 3 から 4 程度 茨城県北部
- ※14 震度 4 程度 福島県浜通り、宮城県南部、宮城県北部、宮城県中部、福島県中通り、岩手県内陸南部、山形県村山、栃木県北部、栃木県南部、福島県会津
- ※15 震度 4 程度 福島県浜通り、宮城県南部、宮城県北部、宮城県中部、福島県中通り、岩手県内陸南部、山形県村山、栃木県北部、栃木県南部、福島県会津
- 震度 3 から 4 程度 茨城県北部

